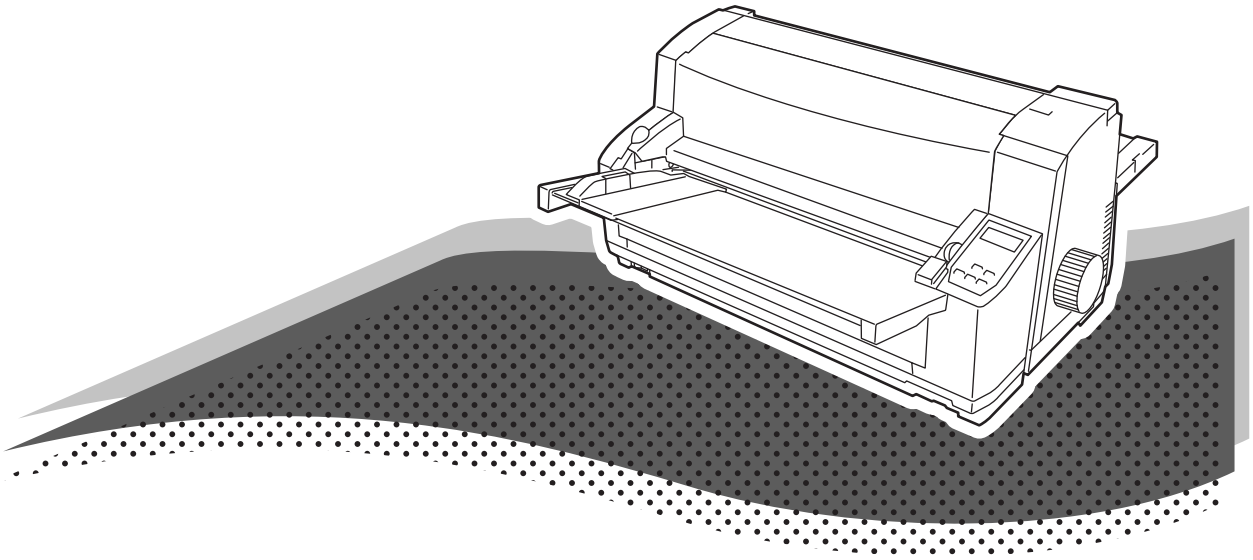
MultiImpact 700 シリーズ

ドットインパクトプリンタ
ユーザーズマニュアル



MultiImpact 700XE
MultiImpact 700XEN
MultiImpact 700JE
MultiImpact 700JEN

853-811183-501-A
第2版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は、指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		体内に入れると有害な物質であることを示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。感電のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による感電や火災のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。感電や火災のおそれがあります。		直射日光を避けてください。発火のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれてけがをするおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。けがをするおそれがあります。
	お子様を近づけないでください。けがをするおそれがあります。		たこ足配線にしないでください。発火のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。火災のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。感電や火災のおそれがあります。
	プリンタを一人で持ち上げないでください。けがをするおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。	100V 専用	電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。火災や漏電のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して火災や感電のおそれがあります。		

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、MultiImpactは日本電気株式会社の登録商標です。
PrinterSignalStationはNECソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2015-2017
日本電気株式会社、NECエンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本マニュアルは、NECドットプリンタMultiImpact 700XE/700XEN/700JE/700JEN（以降、まとめて「MultiImpact 700シリーズ」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引き書です。
本マニュアルにはMultiImpact 700シリーズの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。
尚、ソフトウェアマニュアルではプリンタドライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章　初めてお使いになるとき

本プリンタの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、プリンタを箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また、本プリンタに用意されている様々なオプションを紹介しています。

第2章　用紙の取り扱い

カット紙、連続紙、はがき、封筒の取り扱い方法を、用紙のセットを中心に説明しています。

第3章　操作パネルとスイッチの機能

操作パネル上のスイッチやランプの機能、プリンタが持っている様々な便利な機能について説明しています。

第4章　プリンタの設定変更

プリンタの設定変更を行うための機能について説明しています。

第5章　オプション

オプションの取り付け方法や取り外し方法について説明しています。

第6章　日常の保守

インクリボンカートリッジの交換やプリンタの清掃手順を説明しています。

第7章　故障かな？と思ったときは

プリンタが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、プリンタを運搬するときの準備についても記載しています。

付録

プリンタの仕様、用紙の規格、用紙の設計に関する注意事項、印刷範囲に関する情報を記載しています。

技術情報

テスト印刷のサンプルや文字コード表を載せています。

MultiImpact 700シリーズの特長

MultiImpact 700シリーズの特長を簡単に説明します。

- USBインタフェースに対応

  オプションのUSB-パラレル変換ケーブルを使用することで、USBインタフェースでの印刷が可能です。

- PrinterSignalStation、リモートパネル

  プリンタの状態（用紙なし、エラーなど）や印刷の進行状況を確認することができます。またプリンタの各種設定をコンピュータの画面上で行うことができます。PrinterSignalStation、リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルをご覧ください。

- 各種ネットワークに対応

  MultiImpact 700XEN/700JENは標準で、MultiImpact 700XE/700JEはオプションでTCP/IPに対応したLANボードを装着することができます。

- 7色のカラー印刷

  カラーインクリボンカートリッジを使用することにより、7色のカラー印刷を行うことができます。

- 自動印刷位置補正機能

  従来ペーパガイドを使って行っていた印刷位置の調整を自動で行うことができる機能です。

- 自動カット位置送り機能

  連続紙の印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。この機能を使えば、スピーディに用紙をカットすることができます。

- 自動用紙厚調整機能

  用紙の厚さに応じて印刷ヘッドと用紙の間隔を自動的に調整する機能です。この機能により用紙の厚さを意識せずに常に良好な印刷結果を得ることができます。

- バーコード印刷

  MultiImpact 700シリーズは、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、郵便カスタマバーコードの印刷ができます。

- 各種用紙に印刷可能

  MultiImpact 700シリーズは、はがきからA3サイズまでのカット紙、連続紙のほか複写式用紙やラベル紙など様々な用紙*1 に印刷することができます。

*1　付録「用紙の規格」参照。

目次

安全にかかわる表示 ii
はじめに v
マニュアルの構成 v
MultiImpact 700シリーズの特長 vi
目次 vii

安全にお使いいただくために 1
警告ラベルについて 1
安全上のご注意 2

1章　初めてお使いになるとき 6

取り扱い上の注意 7
設置に必要なスペース 8
設置してはいけない場所 9
箱の中身を確認する 10
別売品 11
オプション 11
消耗品 13
各部の名称を確認する 14
保護用部品を取り除く 15
シートガイドを取り付ける 16
スタッカを取り付ける 17
電源コードを接続する 18
電源を ON にする 18
インクリボンカートリッジを取り付ける 19
テスト印刷をする 22
コンピュータに接続する 24
ネットワークに接続する 25

2章　用紙の取り扱い 26

給紙方法の選択 26
連続紙のセット 28
連続紙のセットと吸入 28
連続紙の排出とスタック 30
連続紙を取り除く 30
連続紙のカット 31
カット機能を使う 31
自動カット位置送り機能を使う 33
プラテンノブを使う 34
カット紙のセットと吸入 35
カット紙の排出 37
シートガイドに排出する 37
スタッカに排出する 37
カット紙と連続紙の切り替え 38
連続紙からカット紙への切り替え 38
カット紙から連続紙への切り替え 39
はがき・往復はがきのセット 40
使用できるはがき、往復はがきの確認 40
はがき、往復はがきに印刷するときの注意 40
はがき、往復はがきのカールについて 41
ハガキ印刷モードの選択とはがきのセットと吸入 41
はがき吸入位置の微調整 43
封筒のセット 44
使用できる封筒の確認 44
封筒に関する注意 44
封筒に印刷するときの注意 45
封筒のセットと吸入 45
用紙吸入位置の微調整 47
印刷開始位置の微調整 49
カット紙の自動印刷位置補正 50

3章　操作パネルとスイッチの機能 52

スイッチの基本機能 53
スイッチの応用機能 55
ランプの表示 55
ディスプレイの表示 56

4章　プリンタの設定変更 57

メニューモード 57
メニューモードで変更できる設定項目 58
メニューモードの入り方と終了方法 59
メニューモードの入り方 59
メニューモードの終了方法 59
メニューモード時のスイッチ機能 59
メニューツリー 60
設定の手順 64
設定の詳細 65
書式設定 65
機能選択 66
スペシャルメニューモード 68
スペシャルメニューモードで変更できる設定項目 68
スペシャルメニューモードの入り方と終了方法 68
スペシャルメニューモードの入り方 68
スペシャルメニューモードの終了方法 69

スペシャルメニューモード時のスイッチ機能 69
メニューツリー 70
設定の手順 73
設定の詳細 74
パラメータ設定モード 74
メモリスイッチ設定モード 76
罫線ぞろえ確認モード 80
HEX ダンプモード切り替え 82
ネットワーク設定モード 83
ネットワーク設定モードで変更できる設定項目 83
ネットワーク設定モードの入り方と終了方法 83
ネットワーク設定モードの入り方 83
ネットワーク設定モードの終了方法 83
ネットワーク設定モード時のスイッチ機能 84
メニューツリー 85
設定の手順 86
設定の詳細 87

5章　オプション.....88
シートフィーダ 90
各部の名称 90
シートフィーダの取り付け 91
シートフィーダ使用時の注意 93
シートフィーダへの用紙のセットと吸入 93
カット紙・複写式カット紙のセットと吸入 94
用紙を追加または変更するときは 96
はがき・往復はがきのセットと吸入 97
封筒のセットと吸入 98
角形 2 号封筒のセット 99
用紙の排出 100
スタッカに排出する 100
シートガイドに排出する 100
シートフィーダと連続紙の切り替え印刷 101
シートフィーダの取り外し 102
シートフィーダが外れないとき 104
シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整 105
紙づまりのときは 106
リアトラクタフィーダ 107
リアトラクタフィーダの取り付け 108
リアトラクタフィーダへの連続紙の
セットと吸入 109
フロントトラクタフィーダと
リアトラクタフィーダの切り替え印刷 111
リアトラクタフィーダの取り外し 111

6章　日常の保守.....113
インクリボンカートリッジの交換 113
インクリボンの交換方法 115
プリンタの清掃 116

7章　故障かな？と思った
ときは 117
エラー表示が出ているときは 118
エラー表示が出ていないのにおかしいときは 120
紙づまりの処理 124
保証および修理の依頼について 126
保証について 126
修理に出される前に 127
プリンタの寿命について 127
有寿命部品（有償）について 128
補修用性能部品について 128
情報サービスについて 128
プリンタを運搬するときは 129
プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、
インクリボンの処理について 130
プリンタの廃棄について 130
インクリボンカートリッジ、インクリボンの
処理について 130

付録.....131
仕様 131
用紙の規格 135
用紙サイズと坪量 135
用紙のセット方向 136
用紙の種類と複写枚数 136
複写枚数と坪量（連量）.....137
保管上の注意 138
連続紙の置き方 138
封筒に印刷するときの注意 139
印刷範囲 140
カット紙 140
カット紙に関する注意 141
連続紙 141
連続紙に関する注意 142
はがき 143
はがきに関する注意 143
封筒 144
用紙設計に関する注意事項 145
カット紙に関する注意 145

普通紙について 145
複写式のカット紙について 146
連続紙に関する注意 146
普通紙について 146
複写式の連続紙について 147
封筒用紙に関する注意 149
ラベル紙（タック紙）に関する注意 151
プレプリント用紙に関する注意 153
使用できない用紙への注意 153

技術情報 154

初期状態 155
インタフェース 157
インタフェース信号の機能 157
タイムチャート 158
コネクタピン配置 158
電気的特性 159
文字コード表 160
1 バイト系コード表 161
8 ビットコード表 161
7 ビットコード表 162
漢字コード表（2 バイト系コード表）.....163
テスト印刷サンプル 168
制御コード一覧 170
基本制御コード表 170
拡張制御コード表 171
新制御コードのコマンド仕様 174
特殊文字の印刷 178
バーコードを印刷する 178
制御コード 178
バーコードの概要 180
カスタマバーコードを印刷する 183
OCR-B 相当フォントを印刷する 189

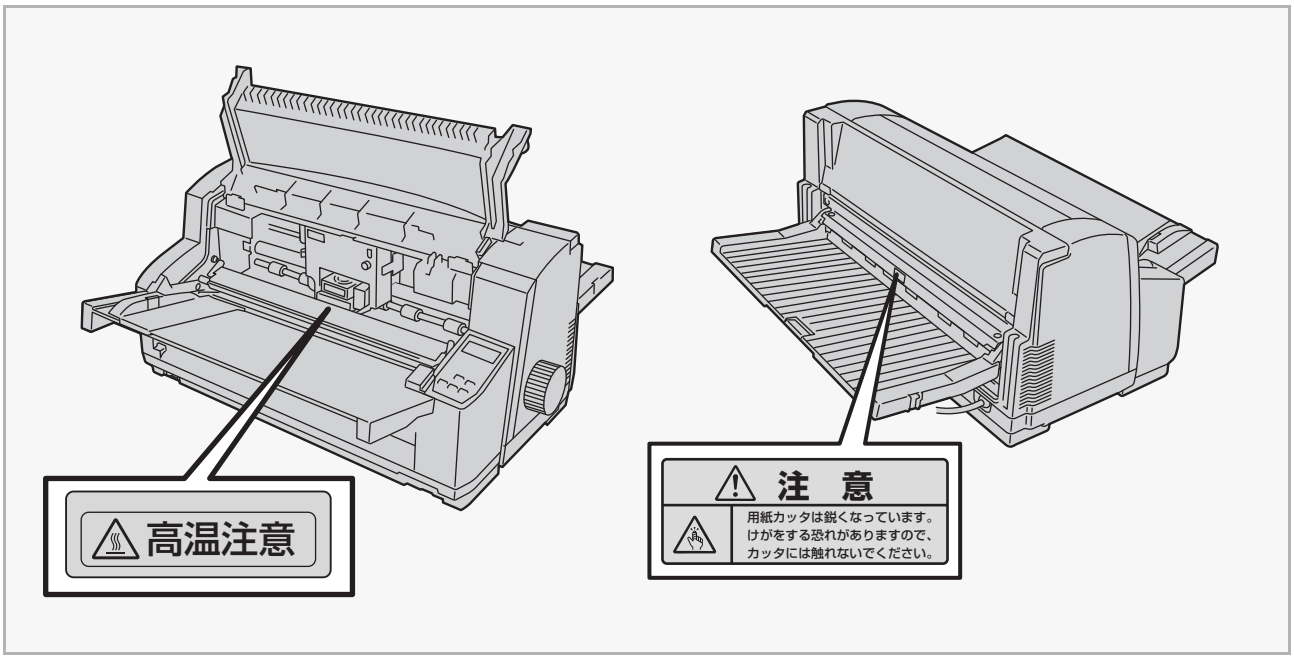
索引 190

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiImpact 700シリーズプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。

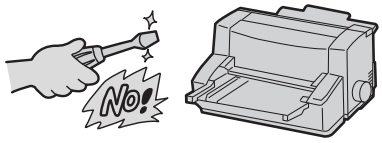


安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明についてはii～iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

警告

分解･修理･改造はしない

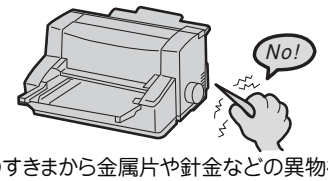


本書に記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や、火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



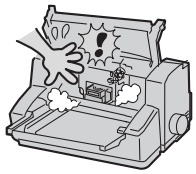
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

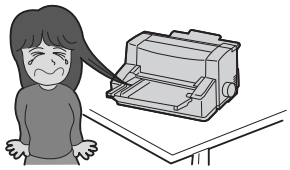
注意

高温注意



プリンタの内部には、使用中に高温になる印刷ヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

プリンタ内に異物を入れない

プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

雷が鳴りだしたらプリンタに触らない

火災･感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンタには触らないでください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

⚠ 注意

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない。

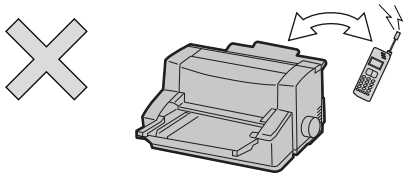
・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
・装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

ほこり･湿気の多い場所で使用しない

・プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
・プラグ部分はときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

プリンタの近くで携帯電話等を使用しない



携帯電話、スマートフォン、PHS、ポケットベル、無線通信機をプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると、プリンタが異常動作したり、内部の温度が上がり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

不安定な場所に置かない

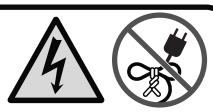
プリンタを縦型OAラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

インクリボンをなめたりしない

インクリボンカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。インクリボンをなめたりすると健康を損なうおそれがあります。

注意

電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンタを一人で持ち上げない

プリンタや添付品を含んだ購入時の梱包箱の質量は、約28kgです。一人で持つと腰を痛めることがあります。持ち運ぶときは二人以上で持ってください。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

1章
初めてお使いになるとき

この章では、プリンタの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピュータに接続するまでを以下の手順で説明します。

1　箱の中身を確認する

2　各部の名称を確認する

3　保護用部品を取り除く

4　シートガイドを取り付ける

5　スタッカを取り付ける

6　電源コードを接続する

7　電源をONにする

8　インクリボンカートリッジを取り付ける

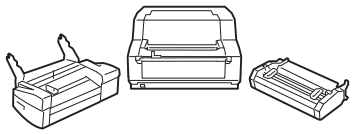
9　テスト印刷をする

10　コンピュータに接続する

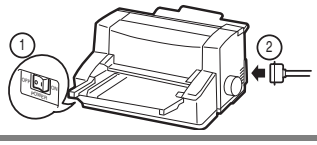
11　ネットワークに接続する

取り扱い上の注意

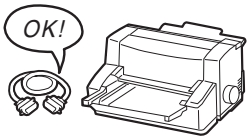
プリンタを正しく安全に活用していただくために、次のことをお守りください。



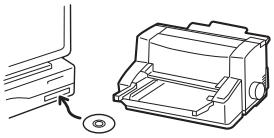
オプションはMultiImpact 700シリーズ専用のものをお使いください。専用でないものは、たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。（型番などについては「オプション」（11 ページ）を参照してください。）



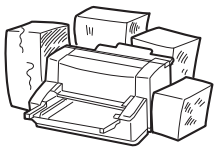
プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行うときは、電源をOFFにしてから行ってください。電源が入ったまま行うと誤動作や故障の原因となります。



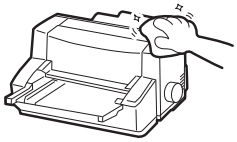
ご用意いただいたプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。



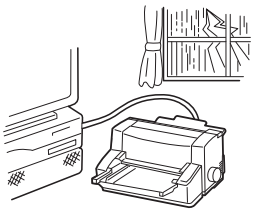
プリンタドライバは、MultiImpact 700シリーズに添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに入っているものをインストールしてください。



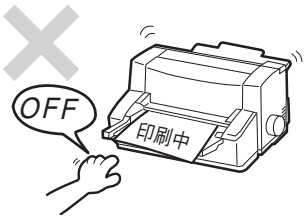
プリンタの背面の排気孔をふさがないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなると、正しく動作しなくなることがあります。



定期的にプリンタを清掃してください。清掃の方法については6章「プリンタの清掃」（116 ページ）を参照してください。



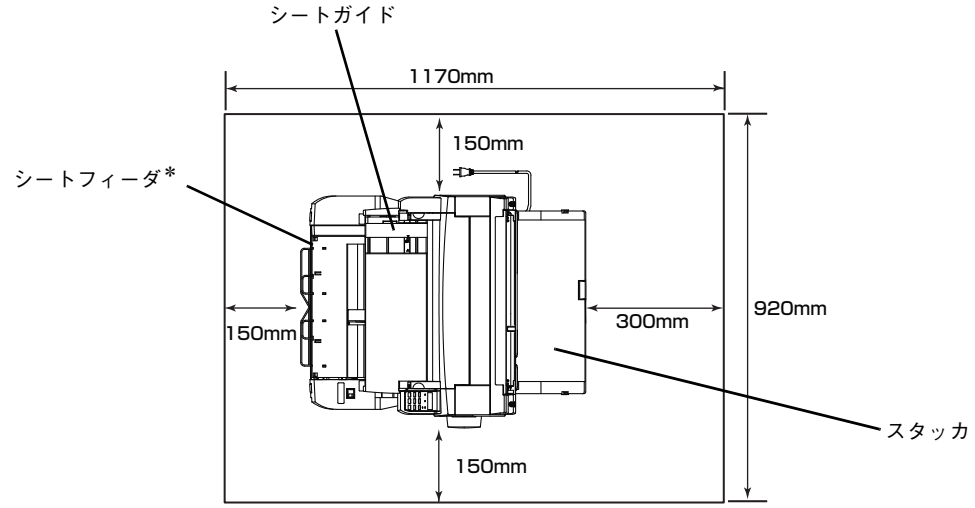
落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。



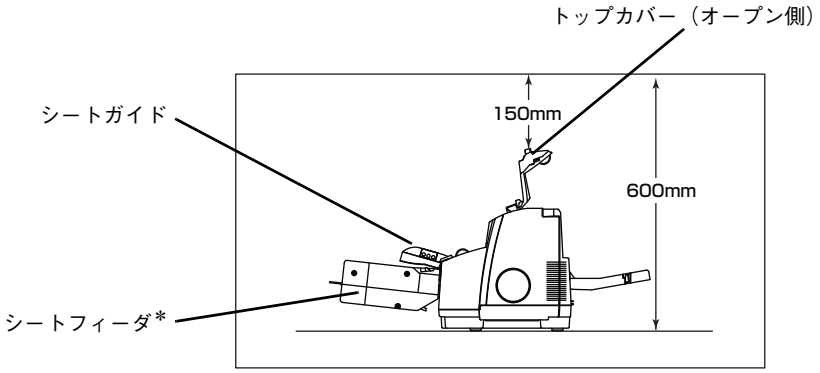
印刷中は電源をOFFにしないでください。故障の原因となります。

設置に必要なスペース

MultiImpact 700シリーズに必要なスペースは次のとおりです。プリンタを安全で快適にご使用いただくために、十分なスペースを確保して風通しのよい場所に設置してください。図は、オプションのシートフィーダを実装した場合に必要となるスペースの例です。



プリンタ上面

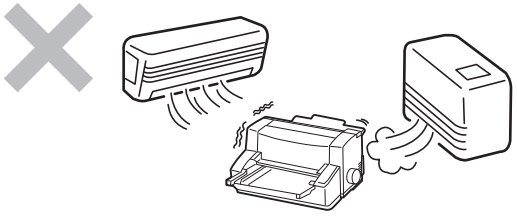


*　オプションです

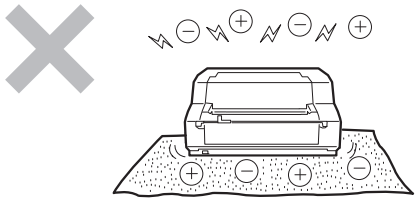
プリンタ右側面

設置してはいけない場所

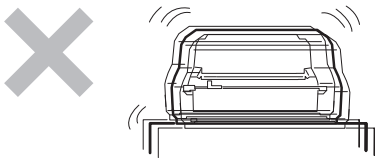
温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



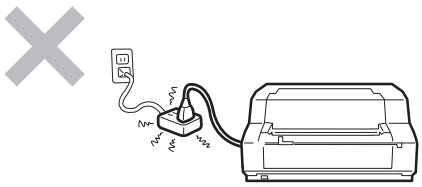
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



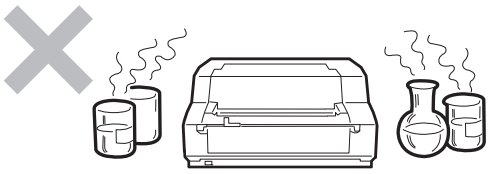
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



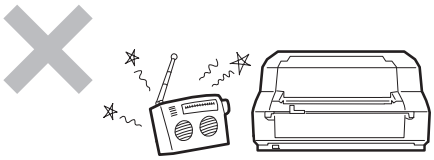
電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



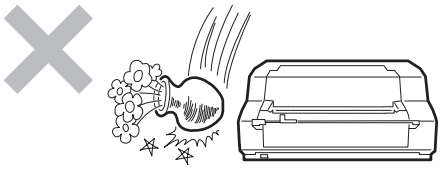
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しないことがあります。



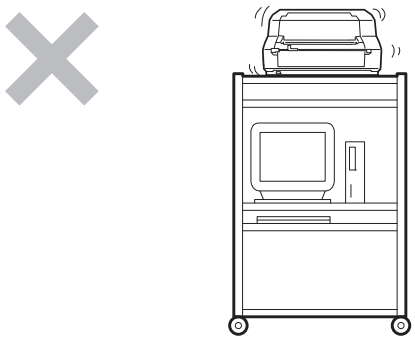
ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。



プリンタを縦型OAラック等の上段など不安定な場所に置かないでください。けがのおそれや周囲の破損の原因となることがあります。

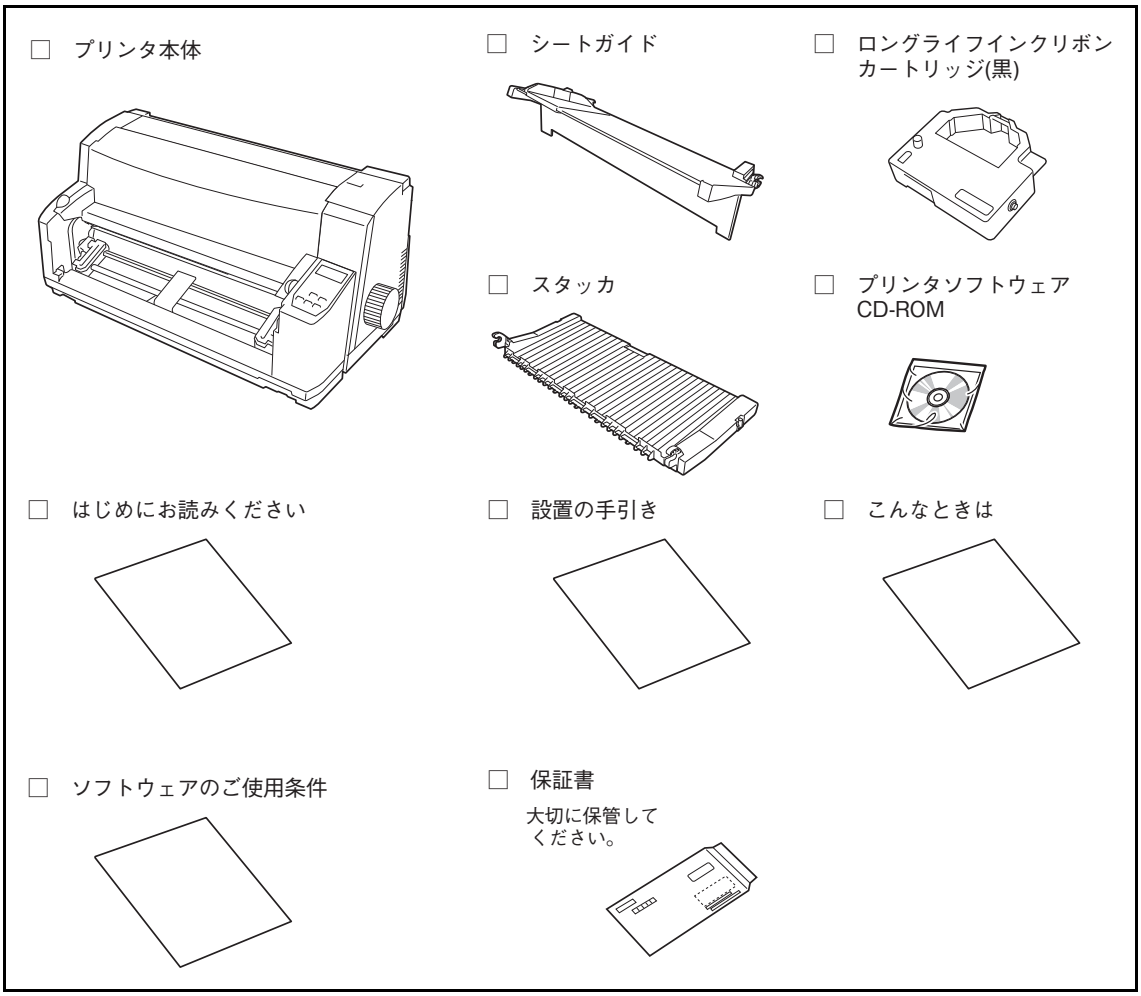


1 箱の中身を確認する

箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

チェック

- プリンタとコンピュータを接続するプリンタケーブルは本プリンタには付属していません。プリンタケーブルは別途お買い求めください。プリンタケーブルについては「プリンタケーブル」（12 ページ）をご覧ください。
- 梱包材（箱や緩衝材など）はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保管しておいてください。
- プリンタ本体を一人で持つと腰を痛めることがありますので、運搬するときはプリンタ本体の下を二人で持つようにしてください。プリンタ背面部の排紙ユニット部は持たないでください。



別売品

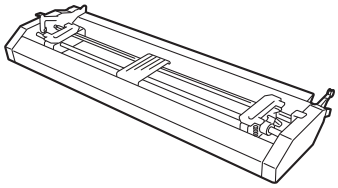
ご購入にあたりましては、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

オプションの詳しい説明については、5章「オプション」（88 ページ）をご覧ください。

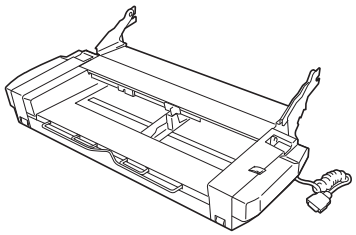
リアトラクタフィーダ（型番　PR-D700XE-03）

連続紙を後ろから給紙することができます。リアトラクタフィーダを使うことによりフロントトラクタフィーダと合わせて2種類の連続紙を切り替えて使用することができます。



シートフィーダ（型番　PR-D700XE-04）*

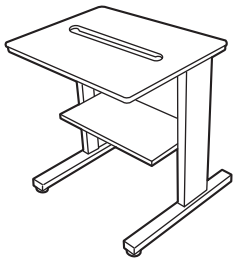
カット紙やはがきを自動的に給紙します。
カット紙を約280枚までセットできます（A4サイズの用紙で坪量64.0g/m^2（連量55kg）の場合）。
複写式用紙は5枚綴りのものを約60組までセットできます（A4サイズの複写式用紙の場合）。
1度にセットできる用紙は1種類のみです。



*シートフィーダを構成する部品のうち、「ラバーホルダL Assy」は有寿命部品（有償）です。

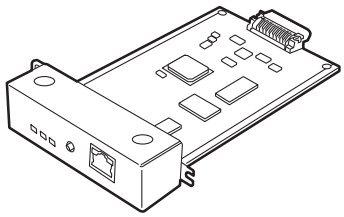
プリンタ卓（型番　PR-D201X-09A）

プリンタを置く台です。



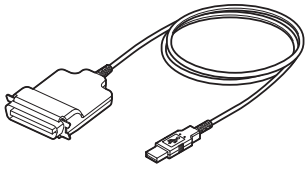
プリントサーバ（LANボード）（型番　PR-NP-16）

100BASE-TX、10BASE-Tインタフェースを装備しているプリンタ内蔵型のLANボードです。LANボードに関する詳細についてはプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。



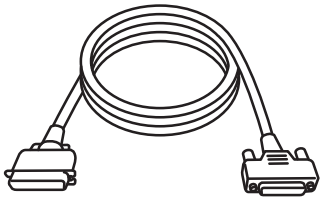
USB-パラレル変換ケーブル
（型番　PR-NP-U01）

USBインタフェースでの印刷に使用するケーブルです。



プリンタケーブル
（型番　PC-PRCA-01（1.5m）、
型番　PC-CA205（4m））

PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）に対応したケーブルです。



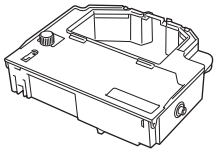
チェック

- コンピュータ本体とプリンタの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切替器、プリンタ共有器、USBハブなどを使用すると、プリンタの機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はオプションのLANボード（MultiImpact 700XEN/700JENは標準搭載）とネットワークケーブルが必要です。
- 対応OSについての最新情報はカタログや情報サービス（128ページ参照）で提供しています。

消耗品

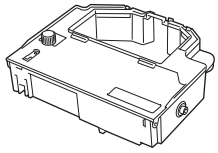
ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）
（型番　PR-D700XX2-01）

黒単色印刷のための長寿命インクリボンカートリッジです（プリンタ購入時に1個標準添付されています）。



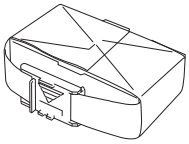
カラーインクリボンカートリッジ
（型番　PR-D700XX2-11）

カラー印刷のための4色インクリボンカートリッジです。



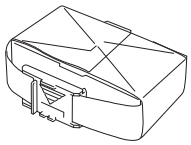
交換用ロングライフインクリボン（黒）
（型番　PR-D700XX2-02）

インクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01)用の交換用インクリボンです（2個入り）。



交換用カラーインクリボン
（型番　PR-D700XX2-12）

カラーインクリボンカートリッジ（PR-D700XX2-11)用の交換用インクリボンです（2個入り）。



ロングライフインクリボンカートリッジセット（黒）
（型番　PR-D700XX2-06）

ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）（PR-D700XX2-01）と交換用ロングライフインクリボン（黒）（PR-D700XX2-02）を組み合わせたセットです。

カラーインクリボンカートリッジセット
（型番　PR-D700XX2-16）

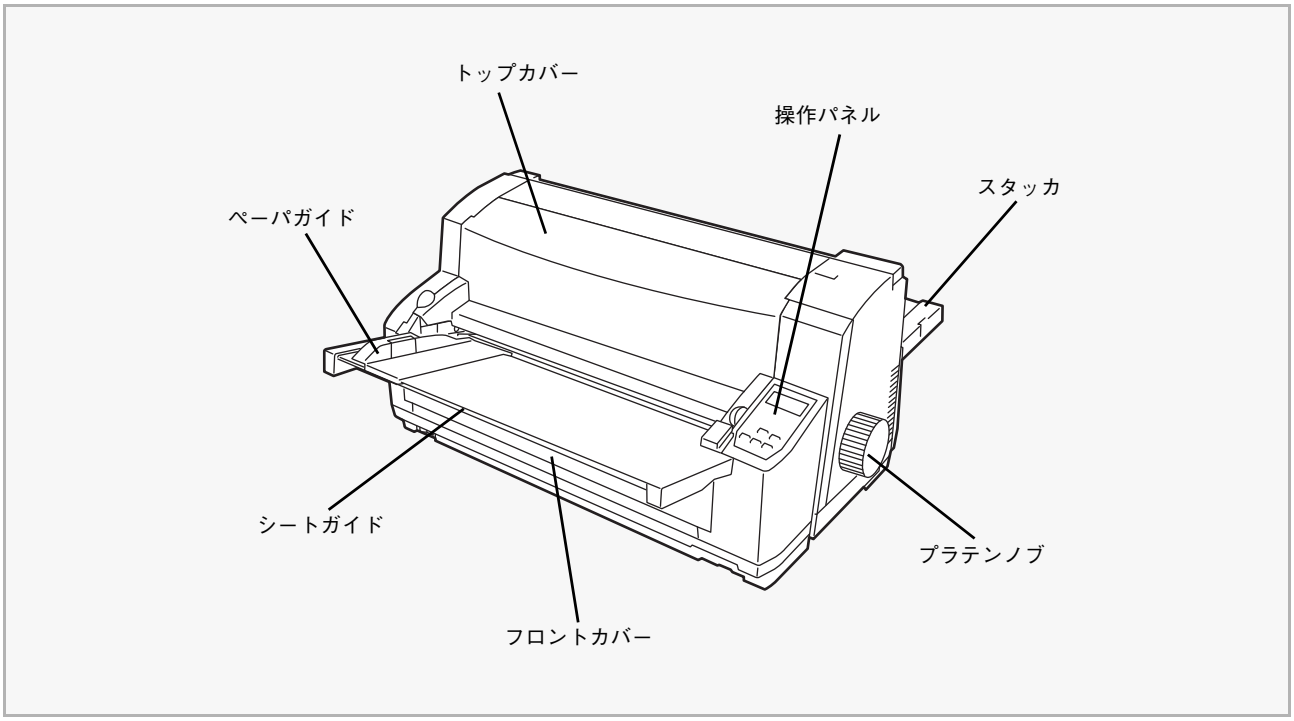
カラーインクリボンカートリッジ（PR-D700XX2-11）と交換用カラーインクリボン（PR-D700XX2-12）を組み合わせたセットです。

チェック

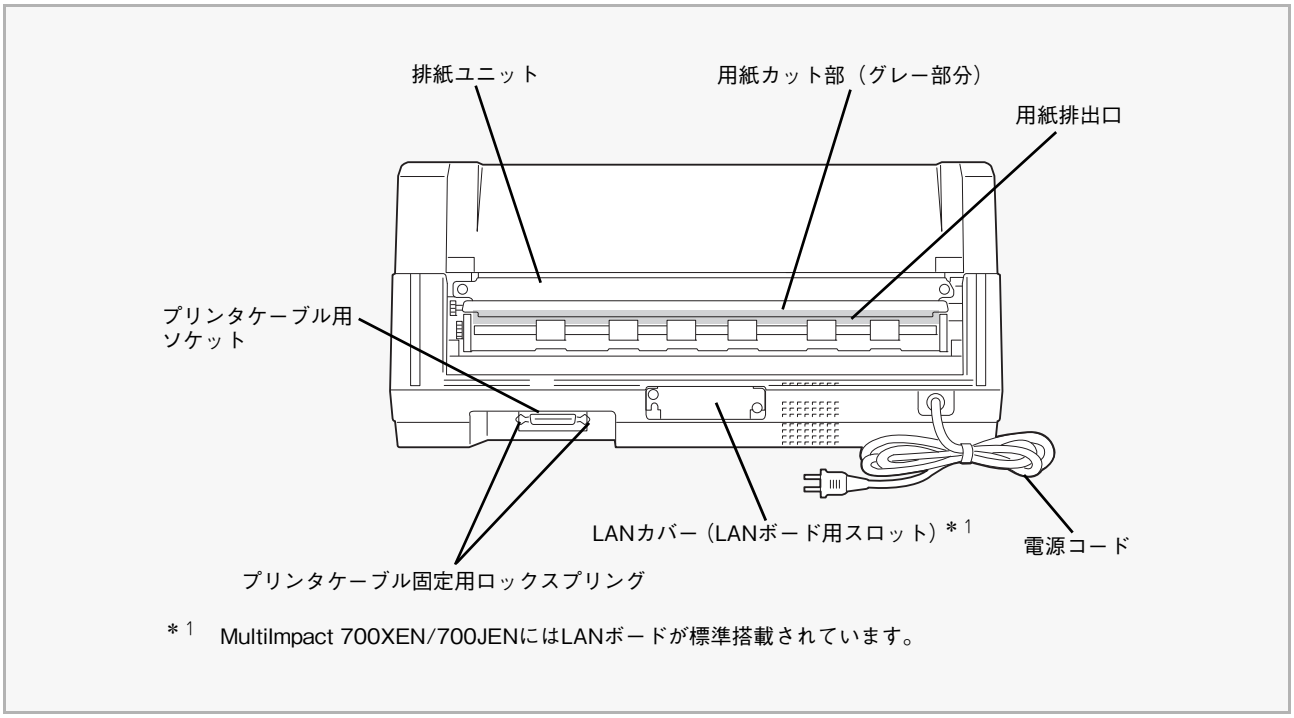
- 本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理（特別料金）となりますのでご注意ください。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用による印刷品質や、プリンタ性能の保証はいたしません。
  また、プリンタの印刷品質／動作保証／寿命／印刷ヘッドの保証もいたしません。
- 印刷品位を保つために、インクリボンカートリッジ、インクリボンは使用期限内にお使いください。
- それぞれの可能印刷数は、「付録」の132ページの表をご覧ください。

2 各部の名称を確認する

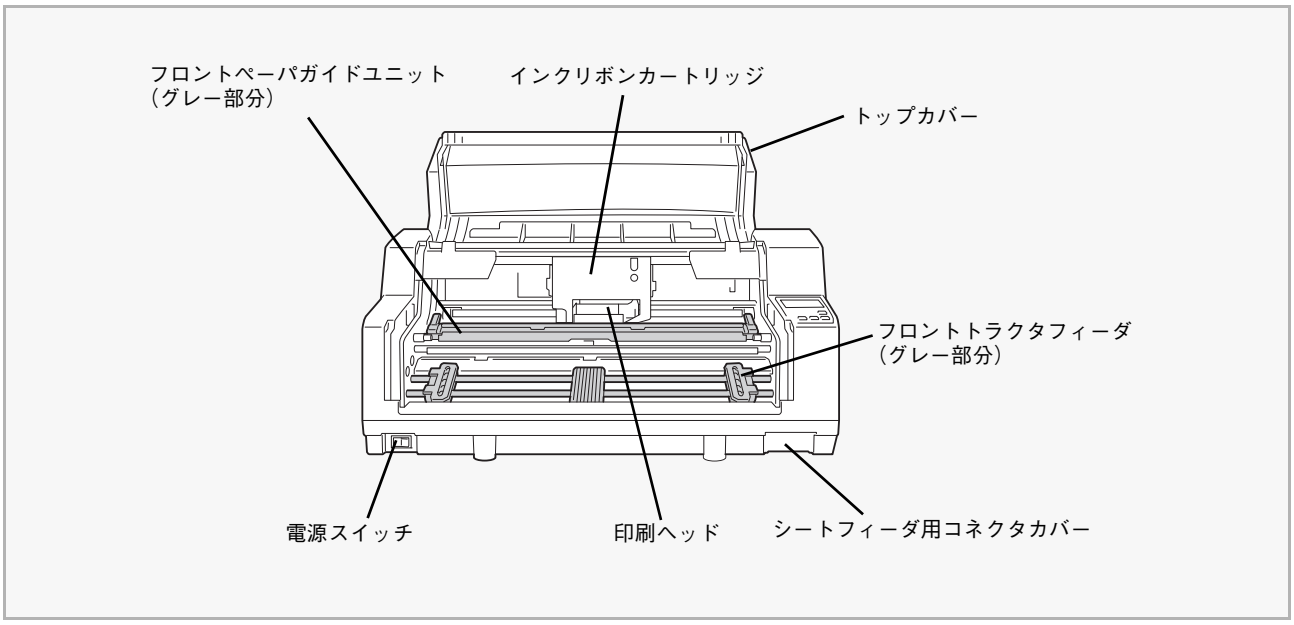
プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



プリンタ前面



プリンタ背面



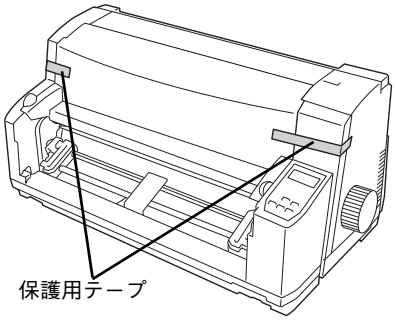
プリンタ内部（前面）（シートガイドを取り外した状態）

3 保護用部品を取り除く

プリンタ本体には保護用部品が取り付けられています。保護用部品は運搬時の衝撃からプリンタを守るためのもので、プリンタを使用するときは必要ありません。

1 **プリンタ背面の用紙排出口にある保護シート（厚紙）を取り除く。**

2 **図に示す2か所のテープを取り除く。**



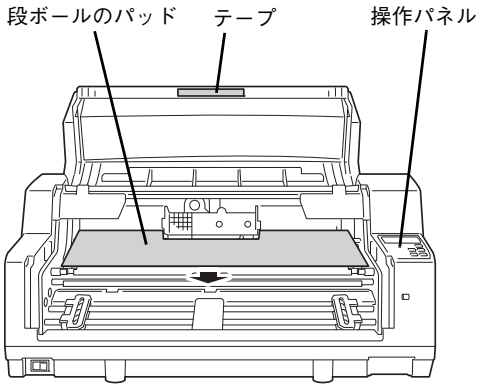
3 **左右のつまみを持ってトップカバーを開ける。**

4 **段ボールのパッドとテープを取り除く。**

印刷ヘッドの上にある段ボールのパッドを手前に引いて抜き取ります。
トップカバー前面に付いているテープを取り除きます。

チェック

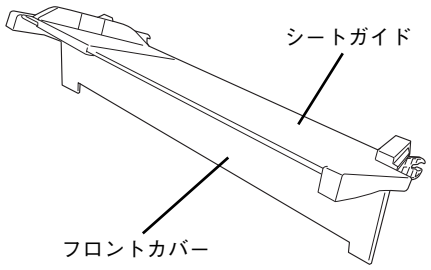
段ボールのパッドは運搬のときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。



5 **操作パネルに貼られている薄い透明の保護フィルムをはがす。**

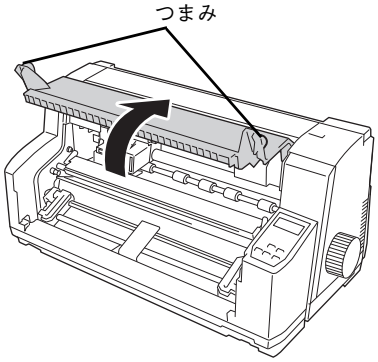
4 シートガイドを取り付ける

シートガイドは、カット紙を1枚ずつ手差しでセットするときに使います。シートガイドに付いているフロントカバーは、プリンタ内にほこりなどが入るのを防ぐためのものです。

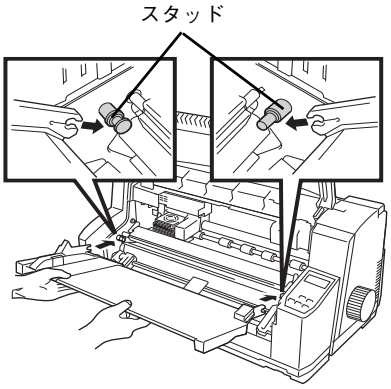


1 **トップカバーを開ける。**

トップカバーの左右のつまみを持って開きます。

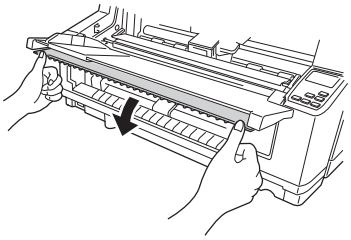


2 **プリンタ本体の左右のスタッド（突起）にシートガイドを押し込む。**

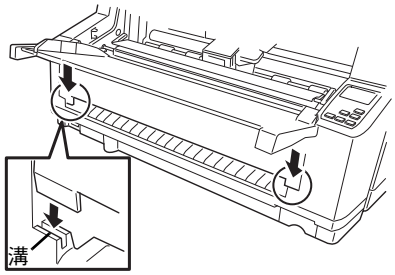


3 **フロントカバーを下ろす。**

フロントカバーは、親指で軽く下に押せばシートガイドから外れます。

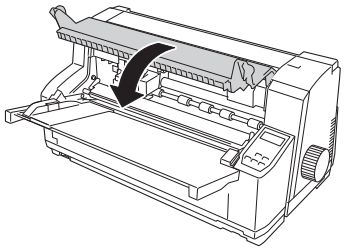


4 **フロントカバーを軽く押し上げ、プリンタ本体左右の溝に収める。**



5 **トップカバーを閉める。**

左右のつまみを持ってトップカバーを下ろし、軽く押さえてロックさせます。



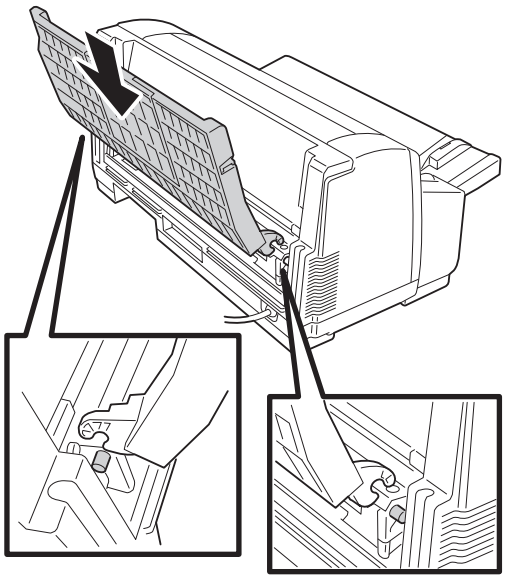
5 スタッカを取り付ける

スタッカは、印刷した用紙を受け止めるところです。

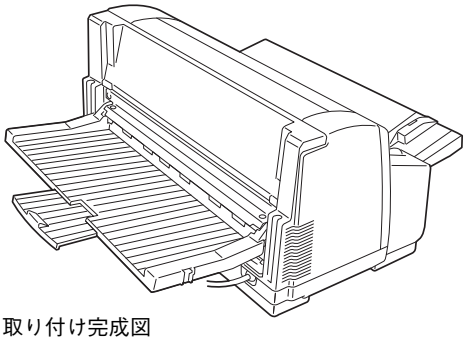
チェック

坪量64g/m^2（連量55kg）の用紙なら100枚までスタッカに受け止める（スタックする）ことができます。

プリンタ本体背面の左右のスタッドにスタッカを取り付けてください。



スタッカ手前部のセカンドスタッカを引き出すとスタッカを延長できます。A3用紙を排出するときなどにお使いください。



取り付け完成図

チェック

用紙をスタッカの上に長時間載せたままにしないでください。またスタッカに重いものを載せたり寄りかかったりしないでください。スタッカが破損したりフレームが変形したりするおそれがあります。

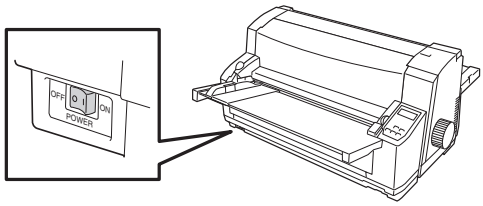
6 電源コードを接続する

⚠注意

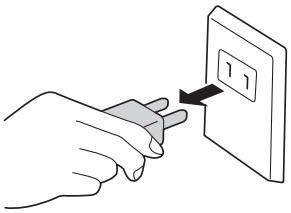
電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- コンピュータ本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- たこ足配線はおやめください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いてください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 **プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**



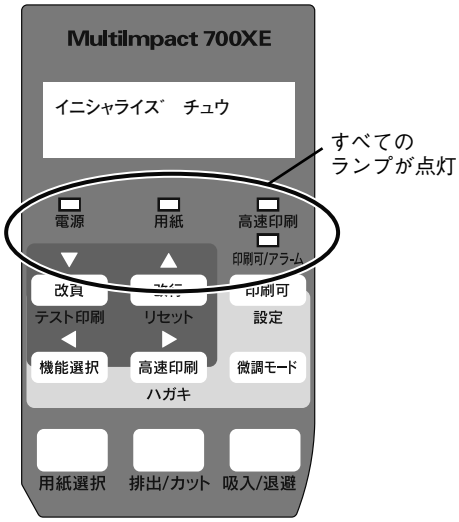
2 **電源コードのプラグをコンセントに差し込む。**



7 電源をONにする

1 **トップカバーが閉じていることを確認し、プリンタの電源スイッチをONにする。**

操作パネルのすべてのランプが点灯し、ディスプレイに“イニシャライズ゛　チュウ”と表示されます。

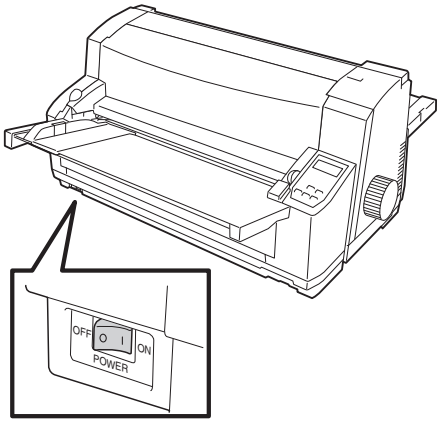


8 インクリボンカートリッジを取り付ける

重要

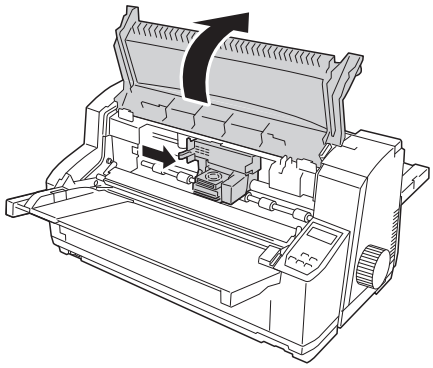
本プリンタはNEC指定消耗品を使用時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。

1 **プリンタの電源スイッチがONになっていることを確認する。**



2 **トップカバーを開ける。**

印刷ヘッドとカードホルダが中央に移動します。

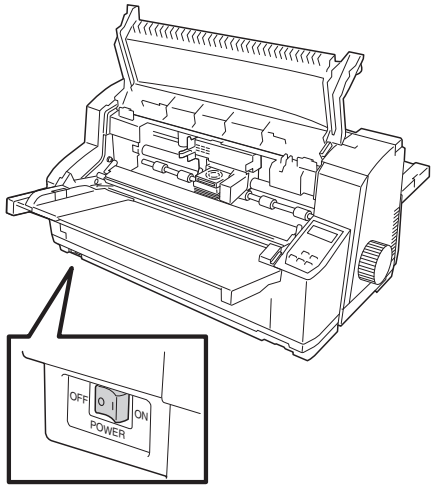


注意

印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

3 **トップカバーを開けたまま、プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

印刷ヘッドが中央に移動したままになります。

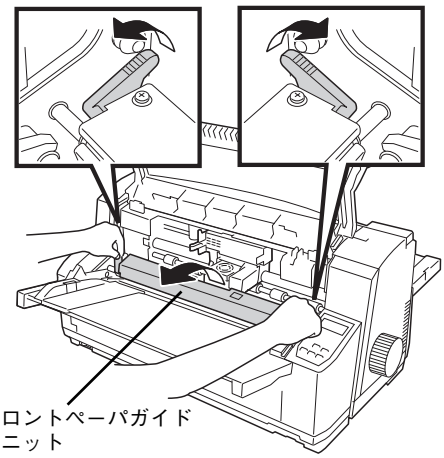


注意

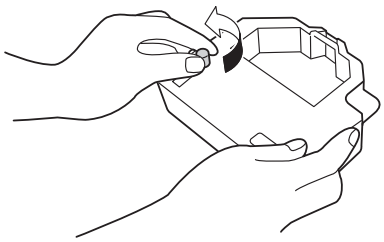
プリンタの電源スイッチをONにしたまま、インクリボンカートリッジを交換しないでください。プリンタが突然動き出し、けがをするおそれがあります。

4 **フロントペーパガイドユニットを開ける。**

左右の緑色のレバーを引きながら、手前に回します。



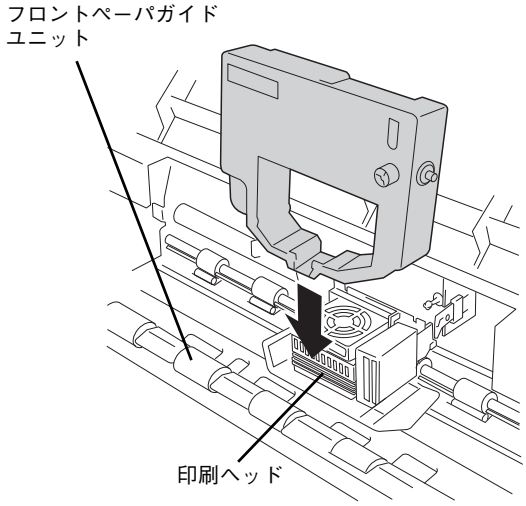
5　インクリボンがたるんでいる場合は、フィードノブを矢印の方向（反時計回り）に回してたるみをとる。



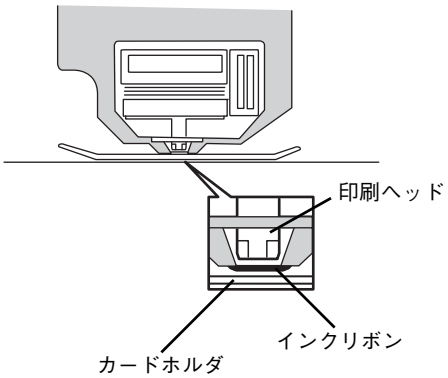
チェック

たるんだまま取り付けると、印字欠けやピン折れなど発生する場合がありますので十分気をつけてください。

6　インクリボンカートリッジを図に示す向きにして持ち、先端リボン部分をフロントペーパガイドユニットと印刷ヘッドの間に入れる。



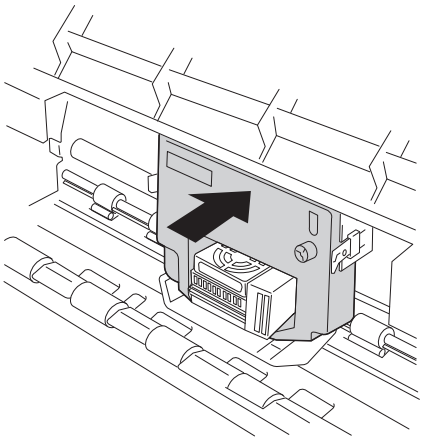
インクリボンがカードホルダと印刷ヘッドの間に入っていることを確認します。



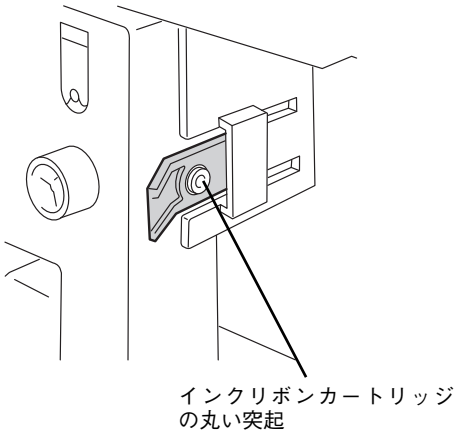
7　「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押し込む。

チェック

インクリボンカートリッジの先端リボン部分が、よじれないように気をつけてください。

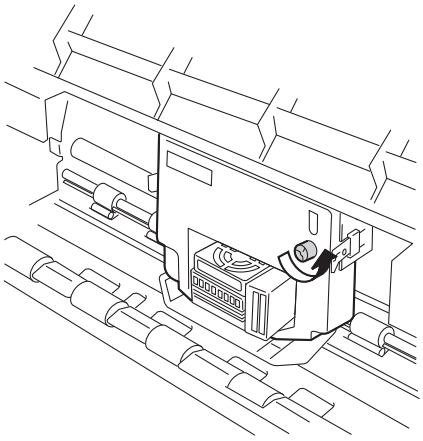


8　カートリッジホルダの左右にあるツメの丸穴に、インクリボンカートリッジの左右にある丸い突起が入っていることを確認する。



9　フィードノブを回してインクリボンが軽く動くことを確認する。

動かないときは手順5からもう一度やり直してください。

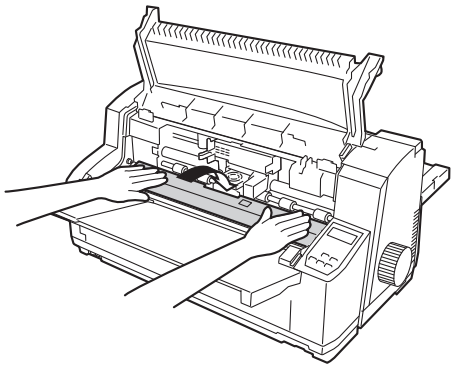


10 フロントペーパガイドユニットを元に戻す。

「カチッ」と音がするまで、押してください。

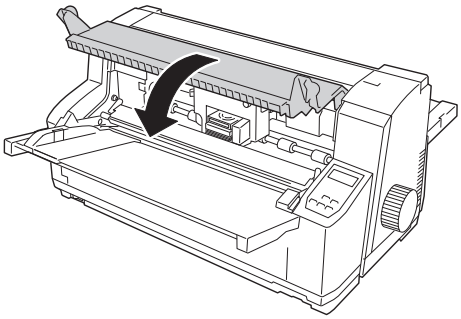
チェック

フロントペーパガイドユニットは最後まで戻してください。中途半端な状態だと用紙を正常に送ることができません。



11 トップカバーを閉める。

これでインクリボンカートリッジの取り付けは終了です。



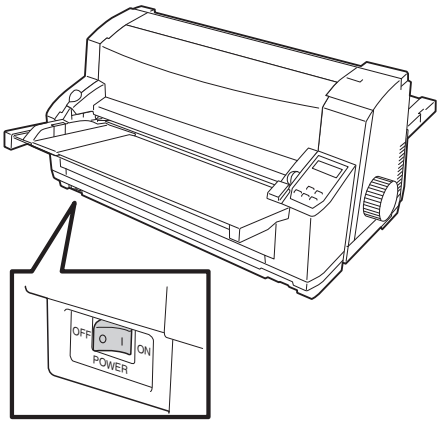
9 テスト印刷をする

MultiImpact 700シリーズが正常に動作することを確かめるために、テスト印刷を行います。
テスト印刷には約381mm（15インチ）幅以上の連続紙、またはB4サイズ以上のカット紙を横置きにして使用します。ここでは、B4サイズのカット紙を使う場合を例にとってテスト印刷の手順を説明します。
このテスト印刷は7章「故障かな？と思ったときは」（117 ページ）の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

重要

カット紙にテスト印刷をする場合は、以下の説明に示すとおり、シートガイドを使用してください。連続紙にテスト印刷をする場合は、フロントトラクタフィーダを使用してください（「連続紙のセットと吸入」（28 ページ）を参照）。

1　プリンタの電源スイッチをONにする。



2　ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

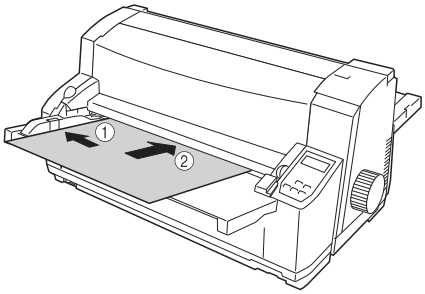
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

3　B4用紙を横置きにセットする。

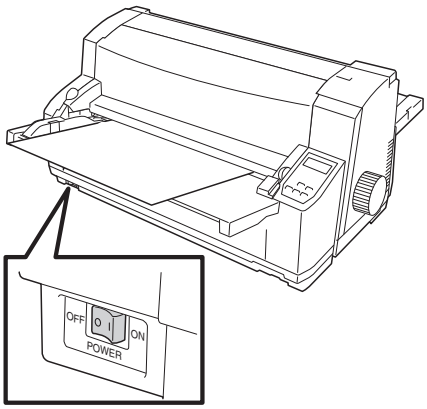
用紙の印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込んでください。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

カット紙のセットについての詳細は「カット紙のセットと吸入」（35 ページ）を参照してください。



4　プリンタの電源スイッチをOFFにする。

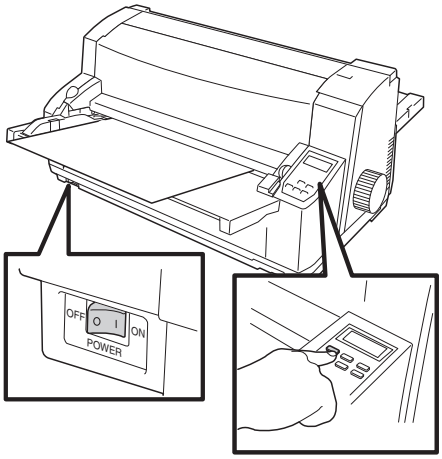


5　［改頁］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“テスト　インサツ”と表示されたら、スイッチから手を放します。

用紙がなくなると、用紙ランプが点灯し、テスト印刷が中断します。テスト印刷を終了させるときは手順6に進んでください。

テスト印刷を続けたいときは、新しい用紙をセットし、吸入させてください。自動的にテスト印刷を再開します。



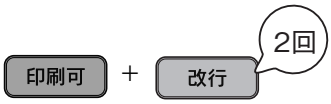
改頁

テ	ス	ト		イ	ン	サ	ツ								

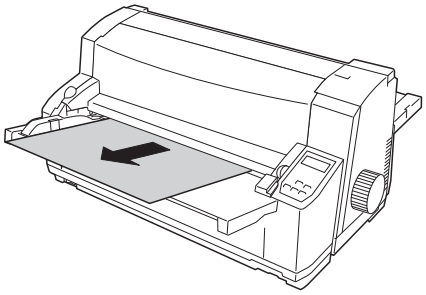
6　テスト印刷を終了させる。

［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押してください。

> **チェック**
>
> テスト印刷は強制的に終了しない限り続けて行われます。



7　［排出/カット］スイッチを押して用紙を排出する。



8　テスト印刷が終わったら、技術情報の「テスト印刷サンプル」（168 ページ）を参照して印刷の状態を確認する。

もし文字の一部が欠けていたり文字の周囲が汚れていたりしたときは、「インクリボンカートリッジを取り付ける」（19 ページ）に従ってインクリボンカートリッジを取り付け直し、もう一度テスト印刷を行ってください。それでも印刷の状態が良くならない場合には、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に連絡してください。

> **チェック**
>
> - テスト印刷中に［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が中断します。もう一度［印刷可］スイッチを押すとテスト印刷が再開します。
> - 途中で用紙がなくなった（用紙ランプ点灯）場合は、そのまま新しい用紙をセットしてください。続きが印刷されます。
> - テスト印刷はプリンタに内蔵している様々な書体を印刷します。ひと通りテスト印刷が完了した後、そのまま続けると再び「明朝体漢字」からテスト印刷を始めます。
> - ［機能選択］スイッチで、印刷する書体を切り替えることができます。

10コンピュータに接続する

MultiImpact 700シリーズにはプリンタケーブルが付属しておりません。プリンタをコンピュータに接続するには別売のプリンタケーブルをお買い求めいただく必要があります。

プリンタケーブルのタイプは、コンピュータによって異なります。本プリンタを接続するコンピュータに合ったプリンタケーブルを販売店でお求めください。

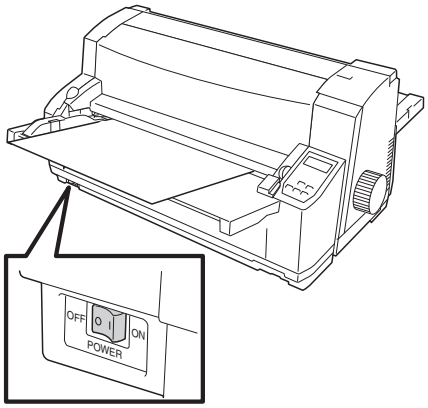
チェック

オプションのUSB-パラレル変換ケーブルをご使用の際は、“プリンタケーブル”を“USB-パラレル変換ケーブル”に読み替えてください。

1　プリンタおよびコンピュータの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

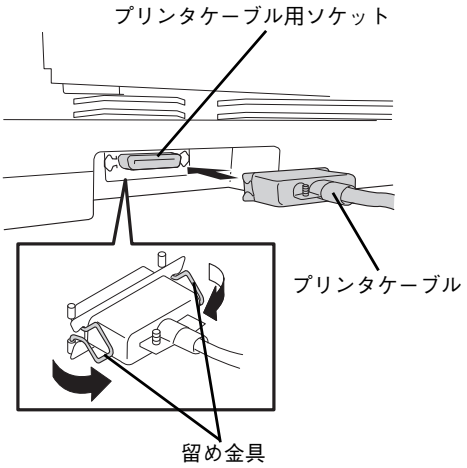
チェック

電源スイッチがONになっている場合はOFFにしてください。



2　プリンタにプリンタケーブルを接続する。

ケーブルが外れないようにソケットの外側の留め金具で固定します。



3　コンピュータにプリンタケーブルを接続する。

詳しくはコンピュータのマニュアルをご覧ください。

11 ネットワークに接続する

次の手順でMultiImpact 700XEN/700JENをネットワークに接続します。MultiImpact 700XE/700JEの場合はオプションのLANボードを取り付けてから以下の手順を行ってください。LANボードの取り付けに関してはソフトウェアCD-ROMに同梱されているプリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。

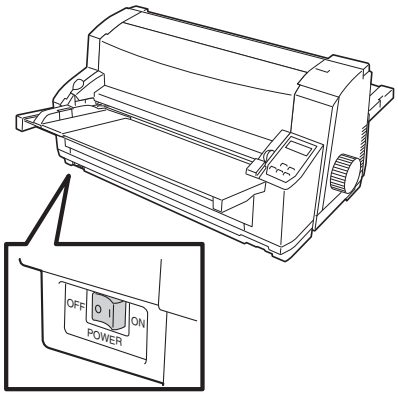
チェック

- 100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ（HUB）とネットワークケーブル（カテゴリ5以上）、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリ3以上のネットワークケーブルをご用意ください。
- LANインターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

1 **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

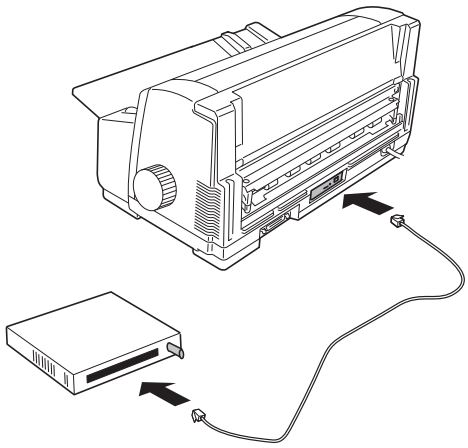
チェック

プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。



2 **LANボードのネットワークポート（10BASE-T/100BASE-TX）にネットワークケーブルを接続する。**

3 **イーサネットハブ（HUB）に、ネットワークケーブルのもう一方を接続する。**



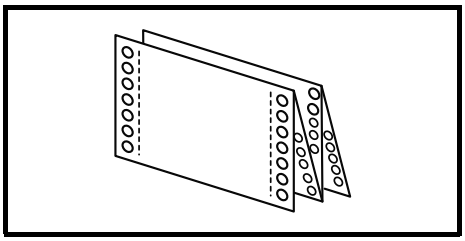
2章
用紙の取り扱い

この章では、用紙のセット方法について説明します。
印刷する用紙が決まったら、適切な給紙方法を選んでください。

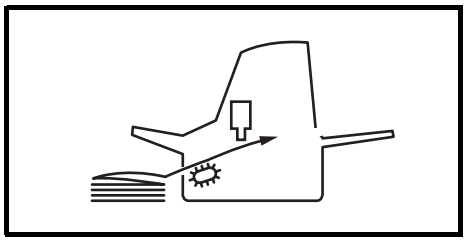
給紙方法の選択

連続紙に印刷したい（普通紙、複写式用紙、ラベル紙）

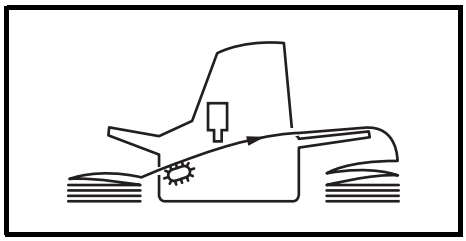
連続紙に印刷する場合、フロントトラクタフィーダに用紙をセットする方法とリアトラクタフィーダ（オプション）に用紙をセットする方法があります。

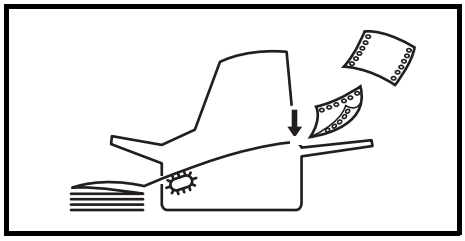


- 使用できる連続紙の確認 135ページ
  お手持ちの連続紙が本プリンタで使用できるものであることを確認してください。



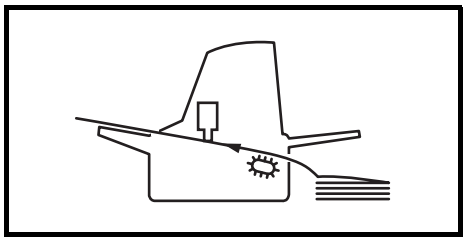
- 連続紙のセットと吸入 28ページ
  フロントトラクタフィーダに連続紙をセットし、吸入させるまでの手順を説明します。





- 連続紙の排出とスタック.....30ページ
  印刷が終わった連続紙の排出･スタックについて説明します。

- 連続紙のカット 31ページ
  印刷が終わった連続紙をミシン目まで送り、手でカットするまでの手順を説明します。

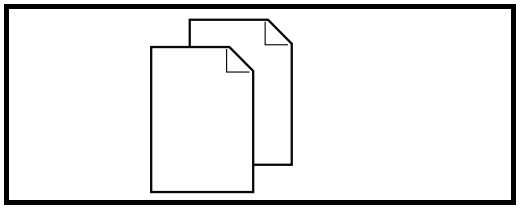


- リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入.....109ページ

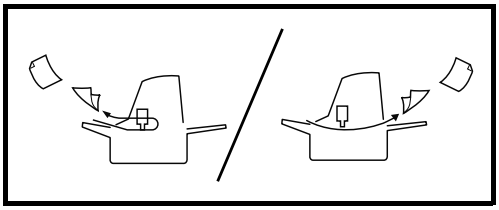
オプションのリアトラクタフィーダ（オプション）を使用すれば一度に2種類の連続紙をセットし、交互に使い分けて印刷することができます。

カット紙に印刷したい（普通紙、複写式用紙）

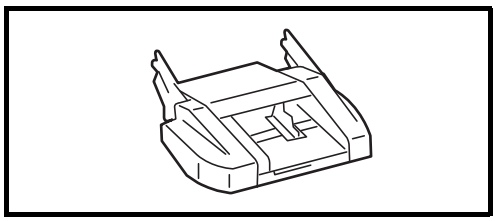
カット紙に印刷する場合、シートガイドから用紙をセットする方法とシートフィーダ（オプション）から用紙をセットする方法の2種類があります。一枚ずつ印刷する場合はシートガイド、一度に何枚も印刷する場合はシートフィーダにセットする方法が適しています。



- カット紙のセット.....35ページ
  シートガイドにカット紙をセットする方法について説明します。
- はがき、往復はがきのセット.... 40ページ
  シートガイドにはがき､往復はがきをセットする方法について説明します。
- 封筒のセット..... 44ページ
  シートガイドに封筒をセットする方法について説明します。



- カット紙の排出..... 37ページ
  カット紙の排出方法について説明します。はがき、往復はがき、封筒についても排出方法は同じです。



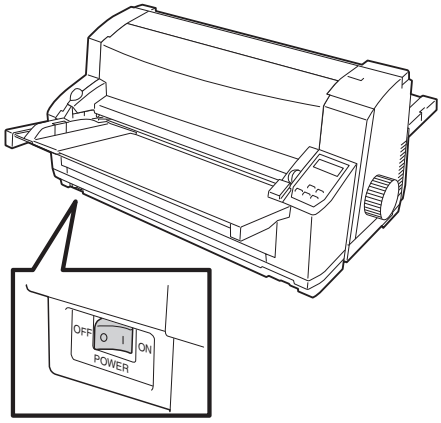
- シートフィーダを使ってカット紙を印刷する.....94ページ
  シートフィーダを使ってカット紙、はがき、往復はがき、封筒に印刷する場合はこちらをご覧ください。

連続紙のセット

連続紙をプリンタ前面から自動で給紙し、プリンタ背面に排出する方式です。次の手順で連続紙をフロントトラクタフィーダにセットし、プリンタ内に吸入します。

連続紙のセットと吸入

1 **プリンタの電源スイッチをONにする。**



2 **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　フロントトラクタフィータ゛”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

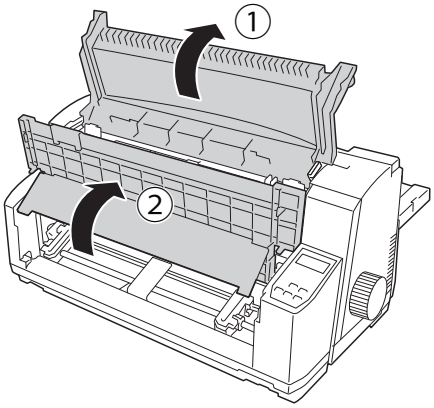
用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

3 **トップカバーを開ける。**

トップカバーの左右のつまみを持って開きます。

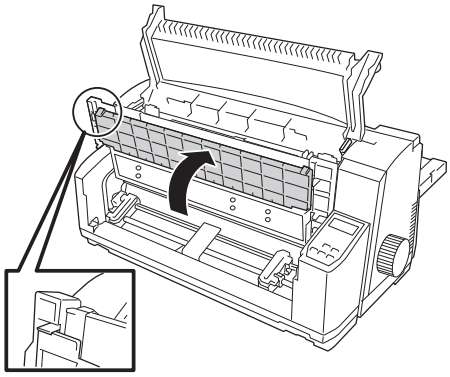
4 **シートガイドを上げる。**



5 **フロントカバーを上げ、シートガイドの左右のツメに「カチッ」と音がするまではめ込む。**

チェック

シートガイドの左右のツメがフロントカバーにしっかりとはめ込まれていることを確認してから次の手順に進んでください。ツメが外れているとフロントカバーが落下してけがをするおそれがあります。

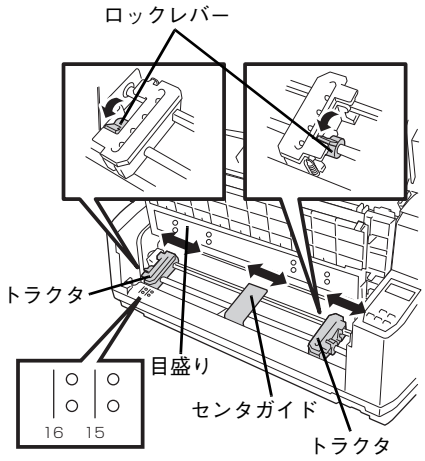


6 **左右のトラクタのロックレバー（緑色）を手前に倒す。**

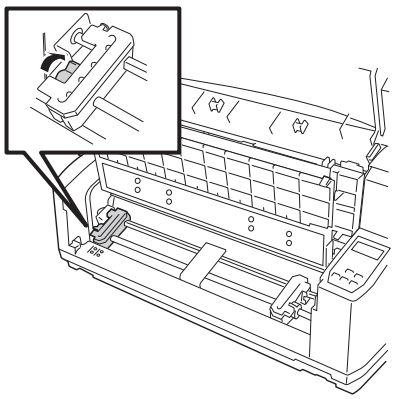
7 **目盛りを使って左右のトラクタを連続紙の幅に合わせる。**

連続紙の用紙幅が381mm（15インチ）以下の場合は「15」、406.4mm（16インチ）の場合は「16」のマークに用紙の左端を合わせてセットしてください。

センタガイドは両トラクタの中央に移動させます。



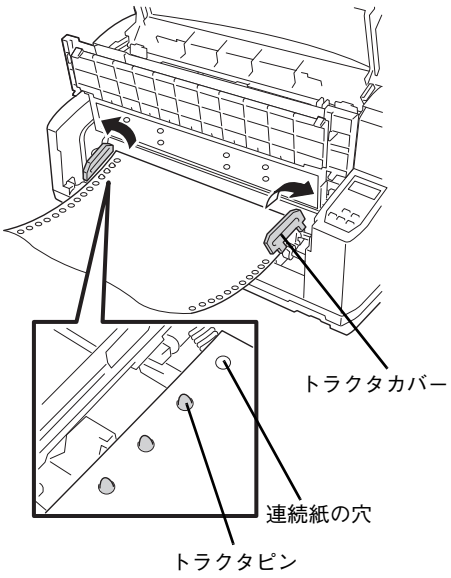
8　左のトラクタのロックレバーを上げてロックする。



9　左右のトラクタカバーを開け、連続紙を印刷する面を上にしてセットする。

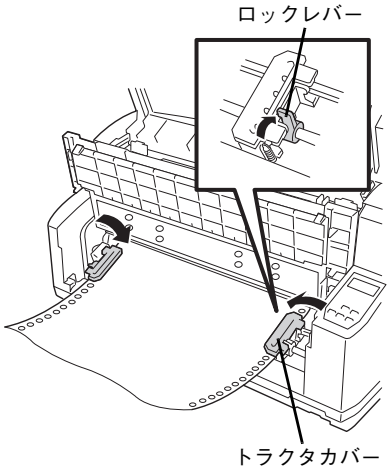
連続紙は、左右の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意して、トラクタピンにはめ込んでください。

> **チェック**
>
> 連続紙の穴を破らないように注意してください。穴が破れたまま用紙をセットすると正しく給紙されないおそれがあります。



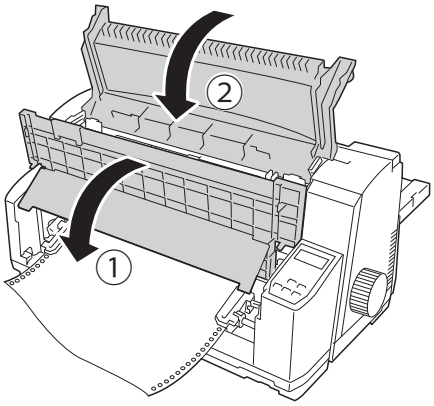
10　左右のトラクタカバーを閉めたら、右のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを上げてロックする。

> **チェック**
>
> このとき連続紙の引き過ぎやたるみがないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。



11　フロントカバー、トップカバーを下ろす。

シートガイドの左右のツメからフロントカバーを外してシートガイドを下ろしたら、フロントカバーをプリンタ本体前面にある左右の溝に納めます。



12 **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が吸入され、用紙ランプが消灯、印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで、連続紙のセット・吸入が完了しました。印刷するデータをプリンタが受信すれば、連続紙への印刷が開始されます。

吸入/退避

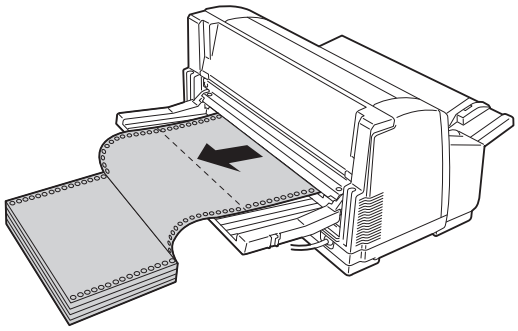
セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

チェック

プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47 ページ）をご覧ください。

連続紙の排出とスタック

印刷した連続紙はプリンタ背面に排出されるので、下図のようにスタック（折りたたむ）してください。
（連続紙の置き方については「連続紙の置き方」（138ページ）を参照してください。）



連続紙を取り除く

連続紙を取り除く場合は、［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙の先端をセット位置まで一時退避させてから連続紙をトラクタフィーダから外します。

連続紙のカット

連続紙をカットするには、ミシン目のカット位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り、手でカットします。カット位置までの用紙送り方法には、以下の3つがあります。

- カット機能を使う（［排出/カット］スイッチを押す）..... 31ページ
- 自動カット位置送り機能を使う 33ページ
- プラテンノブを使う 34ページ

使用している連続紙が坪量46.5～157.0g/m^2（連量40～135kg相当）の上質紙で1枚の場合、連続紙のカット機能を使うことができます。
印刷終了後に連続紙の最後の部分がトラクタから外れている場合は、用紙が排出されてしまうため「カット機能」は働きません。カット機能を使わないで連続紙をカットするときには「プラテンノブ」を使用してください。

カット機能を使う

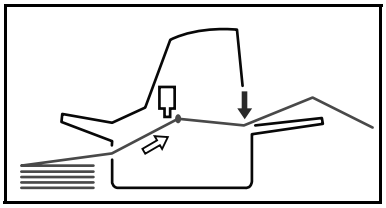
カット機能とは、連続紙のミシン目位置を用紙排出口上部にあるカッタまで送り出し、手でミシン目部をカットした後、先頭位置（用紙の吸入位置）まで自動的に逆送りする機能です。これにより、連続紙を無駄なく使用することができます。

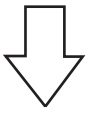
カット機能を使ってきちんとミシン目位置でカットできるようにするには、あらかじめ連続紙の用紙長を正しく設定しておく必要があります。用紙長の設定については65ページを参照してください。

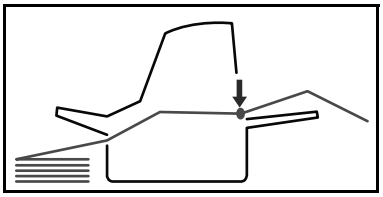
1　［排出/カット］スイッチを押す。

排出/カット

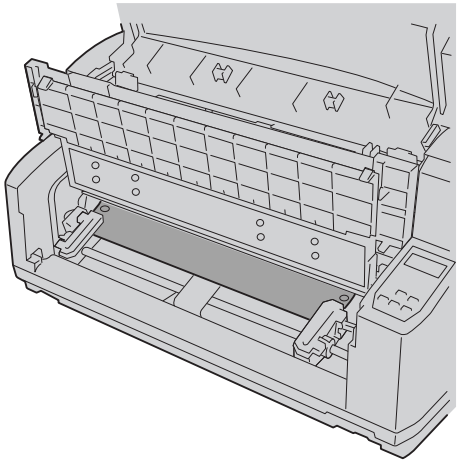
連続紙がカット位置まで送られます。カット位置を微調整する必要がないときは手順5に進んでください。







［排出/カット］スイッチを押したとき、すでに連続紙の下端がトラクタから外れている場合は、用紙は排出されてしまいます。



2　［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

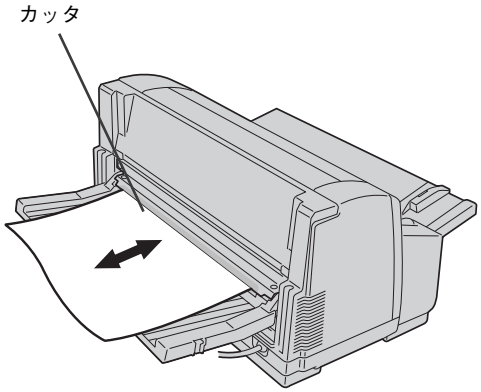
ヨ	ウ	シ		カ	ッ	ト		テ゛	キ	マ	ス			
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

3 **［微調モード］スイッチを押すと、ディスプレイに“カットイチ　ビチョウ　±XX.Xmm”と表示される。**

> **チェック**
> ディスプレイ下段、右端に表示される「＊」は、現在設定されている値であることを示します。

微調モード

カ	ッ	ト	イ	チ		ヒ゛	チ	ョ	ウ					
	±	X	X	.	X	m	m							＊



この状態で［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを押して、ミシン目がカッタの真下にくるように調節します。

［▲］スイッチと［▼］スイッチの機能は次の表のとおりです。

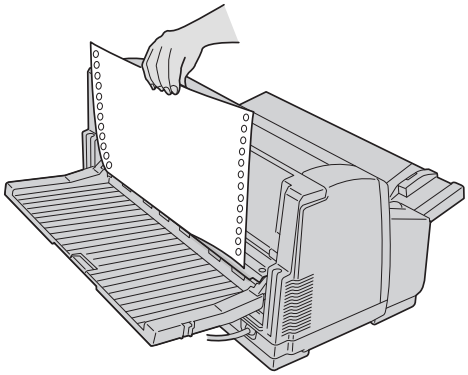
スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
［▲］スイッチ	約0.4mm（2/120インチ）順方向に用紙を送る	連続して送る
［▼］スイッチ	約 4.2mm（20/120 インチ）逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

> **チェック**
> - 微調整時の用紙送りには順方向、逆方向とも限界位置があります。調整範囲は約－4.2mm（－20/120インチ）～約4.2mm（20/120インチ）です。
> - 設定した新しいカット位置は記憶され、次からのカット機能実行時のカット位置になります。

4 **［微調モード］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押して、設定した値を記憶する。**

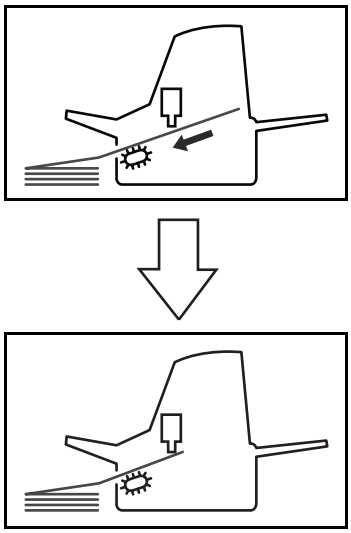
5 **連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。**

> **チェック**
> 用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
> 連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできない可能性があります。



6 **連続紙がカット位置まで排出された後、しばらくして自動的に先端が吸入位置まで戻ることを確認する。**

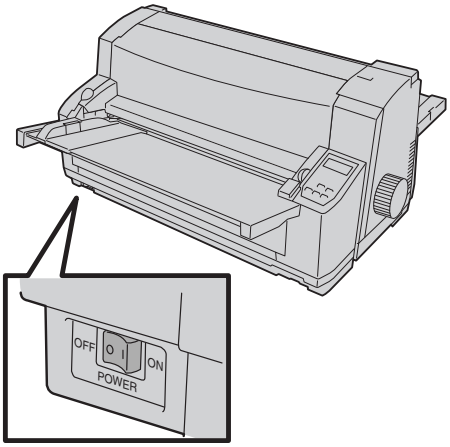
自動動作を待たなくても、もう一度［排出/カット］スイッチを押せば、用紙がすぐ戻ります。



自動カット位置送り機能を使う

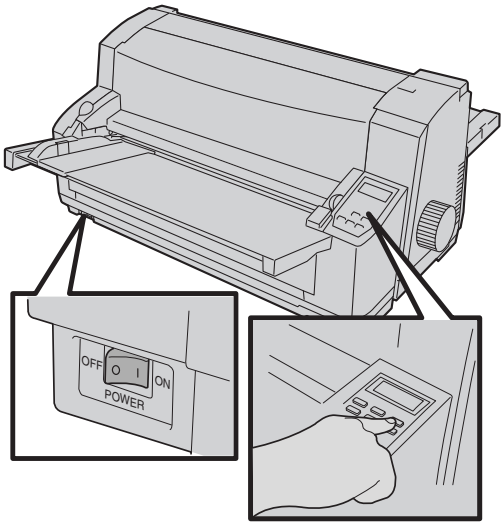
印刷後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能です。メモリスイッチ3-5（MSW3-5）で自動カット位置送り機能をONにします。設定方法は以下のとおりです。

1　プリンタの電源スイッチをOFFにする。



2　［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。

ディスプレイに“セッテイチ　インサツ”と表示されたら［印刷可］スイッチから指を放します。



印刷可

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

3　［印刷可］スイッチを2回押す。

ディスプレイに“メモリスイッチ　セッテイ　キノウ”と表示されます。

印刷可　2回

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ

4　ディスプレイに“MSW3-5 00000100”と表示されるまで［▶］スイッチを数回押す。

［◀］スイッチまたは［▶］スイッチを押すごとに、ひとつ前の設定項目に戻ることができます。

▷
高速印刷

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ
M	S	W	3	ー	5		0	0	0	0	0	1	0	0	

5　［▲］スイッチを押し、ディスプレイに　“MSW3-5 00001100”と表示させる。

△
改行

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ
M	S	W	3	ー	5		0	0	0	0	1	1	0	0	

6　［印刷可］スイッチを2回押して、メニューモードを終了する。

これで設定完了です。

また、必要に応じてこの後の「補足説明」を参照してください。

印刷可　2回

補足説明

用紙がカット位置に送られた後、連続紙をカットした、しないにかかわらず、一定時間で自動的に次の印刷位置まで用紙が戻ります。一定時間とはパラメータ設定の「連続紙カット位置からの自動戻り時間」で設定した時間です。

カットできなかった場合は［排出/カット］スイッチを押して、もう一度用紙をカット位置まで送り直してカットしてください。

あらかじめ、パラメータ設定機能でカット位置からの自動戻り時間を「無限」にすることもできます。各パラメータ設定の方法については「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。

自動戻り時間を「無限」に設定した場合は、用紙をカットした後［排出/カット］スイッチを押して、次の印刷位置まで用紙を戻してください。

チェック

用紙のカットを行わずに印刷を継続すると、障害が発生するおそれがあります。用紙のカットをあまり行わずに印刷を継続する場合は、自動カット位置送り機能をOFFにして使うことをお勧めします。

プラテンノブを使う

プラテンノブを手で回して、手動で連続紙をカット位置まで送り出す方法です。

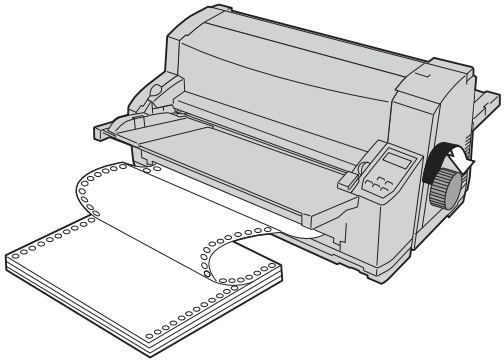
1　**［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。**

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

テ゛	ィ	セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン		
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

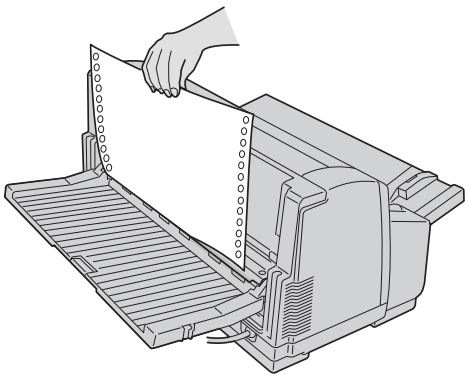
2　**プリンタ背面のカッタにミシン目がそろうまで、プラテンノブを時計回りに回す。**



3　**連続紙を引き上げ、カッタを利用してカットする。**

チェック

- 用紙の右または左端が破れると、プリンタが用紙幅を誤って認識するため正しく印刷されないことがあります。
- 連続紙のカットは、ミシン目に合わせてまっすぐカットしてください。ミシン目以外の部分はカッタではきれいにカットできないことがあります。



4　**［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を一時退避する。**

5　**再度、［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を吸入する。**

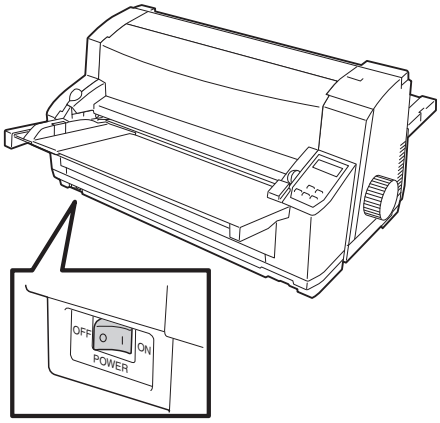
カット紙のセットと吸入

ここでは普通紙のセットと吸入方法について説明します。

チェック

- MultiImpact　700シリーズは、カット紙のセット位置は、左端を基準にしています。中央を基準にして（中央位置基準）で印刷するアプリケーションソフトを使用する場合は、メニューモードの「カット紙位置補正」（65ページ）で印刷位置を補正してください。
- カット紙の自動印刷位置補正については「カット紙の自動印刷位置補正」（50ページ）をご覧ください。

1　プリンタの電源スイッチをONにする。



2　連続紙がセットされている場合は、印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押す。

残った用紙は一時退避します。

連続紙を一時退避する方法については「カット紙と連続紙の切り替え」（38ページ）を参照してください。

連続紙をカットした後、排出する場合は「連続紙を取り除く」（30ページ）を参照してください。

チェック

連続紙が退避位置まで戻りきらない場合は、［吸入/退避］スイッチを数回押して戻してください。

吸入/退避

3　ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

チェック

ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで、用紙をセットしないでください。特に連続紙の退避動作途中で用紙をセットすると連続紙がトラクタから外れてしまいます。

用紙選択

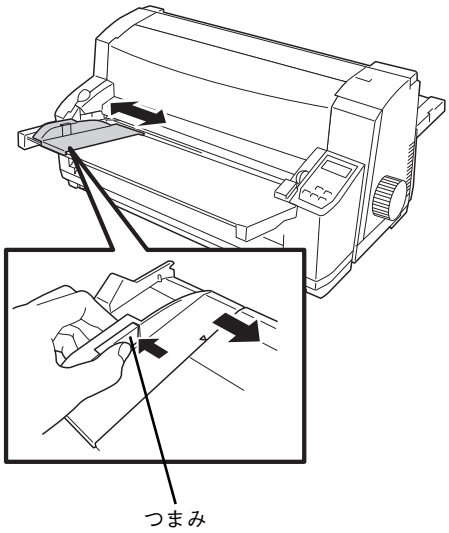
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

4 ペーパガイドの ▶ と、シートガイド上の ◀ を合わせる。

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

A3サイズの用紙を横置きに印刷する場合は、ペーパガイドの ▶ をシートガイドの A3 に合わせます。

> **チェック**
>
> ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。
> カット紙の自動印刷位置補正については「カット紙の自動印刷位置補正」（50ページ）を参照してください。



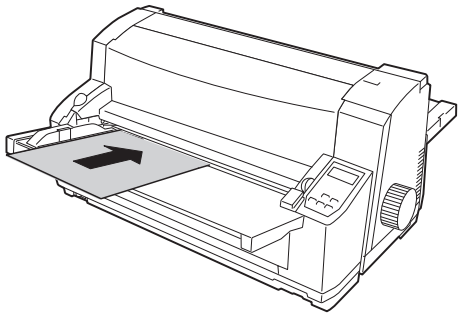
5 用紙をセットする。

用紙の印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込んでください。

一定時間が経過すると用紙が自動的に吸入されます。

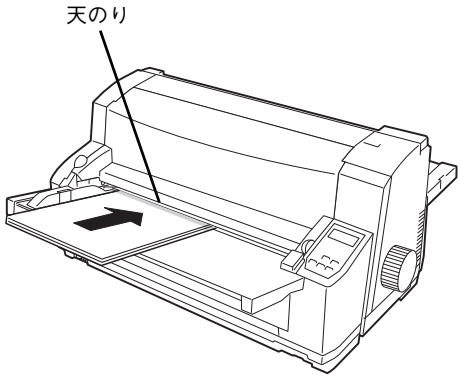
> **チェック**
>
> プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）をご覧ください。

> **チェック**
>
> 一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。



複写式用紙を使用する場合は、印刷する面を上にし、天糊（のり）の方から挿入します。その際、用紙の方向と印刷データの向きを合わせる必要があります。ソフトウェアマニュアルをご覧になり、用紙のフォーマットに合わせて「印刷の向き」を変更してください。

> **チェック**
>
> - カット紙は水平にセットしてください。斜めに吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん用紙を排出してから、セットし直してください。
> - メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになると、カット紙は自動吸入されません。この場合は、カット紙をセットした後、［吸入/退避］スイッチを押してカット紙を吸入させてください。



カット紙の排出

印刷終了後のカット紙の排出先は、シートガイドとスタッカの2種類があります。また、はがき、往復はがき、封筒を排出する場合も同様です。

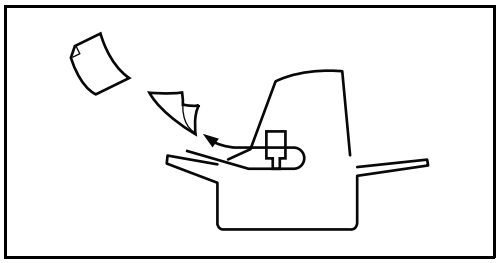
ここでは、シートガイドを使用してカット紙に印刷した場合について説明します。シートフィーダから給紙した用紙を排出する場合は5章の「用紙の排出」（100ページ）を参照してください。

チェック

複写式用紙に印刷した場合は、プリンタ背面のスタッカに排出してください。複写式用紙をシートガイドへ排出すると、紙づまりなどを起こす原因となります。

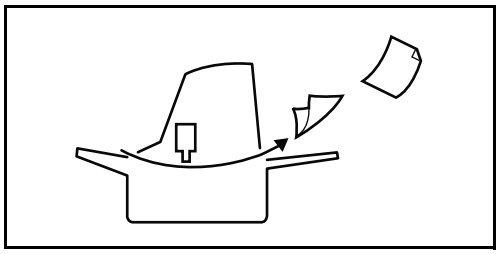
シートガイドに排出する

通常、シートガイドを使用して吸入したカット紙は自動的にシートガイドに排出するので、何も設定する必要はありません。



スタッカに排出する

スタッカに排出する場合は次のいずれかの方法で設定してください。
スタッカには坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）の用紙の場合、約100枚スタックする（積み重ねる）ことができます。



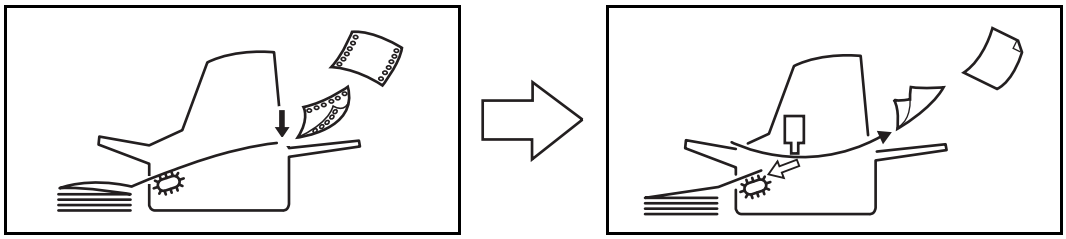
- メモリスイッチ4-6（MSW4-6）をONに設定する。
（メモリスイッチの詳しい設定方法は、「メモリスイッチ設定モード」（76ページ）をご覧ください。）
- 「用紙の排出方向」を後方排出に変更する。（詳しくはソフトウェアマニュアルをご覧ください。）
- 制御コードによってスタッカ側への排出を指定する。（詳しくは技術情報の「拡張制御コード表」（171ページ）をご覧ください。）

カット紙と連続紙の切り替え

吸入されている連続紙は、［吸入/退避］スイッチを押すことにより吸入前の位置（連続紙のセット位置）まで戻すことができます。この機能を使えば、セットした連続紙を取り除かずにカット紙に印刷することができます。カット紙と連続紙に交互に印刷したいときに便利な機能です。

連続紙からカット紙への切り替え

連続紙をセットしている状態からカット紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順について説明します。

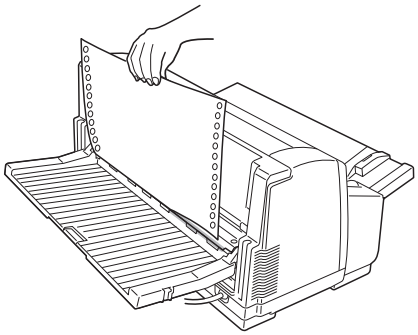


1　印刷の終了した連続紙を、印刷したページの終わりでカットする。

連続紙のカットについては「連続紙のカット」（31ページ）を参照してください。

チェック

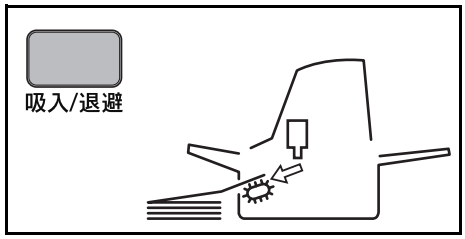
- 連続紙のカットはミシン目に沿ってまっすぐきれいにカットしてください。
- プリンタ後方に連続紙が大量に排出されている場合、カットせずに連続紙を戻すと紙づまりの原因となります。連続紙をカットしてから次の手順に進んでください。



2　［吸入/退避］スイッチを押し、連続紙を一時退避する。

チェック

連続紙はセット位置に戻ります。これを連続紙の「一時退避」といいます。



3　ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

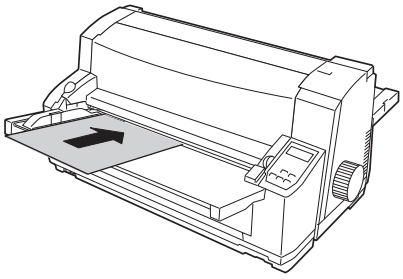
チェック

ディスプレイに“シートガイド”と表示されるまで用紙をセットしないでください。特に連続紙の退避動作途中で用紙をセットすると連続紙がトラクタから外れてしまいます。

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

4　カット紙をセットする。

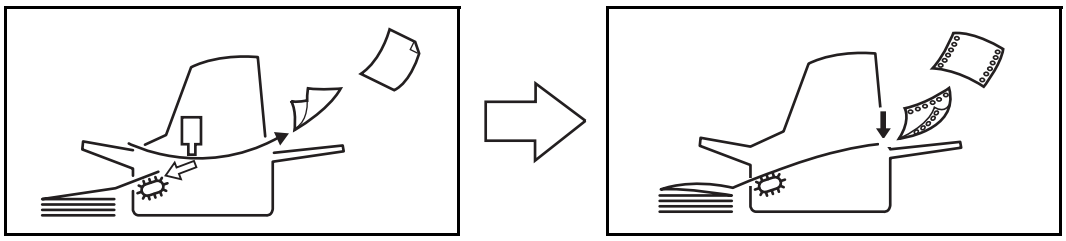
用紙の印刷する面を表にして、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ押し込みます。



カット紙が自動的に吸入され、印刷可ランプが点灯します。カット紙の詳しいセット方法は「カット紙のセットと吸入」（35ページ）を参照してください。

カット紙から連続紙への切り替え

カット紙をセットしている状態から、連続紙をセットして印刷できる状態にするまでの手順について説明します。



1　カット紙を取り除く。

［排出/カット］スイッチを押してカット紙を排出します。シートガイドまたはスタッカに排出された用紙は取り除いてください。

排出/カット

2　ディスプレイに“ヨウシ　センタク　フロントトラクタフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

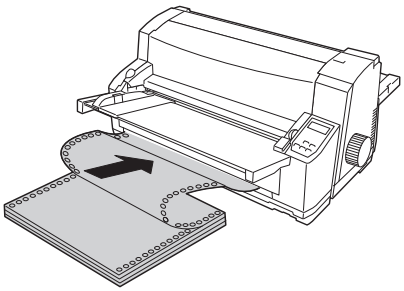
連続紙が自動的に吸入されます。これで連続紙に印刷できます。

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

チェック

連続紙の印刷されたページは、一時退避する前にカットしてください。カットせずに一時退避させ、そのまま連続紙を復帰させると、すでに印刷していた部分に重ねて印刷するおそれがあります。万一、カットし忘れた場合は復帰後に用紙を印刷位置まで送ってから印刷してください。



はがき・往復はがきのセット

はがき、往復はがきはカット紙と同じようにシートガイドにセットできます。

チェック

オプションのシートフィーダを使えば、一度に何枚ものはがきをセットすることができます。シートフィーダの使い方は「シートフィーダ」（90ページ）をご覧ください。

使用できるはがき、往復はがきの確認

MultiImpact 700シリーズで使用できるはがきの種類は次のとおりです。
詳細は付録の「用紙の規格」（135ページ）をご覧になり、印刷可能範囲も併せて確認してください。

はがきの種類	はがきサイズ	はがき坪量（連量）	用紙セット方向
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）	縦置き、横置き
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm		

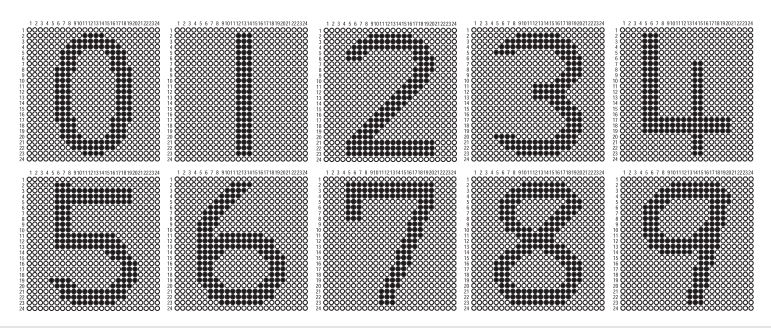
はがき、往復はがきに印刷するときの注意

はがき、往復はがきに印刷するときは次のことに注意してください。

- 折り目のある往復はがきは印刷できません。
- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- 印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70％の場所で行ってください。

チェック

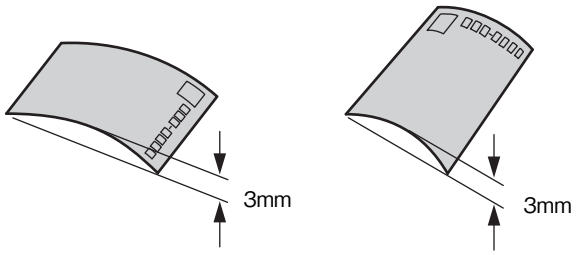
- 宛先郵便番号を印刷する際にお手持ちのソフトウェアで外字登録を行うことができる場合、下記の日本郵政公社推奨の郵便番号パターンを登録してご使用になることをお勧めします。
- カスタマバーコードを印刷する際は「カスタマバーコードを印刷する」（183ページ）をお読みください。



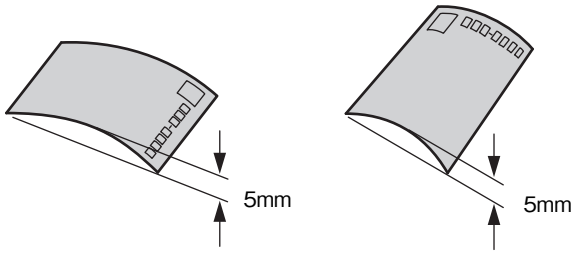
はがき、往復はがきのカールについて

はがき、往復はがきがカールしていると正しく印刷できない場合があります。次のことに注意してください。

- はがきを保管するときは、はがきのカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。
- はがきがカールしているときは、カールを3mm以下になるように直し、凹部が上側になるようにセットしてください。



- はがきの両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- はがきを投函するときは、カールが5mm以下になるように直してください。カールが大きいと、郵便番号読取機が番号を読み取れないことがあります。



ハガキ印刷モードの選択とはがきのセットと吸入

次の手順で「ハガキ印刷モード」を設定し、シートガイドにはがきをセットします。

チェック

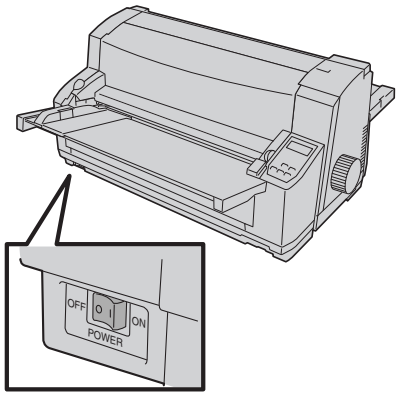
はがきをオプションのシートフィーダにセットするときは、「はがき・往復はがきのセットと吸入」（97ページ）をご覧ください。

1 **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

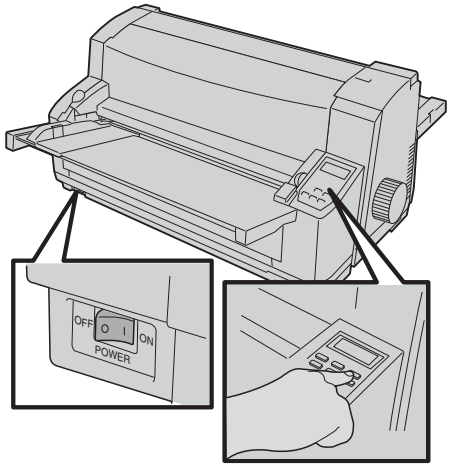
用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク							
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛							

2 **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**



3 **［高速印刷］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。**



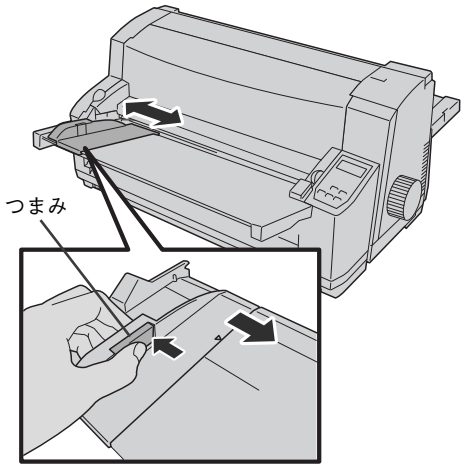
ディスプレイに“シートガイド　ハガキ”と表示されます。これで、プリンタは「ハガキ印刷モード」になりました。

高速印刷

シ	ー	ト	カ゛	イ	ト゛		ハ	カ゛	キ					

4 **ペーパガイドの ▶ と、シートガイド上の ◀ を合わせる。**

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。

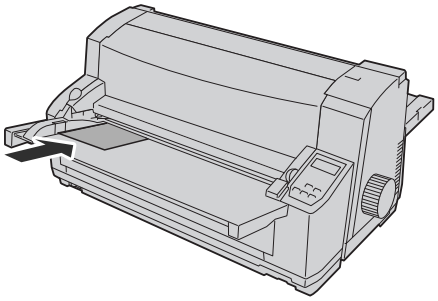


チェック

ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。

5 **はがきをセットする。**

はがきの印刷する面を表にし、左端をペーパガイドに合わせます。そのまま軽く奥に突き当たるまではがきを押し込みます。
一定時間が経過するとはがきが自動的に吸入されます。用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。



チェック

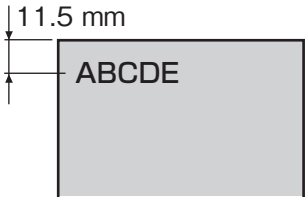
- 一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。
- プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）をご覧ください。

チェック

- 前記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにするか強制リセットすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法については「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。
- はがきは水平にセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出 / カット］スイッチを押して、いったんはがきを排出してからセットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになっていると、はがきは自動吸入されません。この場合は、はがきをセット後、［吸入/退避］スイッチを押してはがきを吸入させてください。

はがき吸入位置の微調整

「ハガキ印刷モード」にすると、吸入位置がはがき先端から第1行目の文字中央位置まで11.5mmになります。
吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）をご覧ください。



封筒のセット

シートガイドに封筒をセットする方法について説明します。

チェック

オプションのシートフィーダを使えば、一度に約25枚まで封筒をセットすることができます。シートフィーダの使い方は「シートフィーダ」（90ページ）をご覧ください。

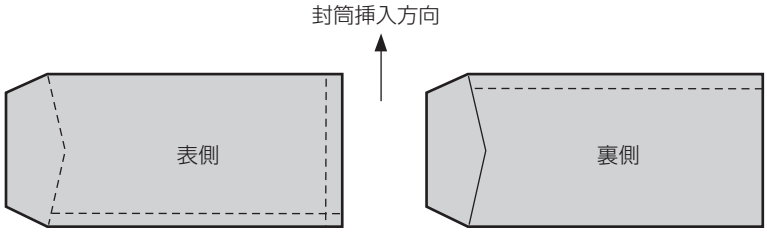
使用できる封筒の確認

MultiImpact 700シリーズで印刷できる封筒の種類は次のとおりです。
詳細は付録の「用紙の規格」（135ページ）をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

封筒の種類	封筒サイズ（長さ／幅）	封筒坪量＊1	封筒セット方向
長形4号	幅90mm×長さ205mm	50～85g/m^2	横置きのみ
長形3号	幅120mm×長さ235mm	50～85g/m^2	
角形3号	幅216mm×長さ277mm	70～85g/m^2	
角形2号	幅240mm×長さ332mm	70～120g/m^2	
洋形2号＊2	幅114mm×長さ162mm	70～85g/m^2	
洋形5号＊2	幅95mm×長さ217mm	70～85g/m^2	

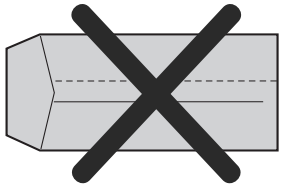
＊1　単位は坪量［g/m^2］で、坪量とは1m^{2}の質量をgで示したものです。

＊2　シートフィーダではご使用になれません。



封筒に関する注意

- クラフト紙、ケント紙などでできた封筒を使用してください。
- 裏の中央付近で重ね合わせた封筒、フラップ部にのり付けしてある封筒、二重封筒は使用できません。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。

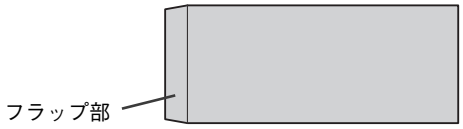


- 封筒を保管するときは、封筒のカールを防ぐため、直射日光や風の当たらない場所に保管してください。

封筒に印刷するときの注意

封筒に印刷するときは、次のことに注意してください。

- 各用紙の印刷範囲を越えて印刷しないように注意してください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- 封筒はペーパガイドに沿って、まっすぐセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、［吸入/退避］スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70％の場所で行ってください。
- フラップ部は曲げないでセットしてください。
- フラップ部の大きさと印刷位置に合わせてペーパガイド位置を調整してください。
- フラップ部や重ね合わせの部分など、段差がある位置には印刷しないでください。



封筒のセットと吸入

次の手順で封筒に印刷します。

チェック

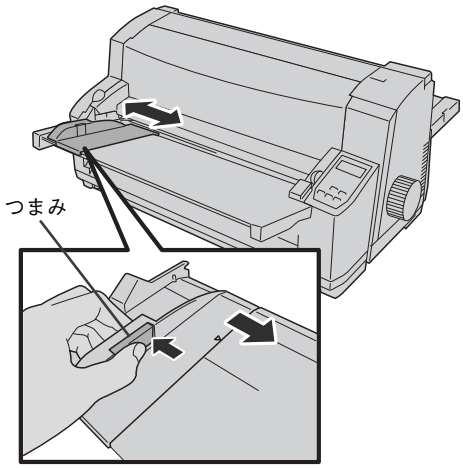
封筒をオプションのシートフィーダにセットするときは、「封筒のセットと吸入」（98ページ）をご覧ください。

1 **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

2 **封筒のフラップ部の大きさに合わせてペーパガイドの位置を調整する。**

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。



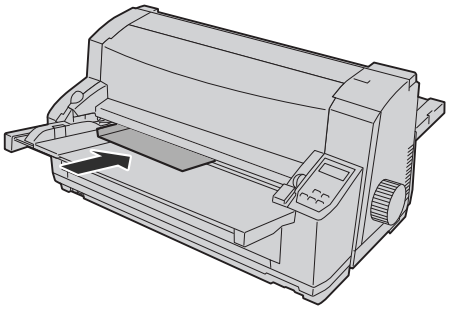
チェック

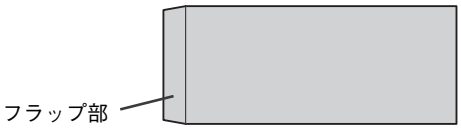
ペーパガイドは右方向に動かすときには、つまみを押さなくても動きますが、つまみを押して移動させる方が正しく調節できます。

3 封筒をセットする。

封筒の印刷する面を表にして、フラップ部の左端をペーパガイドに合わせます。そのまま奥に突き当たるまで封筒を押し込みます。

一定時間が経過すると封筒が自動的に吸入されます。用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯します。

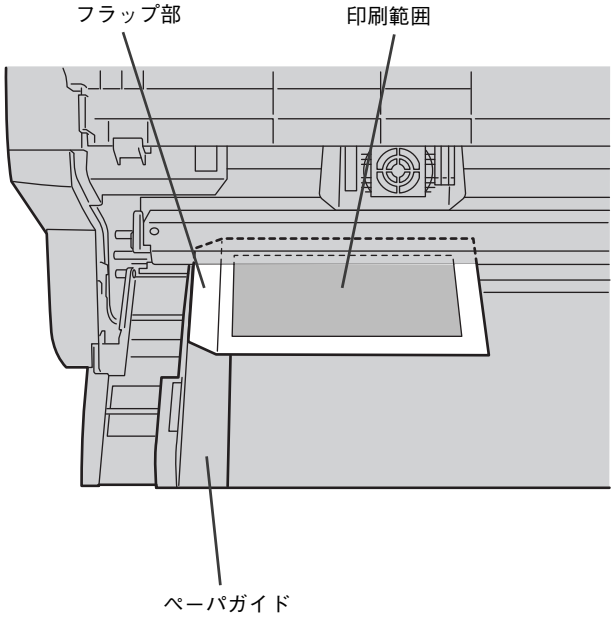




チェック

- 一定時間とはパラメータ設定の「シートガイドからの用紙吸入時間」で設定した時間です。設定方法は「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。
- プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）をご覧ください。

印刷範囲は以下のとおりです。詳細な印刷範囲については144ページをご覧ください。



用紙吸入位置の微調整

用紙を吸入したとき、吸入位置を微調整することができます。吸入位置はシートガイド、シートフィーダ、フロントトラクタフィーダ、リアトラクタフィーダ、はがきのそれぞれに設定できます。たとえばシートガイドからの吸入時に吸入位置を微調整した場合、その設定は次からのシートガイドからの吸入位置になりますが、連続紙やシートフィーダの吸入位置には影響しません。
シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整については、105ページをご覧ください。
次の方法で微調整を行ってください。

1　用紙をセット・吸入する。

カット紙はシートガイドから自動的に吸入されます。連続紙の場合は用紙のセット後、［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入します。

2　［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

テ゛	ィ	セ	レ	ク	ト			ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン		
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

3　［微調モード］スイッチを押して微調モードにする。

ディスプレイには以下のように表示されます。

微調モード

キ	ュ	ウ	ニ	ュ	ウ	イ	チ	ヒ゛		チ	ョ	ウ			
		X	X	.	X	m	m								*

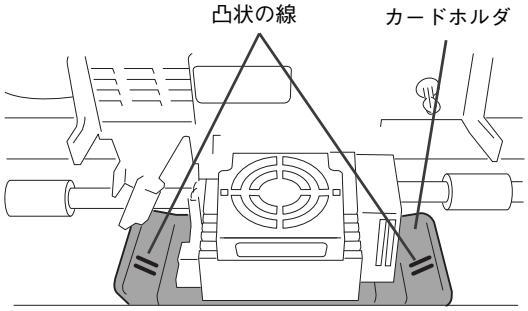
4　［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを使って吸入位置を微調整する。

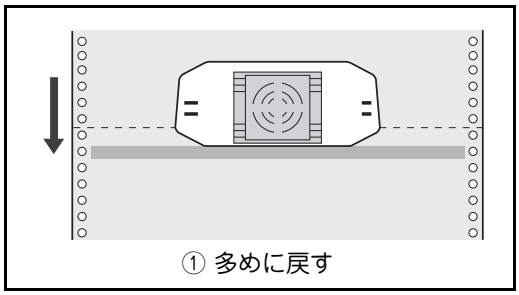
［▼］スイッチで用紙を多めに戻してから、［▲］スイッチで微調整するようにしてください。

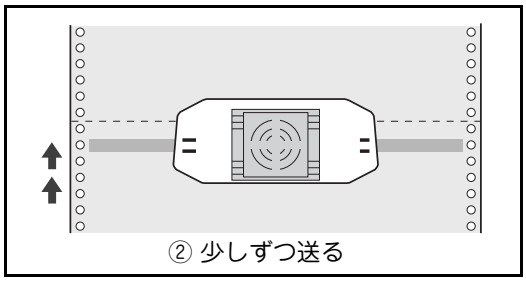
ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

△ 改行　▽ 改頁

カードホルダの左右にある上下2本の凸状の線の間に第1印刷行がくるので、用紙吸入位置を調整するときの目安にしてください。







［▲］スイッチと［▼］スイッチの機能は次の表のとおりです。

スイッチ	1 回押す	1 秒以上押す
▲ スイッチ	約0.4mm（2/120インチ） 順方向に用紙を送る	連続して送る
▼ スイッチ	約4.2mm（20/120インチ） 逆方向に用紙を送る	（連続動作なし）

5　［微調モード］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押す。

新規に設定した吸入位置がプリンタに記憶されます。

微調モード　印刷可

補足説明

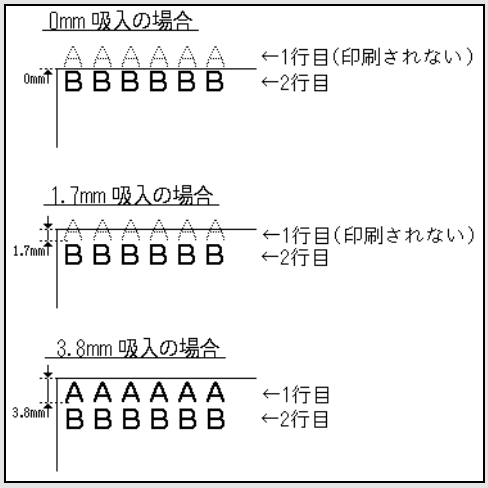
- ［▲］スイッチを押し続けると約0.4mm（2/120インチ）単位で連続して用紙送りできます。
  用紙吸入の工場設定値は次のとおりです。

用紙の種類	用紙上端から第 1 印刷行までの距離
カット紙・封筒（シートガイド使用時）	9.73mm（文字下端まで）
カット紙・封筒（シートフィーダ使用時）	
連続紙	25.4mm（文字下端まで）
はがき	11.5mm（文字中央まで）

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0～36mmになる範囲です。
  印刷範囲については付録の「印刷範囲」（140ページ）を参照してください。
- 微調整後の用紙吸入位置を記憶するかしないかは、メモリスイッチ3-3（MSW3-3）で切り替えることができます。
  「記憶しない」設定の場合、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、前の微調位置に戻ります。メモリスイッチの設定については「メモリスイッチ設定モード」（76ページ）をご覧ください。
- 用紙吸入位置はメニューモード、あるいは添付のリモートパネルからも調整できます。

チェック

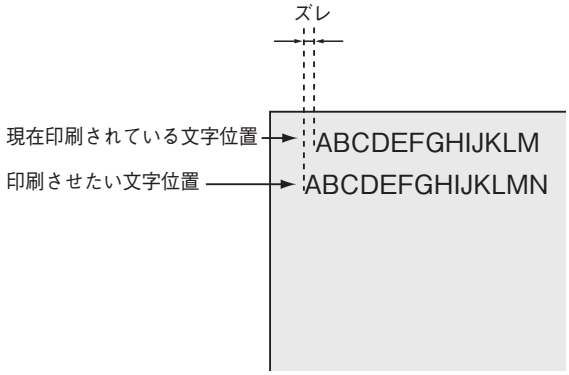
吸入直後に印刷が可能となる位置は、用紙上端から文字下端までの距離が3.8mm以上となります。
印刷ヘッド空打ち防止の為、3.8mm（文字下端まで）未満の位置では印刷できません。
吸入直後の用紙上端に印刷する場合は、吸入位置を3.8mmに設定してください。



印刷開始位置の微調整

各用紙のセット方法で用紙をセットしても印刷桁位置方向（横方向）の印刷開始位置が合わない場合は、以下の手順で印刷開始位置の微調整を行うことができます。この機能で調整された印刷位置の設定は、シートガイドだけでなくトラクタフィーダ、シートフィーダ使用時も有効となります。

1　現在印刷されている印刷位置とお望みの印刷位置とのずれ量を測定してください。

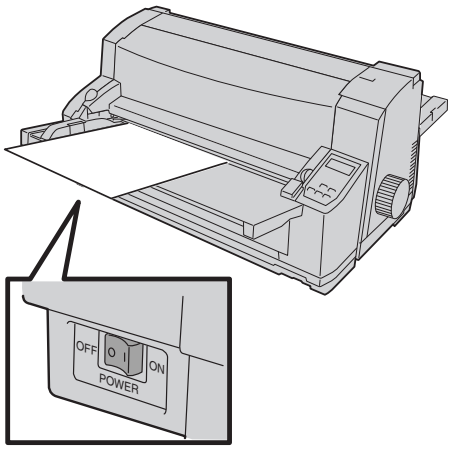


印刷させたい位置の方が左にある場合は、－（マイナス）です。

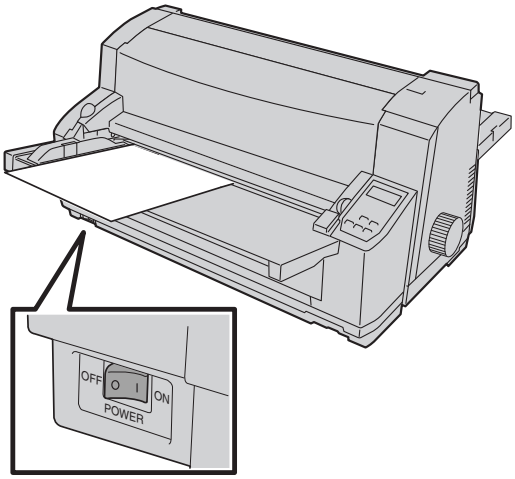
印刷させたい位置が右にある場合は、＋（プラス）です。

調整可能範囲は、約－1.3mm（－3/60インチ）から約＋1.3mm（＋3/60インチ）の範囲で、約0.4mm（1/60インチ）単位で調整できます。

2　用紙をプリンタにセットし、いったん電源スイッチをOFFにする。



3　電源スイッチをONにする。



4　［印刷可］スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）にする。

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

テ゛	ィ	セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン		
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

5　ディスプレイに“インサツイチ　ビチョウセイ”と表示されるまで［機能選択］スイッチを押す。

機能選択

イ	ン	サ	ツ	イ	チ		ヒ゛	チ	ョ	ウ	セ	イ		

6　設定したい数値が表示されるまで［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを押す。

△　▽

改行　改頁

希望の数値が表示されたら［印刷可］スイッチを2回押してください。

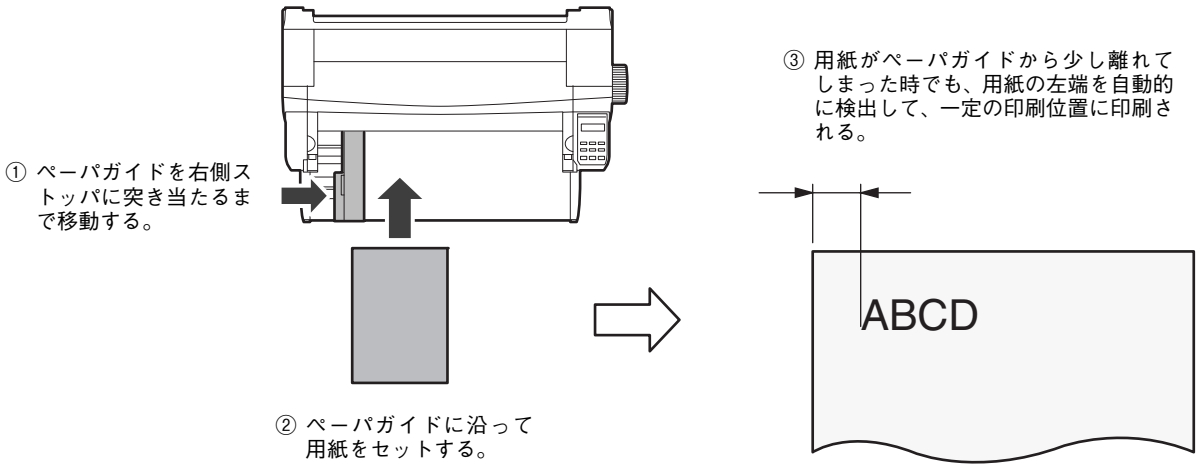
印刷可　2回

カット紙の自動印刷位置補正

この機能は、シートガイド使用時にカット紙をセットするたびペーパガイドの位置を調整をしなくても、プリンタが自動的に印刷開始位置を補正し、常に一定の位置から印刷を開始できるようにするものです。

チェック

- この機能はシートガイドにセットされたカット紙（ハガキ～A4横）にのみ有効です。
- 印刷位置の設定は、メニューモードの「自動位置補正の調整」で設定します（67ページ参照）。
- 印刷データが用紙の右端からはみ出す場合は、印刷ヘッド空打ち防止機能により用紙右端から1.5mmの位置で印刷データがカットされます。



1 **スペシャルメニューモードの「カット紙セット位置」を「自動位置補正」にする（74ページ参照）。**

カ	ッ	ト	シ		セ	ッ	ト	イ	チ						
シ゛		ト゛		ウ	イ	チ	ホ	セ	イ						

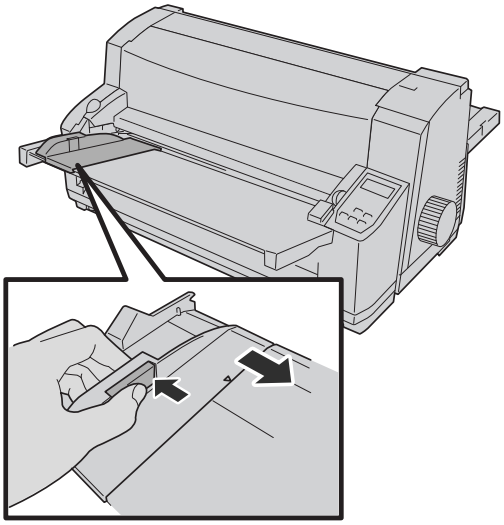
2 **メニューモードの「自動位置補正の調整」で希望の印刷位置を設定する（67ページ参照）。**

シ゛		ト゛		ウ	イ	チ	ホ	セ	イ		チ	ョ	ウ	セ	イ
＋	9														

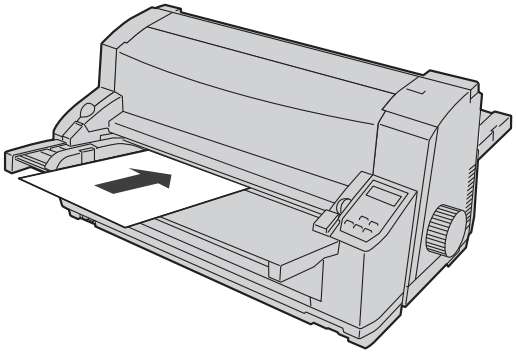
3 **ディスプレイに“ヨウシ　センタク　シートガイド”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。**

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	カ	゛	イ	ト	゛								

4 **シートガイドのペーパガイドを右側に突き当たるまで移動する。**



5　カット紙をペーパガイドに沿ってまっすぐ挿入し、印刷する。

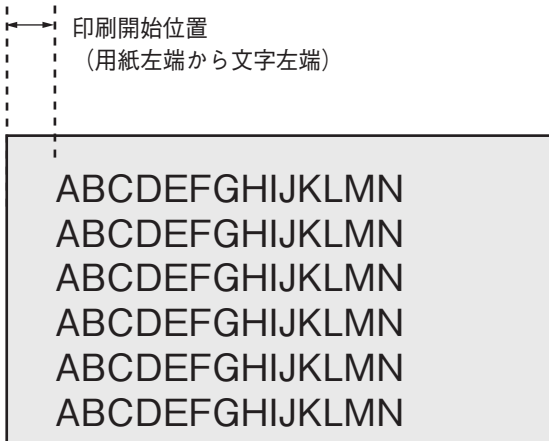


6　印刷結果を確認する。

希望の印刷位置であればこれで終了です。

以降シートガイドからカット紙（ハガキ～A4横）をセットすると印刷開始位置は同じになります。

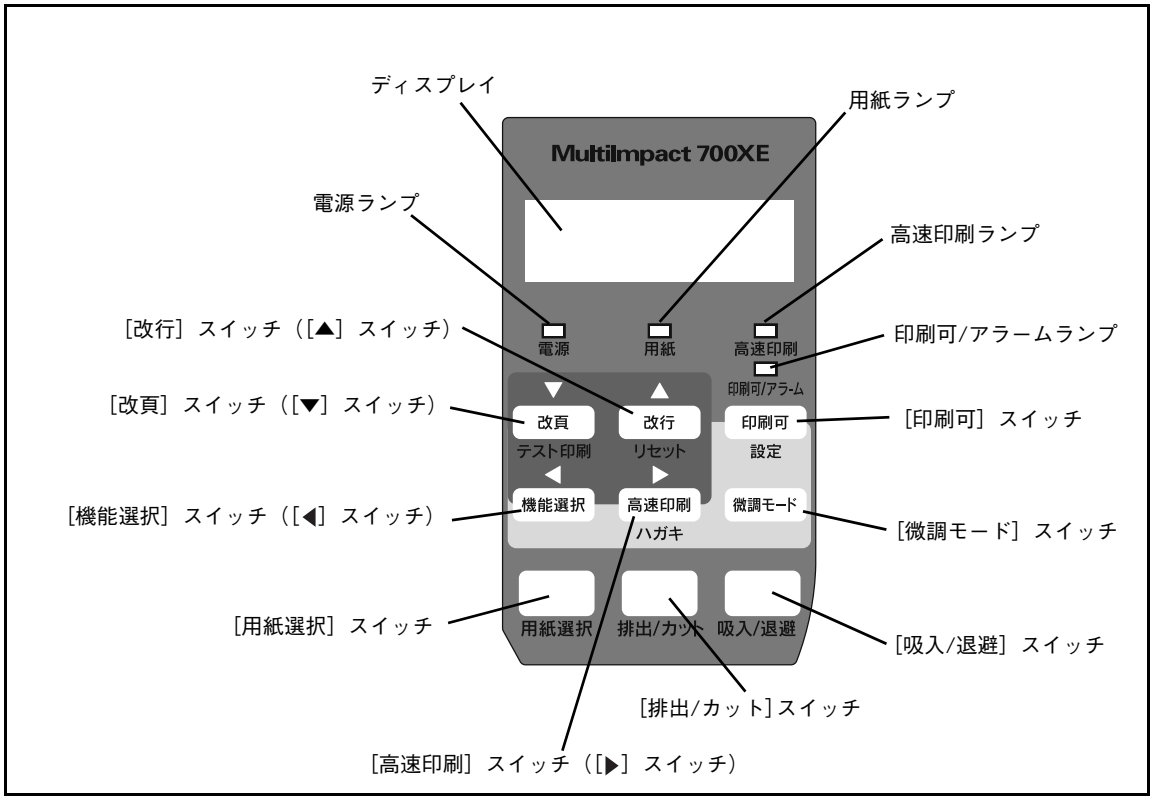
印刷結果が希望の印刷開始位置でなかった場合は手順2からやり直してください。



3章 操作パネルとスイッチの機能

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンタの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネル上には、ディスプレイと9個のスイッチ4個のランプがあります。プリンタのさまざまな設定をしたり、変更したりする際にスイッチを使います。ディスプレイとランプはプリンタの状態やエラーを知らせます。ディスプレイ、スイッチ、ランプの機能については次ページ以降をご覧ください。



スイッチの基本機能

操作パネルには9個のスイッチがあります。スイッチの中には複数の機能を持つものがありますが、ここでは各スイッチの基本的な機能について説明します。
メニューモードまたはスペシャルメニューモードは「4章　プリンタの設定変更」（57ページ）を参照してください。

［印刷可］スイッチ 印刷可	印刷可スイッチを押すごとにセレクト状態（データを受信して印刷できる状態、印刷可ランプ点灯）とディセレクト状態（データを受信せず印刷しない状態、印刷可ランプ消灯または点滅）に交互に切り替えます。 • 印刷中にこのスイッチを押すと、印刷が一時的に停止します。もう一度押すと印刷を再開します。 • 微調モード時にこのスイッチを押すと、設定値をメモリに保存し、セレクト状態に復帰します。
［改行］スイッチ 改行	改行スイッチを1回押すごとに、用紙を1行分送ります。スイッチを1秒以上押し続けると、連続して用紙を送ることができます。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • 1行は約4.2mm（1/6インチ）です。 • 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。
［改頁］スイッチ 改頁	あらかじめ設定された用紙長分の改行を行います。1回押すごとに設定された用紙長に従って次ページの第一印刷行へ改行します。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • 逆方向改行設定時でも用紙は順方向に送られます。 • 縮小モード中は、縮小率を掛けた改行幅で改行されます。 • オプションのカラーインクリボンカートリッジを使ってテスト印刷を行う場合、漢字モードのときは［改頁］スイッチを押すたびに色が切り替わります。
［機能選択］スイッチ 機能選択	ディセレクト状態でメニューモードへ切り替えます。 • メニューモードまたはスペシャルメニューモードにおいて、前の機能項目をディスプレイに表示します。 • テスト印刷モードにおいて、現在実行中の印刷モードから次の印刷モードに切り替えます。
［高速印刷］スイッチ 高速印刷	高速印刷の選択、解除を行います。高速印刷を選択すると、印刷速度を上げて印刷時間を短縮できます。 • スイッチを押すごとに高速印刷の選択/解除を行います。 • 高速印刷が選択されているときは高速印刷ランプが点灯します。 • 高速印刷を選択すると、プリンタは通常の印刷データを1ドットおきに印刷するので、印刷品質は通常より劣ります。 チェック 印刷中は、［高速印刷］スイッチを押さないでください。高速印刷の選択/解除は、印刷が終了していることを確認してから行ってください。
［微調モード］スイッチ 微調モード	吸入位置およびカット位置の微調整を行います。 • 印刷可ランプが消灯しているときに機能します。 • スイッチを押すと微調モードに入ります。 • 用紙吸入後またはカット位置送り直後に、このスイッチを押した後、［▲］スイッチ（改行）または［▼］スイッチ（改頁）を押して上下方向の微調整を行います。（詳しくは、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）または「連続紙のカット」（31ページ）をご覧ください。）
［排出 / カット］スイッチ 排出/カット	用紙の排出またはカットを行います。 • 連続紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、連続紙をカット位置まで送ります。もう一度押すと、連続紙を吸入位置まで戻します。（逆方向） • カット紙使用時に［排出/カット］スイッチを押すと、用紙を排出します。
［用紙選択］スイッチ 用紙選択	用紙の給紙方法を選択します。選択方法は、［用紙選択］スイッチを押して使用する給紙方法をディスプレイに表示します。 給紙方法の種類 • フロントトラクタフィーダ • シートフィーダ（オプション装着時） • リアトラクタフィーダ（オプション装着時） • シートフィーダ　ハガキ*1（オプション装着時） • シートガイド • シートガイド　ハガキ*1 *1 ハガキ印刷モード使用時のみ選択可能

［吸入 / 退避］スイッチ

吸入/退避

用紙の吸入または退避（排出）を行います。
選択した給紙方法と用紙の状態によって、プリンタの［吸入/退避］の動作が異なります。各設定および用紙の状態での吸入/退避スイッチの機能については、下の表を参照してください。

［吸入/退避］スイッチの機能

ディスプレイ	用紙の状態	動作
フロントトラクタフィーダ	用紙有り	連続紙の退避
	用紙無し	連続紙の吸入
リアトラクタフィーダ	用紙有り	連続紙の退避
	用紙無し	連続紙の吸入
シートガイド	用紙セット後	用紙吸入＊1
	用紙有り	用紙排出
	用紙無し	動作せず
シートフィーダ	用紙有り	用紙排出後、吸入
	用紙無し	用紙吸入

＊1　メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がON（マニュアル設定）時の動作となります。

スイッチの応用機能

スイッチには「改行する」、「用紙を選択する」などの基本機能の他にもいろいろな機能があります。ここではスイッチの応用的な機能について説明します。

機能	スイッチ操作	内容
メニューモード	ディセレクト状態になっているときに、［機能選択］スイッチを押す。	プリンタの内部設定を変更するモードです。書式設定など比較的頻繁に設定変更を行う項目があります（詳細は57ページ参照）。
スペシャルメニューモード	［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON。	プリンタの内部設定を変更するモードです。メモリスイッチ設定などあまり設定変更を行わない項目があります（詳細は68ページ参照）。
ネットワーク設定モード	［機能選択］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON。	プリンタからプリントサーバのネットワーク設定を変更するモードです（詳細は83ページ参照）。
設定内容のリセット	①［改行］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをON。 ②［機能選択］スイッチを押す。	メニューモード、またはスペシャルメニューモードで設定した内容を工場設定値にリセットします。
テスト印刷	［改頁］スイッチを押しながら、プリンタの電源スイッチをON。	インクリボンカートリッジを交換した後、またはプリンタが故障して、その処置が済んだ後、動作確認をするためにテスト印刷を行います（詳細は22ページ参照）。
強制リセット	［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押す。	プリンタを電源ON直後の状態に戻します。強制リセットを行うとプリンタ内にデータが残っていた場合は消去します。カバーオープン、紙づまり等のアラームおよび復旧不可能エラー発生時は無効です。

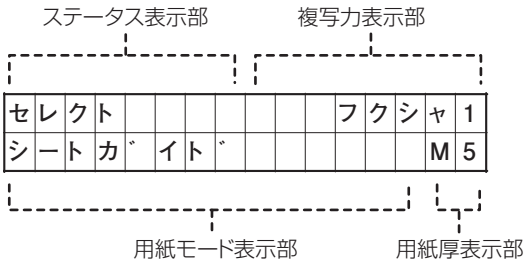
ランプの表示

操作パネルには4個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンタの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
電源ランプ	緑	点灯	プリンタの電源がONになっています。
		消灯	プリンタの電源がOFFになっています。
用紙ランプ	赤	点灯	用紙がセットされていないまたは用紙が残り少なくなっている状態です。
		点滅	• カット紙がシートガイドに排出されたままの状態です。 • アラームランプとの同時点滅で用紙づまり、連続紙退避エラーなどの復旧可能エラー状態です。
		消灯	用紙がセットされている状態です。
高速印刷ランプ	橙	点灯	高速印刷モード状態です。
		消灯	通常印刷モード状態です。
印刷可/アラームランプ	緑	点灯	プリンタがセレクト状態（印刷可能状態）です。
		点滅	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）で、未印刷のデータがプリンタ内に残っています。
		消灯	プリンタがディセレクト状態（印刷不可能状態）です。
	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生しました。 「修理に出される前に」（127ページ）を参照した後、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
		点滅	復旧可能なエラーが発生しました。 「エラー表示が出ているときは」（118ページ）を参照しください。

ディスプレイの表示

操作パネルのディスプレイには、右図のようにプリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。ここでは、プリンタが通常の状態での表示とその他の状態での表示について記載しています。アラームの表示については「エラー表示が出ているときは」（118ページ）をご覧ください。



ディスプレイ通常表示

表示の種類	表示	表示の意味
電源スイッチをONまたは初期化動作中の表示	イニシャライス゛　チュウ	プリンタを初期状態に戻しています。
印刷可能状態の表示	セレクト	プリンタが印刷可能な状態になっています。
印刷不可状態の表示	テ゛ィセレクト	プリンタが印刷不可能な状態になっています。
テスト印刷中の表示	テスト　インサツ	テスト印刷中です。
HEXダンプ中の表示	HEXタ゛ンフ゜	HEXダンプモードになっています。
用紙モードに関する表示	シートカ゛イト゛	給紙方法がシートガイドになっています。
	シートカ゛イト゛　ハカ゛キ	給紙方法がシードガイドハガキ印刷モードになっています。
	シートフィータ゛	給紙方法がシートフィーダになっています。
	シートフィータ゛　ハカ゛キ	給紙方法がシートフィーダハガキ印刷モードになっています。
	フロントトラクタフィータ゛	給紙方法がフロントトラクタフィーダになっています。
	リアトラクタフィータ゛	給紙方法がリアトラクタフィーダになっています。
複写力に関する表示	ヒョウシ゛ュン	複写力の設定が「標準」になっています。
	アツカ゛ミ	複写力の設定が「厚紙」になっています。
	フクシャ 1	複写力の設定が「複写1」になっています。
用紙厚に関する表示	（表示なし）	用紙厚調整の設定が「オート」になっています。自動的に用紙厚を検出します。
	M1	用紙厚調整の設定が手動で設定されています。複写式用紙の枚数に合わせてM1（1枚）～M9（9枚）～Mx（10枚～12枚）の範囲で数値が設定されています。 ※ご使用の複写式用紙の枚数に設定されていることをご確認ください。設定が適正でない場合、印刷汚れや印刷かすれ、印刷ヘッドの故障の原因となることがあります。 ※本製品の最大複写枚数は9枚です。「複写枚数と坪量（連量）」（137ページ）を参照してください。
	M2	
	： ：	
	M8	
	M9	
	Mx	

その他の状態での表示

表示の種類	表示	表示の意味
用紙吸入位置の微調整	キュウニュウイチ　ヒ゛チョウ XX. Xmm　＊	吸入位置の微調整モード中です。 XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
カット位置微調整	カットイチ　ピチョウ ± XX. Xmm　＊	連続紙カット位置微調整モード中です。 XX.Xmmは用紙上端からの物理的な距離です。
連続紙カット位置	ヨウシ　カット　テ゛キマス （用紙モードを表示）	連続紙をカットできる位置になっています。
［用紙選択］スイッチを押した状態	ヨウシ　センタク （切り替え先の用紙モードを表示）	［用紙選択］スイッチを押すごとにディスプレイに選択できる用紙モードが表示されます。
用紙切り替え中	ヨウシ　キリカエチュウ	用紙選択中に、［用紙選択］スイッチを2秒以上放すと用紙切り替え動作が実行されます。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニューモードについては「メニューモード」（57ページ）をご覧ください。	

4章
プリンタの設定変更

メニューモード

ここでは、メニューモードで変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法、および設定方法について説明します。

メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します。

設定項目			初期値＊1
書式設定	用紙長		66行
	レフトマージン幅		0行
	ライトマージン幅		136桁
	吸入位置	フロントトラクタフィーダ	25.4mm（文字下端）
		リアトラクタフィーダ	25.4mm（文字下端）
		シートガイド	9.7mm（文字下端）
		シートフィーダ	9.7mm（文字下端）
		はがき	11.5mm（文字中央）
		カット紙位置補正	0桁
		フロントトラクタフィーダ位置補正	0桁
	書式クリア		しない
書式選択＊2			書式0
複写力選択			標準
書体選択＊3			明朝体
用紙厚調整の設定			オート
印刷圧の微調整			0
印刷位置の微調整			0
自動位置補正の調整			0
縮小印刷＊3			縮小なし

＊1　ディスプレイの末尾に＊で示された設定値は現在の設定値です。

＊2　書式選択が「書式 0」のときは、レフトマージン、ライトマージンの選択はできません。

＊3　縮小印刷の選択、書体選択はプリンタの電源スイッチを OFF にするとクリアされます。

メニューモードの入り方と終了方法

メニューモードの入り方

1 **プリンタの電源スイッチをONにする。**

2 **ディセレクト状態になっていることを確認する。**

セレクト状態になっているときは、［印刷可］スイッチを押してディセレクト状態にしてください。印刷可ランプが消灯します。

テ゛		ィ	セ	レ	ク	ト								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

3 **［機能選択］スイッチを押す。**

メニューモードに入ります。

メニューモードの終了方法

1 **［印刷可］スイッチを押す。**

メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードを終了します。

メニューモード時のスイッチ機能

プリンタがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

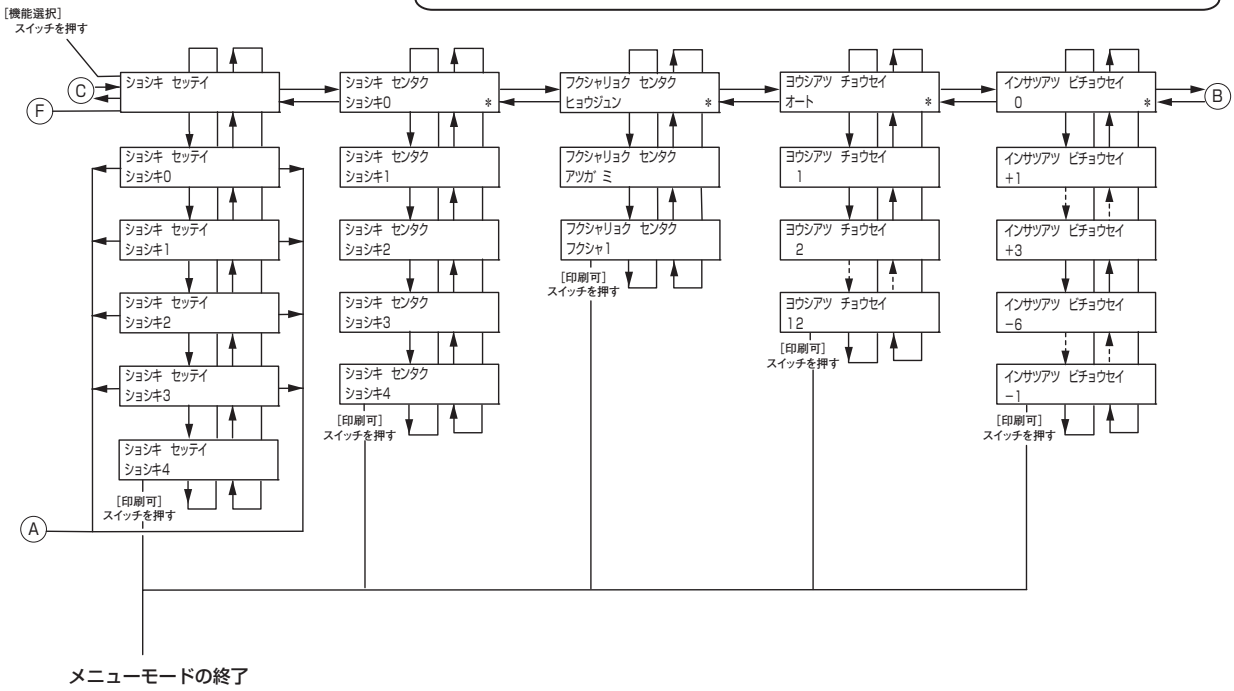
スイッチ		機能
通常の状態	メニューモード時）	
機能選択	◀	機能設定項目の選択スイッチとして機能する。
高速印刷	▶	
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能する。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値が増減する。
改頁	▼	
印刷可		メニューモードで選択した値をメモリに書き込み、メニューモードで終了させる。
上記以外のスイッチ		無効。

メニューツリー

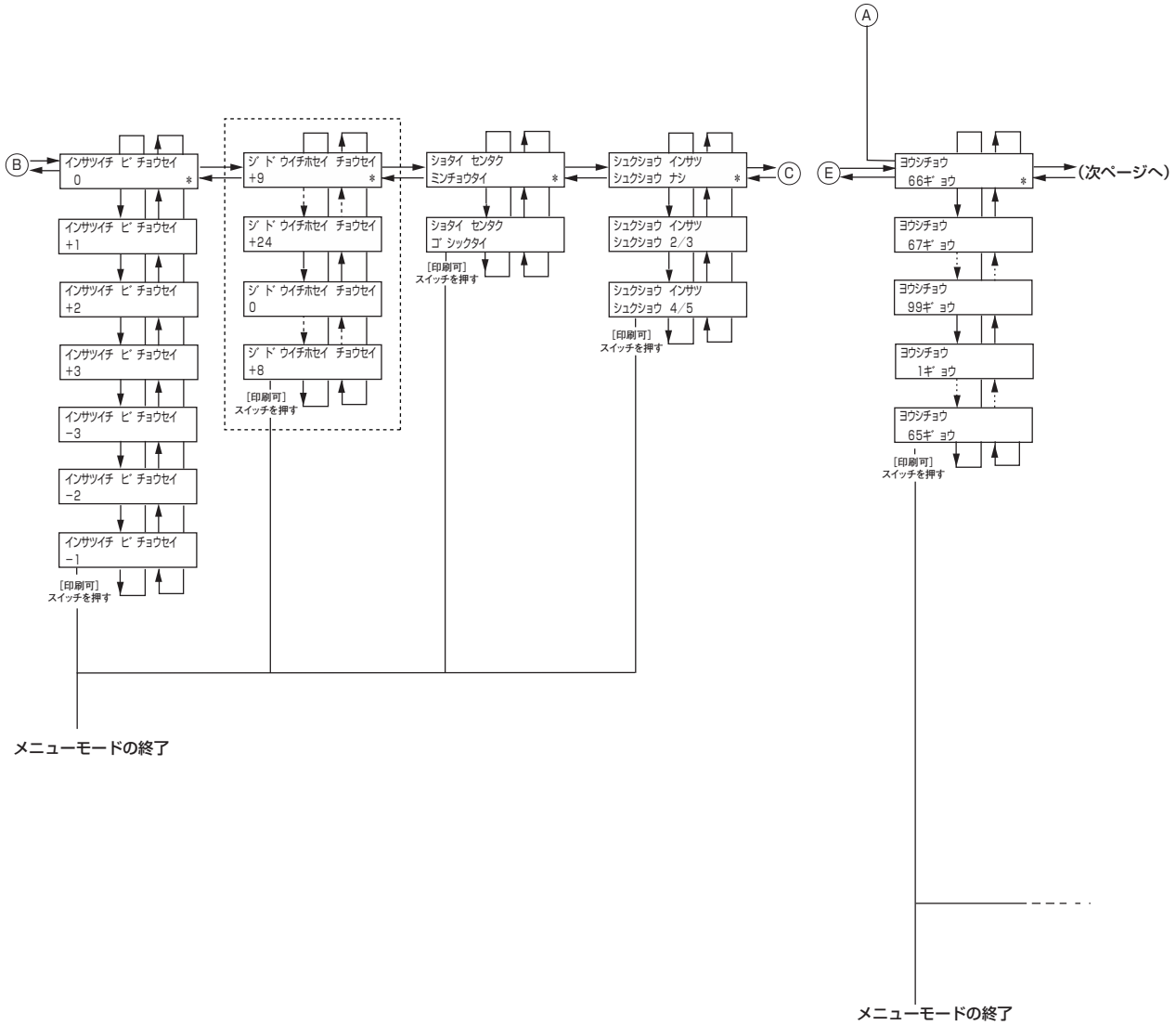
ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。

メニューモードの入り方
電源投入後、ディセレクト状態（印刷可ランプ消灯）で
［機能選択］スイッチを押す

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す



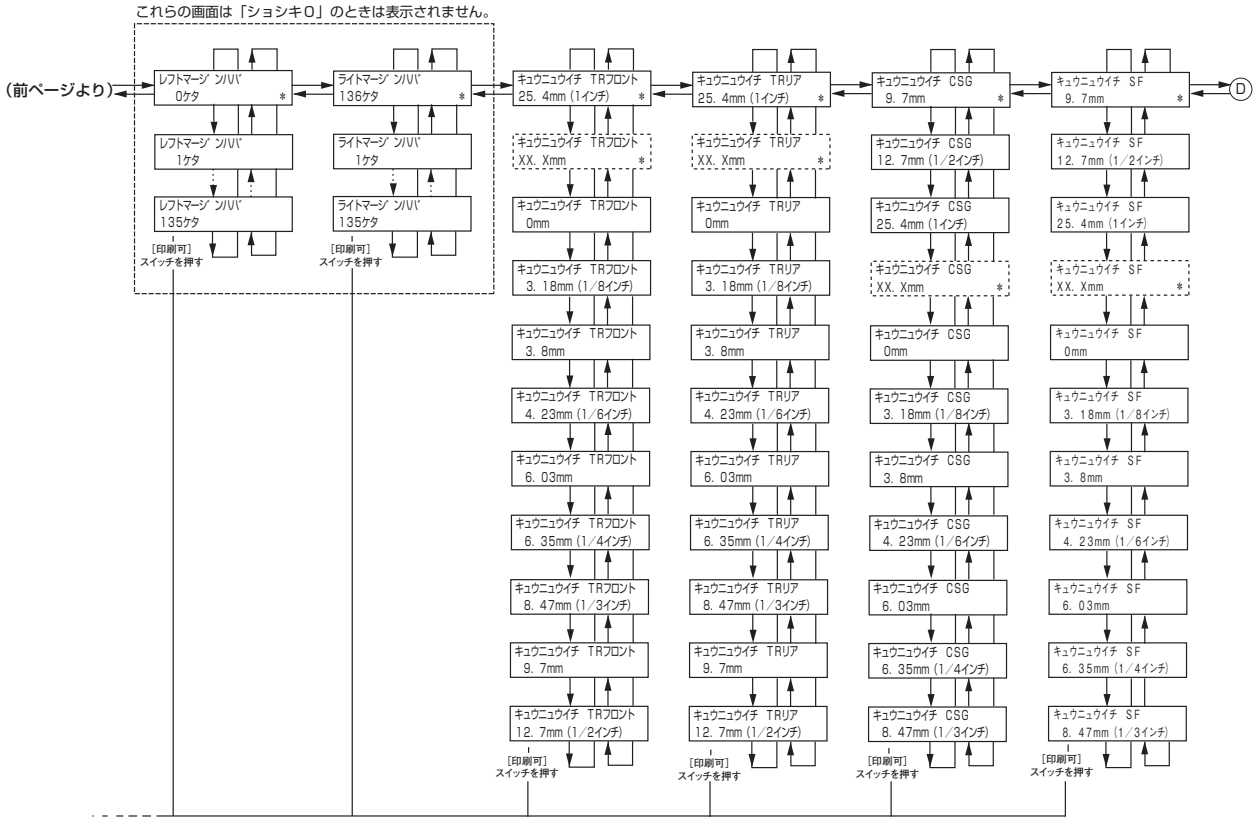
図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　　図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す
ジドウイチホセイチョウセイはカットシセットイチがジドウイチホセイの場合に表示されます。（68ページ）

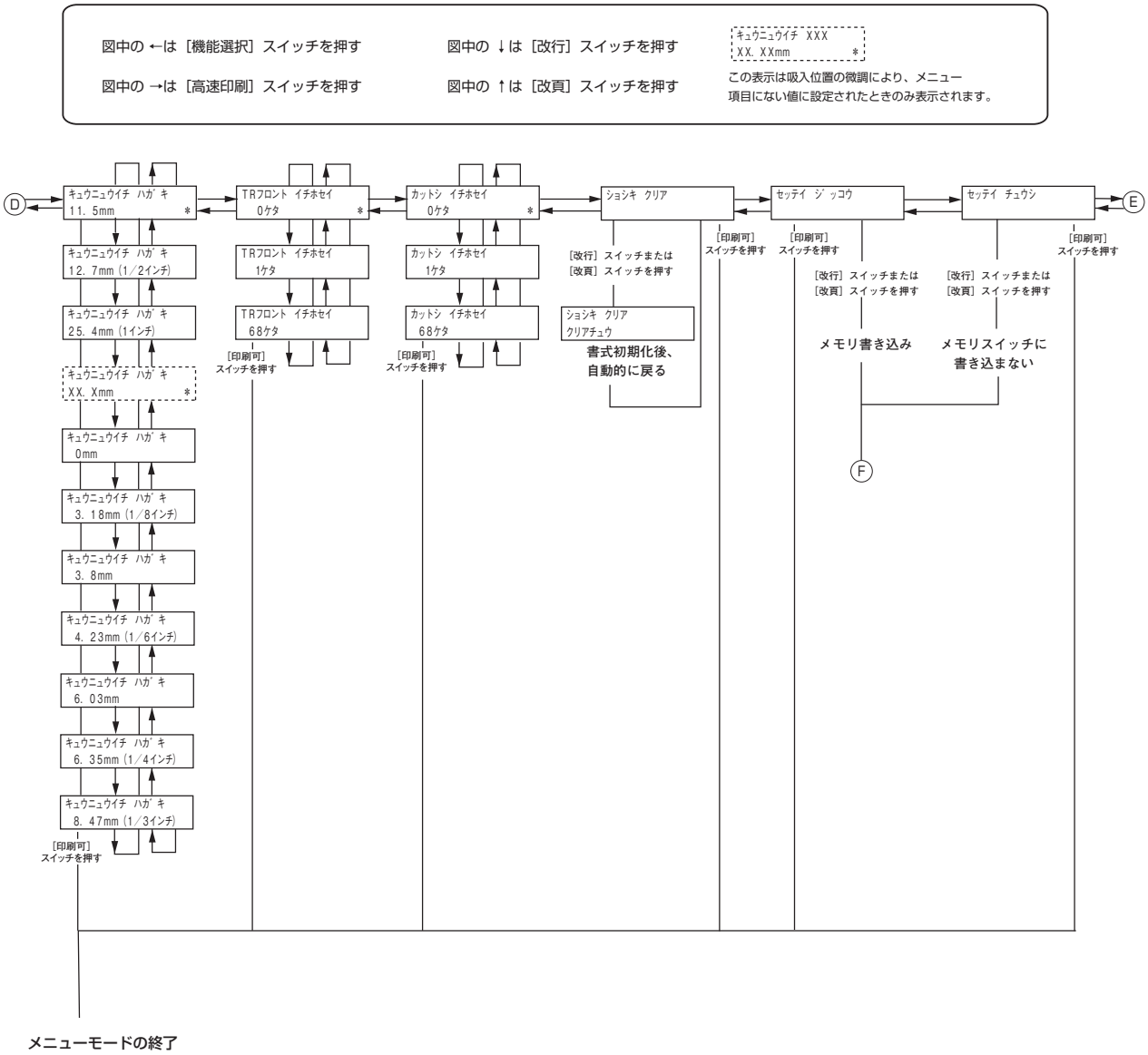


図中の ←は［機能選択］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

キュウニュウイチ XXX
XX. XXmm *

この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。




図中の ←は［機能選択］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す
図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の ↑は［改頁］スイッチを押す
キュウニュウイチ XXX
XX. XXmm *
この表示は吸入位置の微調により、メニュー項目にない値に設定されたときのみ表示されます。
D
キュウニュウイチ ハガキ
11. 5mm *
キュウニュウイチ ハガキ
12. 7mm (1/2インチ)
キュウニュウイチ ハガキ
25. 4mm (1インチ)
キュウニュウイチ ハガキ
XX. Xmm *
キュウニュウイチ ハガキ
0mm
キュウニュウイチ ハガキ
3. 18mm (1/8インチ)
キュウニュウイチ ハガキ
3. 8mm
キュウニュウイチ ハガキ
4. 23mm (1/6インチ)
キュウニュウイチ ハガキ
6. 03mm
キュウニュウイチ ハガキ
6. 35mm (1/4インチ)
キュウニュウイチ ハガキ
8. 47mm (1/3インチ)
［印刷可］スイッチを押す
メニューモードの終了
TRフロント イチホセイ
0ケタ *
TRフロント イチホセイ
1ケタ
TRフロント イチホセイ
68ケタ
［印刷可］スイッチを押す
カットシ イチホセイ
0ケタ *
カットシ イチホセイ
1ケタ
カットシ イチホセイ
68ケタ
［印刷可］スイッチを押す
ショシキ クリア
［改行］スイッチまたは［改頁］スイッチを押す
ショシキ クリア
クリアチュウ
書式初期化後、自動的に戻る
［印刷可］スイッチを押す
セッテイ ジ゛ッコウ
［印刷可］スイッチを押す
［改行］スイッチまたは［改頁］スイッチを押す
メモリ書き込み
F
セッテイ チュウシ
［印刷可］スイッチを押す
［改行］スイッチまたは［改頁］スイッチを押す
メモリスイッチに書き込まない
E

設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（65ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「書式選択」書式0の「用紙長」を99にする。（初期設定値は66）

1 **プリンタの電源スイッチをONにする。**

2 **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯していることを確認してください。

```
テ゛ィセレクト
フロントトラクタフィータ゛
```

3 **［機能選択］スイッチを押す。**

プリンタはメニューモードに入ります。

```
ショシキ　セッテイ
```

4 **［▲］スイッチを押し、下のように表示されていることを確認する。**

```
ショシキ　セッテイ
ショシキ0
```

5 **［▶］スイめッチを押し、下のように表示されていることを確認する。**

```
ヨウシチョウ
　66キ゛ョウ　　＊
```

6 **［▲］スイッチをディスプレイの表示が“ヨウシチョウ　99ギョウ”となるまで押して、下のように表示されることを確認する。**

```
ヨウシチョウ
　99キ゛ョウ
```

7 **［印刷可］スイッチを押す。**

選択した値をメモリに書き込みメニューを終了します。

設定の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

書式設定

書式に設定できる情報（用紙長、マージン幅など）を設定します。書式の設定は5通り（書式0～書式4）まで登録できます。

1. 用紙長（1 ～【66】～ 99）
   用紙長を改行幅、約4.2mm（1/6インチ）単位で設定します。現在の改行量には影響されません。

2. レフトマージン（【0】～ 135）
   レフトマージン幅を10cpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

3. ライトマージン（1 ～【136】）
   ライトマージン幅を10cpi文字の桁数で設定します。メモリスイッチ2-7（MSW2-7）の設定には影響されません。縮小コマンド受信時は無効となります。書式0では設定できません。

4. 吸入位置（0、3.18、3.8、4.23、6.03、6.35、8.47、9.7、12.7、【25.4】）
   文字下端での用紙の吸入位置を選択します。設定値の単位はmmです。フロントトラクタフィーダ、リアトラクタフィーダ、シートガイド、シートフィーダ、はがき、それぞれ独立して吸入位置を設定することができます。
   はがきの吸入位置はハガキ印刷モードのときに有効になります。
   書式1～4の吸入位置はMSW3-3（吸入位置を記憶する/しない）に影響されません。
   各用紙をセットした場合の設定可能な値、不可能な値については以下の表を参照してください。

吸入基準位置		連続紙	カット紙	はがき	備考
1	0mm（文字下端）	○	○	○	
2	3.18mm（1/8インチ、文字下端）	○	○	○	
3	3.8mm（文字下端）	○	○	○	文字上端0mm
4	4.23mm（1/6インチ、文字下端）	○	○	○	
5	6.03mm（文字下端）	○	○	○	
6	6.35mm（1/4インチ、文字下端）	○	○	○	
7	8.47mm（1/3インチ、文字下端）	○	○	○	
8	9.7mm（文字下端）	○	○	×	文字上端6mm カット紙の推奨吸入位置
9	11.5mm（文字中央）	×	×	○	はがきの推奨吸入位置
10	12.7mm（1/2インチ、文字下端）	○	○	○	
11	25.4mm（1インチ、文字下端）	○	○	○	連続紙の推奨吸入位置

○：選択可能な値　×：選択不可能な値

5. カット紙位置補正（【0】～ 68）
   印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。
   カット紙使用時は常に有効となります。
   設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

6. フロントトラクタフィーダ位置補正（【0】～ 68）
   印刷開始位置をプリンタ正面から見て左方向へ移動させる量を10cpi文字の桁数で設定します。
   フロントトラクタフィーダ使用時は常に有効となります。
   設定した桁数の範囲内のデータを文字幅単位で削除します。印刷データがある場合は印刷データも削除します。

7.　書式クリア
現在、設定されている書式番号の内容を初期値に戻します。

機能選択

1.　書式選択（【書式 0】、書式 1、書式 2、書式 3、書式 4）
どの書式で印刷するかを選択します。［◀］スイッチまたは［▶］スイッチを押して、現在選択されている書式番号を表示した後、［▲］スイッチまたは［▼］スイッチで設定したい書式番号を選択します。

2.　複写力選択（【標準】、厚紙、複写 1）
複写力を上げて濃く印刷することができる設定です。
標準：印刷速度を優先して印刷します。
厚紙：用紙が厚いと判断しても速い速度のまま印刷を行います。
複写1：印刷速度を落とし複写力を上げて印刷を行います。

3.　用紙厚調整の設定（【オート】、1 ～ 12）
用紙厚調整動作を選択します。オートを選択した場合は、自動的に用紙の厚さを検出し、用紙枚数1～12枚までの設定値を選択します。

マニュアル設定値と用紙厚の目安は以下のとおりです。

用紙枚数	用紙坪量（連量）	厚さ（mm）	マニュアル設定値
1枚	46.5g/m^2（40kg）	約0.06mm	1
	64.0g/m^2（55kg）	約0.08mm	1
	81.4g/m^2（70kg）	約0.10mm	1～2
	104.7g/m^2（90kg）	約0.12mm	2
	127.9g/m^2（110kg）	約0.16mm	2～3
	157.0g/m^2（135kg）	約0.19mm	3
2枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.12mm	2
3枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.18mm	3
4枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.24mm	4
5枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.30mm	5～6
6枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.36mm	6
7枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.42mm	7
8枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.48mm	8
9枚	39.5g/m^2（34kg）	約0.54mm	9

チェック
- 用紙の厚さが0.54mmを超えるものは使用しないでください。
- マニュアル設定の場合は、設定値10～12を使用しないでください。

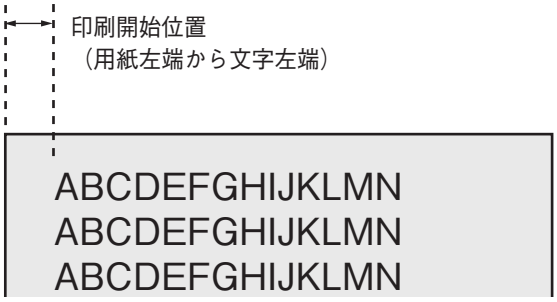
4.　印刷圧の微調整（-6 ～【0】～ +3）
印刷圧を増やしたい、または減らしたいときに印刷圧の調整を行います。調整単位は0.01mmです。数値を「＋」に設定すると印刷圧が増加し、「－」に設定すると印刷圧が減少します。

5.　印刷位置の微調整（-3 ～【0】～ +3）
罫線などが印刷された用紙の枠内に印刷するときなどに印刷位置を調整する機能です。調整単位は0.42mmです。数値を「+」に設定すると印刷位置が装置正面から見て右方向に、「－」に設定すると左方向に移動します。

6. 書体選択（【明朝体】、ゴシック）
漢字書体を選択します。選択できる書体は明朝体、ゴシック体のどちらかです。プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

7. 縮小印刷の選択（【縮小なし】、縮小 2/3、縮小 4/5）
ページ縮小印刷モードを設定することができます。縮小基準位置は、装置正面から見て左側を基準とします。ハガキ印刷モードまたはMSW2-7がONのときは、縮小印刷モードはOFFになります。また、プリンタの電源スイッチをOFFにすると設定は初期化されます。

8. 自動位置補正の調整（0 ～【+9】～ +24）
シートガイド使用時のカット紙の印刷開始位置を自動補正（50ページ参照）する際の位置を設定します。調整単位は0.42mmです。数値を「+」に設定すると印刷位置が装置正面から見て右方向に移動します。
「0」を設定すると印刷開始位置は用紙左端から1.3mmに、最大で11.4mmまで設定が可能です。



チェック

- この設定はスペシャルメニューモードの「カット紙セット位置」が「自動位置補正」に設定されているときのみ有効です（74ページ参照）。
- 印刷データが用紙の右端からはみ出す場合は、印刷ヘッド空打ち防止機能により用紙右端から1.5mmの位置で印刷データがカットされます。
- 印刷位置の自動補正が有効なカット紙のサイズはハガキ～A4横です。

スペシャルメニューモード

ここでは、スペシャルメニューモードで変更できる設定項目、スペシャルメニューモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目

スペシャルメニューモードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

設定モード	機能項目	初期値
パラメータ設定	カット紙セット位置	レフト
	フロントトラクタフィーダセンタリング位置	36桁
	リアトラクタフィーダセンタリング位置	96桁
	カット紙センタリング位置	40桁
	漢字コード表	1978年版
	フォント1	標準
	フォント2	標準
	連続紙カット位置からの自動戻り時間	15秒
	ハガキ印刷モード	OFF
	シートガイドからの用紙吸入時間	2秒
	自動用紙厚調整再実行時間	10秒
	LFピッチ補正―シートガイド	0
	LFピッチ補正―シートフィーダ	0
	LFピッチ補正―フロントトラクタフィーダ	0
	LFピッチ補正―リアトラクタフィーダ	0
メモリスイッチ設定	「メモリスイッチ設定モード」（76ページ）参照	
罫線ぞろえ確認モード	罫線ぞろえ確認印刷	―
	罫線そろえHD	0
	罫線ぞろえNHS	0

スペシャルメニューモードの入り方と終了方法

スペシャルメニューモードの入り方

1 **［印刷可］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。**

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”とディスプレイに表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

チェック

用紙なしの場合でもスペシャルメニューモードに入ることができます。

スペシャルメニューモードの終了方法

1 **ディスプレイにメインメニューの “ ケイセンゾロエ　カクニン” が表示されているとき、［印刷可］スイッチを押す。**

スペシャルメニューモードを終了します。

ケ	イ	セ	ン	ゾ゛	ロ	エ		カ	ク	ニ	ン			

スペシャルメニューモード時のスイッチ機能

プリンタがスペシャルメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

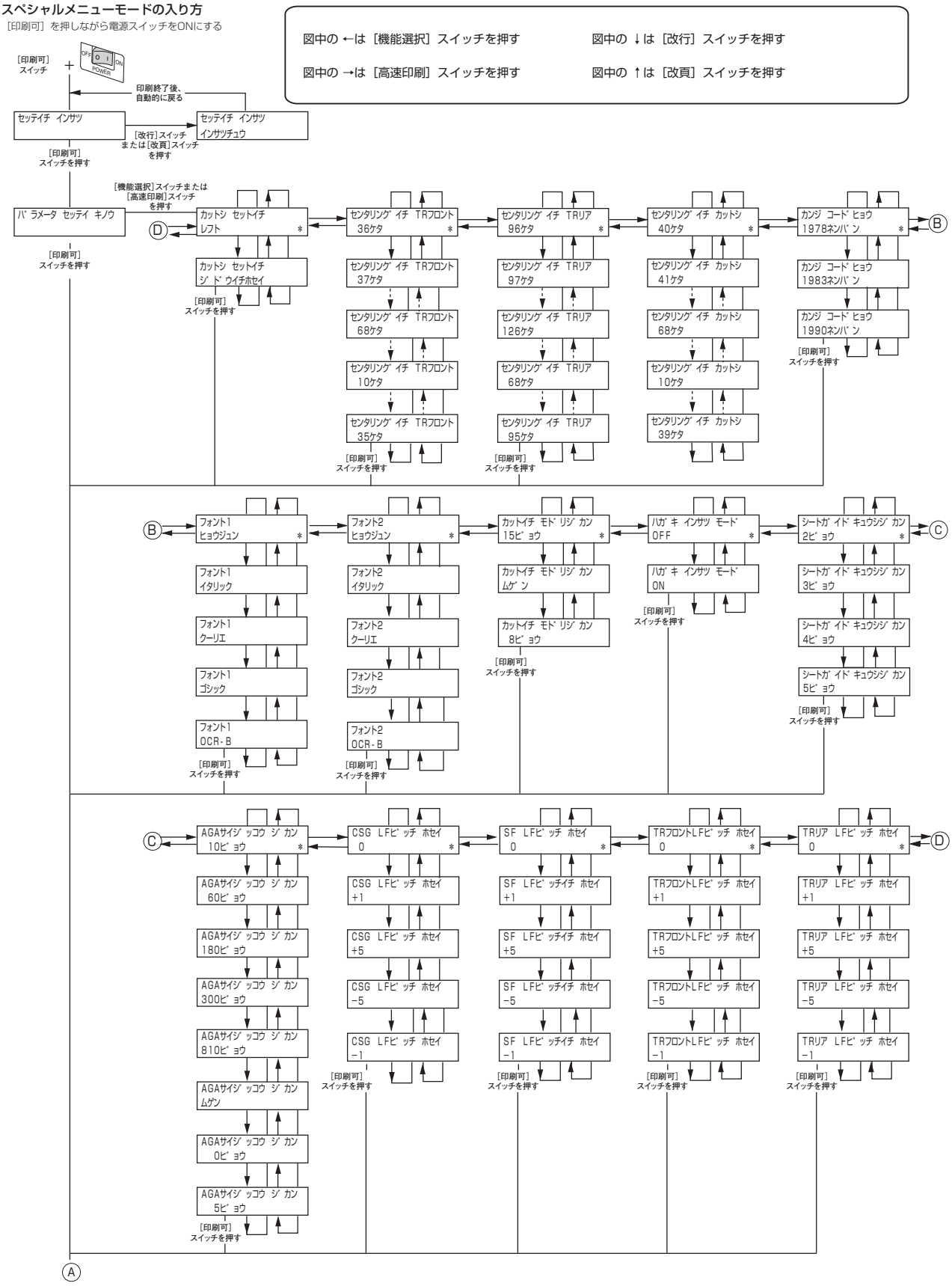
スイッチ		機能
通常の状態	スペシャルメニューモード時	
印刷可	メニュー	メインメニューの“ケイセンゾロエ　カクニン”が表示されているときに、スペシャルメニューモードを終了させます。
		各種設定から、メインメニューに戻ります。
		パラメータの設定を確定します。確定されたパラメータのディスプレイ表示には＊が追加されます。
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能します。
改頁	▼	
機能選択	▶	機能項目の選択スイッチとして機能します。
高速印刷	◀	
吸入/退避	吸入/退避	有効（用紙なし検出時）
強制リセット		有効
上記以外のスイッチ		無効

メニューツリー

ここでは、スペシャルメニューモードのメニューツリーを載せています。

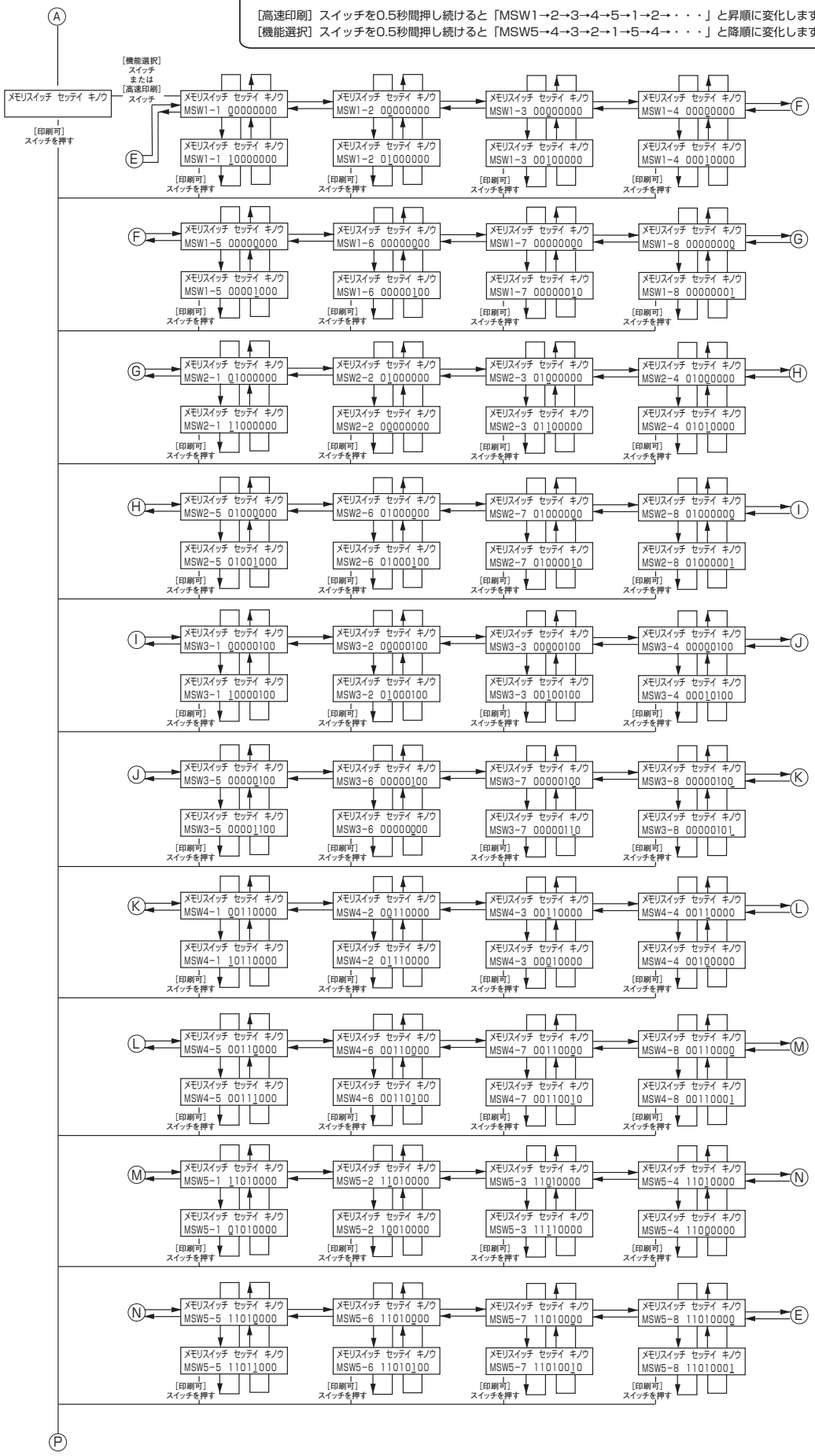
スペシャルメニューモードの入り方

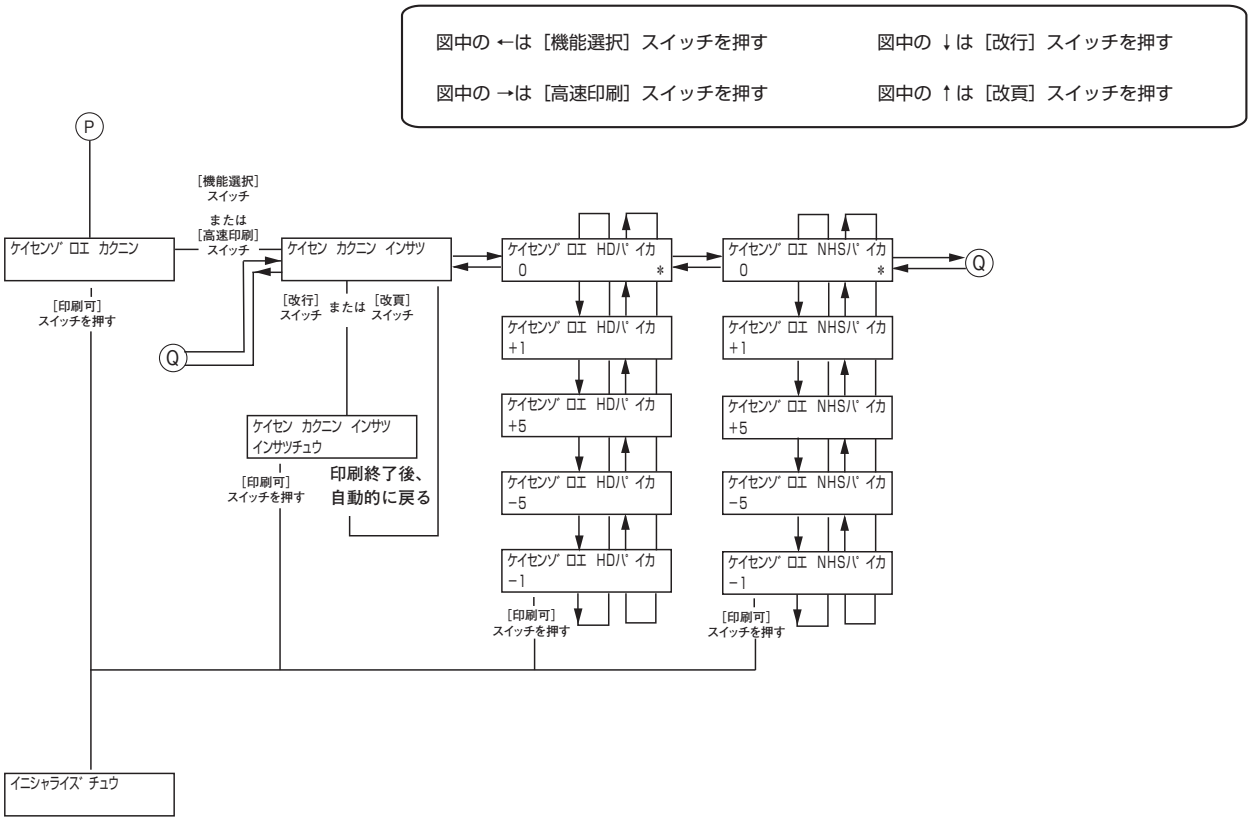
［印刷可］を押しながら電源スイッチをONにする



図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　　図中の ↓は［改行］スイッチを押す
図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

［高速印刷］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW1→2→3→4→5→1→2→・・・」と昇順に変化します。
［機能選択］スイッチを0.5秒間押し続けると「MSW5→4→3→2→1→5→4→・・・」と降順に変化します。





スペシャルメニューモード終了
ディスプレイは“イニシャライズ　チュウ”と表示後、
通常表示に戻る

設定の手順

スペシャルメニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（74ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「パラメータ設定機能」の「シートガイドからの吸入待ち時間選択」を 5秒にする。（初期設定値は［2秒］）

1 **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

2 **［印刷可］スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。**

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”と表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ					

3 **［印刷可］スイッチを押し、ディスプレイに“パラメータ　セッテイ　キノウ”と表示されたことを確認する。**

ハ゜	ラ	メ	ー	タ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ	

4 **［▶］スイッチを10回押し、ディスプレイに“シートガイド　キュウシジカン　2ビョウ　＊”と表示されたことを確認する。**

シ	ー	ト	カ゛	イ	ト゛	キ	ュ	ウ	シ	シ゛	カ	ン
2	ヒ゛	ョ	ウ									＊

5 **［▼］スイッチを押し、ディスプレイに“シートガイド　キュウシジカン　5ビョウ”と表示されたことを確認する。**

シ	ー	ト	カ゛	イ	ト゛	キ	ュ	ウ	シ	シ゛	カ	ン
5	ヒ゛	ョ	ウ									

6 **［印刷可］スイッチを押して、ディスプレイに“メモリスイッチ　セッテイ　キノウ”と表示されたことを確認する。**

メ	モ	リ	ス	イ	ッ	チ		セ	ッ	テ	イ		キ	ノ	ウ

7 **［印刷可］スイッチを2回押す。**

スペシャルメニューモードを終了します。

設定の詳細

ここでは、スペシャルメニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

パラメータ設定モード

センタリング位置、漢字コード表、フォントの選択などの設定を行います。

1. カット紙セット位置（【レフト】、自動位置補正）
   シートガイド使用時にカット紙をセットするとき、自動位置補正を使用するかレフト（左端）にセットするかを指定します。シートフィーダまたは連続紙を使用する場合は、この設定にかかわらず用紙を左端にセットしてください。

2. フロントトラクタセンタリング位置(10～【36】～68)
   フロントトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

3. リアトラクタセンタリング位置（68 ～【96】～ 126）
   リアトラクタで用紙を吸入するときの印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

4. カット紙センタリング位置（10 ～【40】～ 68）
   カット紙吸入時の印刷ヘッドセンタリング位置を10cpi文字の桁位置で指定します。

5. 漢字コード表（【JIS1978 年版】、JIS1983 年版、JIS1990 年版）
   漢字コード表を選択します。

6. フォント 1/ フォント 2（【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B）
   フォントを選択します。フォント1はコマンドESC01で選択されるフォント、フォント2はコマンドESC02で選択されるフォントを示します。

7. 連続紙カット位置からの自動戻り時間（8 秒、【15 秒】、無限）
   連続紙がカット位置まで送られたとき、用紙を自動的に印刷位置に戻すまでの時間を選択します。

8. ハガキ印刷モード（【OFF】、ON）
   ハガキ印刷モードを設定します。この設定をONにすると、プリンタの電源スイッチをONにしたときの設定がハガキ印刷モードとなります。

9. シートガイドからの用紙吸入時間（【2 秒】、3 秒、4 秒、5 秒）
   セットした用紙が吸入されるまでの時間を選択します。

10. 自動用紙厚調整再実行時間（0 秒、5 秒、【10 秒】、60 秒、180 秒、300 秒、810 秒、無限）
    シートフィーダ使用時に用紙排出後、ここで設定した時間が経過すれば、次の用紙を吸入した時に自動用紙厚設定を行います。

11. LF ピッチ補正 ― シートガイド（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【　】は、初期設定）	補正量	内容
シートガイド	【0】	0mm	シートガイドの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm（10インチ）に対する補正値です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

12. LF ピッチ補正 ― シートフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【　】は、初期設定）	補正量	内容
シートフィーダ	【0】	0mm	シートフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、254mm（10インチ）に対する補正値です。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

13. LF ピッチ補正 ― フロントトラクタフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【　】は、初期設定）	補正量	内容
フロントトラクタフィーダ	【0】	0mm	フロントトラクタフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm（10インチ）に対する補正値です（1Sheet目に対する、その後の Sheet の印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。）。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

14. LF ピッチ補正 ― リアトラクタフィーダ（-5 ～【0】～ +5）

給紙方法	設定値 （【 】は、初期設定）	補正量	内容
リアトラクタフィーダ	【0】	0mm	リアトラクタフィーダの累積改行量の補正量を設定します。補正量は、用紙の先端を検出してから254mm（10インチ）に対する補正値です（1Sheet目に対する、その後の Sheet の印刷位置ずれを1Sheet目の累積改行量の長さを調整することで補正します。）。例えば、プレプリント用紙の罫線に対して印刷位置が上方向にずれる場合は、＋方向の補正を行います。また、逆の場合は、一方向の補正を行います。
	±1	±0.3mm	
	±2	±0.6mm	
	±3	±0.9mm	
	±4	±1.2mm	
	±5	±1.6mm	

メモリスイッチ設定モード

ここでは、メモリスイッチ設定モードで設定できる内容の詳細について説明します。メモリスイッチで設定できる項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW1	1	各国文字の切り替え	3つのスイッチON/OFFの組み合わせ＊1により、日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの文字を切り替えます。		OFF
	2				OFF
	3				OFF
	4	データ受信方法の切り替え	従来互換	高速受信	OFF
	5	DC1、DC3コード処理の切り替え	有効	無効	OFF
	6	自動復改の切り替え	復帰改行	復帰のみ	OFF
	7	印刷指令コード切り替え	CRのみ	CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b	OFF
	8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	OFF
MSW2	1	数字「0」の字体（1バイトコード系）	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	2	シートガイド使用時の用紙なし検出	印刷時検出	常時検出	ON
	3	ドット対応グラフィックドット数の初期設定	ネイティブモード	コピーモード	OFF
	4	クワイエットモードの切り替え	無効	有効	OFF
	5	HDパイカモード/HSパイカモードの初期設定	HDパイカ	HSパイカ	OFF
	6	7/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	OFF
	7	印刷桁数の切り替え	136桁	80桁	OFF
	8	印刷方向の初期設定	両方向	片方向	OFF
MSW3	1	自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え	再吸入しない	再吸入する	OFF
	2	PCモード/情処モード切り替え	PCモード	情処モード	OFF
	3	用紙吸入位置の記憶	記憶する	記憶しない	OFF
	4	シートフィーダの吸入コード	ESC　a、FF、印刷データ＋印刷指令コード	ESC a、FF、LF、US、VT、印刷データ＋印刷指令コード	OFF
	5	自動カット位置送り機能有効／無効	無効	有効	OFF
	6	改頁実行時のセンタリング動作切り替え	センタリングしない	センタリングする	ON
	7	数字「0」の字体(2バイトコード系)	スラッシュなし	スラッシュ付き	OFF
	8	ミシン目スキップの初期設定	スキップしない	スキップする	OFF
MSW4	1	印刷ヘッド空打ち防止機能の有効／無効	有効	無効	OFF
	2	シートフィーダ制御方法	スループット優先モード	斜行補正優先モード	OFF
	3	カット位置送り機能　用紙送り量	固定長	TOF＋固定長	ON
	4	ドット列印刷モードの印刷方向の切り替え	片方向	両方向（MSW2-8 をOFFにしてください）	ON
	5	高速印刷モードの初期設定	標準モード	高速印刷モード	OFF
	6	カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	7	カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え	コマンド切り替えによる	後方排出固定	OFF
	8	オートローディング方式(シートガイド自動吸入方式）の切り替え	オート方式	マニュアル方式	OFF

機能項目		機能	OFF	ON	工場設定値
MSW5	1	待機モード移行時間の切り替え	15分	1分	ON
	2	待機モード復帰時の初期化動作切り替え	初期化動作する	初期化動作しない	ON
	3	吸入以外のセンタリング位置切り替え	自動検出による	センタリング位置設定による	OFF
	4	用紙左右端検出位置の切り替え	吸入位置の設定による	25.4mm（1インチ）	ON
	5	用紙切れ判断の切り替え	用紙長設定に従う	用紙最下端付近まで印刷する	OFF
	6	印刷ヘッド制御の切り替え*2	モード1	モード2	OFF
	7	拡大文字、罫線の両方向印刷制御の切り替え	印刷品位優先	スループット優先	OFF
	8	未使用			

＊1　MSW1-1 ～ 1-3 の組み合わせ。表以外の組み合わせでは、すべてスウェーデン文字となります（各国文字の組み合わせ表は次ページにあります）。

＊2　MultiImpact 700JE/700JEN のみ。

1. MSW1-1　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）
2. MSW1-2　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）
3. MSW1-3　各国文字の切り替え（【OFF】、ON）

   MSW1-1～MSW1-3の3つのメモリスイッチを組み合わせて、各国の文字に切り替えます。メモリスイッチの組み合わせを次の表に示します。

各国文字	MSW1-1	MSW1-2	MSW1-3
アメリカ	OFF	ON	OFF
イギリス	ON	ON	OFF
ドイツ	OFF	OFF	ON
スウェーデン	ON	OFF	ON
【日本】	【OFF】	【OFF】	【OFF】

4. MSW1-4　データ受信方法の切り替え（【OFF】、ON）

   データ受信方法を高速受信にするか従来互換にするか切り替えます。高速受信の場合、同期コマンド等による受信同期機能は無効となります。

5. MSW1-5　DC1、DC3 コード処理の切り替え（【OFF】、ON）

   制御コードDC1、DC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。

6. MSW1-6　自動復改の切り替え（【OFF】、ON）

   バッファフル印刷を行うとき、復帰の動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

7. MSW1-7　印刷指令コードの切り替え（【OFF】、ON）

   印刷指令コードをどの制御コードに割り当てるかを設定します。

8. MSW1-8　CR 機能の切り替え（【OFF】、ON）

   制御コードCRを受信したとき、復帰のみの動作を行うか、復帰改行動作を行うかを切り替えます。

9. MSW2-1　数字「0」（1 バイトコード系）の字体（【OFF】、ON）

   8ビットコード表、7ビットコード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“ Ø ”とするかを切り替えます。

10. MSW2-2　シートガイド使用時の用紙無し検出（OFF、【ON】）

    シートガイド使用時に用紙無し検出を印刷時のみ行うか、常時行うかを切り替えます。用紙無し検出をON（常時）にすると、用紙がセットされていないときに印刷可ランプが消灯します。

11. MSW2-3　ドット対応グラフィックドット数の初期設定（【OFF】、ON）
ドット対応グラフィックドット数の横ドット数の初期設定をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

12. MSW2-4　クワイエットモード（【OFF】、ON）
クワイエットモードの有効/無効を切り替えます。

13. MSW2-5　HD パイカモード /HS パイカモードの初期設定（【OFF】、ON）
印刷モードの初期設定をHDパイカにするか、HSパイカにするか切り替えます。

14. MSW2-6　7/8 ビットデータの切り替え（【OFF】、ON）
インタフェースのデータが7ビット有効か8ビット有効かを切り替えます。グラフィック（ドット列印刷）モードでのデータ転送は、このメモリスイッチの設定にかかわらず8ビット有効です。

15. MSW2-7　印刷桁数の切り替え（【OFF】、ON）
1行に印刷する文字数を、10cpi文字で136桁にするか、80桁にするかを切り替えます。80桁に指定した場合、用紙のセット位置は左端基準の第1桁から第80桁が印刷範囲となります。

16. MSW2-8　印刷方向の初期設定（【OFF】、ON）
印刷方向を両方向最短印刷にするか、片方向印刷にするかを切り替えます。ドット列印刷の印刷方向は、MSW2-8とMSW4-4両方の設定が必要です。

17. MSW3-1　自動用紙厚調整実行後の再吸入切り替え（【OFF】、ON）
用紙吸入時の自動用紙厚調整後に用紙の再吸入を実施しないか、再吸入を実施するかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

18. MSW3-2　PC モード / 情処モード切り替え（【OFF】、ON）
PCモード/情処モードを切り替えます。

19. MSW3-3　用紙吸入位置の記憶（【OFF】、ON）
用紙吸入位置を微調整したとき、微調整後の吸入位置を記憶するか、しないかを切り替えます。ONにした場合、微調モードで微調整した値は記憶しないので、電源再投入後または強制リセット時に工場設定値に戻ります。

20. MSW3-4　シートフィーダの吸入コード（【OFF】、ON）
シートフィーダの吸入コードは、一般的に吸入命令（ESCa）を使用しますが、改行コード（LF、VT、複数改行）でも吸入を実行するか、しないかを切り替えます。

21. MSW3-5　自動カット位置送り機能の有効 / 無効（【OFF】、ON）
印刷終了後、自動的にカット位置まで用紙を送る機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。「ON」に設定すると自動カット位置送り機能が有効となります。

22. MSW3-6　改頁実行時のセンタリング動作切り替え（OFF、【ON】）
次ページの印刷開始位置まで改行動作を行ったときに、印刷ヘッドをセンタリングしないか、センタリングするかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

23. MSW3-7　数字「0」（2 バイトコード系）の字体（【OFF】、ON）

漢字コード表において、数字「0」の書体を“0”とするか、“ Ø ”とするかを切り替えます。

24. MSW3-8　ミシン目スキップの初期設定（【OFF】、ON）
電源ON時に連続紙のミシン目の前後約25.4mm(1インチ）の印刷をスキップするか、しないかを切り替えます。この機能は連続紙使用時に有効で、ONにするとスキップします。また、VFUコマンドによってボトムライン設定時は、その設定が優先されます。

25. MSW4-1　印刷ヘッド空打ち防止機能の有効 / 無効（【OFF】、ON）
有効（OFF）にすると、用紙の左右端位置を自動的に検出し、プラテンへの空印刷によるプラテン汚れを防止します。

26. MSW4-2　シートフィーダ制御方法（【OFF】, ON）
シートフィーダから用紙を吸入するときプリンタ本体内での斜行補正を行わないスループット優先モードにするか、斜行補正を行う斜行補正優先モードにするかの切り替えを行います。

27. MSW4-3　カット機能の用紙送り量（OFF、【ON】）
カット時の用紙送り量を「固定長」にするか、「ページ先頭位置＋固定長」にするかを切り替えます。［排出/カット］スイッチによるカット位置送りのみ有効です。

28. MSW4-4　ドット列印刷モードの印刷方向（OFF、【ON】）
ドット列印刷モードの印刷方法を、片方向にするか、両方向にするかを切り替えます。MSW2-8でON（片方向印刷）を指定している場合、MSW4-4をON（両方向）にしてもドット列印刷方向は片方向となります。

29. MSW4-5　高速印刷モードの初期設定（【OFF】、ON）
電源ON時に高速印刷を選択するか、解除するかを切り替えます。

30. MSW4-6　カット紙（シートガイド）の排出方向の切り替え（【OFF】, ON）
シートガイド使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定（スタッカに排出）するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は前方排出（シートガイドに排出）します。

31. MSW4-7 カット紙（シートフィーダ）の排出方向の切り替え（【OFF】, ON）
シートフィーダ使用時に、用紙排出方向を排出方向指定コマンドに従うか、後方排出固定（スタッカに排出）するかを切り替えます。OFFで排出方向指定コマンドがない場合は、後方排出となります。

32. MSW4-8　オートローディング方式（シートガイド自動吸入方式）の切り替え（【OFF】、ON）
シートガイドを使用するとき、用紙の吸入方式をマニュアル方式にするか、オート方式にするかを切り替えます。マニュアル方式では［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入させますが、オート方式にするとカット紙はセットされてから一定時間（パラメータ設定モードのシートガイドからの用紙吸入時間で設定した時間）経過後に自動的に吸入されます。

33. MSW5-1　待機モード移行時間の切り替え（OFF、【ON】）
印刷動作やスイッチ操作が行われなくなってから待機モードに移行するまでの時間を、1分にするか、15分にするかを切り替えます。待機モードに移行すると待機電力が低下します（省電力）。トップカバーを開けているときは待機モードには移行しません。

34. MSW5-2　待機モード復帰時の初期化動作切り替え（OFF、【ON】）
待機モードから復帰するときにプリンタの初期化動作を実施するか、初期化動作を実施しないかを切り替えます。
ただし、初期化動作をしない設定の場合でも、15分経過後に待機モードから復帰した時は初期化動作を実施します。

35. MSW5-3　吸入以外のセンタリング位置切り替え（【OFF】、ON）
用紙を吸入するとき以外のセンタリング位置を、用紙左右端の自動検出による用紙中央位置にするか、パラメータ設定モードのセンタリング位置に従うかを切り替えます。トップカバーを開けているときはこのメモリスイッチの設定にかかわらず装置中央位置にセンタリングします。

36. MSW5-4　用紙左右端検出位置の切り替え（OFF、【ON】）
吸入位置設定が20.32mm（0.8インチ）未満の場合に用紙左右端を検出する動作を、設定された吸入位置で行うか、用紙先端から25.4mm（1インチ）の位置で行うかを切り替えます。この機能はフロントトラクタ、もしくはリアトラクタ使用時のみ有効です。

37. MSW5-5　用紙切れ判断の切り替え（【OFF】、ON）
用紙切れによる排出動作を、用紙長設定に従って実施するか、用紙最下端付近まで印刷してから実施するかを切り替えます。用紙長設定と吸入された用紙の長さが一致していない場合に切り替えて使用します。

38. MSW5-6　印刷ヘッド制御の切り替え（【OFF】、ON）*
印刷ヘッドの制御を切り替えます。（通常は変更せずにご使用ください。）
* MultiImpact 700JE/700JENのみ。

39. MSW5-7　拡大文字、罫線の両方向印刷制御の切り替え（【OFF】、ON）
拡大文字、罫線、グラフィックの印刷において、印刷品位を優先するか、スループットを優先するかを切り替えます。印刷品位優先は両方向動作のままでも横方向の印刷ずれを抑えて印刷します。スループット優先は従来互換の動作です。

40. MSW5-8　未使用

罫線ぞろえ確認モード

罫線印刷位置のずれを調整します。

1.　罫線ぞろえ確認印刷
　罫線ぞろえ確認印刷を行います。以下の手順に従ってください。

1　用紙をセットする。

カット紙または連続紙をセットしてください。用紙のセット方法については、2章「用紙の取り扱い」（26 ページ）を参照してください。

2　プリンタの電源スイッチをOFFにする。

3　［印刷可］スイッチを押しながら電源スイッチをONにする。

スペシャルメニューモードに入り、“セッテイチ　インサツ”と表示されます。

セ	ッ	テ	イ	チ		イ	ン	サ	ツ						

4　［印刷可］スイッチを3回押し、ディスプレイに“ケイセンゾロエ　カクニン”と表示されていることを確認する。

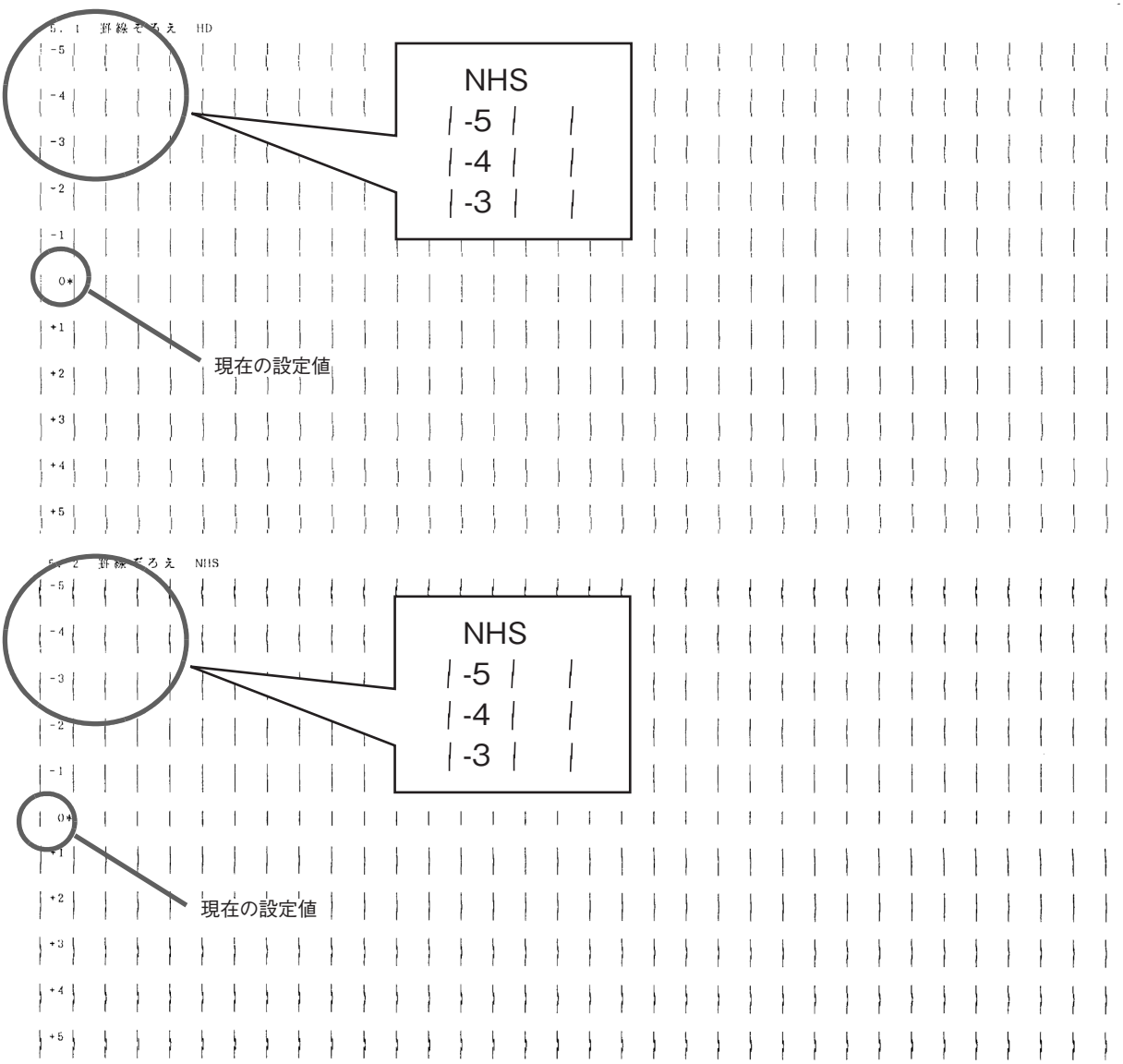
ケ	イ	セ	ン	ゾ゛		ロ	エ		カ	ク	ニ	ン			

5　［▶］スイッチを押し、ディスプレイに“ケイセン　カクニン　インサツ”と表示されていることを確認する。

ケ	イ	セ	ン		カ	ク	ニ	ン		イ	ン	サ	ツ		

6　［▼］スイッチまたは［▲］スイッチを押す。

次のように罫線ぞろえ確認印刷が出力されます。（例は連続紙の場合）



罫線ぞろえテストパターン

2.　罫線ぞろえ HD（-5 ～【0】～ +5）

漢字、HDパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm（1/720インチ）単位で、-0.175mm（-5/720インチ）から+0.175mm（+5/720インチ）まで可能です。「1.　罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

3.　罫線ぞろえ NHS（-5 ～【0】～ +5）

高速印刷漢字、高速印刷HDパイカ、NHSパイカの罫線印刷位置のずれを調整します。調整は右から左の方向に対して約0.035mm（1/720インチ）単位で、-0.175mm（-5/720インチ）から+0.175mm（+5/720インチ）まで可能です。「1.　罫線ぞろえ確認印刷」の出力で罫線が揃うように調整してください。

HEXダンプモード切り替え

プリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷します。HEXダンプモードはプログラムで正しく印刷できないときなど、その原因を見つけるために使用します。

チェック

- カバーオープンまたは排出アラーム中はHEXダンプモード切り替えを行うことはできません。
- 用紙サイズは、用紙幅A4縦以上のカット紙か、用紙幅254mm（10インチ）以上の連続紙をセットしてください。これより小さい用紙の場合、印刷データが全部印刷されない可能性があります。

1　印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になっていることを確認する。

ディスプレイに“セレクト”と表示されていない場合は［印刷可］スイッチを押してセレクト状態に切り替えてください。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

セ	レ	ク	ト											
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

2　［印刷可］スイッチを押したまま［改頁］スイッチを2回押す。

3　［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯し、印刷可能状態になります。

HEXダンプモードに切り替わると、ディスプレイに“HEXダンプ”と表示されます。（例は、給紙方法がフロントトラクタの場合です。）

H	E	X	タ゛	ン	フ゜									
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛			

これでプリンタが受信したデータを16進コードとデータに対する英数カタカナ文字で印刷されます。

4　HEXダンプモードを終了するときは、［印刷可］スイッチを押しながら［改行］スイッチを2回押してプリンタを強制リセットする。

チェック

- データに該当する英数カナ文字がないときは、「．」を印刷します。
- HEXダンプを一時中断するときは、［印刷可］スイッチを押してください。もう一度押すと再開します。
- 途中で用紙がなくなった場合（ディスプレイ表示“ヨウシヲ　セットシテクダサイ”）は、新しい用紙をセット・吸入してください。続きが印刷されます。
- ハガキ印刷モード時は無効となります。

ネットワーク設定モード

ここでは、ネットワーク設定モードで変更できる設定項目、ネットワーク設定モードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

ネットワーク設定モードで変更できる設定項目

ネットワーク設定モードで変更できる設定項目および初期設定値を次の表に示します。

機能項目	初期値
ＤＨＣＰ/ＢＯＯＴＰ	OFF
ＲＡＲＰ	OFF
ＩＰアドレス	000.000.000.000
サブネットマスク	000.000.000.000
デフォルトゲートウェイ	000.000.000.000

ネットワーク設定モードの入り方と終了方法

ネットワーク設定モードの入り方

1　プリントサーバが装着された状態で［機能選択］スイッチを押しながらプリンタの電源スイッチをONにする。
ネットワークモードに入り、プリントサーバの装置名、バージョンがディスプレイに表示されます。

※表示例
装置名：PR-NP-16、バージョン：1.2.0のとき

Ｐ	Ｒ	－	Ｎ	Ｐ	－	１	６		セ	ッ	テ	イ			
									Ｖ	１	．	２	．	０	

チェック

- 用紙なしの場合でもネットワーク設定モードに入ることができます。
- プリントサーバが装着されていない場合、ネットワーク設定モードには入れません。
- ネットワークケーブルを接続しているとき、ネットワーク設定モードに入れない場合があります。このときは、プリントサーバ側のネットワークケーブルを外して、手順１をやり直してください。
- プリントサーバのバージョンが1.2.0より小さい場合、ネットワーク設定モードには入れません。プリントサーバの最新バージョンはWebで公開していますので、NECコーポレートサイト（http://jpn.nec.com）よりご確認ください。

ネットワーク設定モードの終了方法

1　プリントサーバが装着された状態でディスプレイに"セッテイシマスカ？"が表示されているとき、［機能選択］または「高速印刷」スイッチを押す。
ネットワークモードを終了します。

セ	ッ	テ	イ	シ	マ	ス	カ	？							
		ハ	イ	：	←			イ	イ	エ	：	→			

チェック

- ［機能選択］スイッチを押した場合、設定した内容が確定します。
- 「高速印刷」スイッチを押した場合、設定前の内容に戻ります。

ネットワーク設定モード時のスイッチ機能

プリンタがネットワーク設定モードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ		機能
通常の状態	ネットワーク設定モード時	
印刷可	メニュー	次の設定項目へ移動します。
改行	▲	設定値の変更スイッチとして機能します。これらのスイッチを押すことにより、各項目の数値が増減します。
改頁	▼	
機能選択	◀	対象のアドレスの設定フィールド位置を左へ移動します。
		実行確認表示「セッテイシマスカ？」の場合は、設定内容を確定してネットワーク設定モードを終了します。
高速印刷	▶	対象のアドレスの設定フィールド位置を右へ移動します。
		実行確認表示「セッテイシマスカ？」の場合は、設定内容を破棄後、ネットワーク設定モードを終了します。
上記以外のスイッチ		無効

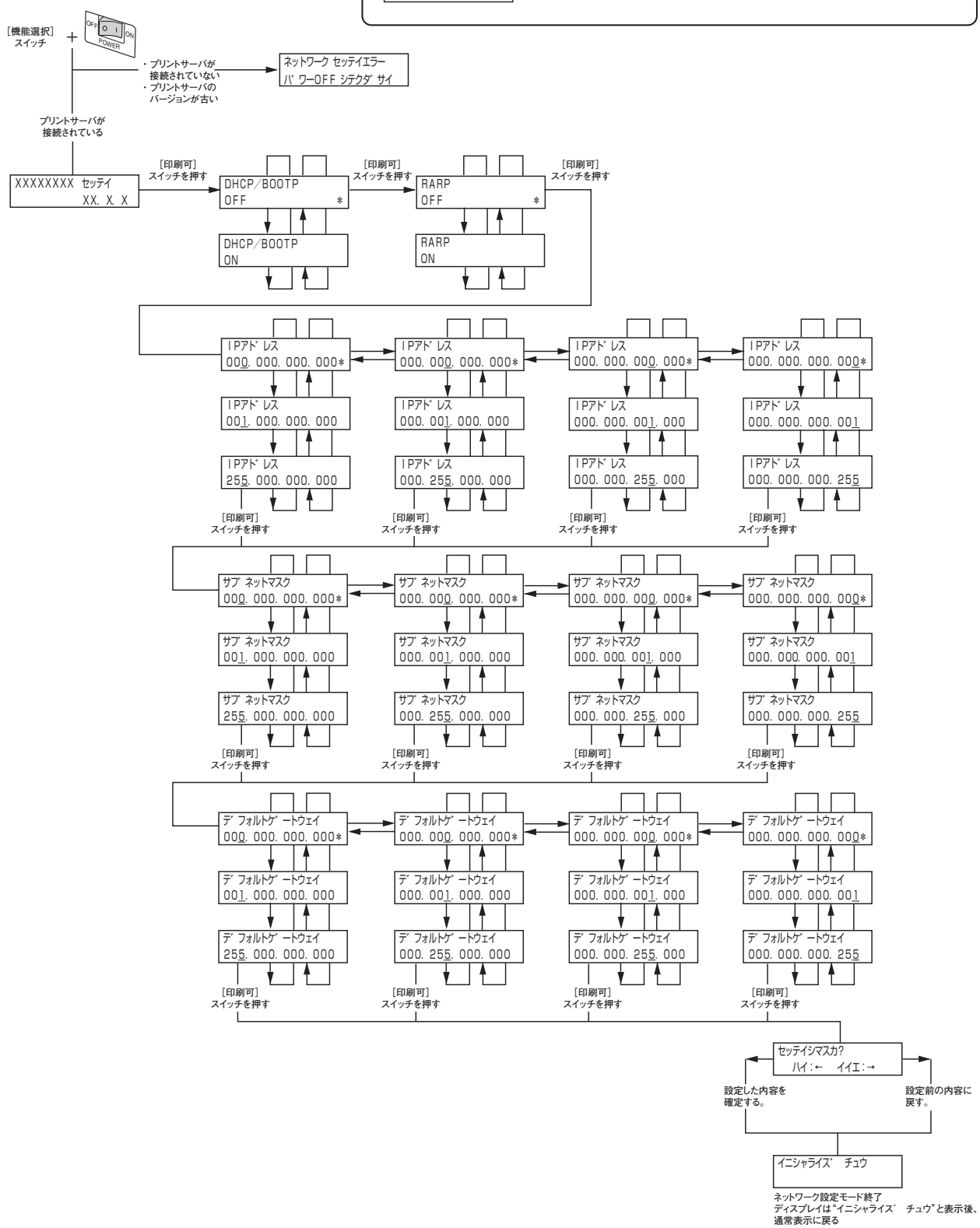
メニューツリー

ここでは、ネットワーク設定モードのメニューツリーを載せています。

図中の ←は［機能選択］スイッチを押す　図中の ↓は［改行］スイッチを押す

図中の →は［高速印刷］スイッチを押す　図中の ↑は［改頁］スイッチを押す

XXXXXXXX セッテイ
XX. X. X　上段はプリントサーバの装置名、下段はバージョンを表示します



設定の手順

ネットワーク設定モードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「設定の詳細」（87ページ）を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：「ＩＰアドレス」を 100.100.100.100にする。（初期設定値は[000.000.000.000]）

1 **プリンタの電源スイッチをOFFにします。**

2 **［機能選択］スイッチを押しながら電源スイッチをONにします。**

ネットワークモードに入り、プリントサーバの装置名、バージョンがディスプレイに表示されます。

※表示例
装置名：PR-NP-16、バージョン：1.2.0のとき

```
PR－NP－16　セッテイ
　　　　　V1.2.0
```

3 **［印刷可］スイッチを3回押し、ディスプレイに"ＩＰアドレス　０００．０００．０００．０００＊"と表示されたことを確認します。**

```
IPアドレス
000.000.000.000＊
```

4 **ディスプレイに "ＩＰ　アドレス　１００．０００．０００．０００ "と表示されるまで［改頁］スイッチを押します。**

```
IPアドレス
100.000.000.000
```

5 **［高速印刷］スイッチを押し、入力位置が右に移動したことを確認します。**

```
IPアドレス
100.000.000.000
```

6 **ディスプレイに "ＩＰ　アドレス　１００．１００．０００．０００ "と表示されるまで［改頁］スイッチを押します。**

```
IPアドレス
100.100.000.000
```

7 **［高速印刷］スイッチを押し、入力位置が右に移動したことを確認します。**

```
IPアドレス
100.100.000.000
```

8 **ディスプレイに "ＩＰ　アドレス　１００．１００．１００．０００ "と表示されるまで［改頁］スイッチを押します。**

```
IPアドレス
100.100.100.000
```

9 **［高速印刷］スイッチを押し、入力位置が右に移動したことを確認します。**

```
IPアドレス
100.100.100.000
```

10 **ディスプレイに "ＩＰ　アドレス　１００．１００．１００．１００ "と表示されるまで［改頁］スイッチを押します。**

```
IPアドレス
100.100.100.100
```

11 **［印刷可］スイッチを3回押し、ディスプレイに"セッテイシマスカ？　ハイ：←　イイエ：→"と表示されたことを確認します。**

```
セッテイシマスカ？
　ハイ：←　イイエ：→
```

12 **［機能選択］スイッチを押します。**

ネットワーク設定モードを終了します。

```
イニシャライズ　チュウ
```

設定の詳細

ここでは、ネットワーク設定モードで設定できる内容を説明します。設定項目の（　）内は選択できる設定値、【　】内は工場設定値です。

1. DHCP/BOOTP を使用する（【OFF】、ON）
   DHCP/BOOTPプロトコルの動作を禁止／許可します。DHCP/BOOTPは起動時にDHCPサーバまたはBOOTPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。プリントサーバのIPアドレスをDHCP/BOOTPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたDHCPまたはBOOTPサーバが稼動していなければなりません。プリントサーバはDHCPとBOOTPを自動認識し、先に応答のあったIPアドレスを自分のアドレスとして採用します。

2. RARP を使用する（【OFF】、ON）
   RARPプロトコルの動作を禁止／許可します。RARPは起動時にRARPサーバよりIPアドレスの取得を行うプロトコルです。プリントサーバのIPアドレスをRARPによって設定するためには、サブネットワーク内に適切に設定されたRARPサーバが稼動していなければなりません。
   RARP によって設定されたIPアドレスはプリントサーバの動作には反映されますが、プリントサーバの記憶保存領域へ設定されません。プリントサーバの電源をOFFにすることにより、自動的にそのIPアドレスは消去されます。次回の起動時以降もそのIPアドレスを用いて起動するには、固定したIPアドレスとしてプリントサーバに手動で設定する必要があります。

3. IP アドレス（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）
   プリントサーバのIPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。

4. サブネットマスク（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）
   プリントサーバのサブネットマスクを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。
   0.0.0.0を設定するとこの項目は無効になり、IPアドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。

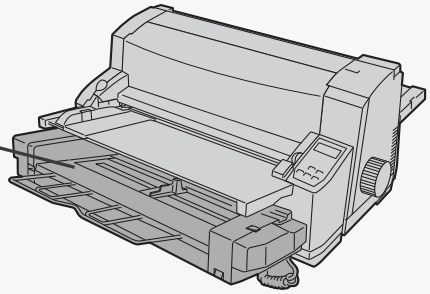
5. デフォルトゲートウェイ（【000.000.000.000】～ 255.255.255.255）
   ゲートウェイのIPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定してください。
   ゲートウェイはプリントサーバと同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。0.0.0.0を設定するとこの項目は無効になります。

5章
オプション

この章では、MultiImpact 700シリーズ用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

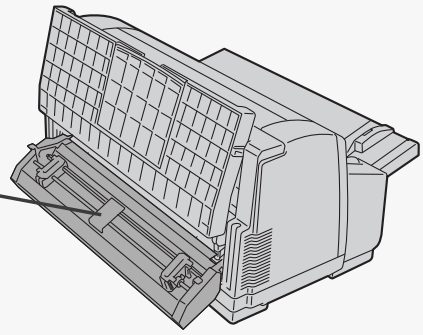
- シートフィーダ 90ページ
- リアトラクタフィーダ 107ページ

シートフィーダ　90ページ
（型番　PR-D700XE-04）



◇ カット紙やはがきを自動的に給紙します。
◇ カット紙を約280枚までセットできます（A4サイズの用紙で連量55kgの場合）。
◇ 複写式用紙は5枚綴りのものを約60組までセットできます（A4サイズの複写式用紙の場合）。

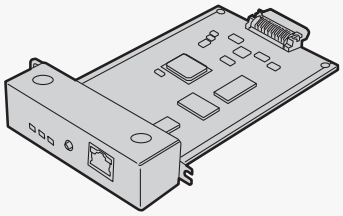
リアトラクタフィーダ　107ページ
（型番　PR-D700XE-03）



◇ 連続紙を後ろから給紙することができます。リアトラクタフィーダを使うことによりフロントトラクタフィーダと合わせて2種類の連続紙を切り替えて使用することができます。

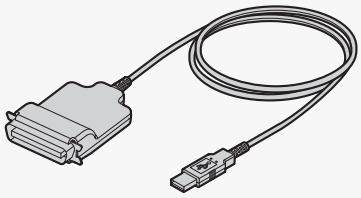
プリントサーバ（LANボード）
（型番　PR-NP-16）

◇ 取り扱いについては、プリントサーバのオンラインマニュアルをご覧ください。



USB-パラレル変換ケーブル
（型番　PR-NP-U01）

◇ 取り扱いについては、1章の「コンピュータに接続する」（24ページ）をご覧ください。

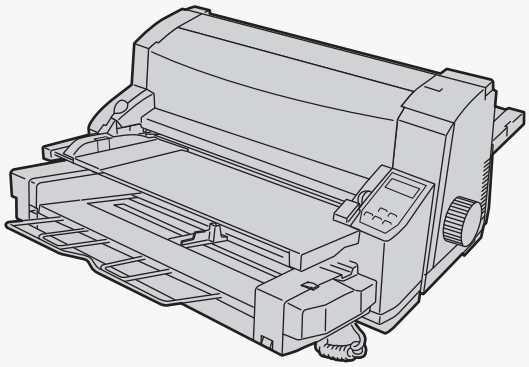


オプション一覧

シートフィーダ

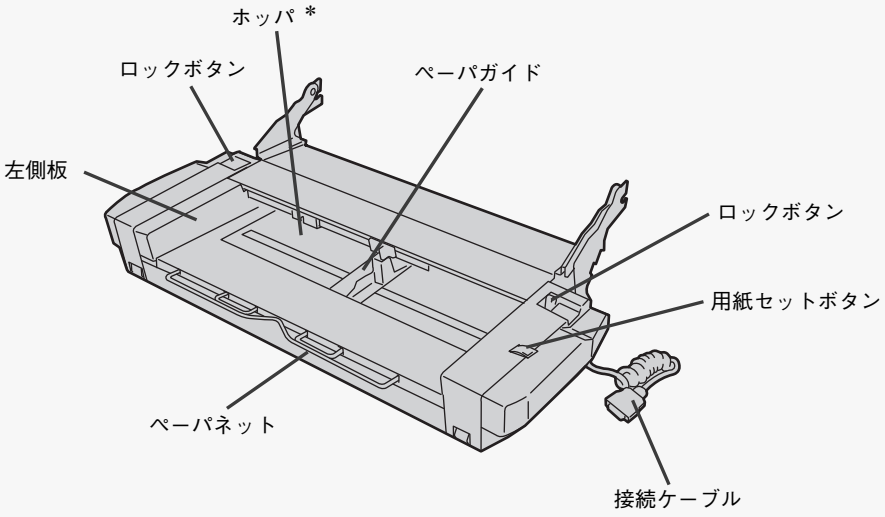
ここでは、PR-D700XE-04シートフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。

各部の名称



プリンタにシートフィーダを取り付けた状態

取り付ける前に、シートフィーダの各部の名称を確認してください。



*　用紙がセットされる場所を「ホッパ」といいます。

シートフィーダの取り付け

シートフィーダは次の手順でプリンタの前面に取り付けます。

1 連続紙やシートガイドに用紙がセットされているときは、それぞれの用紙を取り除く。

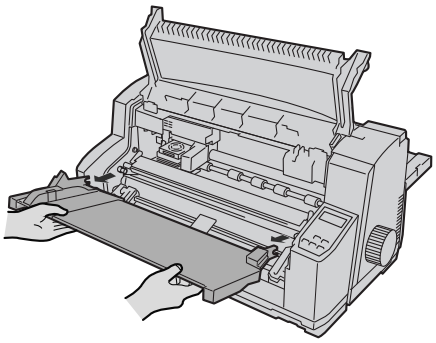
連続紙は［吸入/退避］スイッチを押して一時退避させます。印刷終了後の連続紙がセットされているときは、印刷されたページをカットしてから［吸入/退避］スイッチを押してください。

2 プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。

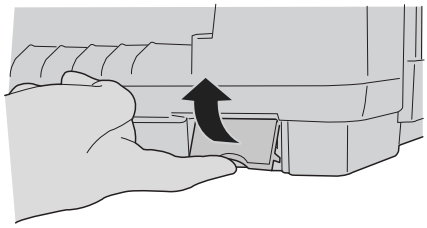
> **重要**
>
> プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。

3 トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。

シートガイドの両サイドを持ち、手前に引き抜きます。



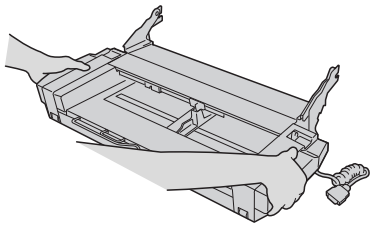
4 プリンタ前面の右下にあるコネクタカバーを取り外す。



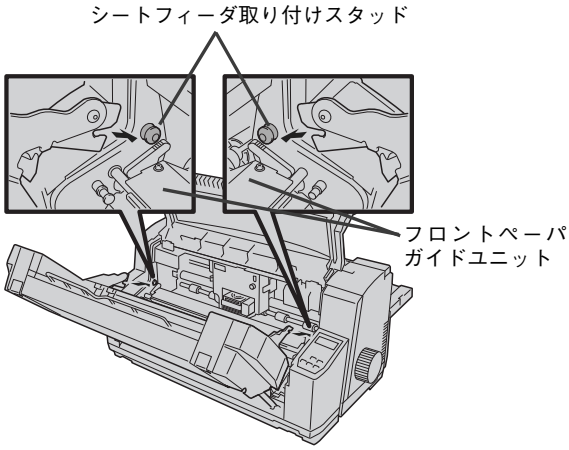
> **チェック**
>
> 取り外したコネクタカバーは、シートフィーダを取り外すときに必要です。なくさないように保管しておいてください。

5 シートフィーダを取り付ける。

シートフィーダを図のように持ちます。

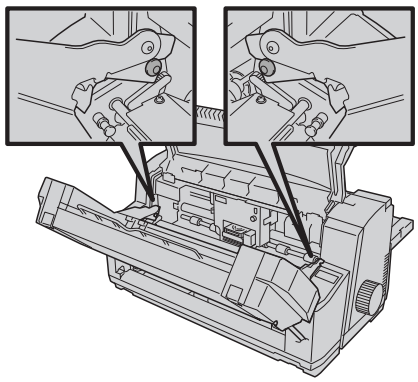


左右にある傘の形をしたスタッドに押し込みます。

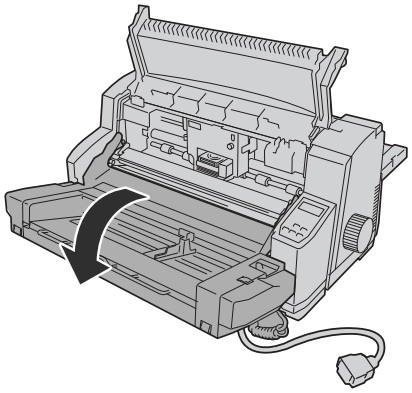


> **チェック**
>
> 傘の形をしているスタッドはフロントペーパガイドユニットよりも上に位置しています。

左右のシートフィーダ取り付けスタッドに左右のツメがはまったことを確認します。



下に突き当たるまでそのまま下ろします。

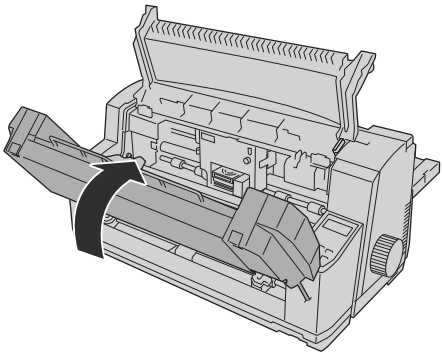


チェック

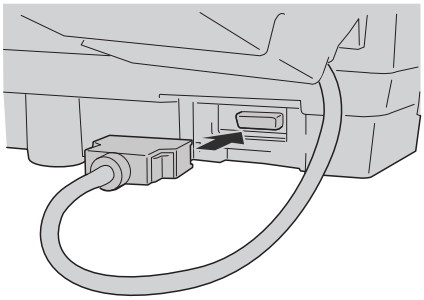
- ケーブルをシートフィーダの下に挟まないよう注意してください。
- シートフィーダを確実に下に突き当たるまで下ろして使用してください。中途半端に下ろすと紙づまりの原因となります。

6 シートフィーダのコネクタをプリンタのコネクタに差し込む。

シートフィーダを上げます。



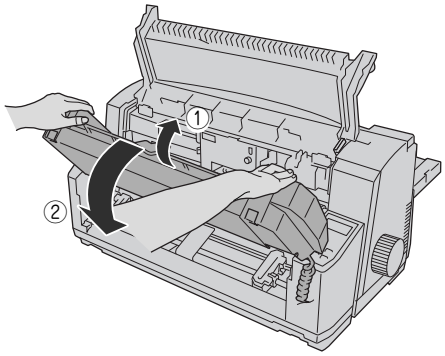
シートフィーダのコネクタをプリンタのソケットに差し込みます。



チェック

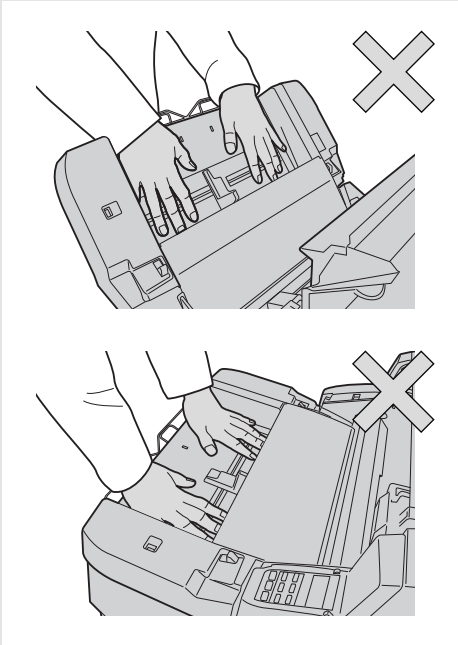
シートフィーダのケーブルが連続紙に触れないようにしてください。

シートフィーダを上に少し持ち上げ、元のとおりに下ろします。



チェック

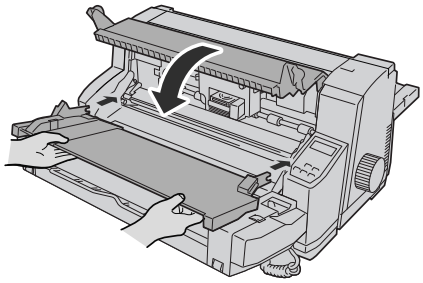
シートフィーダを下ろす際は、ホッパ部を押しながら下ろさないでください。ホッパ部を押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。



7 シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。

これでシートフィーダの取り付けは完了です。

シートフィーダを取り外す場合は「シートフィーダの取り外し」（102ページ）を参照してください。



シートフィーダ使用時の注意

シートフィーダを使用するときは次のことに注意してください。

チェック

- シートフィーダには2種類以上の用紙をセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。
- 用紙がプリンタ内に残ったままプリンタの電源スイッチを ON にしたりソフトウェアリセットや強制リセットを行ったりしたときは、その用紙は自動的に排出されます。
- プリンタの電源スイッチがONのときや強制リセット時には、用紙がセットされている、いないにかかわらず、用紙ランプは消灯しています。
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- ペーパネットの上に用紙など、物を載せないでください。

シートフィーダへの用紙のセットと吸入

シートフィーダにセットできる用紙は、カット紙、複写式カット紙、はがき、折り目のない往復はがき、封筒です。連続紙はセットできませんが、シートフィーダをプリンタに取り付けたまま連続紙をフロントトラクタユニットにセットすることはできます。また、「用紙吸入位置の微調整」は、シートガイドからの用紙の吸入と同じように調整することができます（詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（105ページ）を参照してください）。

用紙の種類	セットできる枚数＊1
普通紙	約280枚（坪量64.0g/m^2（連量55kgの場合））
複写式用紙 1組5枚まで（オリジナル+4枚） （シートガイド使用時は9枚）	約60組（300枚）
はがき・往復はがき	約100枚
封筒	約25枚

＊1　セットできる用紙の最大の高さは 22mm です。封筒をセットする場合は、約 25 枚までです。
封筒の一番厚い部分での高さが用紙限界マークを越えないようにセットしてください。

用紙をセットする前に、シートフィーダにセットできる用紙の種類と枚数を確認してください。
詳細は付録の「用紙の規格」（135ページ）をご覧ください。また印刷可能範囲も併せて確認してください。

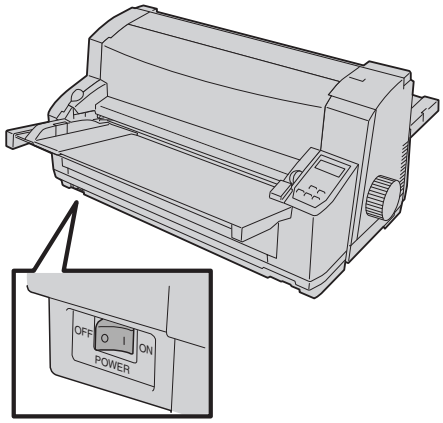
チェック

- 印刷範囲より幅の狭い用紙は使用しないでください。印刷ヘッドやプラテンを傷つけることがあります。
- シートフィーダにセットした用紙の枚数が多すぎると、アラームランプが点灯し、動作しなくなることがあります。この場合は、左側板にある用紙セット限界マークを超えないように枚数を減らし、いったんプリンタの電源スイッチをOFFにした後、再度電源スイッチをONにしてください。
- シートフィーダで斜行が発生する場合には、スペシャルメニューモードのメモリスイッチ4-2（MSW4-2）シートフィーダ制御方法をONにすることにより、より精度の良い用紙吸入方法に切り替えられます。メモリスイッチ4-2の設定は、「メモリスイッチ設定モード」（76ページ）をご覧ください。

カット紙・複写式カット紙のセットと吸入

MultiImpact 700シリーズのカット紙のセット位置は、左端を基準にしています。アプリケーションの設定で用紙のセット位置を中央にしている場合は、メニューモードのカット紙位置補正機能を使用して印刷位置を補正してください。

1　プリンタの電源スイッチをONにする。



2　印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。

連続紙のカットについては「連続紙のカット」（31ページ）、一時退避については「連続紙を取り除く」（30ページ）をご覧ください。

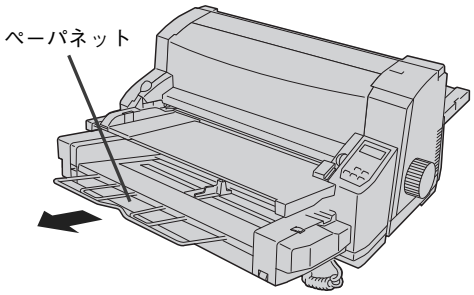
吸入/退避

3　ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

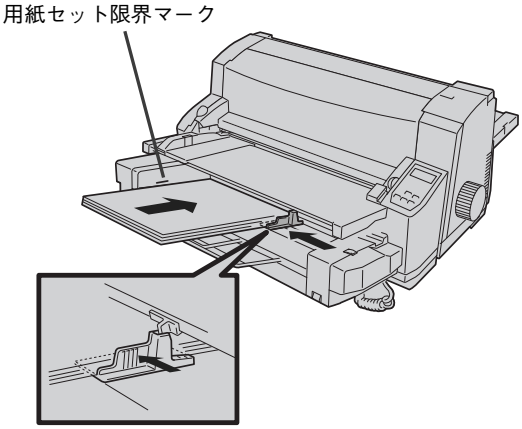
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク							
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛								

4　ペーパネットを引き出す。

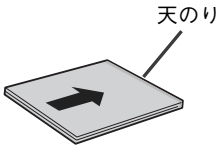


5　用紙をホッパにセットし、右のペーパガイドを印刷する用紙サイズに合わせる。

印刷する面を上にし、カット紙の左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままカット紙の先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドを用紙に合わせます。ペーパーガイドを動かすときは3本線の入った部分を持って動かしてください。その際、ペーパガイドの水平板をカット紙の下に入り込ませてください。



複写式用紙を使用する場合は、印刷する面を上にし、天のりの方を挿入します。



チェック

- 用紙はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、[排出/カット] スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。特に複写式の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 左側のみ綴じてある片綴じ伝票は使用しないでください。紙づまりが発生するおそれがあります。
- 折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が22mm以下です。
- ホッパにセットできるカット紙の量はシートフィーダの左側板の用紙セット限界マークまでです。
- 一般紙の場合、坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）で約280枚です。はがき、官製はがきの場合は約100枚です。封筒の場合は約25枚です。
- 官製はがきの両面に印刷する場合は、片面を印刷した後、反りをなくしてから反対側の面に印刷してください。

6 ［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、用紙が吸入されます。

吸入/退避

これで用紙のセット・吸入は完了です。印刷するデータをプリンタが受信すれば、カット紙への印刷が開始されます。また、用紙の吸入位置および横方向の印刷位置を微調整することができます。詳しくは「シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整」（105ページ）および「印刷開始位置の微調整」（49ページ）をご覧ください。

チェック

印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

用紙を追加または変更するときは

一度セットした用紙にさらに用紙を追加したり、印刷するカット紙の種類を変更するときは、次の手順で行います。はがき、封筒、名刺サイズの用紙の場合も同様の手順です。

チェック

- シートフィーダには2種類以上の用紙を同時にセットしないでください。シートフィーダを使用する場合は、必ず1種類の用紙をセットしてください。
- 用紙をホッパへセットする前に用紙をさばいてください。

1　［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

印刷可

テ゛	ィ	セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ゛		ュ	ン	
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛								

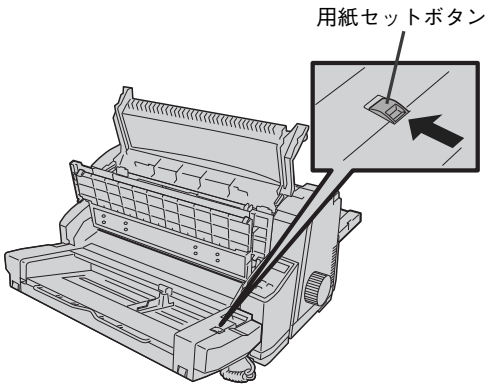
チェック

本操作を行わなかった場合、正しい印刷ができないことがあります。

2　トップカバーを開き、シートガイドを上げる。

3　用紙セットボタンを右から左へ押す。

ホッパが下がります。



重要

用紙セットボタンを使用せず、手などを使って強制的にホッパを押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。ホッパを押し下げるときは上図に示す用紙セットボタンを使用してください。

4　すべての用紙をいったん取り除く。

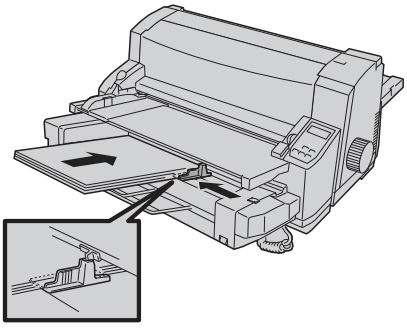
5　用紙をよくそろえて、追加または変更する。

チェック

用紙を追加または変更する前に、セットできる用紙の種類と枚数を確認してください。
カット紙については「カット紙･複写式カット紙のセットと吸入」（94ページ）、はがき、往復はがきについては「はがき･往復はがきのセットと吸入」（97ページ）、封筒については「封筒のセットと吸入」（98ページ）を参照してください。

6　追加または変更した用紙をホッパにセットし直す。

右のペーパガイドも合わせ直してください。



7　トップカバーとシートガイドを戻す。

8　［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

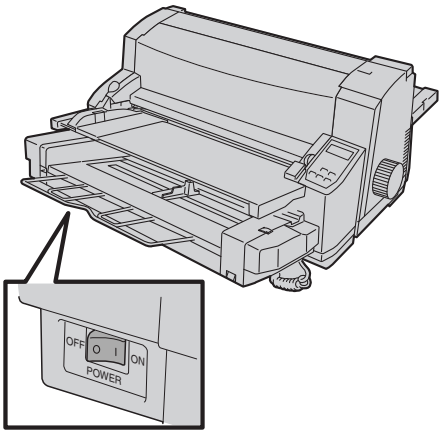
印刷可

セ	レ	ク	ト					ヒ	ョ	ウ	シ゛		ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛								

はがき・往復はがきのセットと吸入

はがき・往復はがきをセットする前に、「使用できるはがき、往復はがきの確認」（40ページ）、「はがき、往復はがきに印刷するときの注意」（40ページ）をご覧ください。

1　プリンタの電源スイッチをONにする。



2　印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。

連続紙のカット、一時退避については「カット紙と連続紙の切り替え」（38ページ）をご覧ください。

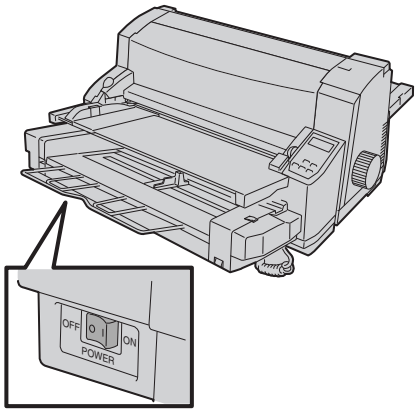
吸入/退避

3　ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

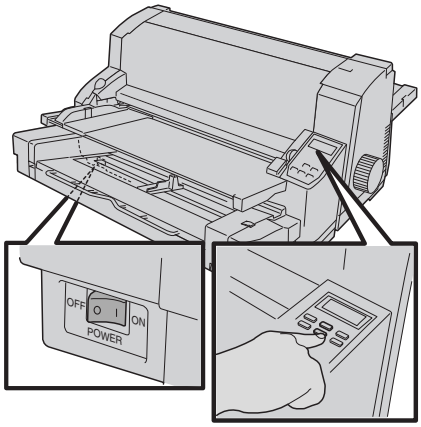
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛									

4　プリンタの電源スイッチをOFFにする。



5　［高速印刷］スイッチを押したままプリンタの電源スイッチをONにする。

これでプリンタは「ハガキ印刷モード」になります。



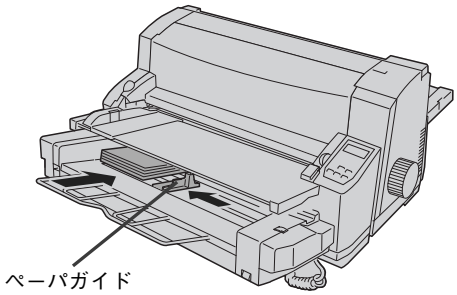
ディスプレイに“セレクト　ヒョウジュン　シートフィーダ　ハガキ”と表示されます。

高速印刷

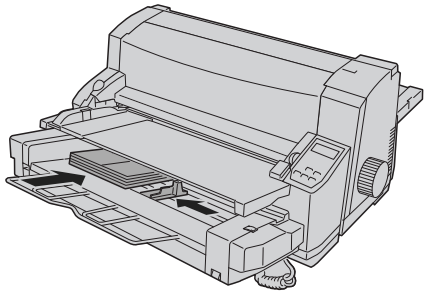
セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン					
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛		ハ	カ゛	キ					

6 はがきをホッパにセットする。

はがきをセットする場合は、印刷する面を上にし、はがきの左端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままはがきの先端をフロントガイドにぴったりと突き当たるまで挿入し、右のペーパガイドをはがきに合わせます。その際ペーパガイドの水平板は、はがきの下に入り込ませてください。



往復はがきも普通のはがきと同じ手順でセットします。



7 ［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、はがきが吸入されます。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、はがきへの印刷が開始されます。

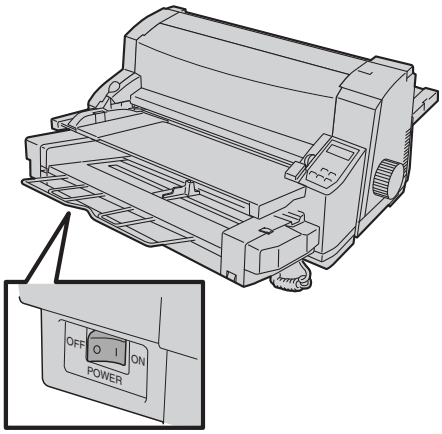
チェック

- 上記の方法で「ハガキ印刷モード」をセットした場合は、電源をOFFにすると「ハガキ印刷モード」は解除されてしまいます。電源をOFFにしても解除されないようにしたい場合は、パラメータ設定でハガキ印刷モードを設定してください。設定方法は「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。
- はがきはペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出 / カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

封筒のセットと吸入

封筒をセットする前に、「使用できる封筒の確認」（44ページ）、「封筒に関する注意」（44ページ）、「封筒に印刷するときの注意」（45ページ）をご覧ください。

1 プリンタの電源スイッチをONにする。



2 印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させる。

連続紙のカット、一時退避については「カット紙と連続紙の切り替え」（38ページ）をご覧ください。

吸入/退避

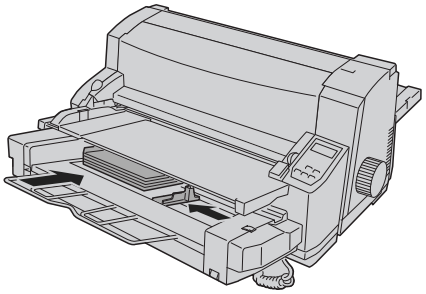
3 ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛									

4 封筒をホッパにセットし、右のペーパガイドを封筒に合わせる。

封筒の印刷する面を上にし、フラップ部の先端をシートフィーダの左側板に合わせ、そのままフロントガイドに突き当たるまで挿入します。次に右のペーパガイドを封筒に合わせます。その際ペーパガイドの水平板は封筒の下に入り込ませてください。



5 ［吸入/退避］スイッチを押す。

ホッパが自動的に持ち上がり、封筒が吸入されます。

印刷するデータをプリンタが受信すれば、封筒への印刷が開始されます。

吸入/退避

セ	レ	ク	ト					ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛							

チェック

- 封筒はペーパガイドに沿ってまっすぐにセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出 / カット］スイッチを押していったん排出してから、セットし直してください。
- 印刷中はペーパガイドを移動しないでください。正しく印刷されないことがあります。印刷終了後にペーパガイドを移動してください。

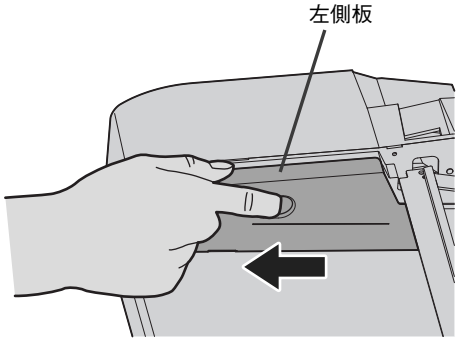
角形2号封筒のセット

角形2号封筒をセットする前には、左側板を次の手順で移動させます。*1

*1 フラップ（のりしろ部分）が32mmをこえる場合に行います。

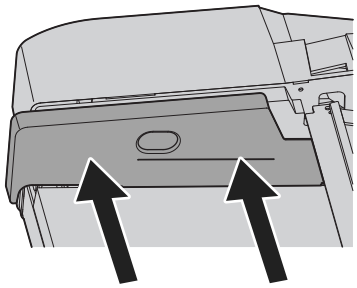
1 左側板を引き出す。

左側板の穴に指をかけて矢印方向に引き出してロックを外します。

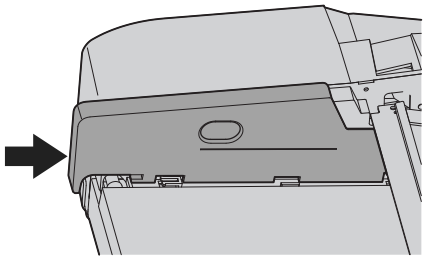


2 左側板を移動させる。

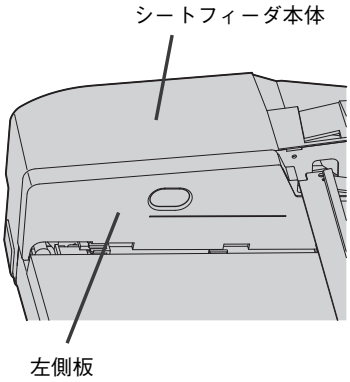
左側板を矢印方向に均等に押しこみます。



3 左側板を矢印方向にまっすぐに押しこむ。



下図は左側板が正しく押しこまれた状態です。



4　左側板を元に戻す場合には、逆の手順で操作する。

> **チェック**
>
> 角型2号封筒をセットする前に左側板が正しく押しこまれたことを確認してください。

用紙の排出

印刷が終了したカット紙は、スタッカまたはシートガイドに排出されます。

> **チェック**
>
> 複写式用紙に印刷した場合は、プリンタの背面のスタッカに排出してください。シートガイド上に排出すると紙づまりなどを起こす原因となります。

スタッカに排出する

通常、シートフィーダから吸入したカット紙は、印刷が終了した後、自動的にプリンタ背面のスタッカ*1 に排出されるので、何も設定する必要はありません。
スタッカには約100枚（坪量64.0g/m^2(連量55kg相当）の用紙の場合）スタックする（積み重ねる）ことができます。
あらかじめメモリスイッチ4-7（MSW4-7）をONにすると、ソフトウェアからシートガイドに排出させるコマンドを送っても常にスタッカに排出されます。（メモリスイッチの設定方法は、「スペシャルメニューモード」（68ページ）をご覧ください。）

シートガイドに排出する

メモリスイッチ4-7（MSW4-7）をOFFにし、排出方向指定コマンドにより指定してください。ただしこの場合は、排出した用紙を取り除かないと次の用紙を吸入できません。

*1　スタッカに一度にスタックできる用紙の最大量は、坪量64.0g/m^2（連量55kg相当）の用紙の場合はA4カット紙約100枚までです。

シートフィーダと連続紙の切り替え印刷

シートフィーダを取り付けたままでも連続紙に印刷することができます。
次の手順で連続紙をセットして印刷を行ってください。

1　カット紙が吸入されている場合は、［排出/カット］スイッチを押して排出する。

排出/カット

2　ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”または“リアトラクタフィーダ”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

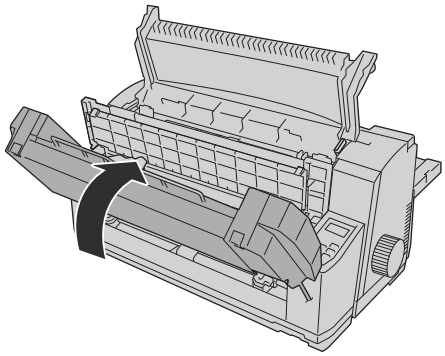
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク								
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛						

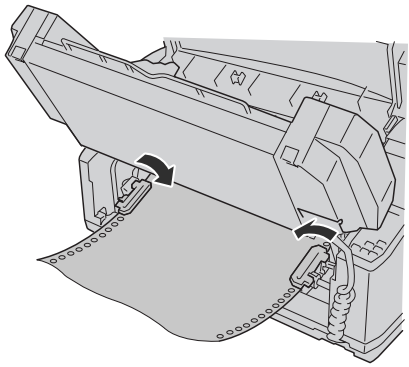
フロントトラクタフィーダに連続紙をセットしていないときは、次の手順でセットします。リアトラクタフィーダへの連続紙のセット方法は「リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入」（109ページ）をご覧ください。

①　トップカバーを開ける。

②　シートガイドとシートフィーダを上げる

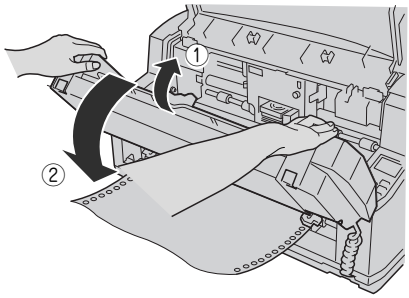


③　連続紙をセットする。



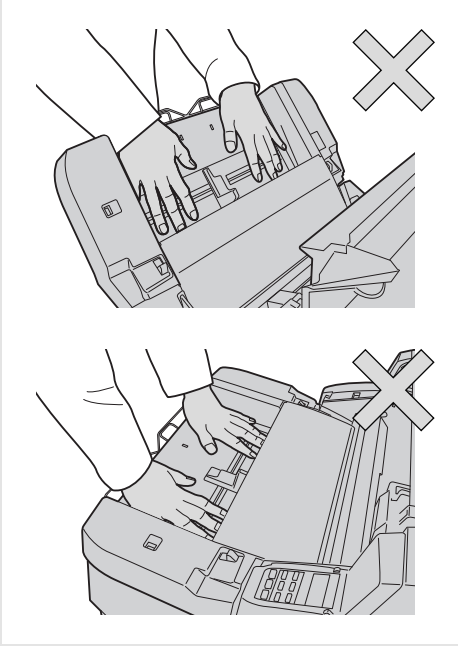
④　シートフィーダを下げる。

シートフィーダを上に少し持ち上げ、元のとおりに下ろします。



チェック

シートフィーダを下ろす際は、ホッパ部を押しながら下ろさないでください。ホッパ部を押し下げると、シートフィーダ内部の部品を破損するおそれがあります。



⑤　シートガイドを下げ、トップカバーを閉める。

⑥［吸入/退避］スイッチを押す。

連続紙が吸入されれば用紙ランプが消灯し、印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで連続紙に印刷できます。

吸入/退避

セ	レ	ク	ト						ヒ	ョ	ウ	シ゛	ュ	ン	
フ	ロ	ン	ト	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛				

シートフィーダの取り外し

次の手順でシートフィーダを取り外します。

1　シートフィーダに用紙がセットされているときや、印刷終了後の連続紙が残っているときは、用紙を取り除く。

シートフィーダから用紙を吸入しているときは、［排出/カット］スイッチを押して用紙を排出します。

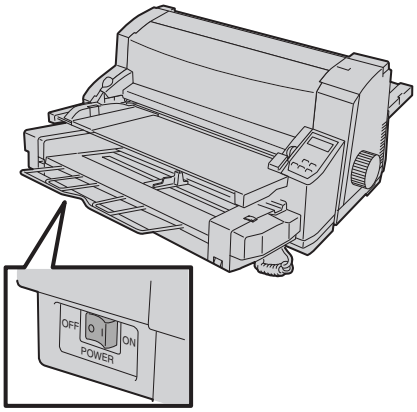
排出/カット

印刷終了後の連続紙が残っている場合は印刷されたページをカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させて取り除きます。

吸入/退避

連続紙のカット、一時退避については「カット紙と連続紙の切り替え」（38ページ）をご覧ください。

2　プリンタの電源スイッチが OFF になっていることを確認する。

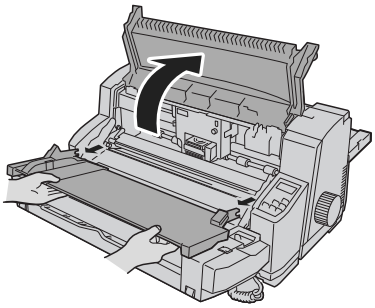


重要

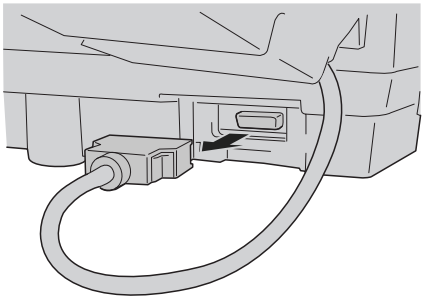
プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り外すと故障の原因となることがありますので、必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。

3　トップカバーを開け、シートガイドを取り外す。

シートガイドの両端を持ち、手前に引き抜きます。

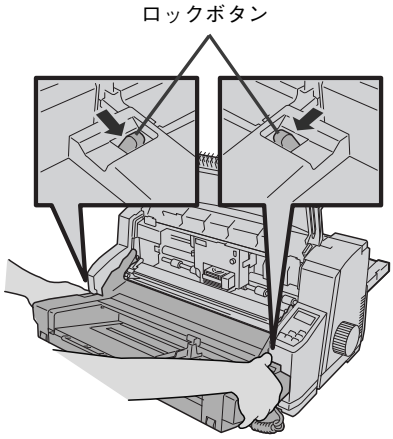


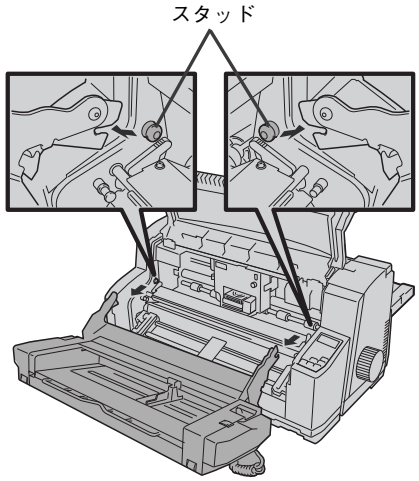
4　シートフィーダのコネクタをプリンタのソケットから取り外す。



5　シートフィーダを取り外す。

シートフィーダを下ろした状態で、左右にあるロックボタンを押しながらシートフィーダを少し持ち上げて手前に引き、スタッド（突起）からシートフィーダを取り外します。

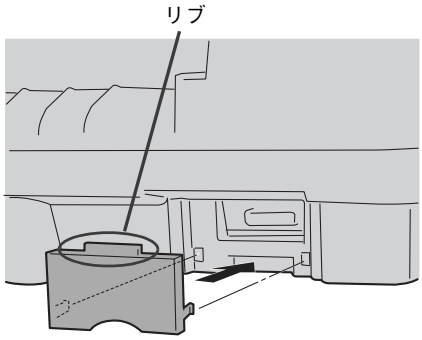




6　コネクタカバーをプリンタに取り付ける。

コネクタカバーの上部リブを差し込み、左右のツメを取り付け穴に差し込みます。

qこれでシートフィーダの取り外しは完了です。

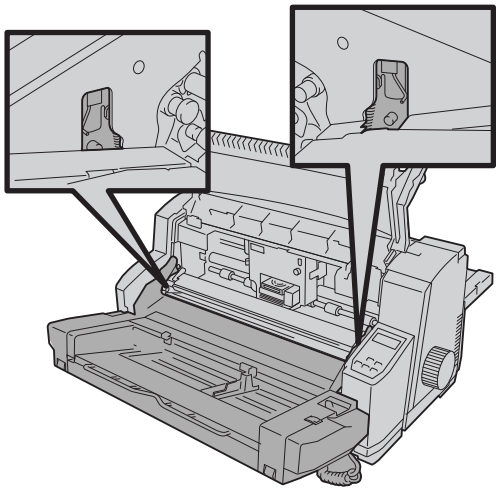


7　シートガイドを取り付け、トップカバーを閉める。

シートフィーダが外れないとき

左右にあるロックボタンを押してもシートフィーダが外れないときは、次の手順でシートフィーダを取り外します。

1　左右のロックレバーが、バネの上に乗り上げていないか確認します。

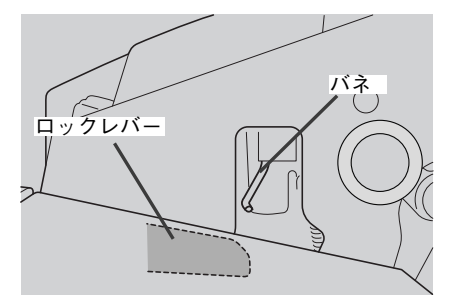


ロックレバーが正しい位置にあるときは、「4 シートフィーダを取り外す。」に進みます。

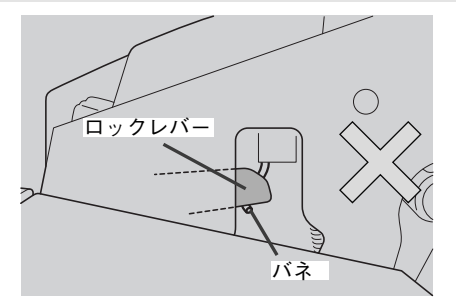
ロックレバーがバネの上に乗り上げているときは、「2 シートフィーダを持ち上げる。」に進みます。

チェック

正しい位置



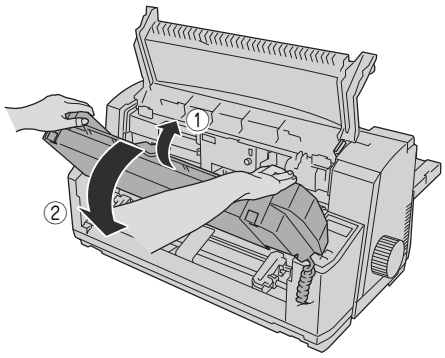
誤った位置



図は装置正面に向かって、左側のロックレバーを表します。

2　シートフィーダを持ち上げる。

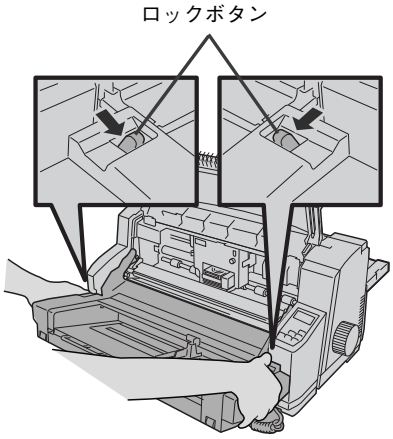
シートフィーダを上に持ち上げ、元のとおりに下ろします。

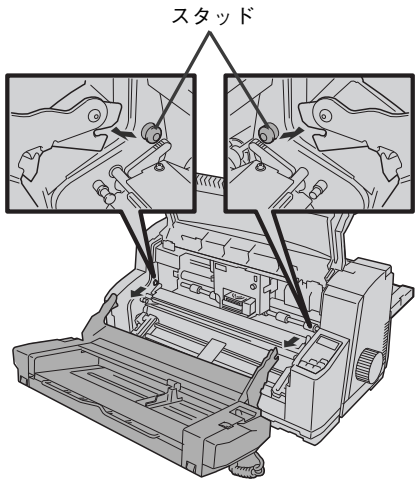


3　左右のロックレバーが左下図の正しい位置にあることを確認します。

4　シートフィーダを取り外す。

左右にあるロックボタンを押しながらシートフィーダを少し持ち上げて手前に引き、スタッド（突起）からシートフィーダを取り外します。





シートフィーダでの用紙吸入位置の微調整

シートフィーダ使用時の用紙吸入位置の微調整は以下の手順で行います。なお、シートガイドで設定した用紙吸入位置微調量は、シートフィーダでは無効のため、改めて設定し直してください。

チェック

- 用紙吸入位置の微調整可能範囲は、用紙上端から第1印刷行（文字下端）までの距離が0～36mmになる範囲です。
- 吸入中の用紙があるときに微調モードで［▼］スイッチを押した場合、吸入中の用紙は排出されます。その後新しい用紙が吸入位置0.0mmで吸入されるので、続けて［▲］スイッチを押して微調整を行ってください。

1　［吸入/退避］スイッチを押す。

カット紙を吸入します。

吸入/退避

2　［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯し、ディセレクト状態（印刷不可能な状態）になります。

テ゛	ィ	セ	レ	ク	ト		ヒ	ョ	ウ	シ゛		ュ	ン	
シ	ー	ト	フ	ィ	ー	タ゛								

3　［微調モード］スイッチを押す。

ディスプレイには以下のように表示されます。

キ	ュ	ウ	ニ	ュ	ウ	イ	チ	ヒ゛		チ	ョ	ウ		
		X	X	.	X	m	m							*

チェック

ディスプレイ下段、右端に表示される＊は、現在設定されている値であることを示します。

4　［▲］スイッチを押して、用紙吸入位置を微調整する。

［▲］スイッチを一回押すごとに約0.42mm（2/120インチ）順方向に送ります。

5　［微調モード］スイッチまたは［印刷可］スイッチを押す。

新しい吸入位置がプリンタに記憶されます。

紙づまりのときは

用紙吸入時に用紙がつまった場合は、ディスプレイに“ヨウシツ゛マリ”と表示されます。
このようなときは、次の手順に従って処理してください。

ヨ	ウ	シ		ツ゛		マ	リ							

1　プラテンノブを時計回りに回して、つまったカット紙を取り除く。

シートフィーダ内で紙づまりした場合は、用紙を手前に引っ張り、シートフィーダから取り除いてください。

チェック

ラベル紙などの「粘着剤」が付着している用紙の場合は、用紙やちぎれた用紙片の除去に加えて、プリンタ内部に粘着剤が残っていないか確認し、残っていたら、きれいに取り除いてください。付着した粘着剤を取り除けない、または取り除いた箇所で紙づまりが発生する場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口までお問い合わせください。

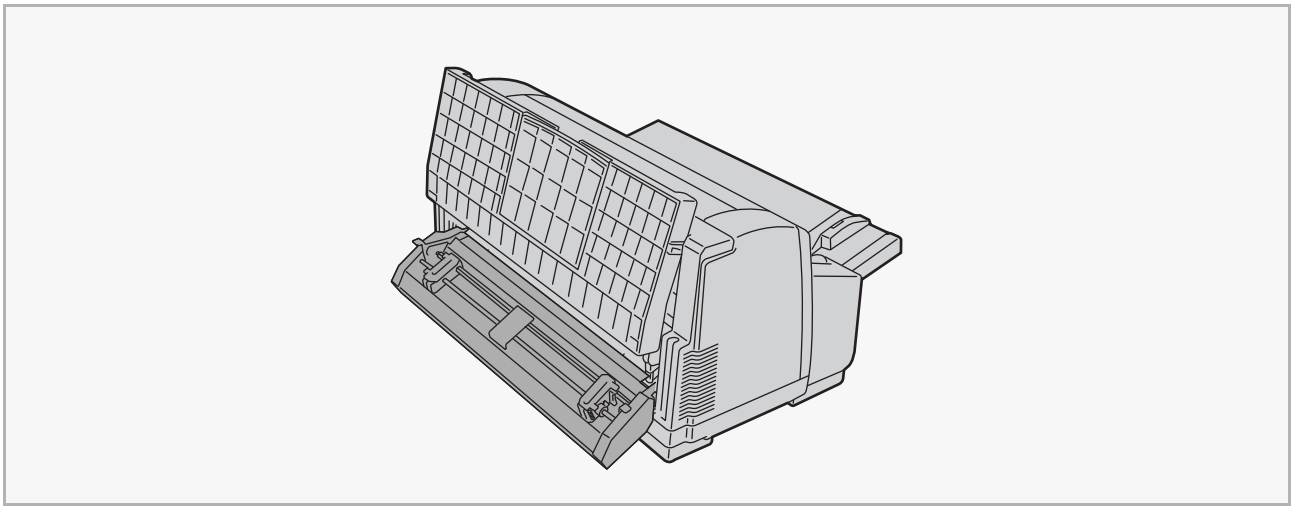
2　［吸入/退避］スイッチを押す。

用紙が吸入され、用紙ランプが消灯します。

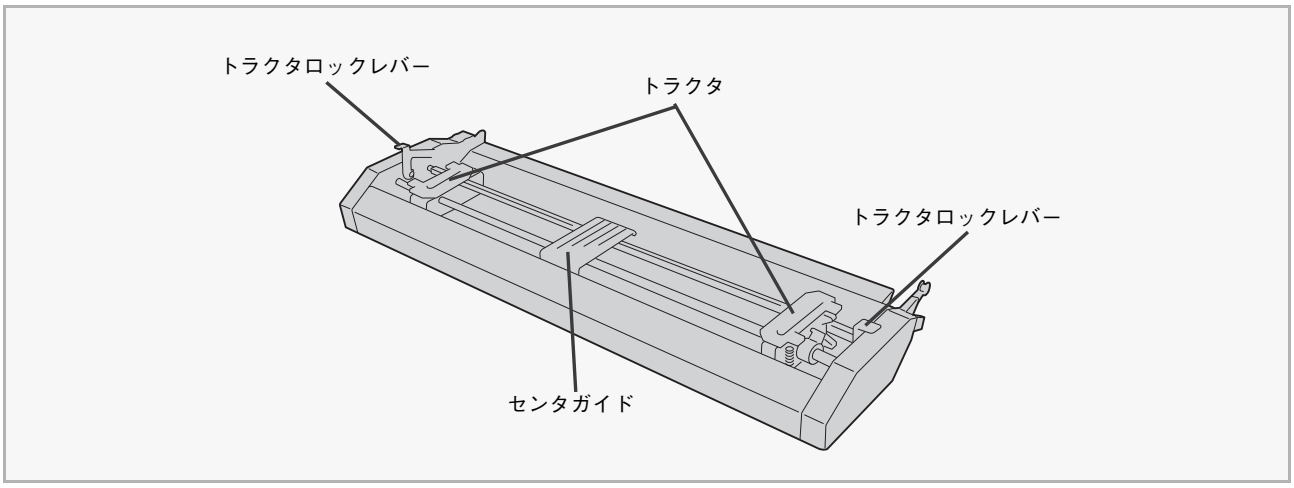
吸入/退避

リアトラクタフィーダ

ここでは、PR-D700XE-03リアトラクタフィーダのプリンタへの取り付け・取り外しと、用紙のセット方法について説明します。
取り付ける前に、リアトラクタフィーダの各部の名称を確認してください。



プリンタにリアトラクタフィーダを取り付けた状態



リアトラクタフィーダの取り付け

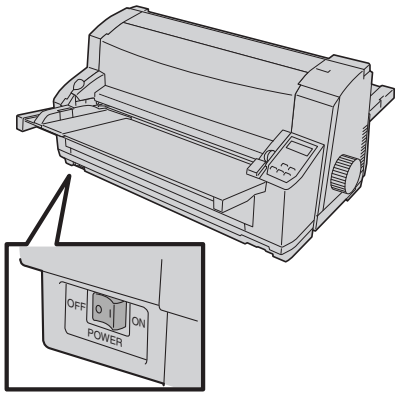
リアトラクタフィーダは次の手順でプリンタの背面に取り付けます。

1　印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を一時退避させるか、連続紙を取り除く。

シートガイドに用紙がセットされているときは、用紙を取り除いてください。

連続紙のカット、一時退避については「カット紙と連続紙の切り替え」（38ページ）をご覧ください。

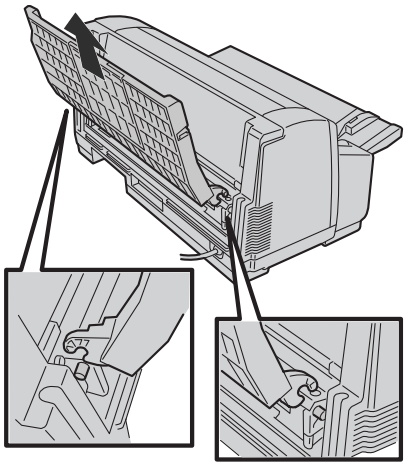
2　プリンタの電源スイッチをOFFにする。



チェック

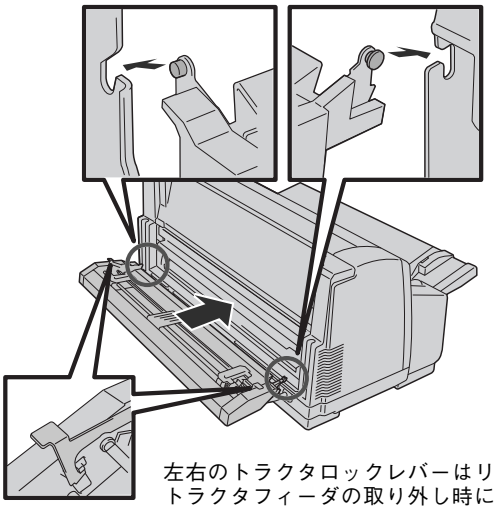
プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り付けると故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。

3　スタッカを取り外す。

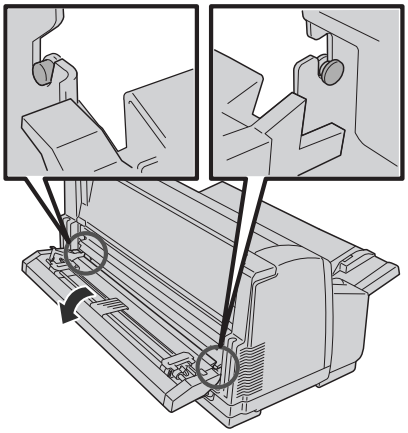


4　リアトラクタフィーダを取り付ける。

左右の突起をプリンタ内の切り欠きに入れ、下ろします。



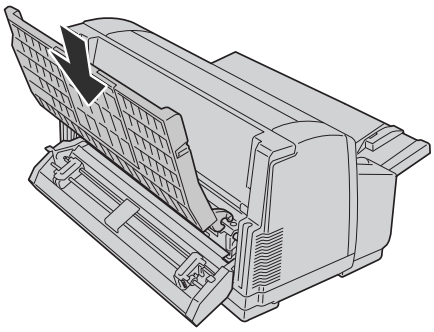
左右のトラクタロックレバーはリアトラクタフィーダの取り外し時に使用します。



左右の突起をプリンタ内の切り欠きに入れ、ロックがかかるまで下ろします。

5　スタッカを取り付ける。

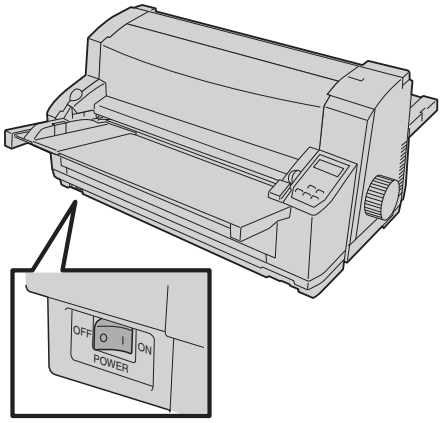
これでリアトラクタフィーダの取り付けは完了です。



リアトラクタフィーダへの連続紙のセットと吸入

リアトラクタフィーダにセットできる連続紙は、本プリンタに添付のフロントトラクタフィーダにセットできる連続紙と同じです。詳しくは付録の「用紙の規格」（135ページ）をご覧ください。

1　プリンタの電源スイッチをONにする。

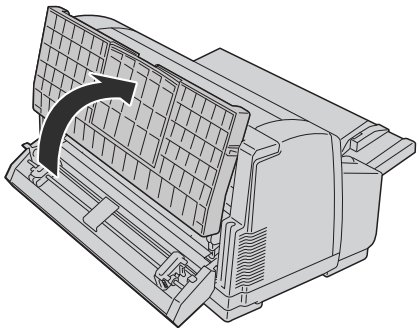


2　ディスプレイの下段に“リアトラクタフィーダ゛”と表示されるまで［用紙選択］スイッチを押す。

用紙選択

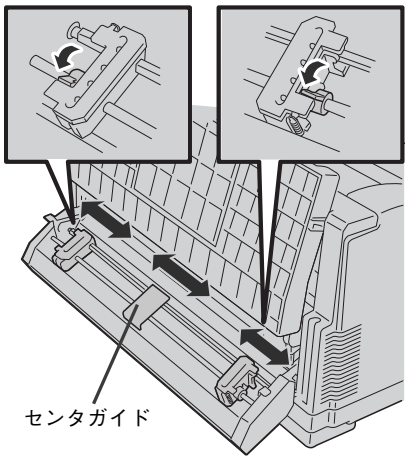
ヨ	ウ	シ		セ	ン	タ	ク							
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛					

3　スタッカを上げる。

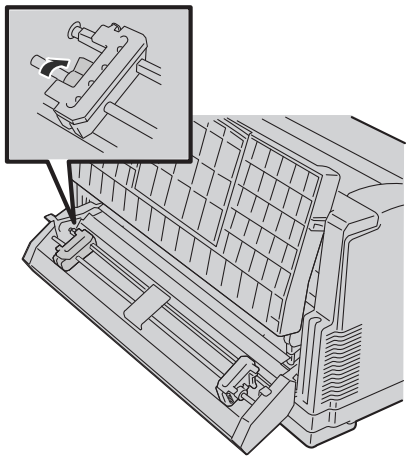


4　左右のトラクタのロックレバーを手前に倒し、連続紙の幅に合わせる。

センタガイドは両トラクタの中央に位置するように移動させます。

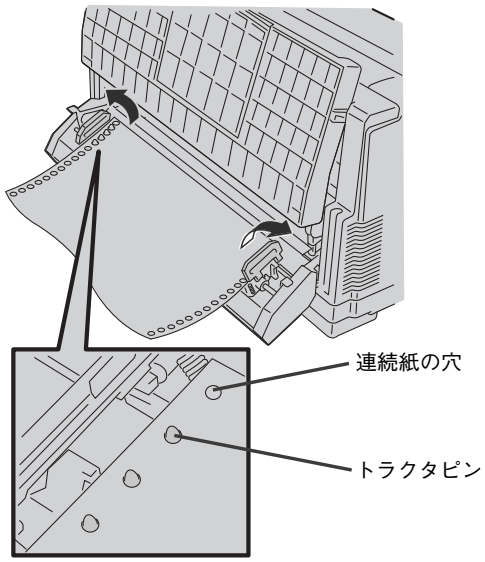


5　左のトラクタのロックレバーを上げてロックする。



6 左右のトラクタカバーを開け、連続紙を印刷する面を上にしてセットする。

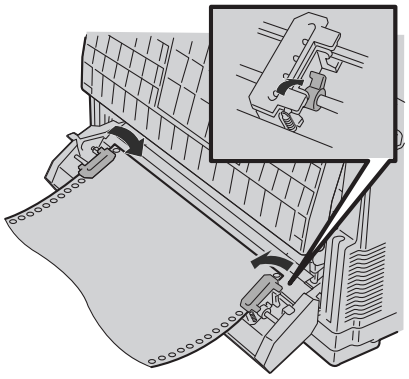
連続紙は、左右の穴とトラクタピンとの位置がずれないように注意して、トラクタピンにはめ込んでください。



チェック

連続紙の穴を破らないように注意してください。穴が破れたまま用紙をセットすると正しく給紙されないおそれがあります。

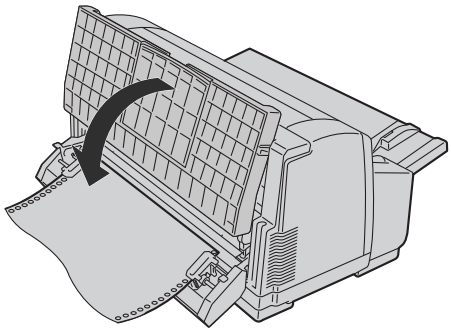
7 左右のトラクタカバーを閉めたら、右のトラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを上げてロックする。



チェック

このとき連続紙の引き過ぎやたるみがないように注意してください。紙送りが正しく行われないおそれがあります。

8 スタッカを下ろす。

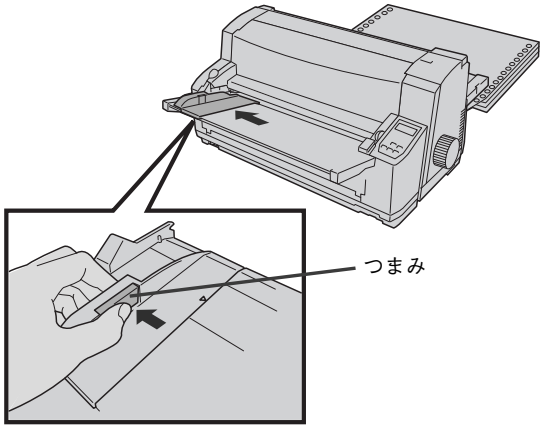


チェック

スタッカは用紙搬送のガイドも兼ねますので、必ず下ろした状態で使用してください。

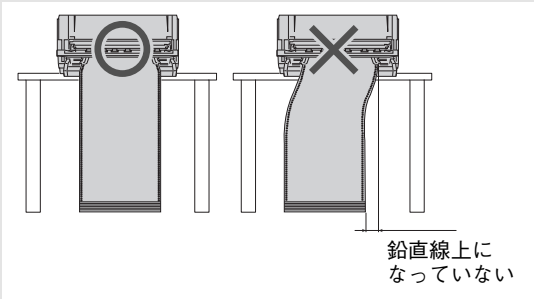
9 ペーパガイドを左側へスライドさせる。

ペーパガイドは図のようにつまみを押して移動させてください。



チェック

セットする連続紙のストック分は、セット位置に対して鉛直線上でプリンタ本体と平行にしてください。



10 **［吸入/退避］スイッチを押す。**

連続紙が吸入されれば、用紙ランプが消灯して印刷可ランプが点灯し、セレクト状態（印刷可能な状態）になります。

これで、リアトラクタフィーダへの連続紙のセット・吸入が完了しました。印刷するデータをプリンタが受信すれば、連続紙への印刷が開始されます。

吸入/退避

セ	レ	ク	ト					ヒ	ョ	ウ	シ゛		ュ	ン
リ	ア	ト	ラ	ク	タ	フ	ィ	ー	タ゛					

チェック

プラテンノブを回して用紙吸入位置を調整しないでください。用紙吸入位置を調整する場合は、「用紙吸入位置の微調整」（47 ページ）をご覧ください。

フロントトラクタフィーダとリアトラクタフィーダの切り替え印刷

［用紙選択］スイッチを押して、ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”または“リアトラクタフィーダ”と表示させることで、プリンタに標準装備のフロントトラクタフィーダとオプションのリアトラクタフィーダを切り替えて印刷することができます。

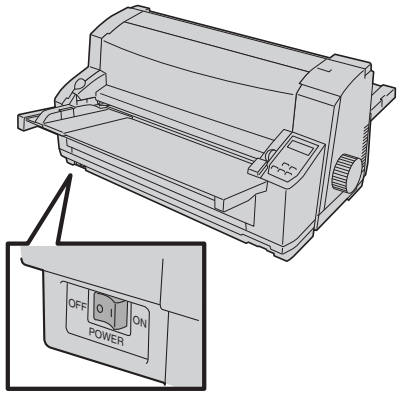
リアトラクタフィーダの取り外し

次の手順でリアトラクタフィーダを取り外します。

1 **印刷終了後の連続紙が残っている場合は、連続紙をカットし、［吸入/退避］スイッチを押して連続紙を取り除く。**

吸入/退避

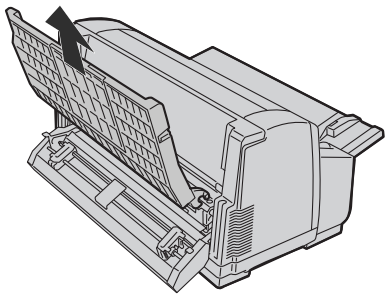
2 **プリンタの電源スイッチをOFFにする。**



チェック

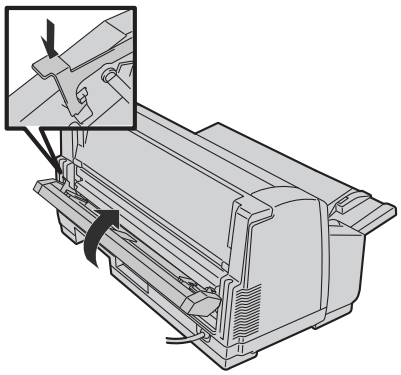
プリンタの電源スイッチをONにしたまま取り外すと故障の原因となることがあります。OFFになっていることを確認してください。

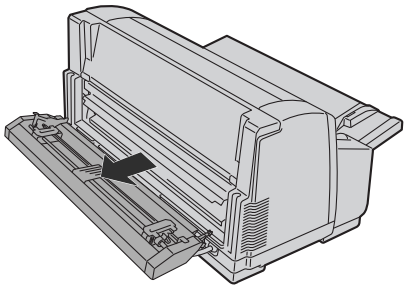
3 **スタッカを取り外す。**



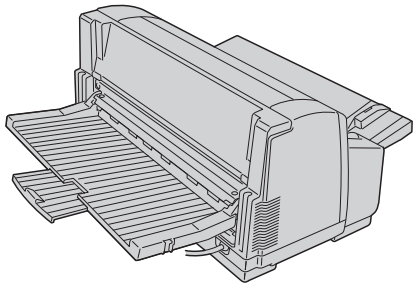
4 **リアトラクタフィーダを取り外す。**

リアトラクタフィーダの左右のトラクタロックレバーを押しながら持ち上げ、手前に移動します。





5 **スタッカを取り付ける。**



6章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンタの清掃について説明します。清掃は、MultiImpact 700シリーズを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

インクリボンカートリッジの交換

インクリボンカートリッジの交換は次の手順で行います。

重要

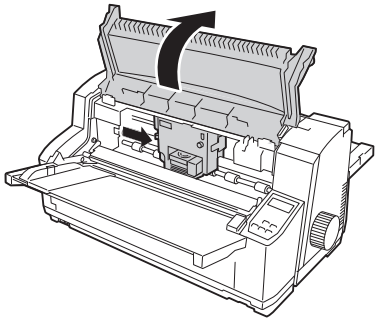
- 本プリンタは、NEC純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンタ本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンタ本来の性能を発揮できない場合がありますのでNEC純正消耗品のご使用をお勧めします。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用が原因で不具合や故障が発生した場合は、無償保証期間内や保守契約期間内であっても有償修理（特別料金）となりますのでご注意ください。
- 非純正のインクリボン／インクリボンカートリッジの使用による印刷品質や、プリンタ性能の保証はいたしません。
  また、プリンタの印刷品質／動作保証／寿命／印刷ヘッドの保証もいたしません。

注意 長時間印刷を続けた後は、印刷ヘッドが高温になっているため、すぐに手を触れると火傷のおそれがあります。十分に温度が下がってから作業するようにしてください。

1 プリンタの電源スイッチがONになっていることを確認する。

2 トップカバーを開ける。

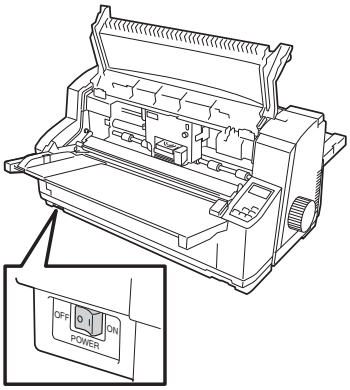
中央に印刷ヘッドとカードホルダが移動します。



⚠注意

印刷ヘッドとカードホルダが移動し終わるまでは、プリンタ内部には手を入れないでください。けがをするおそれがあります。

3 トップカバーを開けたまま、プリンタの電源スイッチをOFFにする。

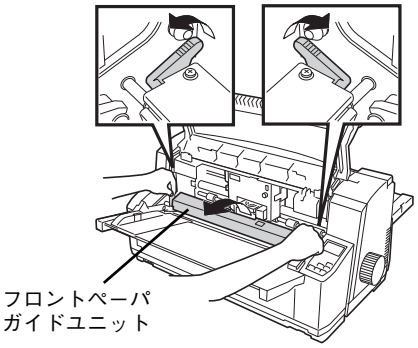


⚠注意

必ずプリンタの電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたままインクリボンカートリッジを取り付けると、プリンタが突然動作して、けがをするおそれがあります。

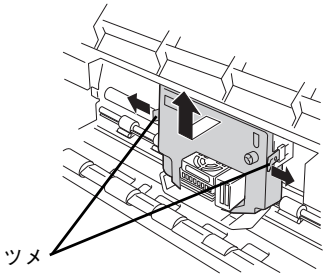
4 フロントペーパガイドユニットを開ける。

左右の緑色のレバーを引きながら、手前に回します。

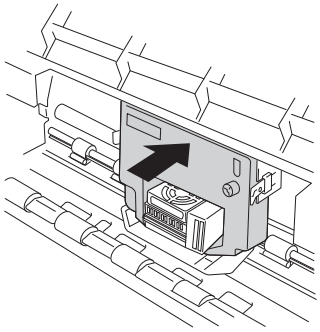


5 インクリボンカートリッジを取り外す。

カートリッジホルダの左右にあるツメを軽く開きながら、使い終わったインクリボンカートリッジを手前に取り出し、真上に取り外します。



6 20 ページの手順 5 以降の手順で新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。



7 テスト印刷をする。

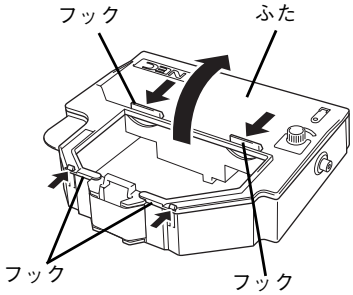
「テスト印刷をする」（22ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

これでインクリボンカートリッジの交換は終了です。

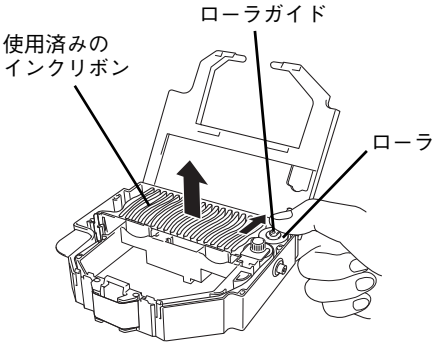
インクリボンの交換方法

MultiImpact 700シリーズで使用できるインクリボンカートリッジは中のインクリボンを交換できます。モノクロ用のカセットとカラー用のカセットはそれぞれ専用のインクリボンを使用します。交換の前にカセットに合ったインクリボンかどうかをご確認ください（「消耗品」（13ページ）参照）。

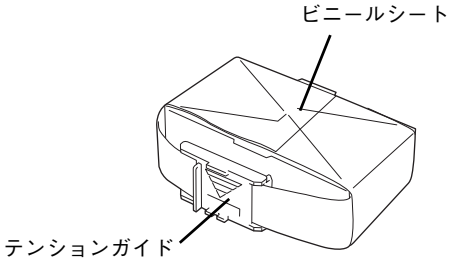
1　インクリボンカートリッジのフック4か所を外してふたを開ける。



2　ローラガイド（グレーの部分）の上下を指で押さえ、「カチッ」と音がするまで矢印方向にスライドさせてロックする。使用済みのインクリボンをインクリボンカートリッジから抜き出す。

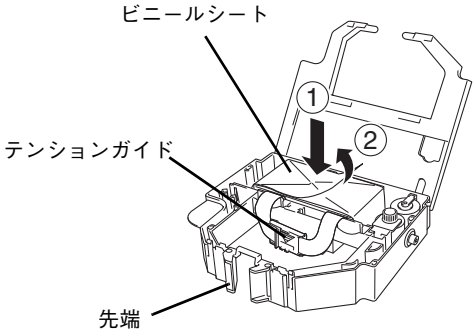


3　新しいインクリボンをビニール袋から取り出し、テンションガイドを引き出す。

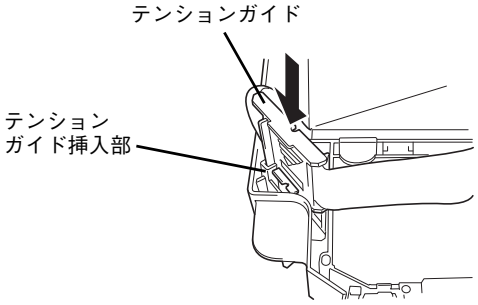


4　インクリボンのテンションガイドをインクリボンカートリッジの先端に向けて、インクリボンをインクリボンカートリッジに入れる。

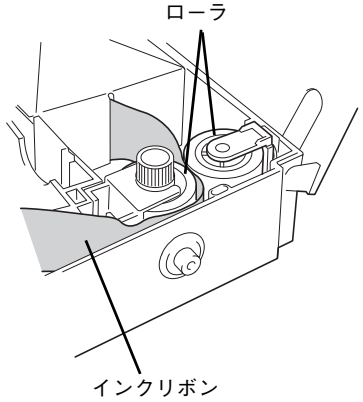
①インクリボンを押さえながら、②ビニールシートを矢印方向に静かに抜き取る。



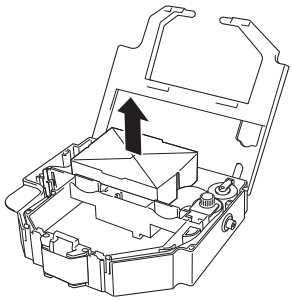
5　テンションガイドをテンションガイド挿入部に入れる。



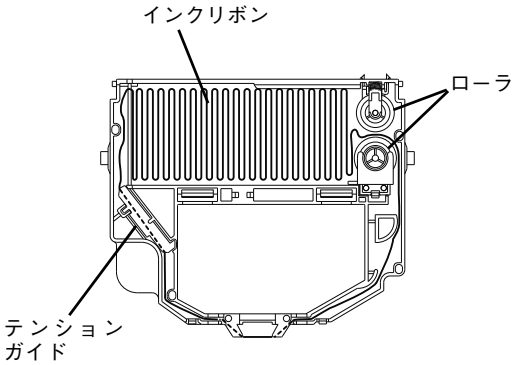
6　ローラの間にインクリボンを底まで確実に入れる。



7 **インクリボンを入れた箱の中央部を押し、インクリボンが完全に押し出されたことを確認しながら、箱を静かに取り除く。**

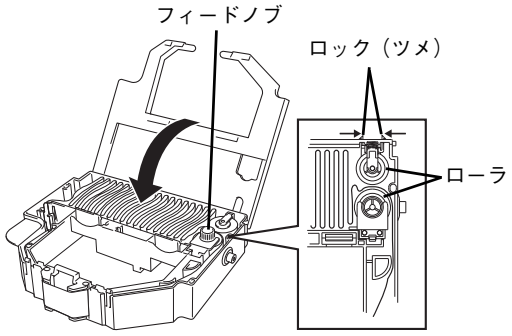


インクリボンの経路は次のとおりです。きちんとセットされていることを確認してください。



8 **ローラのロック（ツメ）を解除し、インクリボンカートリッジのふたを閉め、フィードノブをふたに表示されている矢印方向に回してインクリボンのたるみをなくす。**

必ずロックを解除してフタを閉めてください。フィードノブがスムーズに動くことを確認してください。



9 **使用回数ラベルの詰替回数欄に×印を記入する。**

インクリボンカートリッジに対するインクリボンの交換回数は2回までです。

使用上の注意	1	2
	×	

プリンタの清掃

プリンタをいつまでもきれいな状態で使っていただくために、プリンタの外まわりを定期的に乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、つぎのような方法できれいにしてください。

⚠注意　プリンタを絶対に分解しないでください。感電などの事故の原因となり危険です。

1 **電源をOFFにし、電源コードをコンセントから外す。**

2 **シートガイドとスタッカを取り外す。**

3 **無水エタノールまたはOAクリーナー等を柔らかい布にふくませ、プリンタの汚れた部分を清掃してください。**

チェック

- シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤は使わないでください。材質をいためたり、変色の原因になることがあります。
- コンセント、ケーブル、およびプリンタ内部は絶対に水などでぬらさないようにしてください。内部にゴミや異物があるときは、掃除機で吸い取ってください。

7章
故障かな？と思ったときは

ここでは、プリンタにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作パネル上のアラームランプと用紙ランプが点灯または点滅しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」（118ページ）の表をご覧になりながら、処置してください。
エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（120ページ）の表をご覧になりながら処置してください。

処置が終わりましたら、必要に応じ、「テスト印刷をする」（22ページ）に従ってプリンタが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンタが回復しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンタに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであればディスプレイの表示からその原因を知ることができます。本プリンタのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンタの故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

また、ディスプレイにエラー表示が出ていないのに印刷できない場合は、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（120ページ）を参照してください。

エラー表示一覧（アイウエオ順）（1 / 2）

ディスプレイ表示	アラームの内容 （ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
カバ゛ー　オープ゜ン カバ゛ーヲトジ゛テクダ゛サイ	トップカバーが開いている （印刷可（赤）ランプが点滅）	トップカバーが開いています。 → トップカバーを閉じてください。
テ゛ータカ゛　ノコッテイマス インサツカニ　シテクダ゛サイ	印刷されていないデータが残っている （印刷可（緑）ランプが点滅）	まだ印刷されていないデータが残っている状態で、ディセレクト（印刷不可）状態になっています。 →［印刷可］スイッチを押してセレクト状態にして残りのデータを印刷してください。
テ゛ータカ゛　ノコッテイマス ヨウシヲ　セット　シテクダ゛サイ		まだ印刷されていないデータが残っている状態で、用紙がセットされていません。 → 用紙をセットして残りのデータを印刷してください。
ヘッド゛コウオン シバ゛ラクオマチクダ゛サイ	印刷ヘッドが高温になっている （印刷可（赤）ランプ、高速印刷ランプが点滅）	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。
ヘッド゛コウオン ソクト゛ダ゛ウンインサツチュウ	印刷ヘッドが高温になっている	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → さらに印刷を続けると“ヘッド゛コウオン　シバ゛ラクオマチクダ゛サイ”とディスプレイに表示され約6秒間印刷が中断されます。自動的に印刷を再開します。
ヘッド゛コウオン ヒエルマテ゛オマチクダ゛サイ	印刷ヘッドが非常に高温になっている （印刷可（赤）ランプ、高速印刷ランプが点滅）	印刷ヘッドの温度が高くなっています。 → 一時印刷が中断されます。印刷ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシ　タイヒ　エラー	用紙切り替え時のアラームが発生している	用紙切り替え動作中に、連続紙の退避が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（124ページ）を参照してください。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシ　ハイシュツ　エラー		用紙切り替え動作中に、用紙の排出が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（124ページ）を参照してください。
ヨウシ　キリカエチュウ ヨウシヲ　トッテ　クダ゛サイ		用紙切り替え動作中に、排出された用紙がシートガイドに残ったままです。 → シートガイドに排出された用紙を取り除いてください。
ヨウシ　タイヒ　エラー	連続紙の退避が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	連続紙の退避が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（124ページ）を参照してください。
ヨウシ　ツ゛マリ	用紙吸入が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	用紙の吸入が正しく行われませんでした。紙づまりの発生、または用紙サイズが違っています。 → 紙づまりの場合：「紙づまりの処理」（124ページ）を参照してください。 用紙サイズが違う場合：規定のサイズの用紙または、設定に合った用紙をセットしてください。
		フロントペーパーガイドが閉じられていません。 → カチッと音がするまでフロントペーパーガイドを押し、きちんと閉じてください。

エラー表示一覧（アイウエオ順）（２ / ２）

ディスプレイ表示	アラームの内容 （ランプの状態）	アラームの詳細と処置方法
ヨウシ　ハイシュツ　エラー	用紙の排出が正しく行われていない （用紙ランプ、印刷可（赤）ランプが点滅）	用紙の排出が正しく行われませんでした。 → 紙づまりが発生した場合は「紙づまりの処理」（124ページ）を参照してください。
ヨウシヲ　セット　シテクダ゛サイ	用紙なし （用紙ランプ点灯）	用紙がセットされていません。 → 用紙をセットしてください。
		直射日光などの強い光がセンサに当たって誤検出しています。 → プリンタを強い光が当たらない場所に移動してください。
ヨウシヲ　トッテ　クダ゛サイ	排出されたカット紙がシートガイドに残っている （用紙ランプが点滅）	排出された用紙がシートガイドに残ったままです。 → シートガイドに排出された用紙を取り除いてください。

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンタが思うように動作しなかったり印刷の状態が良くなかったりしたときは、次の表でプリンタの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンタの症状一覧（1 / 4）

症　状	確認と処置
電源ランプが点灯しない。	電源コードがコンセントから抜けていませんか。 → 電源をOFFにしてから、電源コードのプラグを確実に差し込んでください。
	プリンタの電源スイッチがOFFになっていませんか。 → プリンタの電源スイッチをONにしてください。
	コンセントに電気がきていますか。 → コンセントにスイッチがある場合は、そのスイッチをONにしてください。（スイッチがないときは、他の電気製品の電源プラグを差し込んで動作するかどうかを確認してください。）
電源ランプがいったん点灯した後消灯してしまい、再度電源スイッチをONにしても点灯しない。	コンセントとプリンタの電圧が違っていませんか。 → プリンタ背面のラベルに印刷されている電圧とコンセントの電圧を確認してください。万一違う電圧を使用した場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。
印刷動作をしない。	印刷動作をしない。印刷可ランプが消灯していませんか。 →［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを点灯させてください。
	用紙ランプが点灯していませんか。 → 用紙を正しくセット・吸入して［印刷可］スイッチを押してください。
	プリンタケーブルが外れていませんか。 → プリンタとコンピュータをプリンタケーブルで正しく接続してください。
電源スイッチをONにすると、一瞬印刷音がする。	印刷ヘッドの予備動作音であり、故障ではありません。
印刷音はしているのに印刷されない。	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。
印刷速度が急に遅くなった。	長時間印刷を続けていませんか。 → 印刷ヘッドが高温になったため、両方向最短印刷から片方向印刷に切り替えています。印刷ヘッドの温度が下がれば元の印刷速度に戻りますので、しばらくお待ちください。
	紙厚の厚い用紙を使っていませんか（複写紙の場合は総紙厚）。 → 約0.12mmを超えている紙厚の用紙を使用している場合は、少し印刷速度が遅くなります。
	長時間印刷のあと、紙厚の違う用紙に変えていませんか。 → 用紙を退避した状態でプリンタの電源を入れ直してください。
印刷が欠ける。	インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。 → 正しく取り付け直してください。
	インクリボンがたるんだり、印刷ヘッドから外れかけたりしていませんか。 → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。
	インクリボンカートリッジの内部でインクリボンがねじれていませんか。 → インクリボンのねじれを直すか、新しいインクリボンに交換してください。
印刷が横一列に欠ける。	印刷ヘッドのピンが折れています。お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

プリンタの症状一覧（2 / 4）

症　状	確認と処置
左右端の文字が印刷されない。	印刷範囲より狭い用紙に印刷を行いませんでしたか。 → 印刷範囲に合った用紙をセットし直してください。*1 用紙先端の切り残しや切りすぎがありませんか。 → 用紙先端はミシン目に沿ってきれいに切ってください。
印刷が薄い。	インクリボンのインクが薄くなったり、波を打つような状態になっていませんか。 → 新しいインクリボンカートリッジと交換してください。
シートガイドから吸入されない。	用紙はしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙をしっかりと差し込んでください。
	ディスプレイに“シートガイド”と表示されていますか。 →［用紙選択］スイッチを何回か押してディスプレイに“シートガイド”と表示させてください。
シートガイドから曲がって吸入される。	用紙は水平にしっかりと差し込まれていますか。 → 突き当たる感じがするまで、用紙を水平にしっかりと差し込んでください。
	ペーパガイドの位置は正しいですか。 → ペーパガイドを正しくセットしてください。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格」（135ページ）と「印刷範囲」（140ページ）参照）。
シートフィーダ使用時、カット紙が吸入されない。	ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されていますか。 →［用紙選択］スイッチを何回か押してディスプレイに“シートフィーダ”と表示させてください。
	用紙が正しくセットされていますか。 → 用紙をセットし直してください。
シートフィーダ使用時、カット紙がうまく送れない。	セットする用紙が多すぎませんか。 → セットする枚数を減らしてください。ホッパに一度にセットできるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m^2（連量55kg）の用紙の場合、最高280枚です。封筒は最高25枚です。
	スタッカに用紙がたまりすぎていませんか。 → スタッカの印刷済み用紙を取り除いてください。スタッカ部に一度に積み重ねることができるカット紙の枚数は、坪量64.0g/m^2（連量55kg）の用紙で100枚以下です。
	用紙に折り目やしわがありませんか。 → 新しい用紙を使用してください。古くなった用紙や折り目がついた用紙は使用しないでください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格」（135ページ）と「印刷範囲」（140ページ）参照）。
連続紙が吸入されない。	用紙がトラクタから外れていませんか。 → 用紙をトラクタに正しくセットしてください。
	ディスプレイに“フロントトラクタ”または“リアトラクタ”と表示されていますか。 →［用紙選択］スイッチを何回か押して、ディスプレイに“フロントトラクタ”または“リアトラクタ”と表示させてください。

*1　MSW4-1 が OFF の場合、用紙上の印刷範囲外の印刷は自動的にカットされます。

プリンタの症状一覧（3 / 4）

症　状	確認と処置
連続紙が曲がって吸入される、またはプリンタの中で引っかかってしまう。	用紙の穴がトラクタピンに正しくかみ合っていますか。左右でずれていませんか。 → 用紙の穴をトラクタピンに正しくかみ合うようにセットし直してください。
	左右のトラクタの間隔が狭いために用紙がたるんでいませんか。 → 左右どちらかのトラクタを動かして、用紙のたるみをとってください。
	セットした用紙のストック分は正しい位置に置かれていますか。 → 用紙のストック分は連続紙セット位置に対して鉛直線上に、プリンタ本体と平行になるように置いてください。
	用紙のストック分を置いてある位置がプリンタから遠すぎませんか。 → 用紙のストック分はプリンタから1m以内に置いてください。
	用紙が何かに引っかかっていませんか。 → 用紙が引っかかっているものを取り除いてください。
	用紙は規格に合っていますか。 → 規格内の用紙を使用してください（付録の「用紙の規格」（135ページ）と「印刷範囲」（140ページ）参照）。
	改ページ動作の時だけ用紙がひっかかっていませんか。 → 改頁実行時のセンタリング動作（MSW3-6）をONに切り替えてお試しください。
ミシン目スキップがずれてしまう。	用紙長の設定が使用している用紙の用紙長に合っていますか。 → 連続紙の用紙長を正しく設定してください（「メニューモード」（57ページ）またはソフトウェアマニュアル参照）。
用紙の吸入量が大きい。	印刷ヘッドのセンタリング位置と用紙のセット位置は合っていますか。 → 使用している用紙に合わせて印刷ヘッドのセンタリング位置を変更してください（「スペシャルメニューモード」（68ページ）参照）。
印刷の途中で排出してしまう。	用紙長の設定が使用している用紙の長さに合っていますか。 → 用紙長を正しく設定してください（「メニューモード」（57ページ）またはソフトウェアマニュアル参照）。 → 用紙切れ判断の切り替え（MSW5-5）をONに切り替えてお試しください。
	プラテンノブを回して用紙を吸入していませんか。 →［吸入/退避］スイッチを押して用紙を吸入してください。
用紙が詰まる。 用紙が斜めに吸入される。 用紙が重なって吸入される。	規格外の用紙を使用すると発生することがあります。用紙は規格外ではありませんか。 → 例えば、用紙のとじ方、用紙の厚さ、複写枚数、横ミシン目部の盛り上がり高さ等が規格内であるかご確認ください。尚、綴り伝票から一部ずつ剥がしたり、連帳用紙をミシン目で切り取って使用することはできません（付録の「用紙の規格」（135ページ）と「用紙設計に関する注意事項」（145ページ）参照）。
	用紙の取り扱いにより発生することがあります。 → シートフィーダをお使いの場合は用紙をさばいてからお使いください。封筒をお使いの場合はフラップの位置を間違わないようにお使いください。連続紙の置き方はプリンタに適正に置いてください。（付録の「用紙の規格」（135ページ）と「用紙設計に関する注意事項」（145ページ）参照）。

プリンタの症状一覧（4 / 4）

症　状	確認と処置
印刷した文字が薄い。 複写紙の2枚目以降が薄い。 用紙の表面が汚れる。	用紙の厚さに合っていないマニュアル設定をしていませんか。 → 用紙厚調整はオートでご使用ください。マニュアル設定が必要な場合は用紙の厚さにあった適正な値を設定してください（「メニューモード」（57ページ）参照）。
印刷位置が用紙送り方向にずれる。 プレプリントに対して印刷位置がずれる。 用紙カット位置がずれる。	使用する用紙長とアプリケーションで設定した用紙長が合っていないと発生することがあります。 → 用紙長を合わせてお使いください（「メニューモード」（57ページ）参照）。
	用紙吸入位置は合っていますか。 → 用紙に合わせて用紙吸入位置の微調整を行ってください（「メニューモード」（57ページ）参照）。
ネットワーク環境で印刷できない IPが設定できない。	ＩＰが正しく設定されているか確認してください。 → 例えば、IP アドレスが重なっていないか、ネットワークの番号帯（セグメント）が一致しているか確認してください（「ネットワーク設定モード」（83ページ）またはプリントサーバのオンラインマニュアル参照）。
右側（又は左側）が印刷されない。	用紙先端に用紙の切り過ぎや切り残し、パンチ穴、濃い色の太文字や塗り潰しの記号がないか確認してください。それらがありますと、その部分を用紙の端と認識するため用紙の右側（又は左側）が印刷されません。 → 用紙をカットする場合はミシン目部に沿って丁寧にカットしてください。また、パンチ穴、濃い色の太文字や記号の変更ができない場合はメモリスイッチMSW4-1をONにしてお試しください（「メニューモード」（57ページ）参照）。 → 用紙障害が発生しやすい用紙（規格外）の一覧をご確認ください（付録の「用紙設計に関する注意事項」（145ページ）参照）。
文字の上下の一部が印刷されない。	インクリボン取り付け時にリボン布が折れて取り付けられると発生することがあります。 → インクリボンカートリッジを正しく取り付け直してください。（インクリボンの箱に記載した「取り付け時の注意」もしくは「インクリボンカートリッジの交換」（113ページ）参照）
印刷が欠ける用紙が詰まる。 リボンに穴があく。	用紙以外のところに印刷すると発生することがあります。 → 用紙がないところ、用紙の厚さが変わるところ、パンチ穴、ミシン目には絶対に印刷をしないでください（付録の「用紙設計に関する注意事項」（145ページ）参照）。
電源投入時にビビッと音がする。 印刷中にヒューンヒューンと音がする。 印刷停止中にファンの音がする。	いずれも正常な稼働音であり、故障ではありません
シートフィーダが外れない	シートフィーダが外れない場合は、「シートフィーダが外れないとき」（104ページ）を参照して取り外してください。

以上のことを確認して、それぞれの処置を行っても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

紙づまりの処理

紙づまりの発生が考えられる場所はシートガイドの用紙吸入部と、フロントペーパガイドユニットの部分です。

⚠注意

- 用紙がプリンタ内部につまったときは、必ず電源をOFFにして電源コードのプラグをコンセントから抜いてから、つまった用紙を取り除いてください。電源がONのまま装置内部に手を入れると、プリンタが突然動作してけがをするおそれがあります。
- 電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると、コードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

用紙がプラテンやその周囲につまって取り除けない場合は、つまった用紙を無理に引っ張ったりせず、次の手順に従って用紙を取り除くようにしてください。

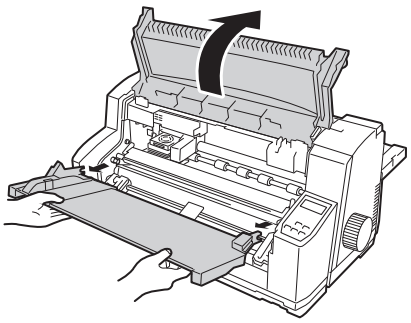
1　プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードのプラグをコンセントから抜く。

チェック

印刷途中の場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにすると、送ったデータが消失します。つまった用紙を取り除いた後、再度データを送り直してください。

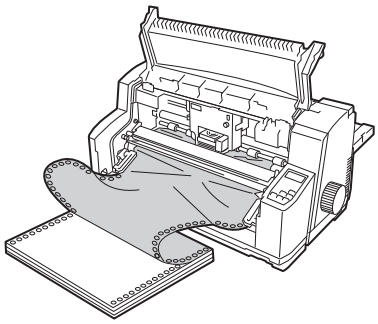
2　トップカバーを開ける。

3　シートガイドを取り外す。



4　つまった用紙を取り除く。

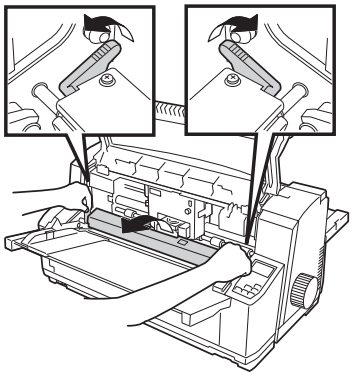
軽く引いても用紙が取り除けないときは、次の方法で取り除きます。



⚠注意

長時間印刷を続けた直後は、印刷ヘッドおよび装置内部が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから用紙を取り除いてください。

1）フロントペーパガイドユニットを開ける。



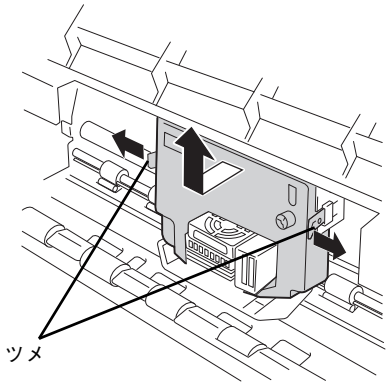
2）インクリボンカートリッジを取り外す。

中央にインクリボンカートリッジが無い場合は、印刷ヘッドをインクリボンカートリッジごと手で中央へ移動します。

チェック

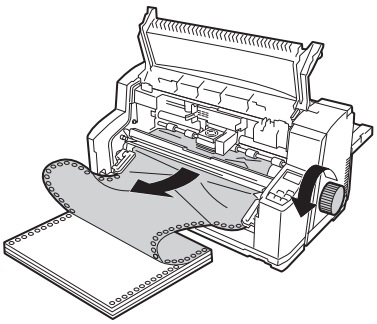
インクリボンカートリッジがつまった用紙に引っ掛かり中央へ移動しない場合は、無理に移動させたり取り外したりしないでください。

カートリッジホルダの左右にあるツメを軽く開きながら、インクリボンカートリッジを手前に取り出し、真上に取り外します。



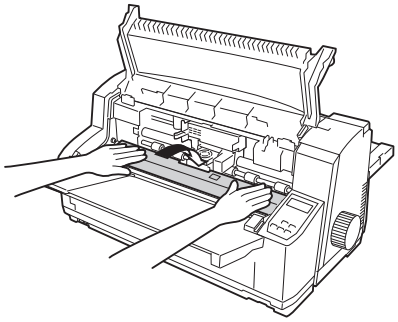
3）プラテンノブを回しながら用紙を取り除く。

用紙が取り除けたら、プラテンの周囲やプリンタ内部に用紙の切れ端などが残っていないことを確認してください。



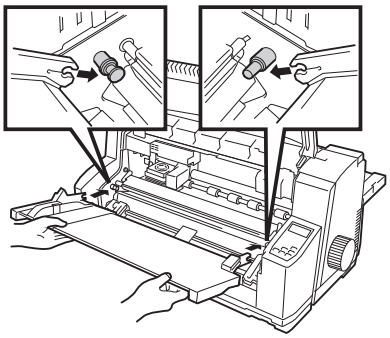
4）インクリボンカートリッジを取り付け、フロントペーパガイドユニットを閉める。

開けたままでは用紙を送ることはできません。



5　シートガイドを取り付ける。

プリンタ本体の左右のスタッド（突起）にシートガイドを取り付けます。



6　トップカバーを閉める。

保証および修理の依頼について

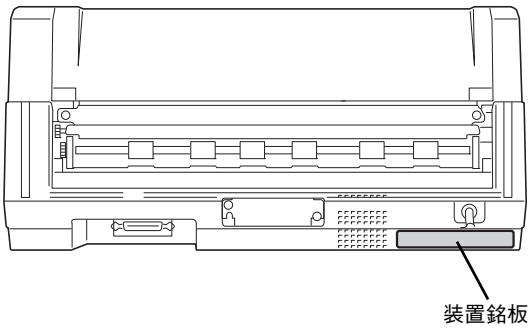
保証について

MultiImpact 700シリーズには『保証書』が付いてます。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、MultiImpact 700シリーズをお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

チェック

本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせの際にこの内容をお伝えください。また装置銘版の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されていることを確認する。

② インクリボンカートリッジの取り付けが確実に行われていることを確認する。

③「エラー表示が出ているときは」（118ページ）、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（120ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行う。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。なお、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し出ください。

チェック

- 電話をする際、液晶ディスプレイの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の液晶ディスプレイの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンタをお持ち込みいただくときは「プリンタを運搬するときは」（129ページ）の手順に従ってプリンタを梱包してください。

プリンタの寿命について

本プリンタの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。

有寿命部品（有償）について

プリンタの機能・性能を維持するために交換＊1を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の推奨交換周期（交換の目安）＊2は、印刷ドット数によって設定されています。
本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次のとおりです。

プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊2
印刷ヘッド	3億ドット/ピン

オプションのシートフィーダ用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊3
ラバーホルダL ASSY	給紙機能・性能が維持できなくなり始めた場合

＊1　有寿命部品（有償）の交換は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口に依頼してください。
＊2　NEC 純正インクリボンを使用し、15×11 インチ用紙（坪量 64g/m^2 の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。
お客様がドット / ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：漢字 5000 万字、NHS パイカ 10000 万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷
＊3　給紙動作を繰り返すことで摩耗劣化する部品が使用されています。
この部品のゴムダンパ部分の厚みが規定値以下になると、用紙吸入ミスや重送、ピックミスなどが発生しやすくなります。このような状況になった場合、もしくは目立ち始めたときが交換時期となります。
お客様のご使用になる用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

補修用性能部品について

本プリンタの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWebページ	NECコーポレートサイト（http://jpn.nec.com/）

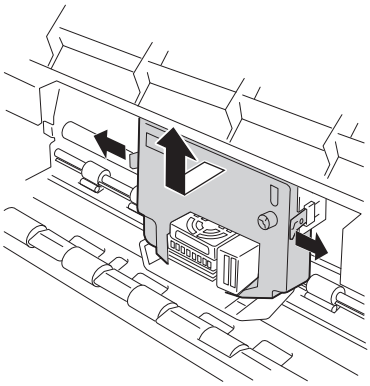
プリンタを運搬するときは

本プリンタを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、運搬時の衝撃からプリンタを守るために、お買い上げ時にプリンタを梱包していた包装材を使い梱包してください。

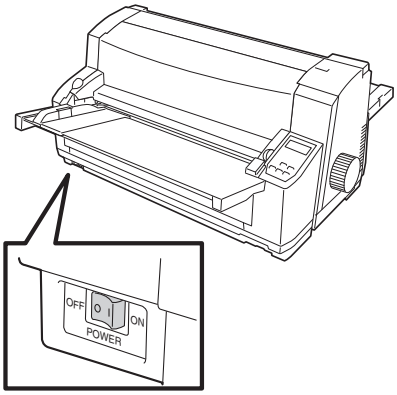
⚠注意　MultiImpact 700シリーズは本体だけで約23kgあります。一人で持つと腰を痛めることがありますので、運搬するときは二人でプリンタ本体の下を持つようにしてください。プリンタ背面部の排紙ユニット部は持たないでください。

1　**インクリボンカートリッジを取り外す。**

「インクリボンカートリッジの交換」（113ページ）を参照してください。

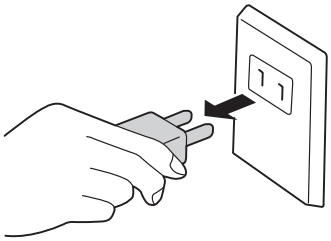


2　**プリンタの電源スイッチをOFFにする。**

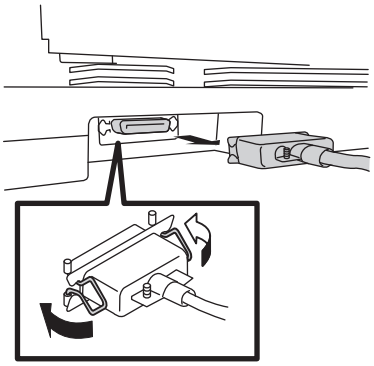


3　**電源コードのプラグをコンセントから抜く。**

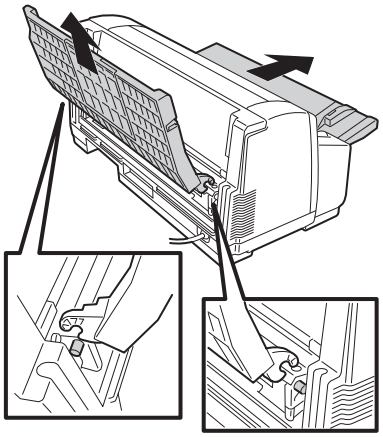
抜くときは、プラグを持って電源コードを抜いてください。



4　**プリンタケーブルを取り外す。**



5　**シートガイドとスタッカを取り外す。**



6　**オプションを外す。**

オプションを取り付けていれば、取り外してください。取り外し方は5章「オプション」（88ページ）をご覧ください。

7　**梱包する。**

カートリッジホルダに印刷ヘッドを保護していた段ボールのパッドと、梱包材を取り付けてプリンタおよび付属品を箱に入れます。

これでプリンタを運搬する準備ができました。

プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

プリンタの廃棄について

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

使用済みのインクリボンカートリッジ、インクリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。
詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

- 使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。
  使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

付録

仕様

- 印刷方式　インパクトドットマトリックス方式
- 印刷ヘッドワイヤ数　24本（縦ピッチ　1/160インチ）
- 印刷ヘッドワイヤ径　φ0.2mm
- 解像度　約6.3 ドット/mm（160DPI）
- 印刷桁数と印刷速度

文　字　種				印刷桁数／行	700XE/700XEN		700JE/700JEN	
					印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2	印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2
ANK（英数カナ）	パイカ	HS	NHS	136字	389字	389字	269字	269字
		HD		136字	195字	389字	135字	269字
	コンデンス			233字	441字	441字	308字	308字
	エリート			163字	207字	415字	143字	286字
	プロポーショナル			最大362	207～519字	415～1,037字	144～359字	287～718字
CG グラフィック	パイカ	HS	NHS	136字	389字	389字	269字	269字
		HD		136字	195字	389字	135字	269字
	コンデンス			233字	441字	441字	308字	308字
	エリート			163字	207字	415字	143字	286字
	プロポーショナル			136字	195字	389字	135字	269字

文　字　種			印刷桁数／行	700XE/700XEN		700JE/700JEN	
				印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2	印刷速度／秒＊1,＊2	高速印刷速度／秒＊1,＊2
漢字（全角）	10.5P、3/20インチ幅		90字	130字	259字	90字	179字
	10.5P、1/5インチ幅		68字	97字	195字	67字	135字
	9.5P相当、1/6インチ幅		81字	104字	207字	72字	143字
	9.5P相当、2/15インチ幅		102字	141字	283字	89字	179字
	7P相当、1/10インチ幅		136字	129字	257字	90字	179字
	12P相当、1/6インチ幅		81字	104字	207字	72字	143字
グラフィック	8ビット	コピーモード	1088ドット	778字＊3	778字＊3	538字＊3	538字＊3
		ネイティブモード	2176ドット	389字＊3	778字＊3	269字＊3	538字＊3
	16ビット		2176ドット	195字＊4	389字＊4	135字＊4	269字＊4
	24ビット		2176ドット	130字＊5	259字＊5	90字＊5	179字＊5

＊1　ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）を使用した場合の印刷速度

＊2　厚い用紙や複写枚数の多い用紙を使用した場合は、印刷速度がその枚数に応じて遅くなる場合があります。

＊3　横ドット数が 8 ドット／字のとき

＊4　横ドット数が 16 ドット／字のとき

＊5　横ドット数が 24 ドット／字のとき

- 印刷方向　両方向最短距離印刷および片方向印刷
- 混在印刷　同一行の混在についてはドット間隔の相違により数回に分けて印刷する
- 改行幅　4.233mm（1/6インチ）、3.175mm（1/8インチ）、および0.212×n mm（n/120インチ（n＝0～99））
- 改行時間　約45ms（4.233mm（1/6インチ）改行時）
- 改行方向　順方向および逆方向
- 最小改行量　0.212mm（1/120インチ）
- 用紙送り方式
  - シートガイド
  - フロントトラクタフィーダ
  - シートフィーダ（オプション）
  - リアトラクタフィーダ（オプション）
- 用紙厚調整　自動またはメニューによるマニュアル指定
- インクリボンカートリッジ

品　名	可能印刷数	
	NHS パイカ	漢　字
ロングライフインクリボンカートリッジ（黒）	約700万字	約300万字
カラーインクリボンカートリッジ	約100万字	約50万字

お客様のご使用になる用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

- インタフェース　IEEE1284準拠双方向パラレル
  イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T）＊6

*6　MultiImpact 700XEN/700JENのみ標準装備。

- 使用コード
  - 8ビットコード*1
  - 7ビットコード*1
  - 漢字コード

  *1 メモリスイッチの切り替えによります。

- 環境

動作温度：	5℃～38℃
動作湿度：	10％～85％（ただし結露しないこと） （シートフィーダ使用時は45％～70％）
保管温度：	－25℃～60℃*2
保管湿度：	0％～90％
塵埃量、ガス成分：	一般事務室程度

  *2 開梱後の状態での保管条件は、0～40℃の環境で1年以内とします。使用時は使用場所の環境に十分なじませてください。

- 電源　100V±10％、50／60Hz共用±1Hz
- 定格電流　MultiImpact 700XE/700XEN：2.8A
MultiImpact 700JE/700JEN：1.4A
- 質量　約23kg
- 寸法　幅 600mm×奥行 320mm×高さ 297mm
（プラテンノブ、シートガイド、スタッカ含まず）
- 消費電力

消費電力	MultiImpact 700XE	MultiImpact 700XEN	MultiImpact 700JE	MultiImpact 700JEN
動作時最大（プリンタ単体）	210W（280VA）	210W（280VA）	110W（140VA）	110W（140VA）
動作時最大（フルオプション時）	230W（330VA）	230W（330VA）	120W（152VA）	120W（152VA）
動作時平均（プリンタ単体）	130W	130W	85W	85W
省電力モード時（節電機能使用時）*1	13W（23VA）以下	14W（24VA）以下	9W（14VA）以下	12W（18VA）以下
電源スイッチOFF時*2	0W	0W	0W	0W

*1 節電機能とは、プリンタの電源を ON にしたまま 1 分以上（工場出荷時）、印刷動作やスイッチ操作が行われなかったときに、電力消費を節約する機能のことです。

*2 電源スイッチにはメカニカルスイッチを使用しています。

- 騒音　60dB以下（A補正）（測定はISO7779による）
- 製品寿命　使用年数5年*3

  *3 製品寿命の5年を越えて使用される場合、または使用量が使用年数5年相当を超えて使用される場合は、必ずお買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

・ 有寿命部品（有償）

プリンタ本体用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊1
印刷ヘッド	3億ドット/ピン

*1 NEC純正インクリボンを使用し、15×11インチ用紙（坪量64g/m^{2}の一枚綴りの連続紙）にプリンタ内蔵テスト印刷を連続印刷した際の交換周期の目安です。
お客様のご使用になる用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。
お客様がドット/ピンを確認することができません。印刷機能・性能が維持できなくなった場合が交換時期になります。
文字換算：漢字5000万字、NHSパイカ10000万字
55kg、1P（一枚綴り）の連続紙にて内蔵テスト印刷による連続印刷

オプションのシートフィーダ用

部品名	推奨交換周期（交換の目安）＊2
ラバーホルダL ASSY	給紙機能・性能が維持できなくなり始めた場合

*2 給紙動作を繰り返すことで摩耗劣化する部品が使用されています。
この部品のゴムダンパ部分の厚みが規定値以下になると、用紙吸入ミスや重送、ピックミスなどが発生しやすくなります。このような状況になった場合、もしくは目立ち始めたときが交換時期となります。
お客様のご使用になる用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件などにより、交換周期が大きく異なる場合があります。

・ 製品保守（修理業務）

本製品の保守および修理業務は、製品出荷停止後5年間です。その後の保守および修理業務は打ち切りとなります。

用紙の規格

用紙サイズと坪量

用紙は次のものを使用してください。坪量（g/m^2）は1m^{2}の質量をグラムで示したものです。

用紙の種類	サイズ	坪量（連量）または用紙の厚さ
連続紙*1		
普通紙	101.6～406.4mm（4～16インチ）	46.5～157.0g/m^2 （40～135kg相当）
複写式用紙 ・感圧紙 ・裏カーボン紙 ・ワンタイムカーボン紙	101.6～406.4mm（4～16インチ）	「複写枚数と坪量（連量）」（137ページ）を参照
ラベル紙*2	101.6～406.4mm（4～16インチ）	0.2mm以下（台紙含む）
カット紙*1		
普通紙 複写式用紙	定型サイズ： A5、B5、A4、B4、A3 定型外サイズ： 幅55～420mm×長さ90～420mm*3 （幅2.16～16.5インチ×長さ3.5～16.5インチ）*3	46.5～157.0g/m^2 （40～135kg*4 相当）
はがき*1		
官製はがき、または同等品	幅100mm×長さ148mm	最大157.0g/m^2（135kg相当）
折り目のない往復はがき	幅200mm×長さ148mm	
封筒*1, *5		
長形4号	幅90mm×長さ205mm	50～85g/m^2
長形3号	幅120mm×長さ235mm	50～85g/m^2
角形3号	幅216mm×長さ277mm	70～85g/m^2
角形2号	幅240mm×長さ332mm	70～120g/m^2
洋形2号*6	幅114mm×長さ162mm	70～85g/m^2
洋形5号*6	幅95mm×長さ217mm	70～85g/m^2

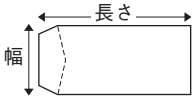
*1 再生紙が使用可能です。

*2 ラベル紙の材質が紙以外の「合成紙」「PET 紙」などはインクがのりませんので、使用しないでください。

*3 オプションのシートフィーダ使用時は、定形外サイズ幅 55 ～ 364mm× 長さ 90 ～ 297mm（幅 2.16 ～ 14.3 インチ × 長さ 3.5 ～ 11.7 インチ）となります。

*4 オプションのシートフィーダ使用時は、坪量 64.0 ～ 157.0g/m^2（連量 55 ～ 135kg 相当）となります。

*5 封筒のサイズ



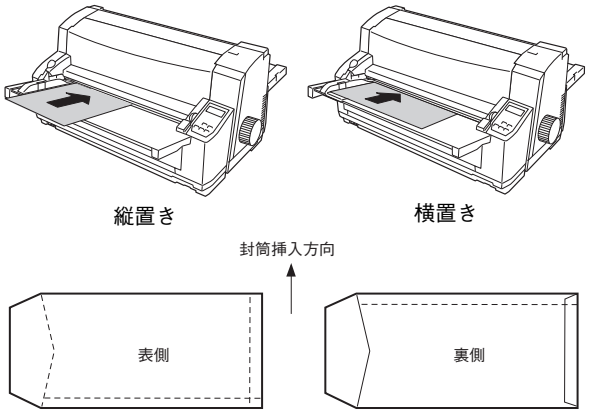
*6 シートフィーダではご使用になれません。

チェック

折り目のある往復はがきは印刷できません。

用紙のセット方向

- 「印刷範囲」（140ページ）を参照してください。
- シートガイドおよびシートフィーダ使用時の取り扱い可能な定型用紙は次のとおりです。
  複写式用紙の場合は、縦置き、横置きにかかわらず、のり付け部分から先にセットして吸入させます。



印刷方法	使用方向	用紙サイズ					封筒	名刺
		A3	B4	A4	B5	A5		
シートガイド使用時	縦置き	○	○	○	○	○	×	○
	横置き	○	○	○	○	○	○*1	×
シートフィーダ使用時	縦置き	×	×	○	○	○	×	○
	横置き	×	○	○	○	○	○*1	×

*1 詳細は 144 ページをご覧ください。

用紙の種類と複写枚数

セットできる用紙の種類と複写可能枚数は次のとおりです。

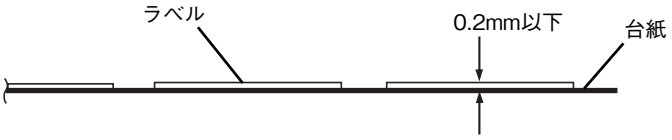
用紙の種類	給紙方法	印刷用紙*1	最大複写枚数（オリジナルを含む）
カット紙	シートガイド	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	9 「複写枚数と坪量（連量）」（137ページ）参照。
		はがき	1
		ラベル紙*3	1
		封筒	1
	シートフィーダ*4（オプション）	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	5 「複写枚数と坪量（連量）」（137ページ）参照。
		はがき*5	1
		封筒	1
連続紙*6	フロントトラクタフィーダ リアトラクタフィーダ （オプション）	上質紙*2	1
		複写式用紙（感圧紙）	9 「複写枚数と坪量（連量）」（137ページ）参照。
		ラベル紙	1

*1 プレプリント用紙において、パウダなどの付着があると用紙走行に支障をきたす場合がありますので、注意してください。

*2 再生紙または A3 サイズの用紙は一般室温の環境下で使用してください。また紙質によってはインクのにじみや紙づまりや印刷汚れが発生することがあります。その場合は紙質の良いものに変更してください。

＊3　ラベル紙の規格

名　称	紙　質	紙　厚	
ラベル	上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m2（連量70kg）以下に相当する
台　紙	グラシン紙またはクラフト上質紙	0.1mm以下	坪量81.4g/m2（連量70kg）以下に相当する



- ラベルと台紙の厚さの合計を0.2mm以下にしてください。
- ラベルと台紙の紙厚の組み合わせは、ラベル≦台紙となるようにしてください。
- 使用できるタック紙の寸法は、連続紙と同じです。

＊4　シートフィーダはラベル紙（タック紙）を使用できません。

＊5　シートフィーダで、はがきなどの厚紙を頻繁に使用すると、用紙吸入部の摩耗が普通紙使用時に比べて早まる場合があります。

＊6　坪量 46.5g/m2（連量 40kg）の連続紙は 10 ℃以上の環境下で使用してください。

複写枚数と坪量（連量）

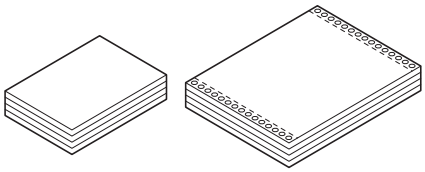
複写枚数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	坪量（g/m2）（連量（kg））								
1枚目	46.5～157.0 (40～135)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)	39.5 (34)
2枚目	—	50.0～81.4 (43～70)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
3枚目	—		50.0～81.4 (43～70)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
4枚目	—			39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
5枚目	—				39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
6枚目	—					39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
7枚目	—						39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)	34.9～39.5 (30～34)
8枚目	—							39.5～50.0 (34～43)	34.9～39.5 (30～34)
9枚目	—								39.5～50.0 (34～43)

- 複写枚数はオリジナル（1枚目）を含めます。
- オリジナル（1枚目）はリボンのインクを急速に吸収し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写紙の2枚目以降は、ノーカーボン紙または裏カーボン紙を使用してください。
- 使用できるカット紙の厚さは複写式用紙で約0.54mmまでです。
- 推奨規格を超える厚さの用紙を使用する場合やシートフィーダから用紙が重なって吸入された場合は、用紙ジャムが発生し、印刷不可（ディセレクト）状態になる場合があります。
  推奨規格内の厚さの用紙を使用し、シートフィーダに用紙をセットする場合は、よくさばいて、上下左右を揃えてください。

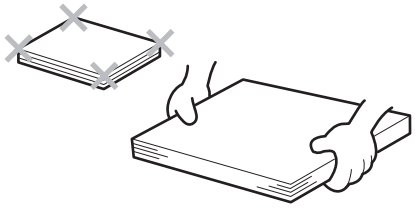
- バーコード領域は反射率80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- バーコード使用時は、坪量81.4～157.0g/m^2（連量70～135kg）の用紙を使用してください。
- 複写用紙の途中に厚紙を挿入した場合、それより下層の用紙は印刷濃度が薄くなりますので注意してください。
- 複写用紙の途中に、はがきなどが含まれている場合、厚さに段差が生じ、印刷汚れや印刷かすれなどが発生することがありますので注意してください。

保管上の注意

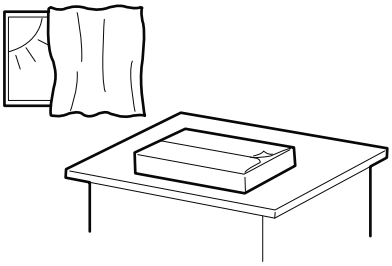
- 印刷する用紙が規格に合っていることを確認してください（用紙の規格については「用紙の規格」（135ページ）で説明しています）。規格に合った用紙を使うことは印刷品質を高めるだけでなく、紙づまりなどの発生を抑える効果もあります。



- 用紙を持つときは角を持たずに中央部分を持つようにしてください。角を持つと用紙が折れて紙づまりの原因になります。



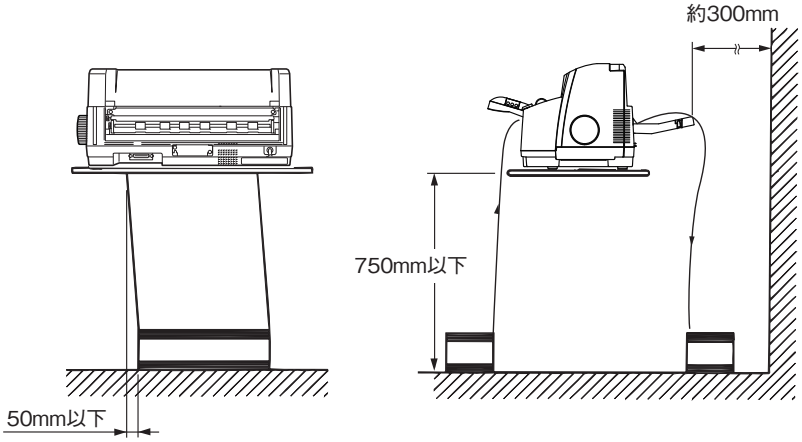
- 残った用紙は包装紙に包み、直射日光を避けて保管してください。用紙が変形しないように、平らな場所に置いてください。



連続紙の置き方

- 給紙および排出した連続紙は、プリンタの底面から下方向に750mm以内でスタックしてください。
- 連続紙は、プリンタの用紙走行経路と用紙の流れが一致するように（プリンタの用紙吸入口と用紙の先端が平行になるように）置いてください。左右方向のずれは50mm以下にしてください。
- リアトラクタフィーダの場合は、プリンタ後部と机の縁を合わせてください。
- リアトラクタフィーダ、フロントトラクタフィーダを併用する場合、プリンタの前部と机の縁とを合わせてください。
- プリンタの後部は印刷後の用紙スペース確保のため、壁から300mm以上離してください。

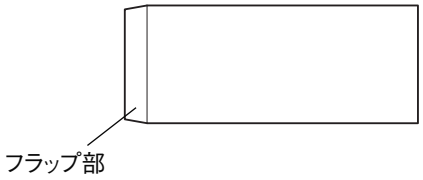
- プリンタケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。



封筒に印刷するときの注意

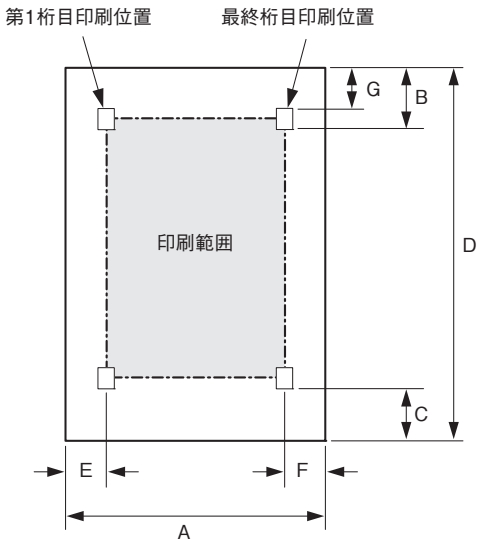
封筒に印刷するときは、次のことに注意してください。

- 封筒はペーパガイドに沿って、まっすぐセットしてください。傾いて吸入された場合は、［排出/カット］スイッチを押していったん封筒を排出してから、セットし直してください。
- メモリスイッチ4-8（MSW4-8）がONになっていると、封筒は自動吸入されません。この場合は封筒をセット後、［吸入/退避］スイッチを押して封筒を吸入させてください。
- 封筒の両面に印刷するときは、片面印刷後カールを直してから反対面に印刷してください。
- 封筒への印刷は、環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70％の場所で行ってください。
- フラップ部は曲げないでセットしてください。
- フラップ部の大きさと印刷位置に合わせてペーパーガイド位置を調整してください。
- フラップ部や重ね合わせの部分など、段差がある位置には印刷しないでください。



印刷範囲

カット紙



符号	項　目	推奨印刷範囲		最大印刷範囲＊1
		シートガイド	シートフィーダ	
A	用紙幅	55～420mm (2.16～16.5インチ)	55～364mm (2.16～14.3インチ)	－
B	用紙上端から第1印刷行までの距離 用紙吸入位置（工場設定）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±1mm（文字下端）	9.73mm以上（文字下端） 9.73±2mm（文字下端）	0mm＊5 －
C	用紙下端から最終印刷行までの距離	6.3mm以上のこと	6.3mm以上のこと	3mm
D	用紙長	90～420mm (3.5～16.5インチ)	90～297mm (3.5～11.7インチ)	－
E＊2	用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと (文字中央)	6.3mm以上のこと (文字中央)	1.5mm＊3 (文字左端)
F＊2	用紙右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm以上のこと (文字中央)	6.3mm以上のこと (文字中央)	1.5mm＊3 (文字右端)
G	用紙上端から文字上端までの距離	6.3mm以上のこと (文字中央)	6.3mm以上のこと (文字中央)	0mm＊4 (3.8mm(文字下端))

＊1　最大印刷範囲で印刷した場合、印刷精度が保証できないだけでなく、用紙づまりや印刷ヘッドの損傷等が発生する場合がありますので、十分ご確認の上ご使用ください。印刷は推奨印刷範囲で行うことをお勧めします。

＊2　A3 横サイズ用紙を使用する場合、E・F 寸法は約 38.6mm となります。

＊3　用紙端から 1.5mm の範囲の印刷は自動的にカットされます。

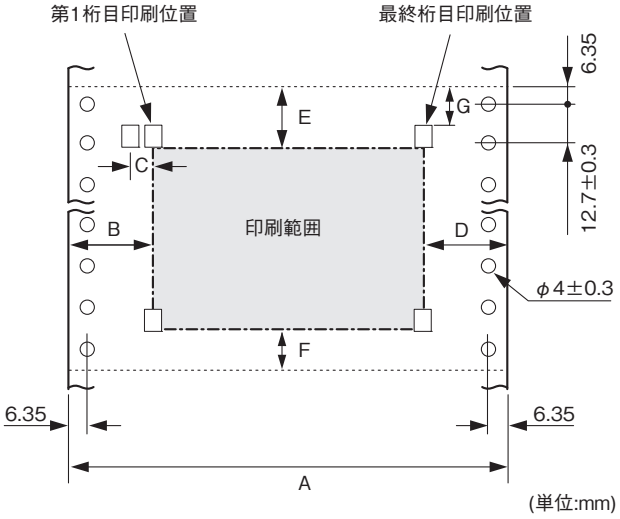
＊4　プリンタドライバで「上余白 0」、「余白 0」を使用する際は吸入位置を 3.8mm にしてください。（62 ページ参照）

＊5　吸入位置設定の最大値は 0mm となりますが、実際の印刷は文字下端 3.8mm からとなります。（空打ち防止のため）

カット紙に関する注意

- 用紙幅両端から6.3mmの範囲には印刷しないでください。
- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置のバラツキ、用紙づまり、印刷ヘッドの損傷等が発生する場合があるためできるだけ避けてください。特に用紙上端からの距離が短いところから印刷すると、用紙上端角にプリントマスクが引っ掛かり、用紙トラブルを引き起こす場合があります。
- 用紙上端から約50mmまでおよび用紙下端から約50mmまでの範囲内では印刷位置がばらつくことがあるため、この領域では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などは行わないでください。
- 用紙を自動吸入した場合、用紙吸入位置は0～36mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法については、「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）を参照してください。
- シートフィーダでは逆方向改行はできません。
- 用紙の保存状態などにより用紙のカールが発生した場合は、カールを直して使用してください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 複写紙を手前排出（シートガイドへ排出）する際に、用紙のカールなどで用紙が折れたりする場合は後方排出固定（スタッカへ排出）にしてください。

連続紙



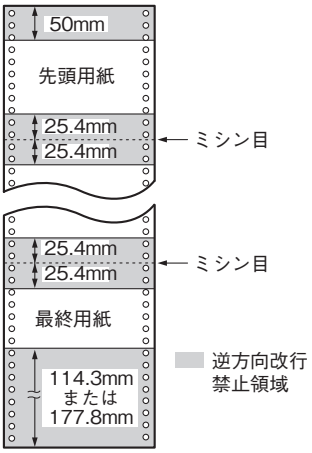
符号	項　目	寸　法
A	用紙幅	101.6～406.4mm（4～16インチ）
B	左トラクタを最左端に寄せたときの用紙左端から第1桁目印刷位置までの距離	35mm（文字中央）
C	左トラクタを最左端および最右端に寄せたときの第1桁目印刷位置の移動量	約20mm
D	左トラクタを最右端に寄せたときの用紙右端から第136桁目印刷位置までの距離	約381mm（15インチ）幅の用紙で約25mm（文字中央）
E	ミシン目および折り目の影響による汚れおよび改行ピッチ乱れを避けるため、印刷をしないことが望ましい範囲	25.4mm（文字下端）
F		
G	ミシン目から文字上端までの距離	21.9mm（文字上端）
最終用紙下端から最終印刷行までの距離		3mm

連続紙に関する注意

- 用紙幅両端から12.7mmの範囲は印刷しないでください。
- 推奨印刷範囲を超える印刷については、印刷位置のバラツキ、用紙づまり、印刷ヘッドの損傷等が発生する場合があるためできるだけ避けてください。特に用紙上端からの距離が短いところから印刷すると、用紙上端角にプリントマスクが引っ掛かり、用紙トラブルを引き起こす場合があります。
- 連続紙の用紙吸入位置は25.4±2mm（文字下端・工場設定）です。用紙吸入位置は0～36mmの範囲で調整してお使いいただけますが、印刷範囲は前ページの表を参照してください。調整方法については「用紙吸入位置の微調整」（47ページ）を参照してください。
- 用紙ランプが点灯している（用紙が残り少なくなっている）場合、逆方向改行は無効になります。
- 以下の範囲内では合成印刷（拡大、強調印刷など）、罫線印刷、絵の印刷などはしないでください。印刷位置がばらつくことがあります。
  - 用紙上端から約50mmまで
  - 連続紙の最後の以下の範囲内*

フロントトラクタフィーダ	114.3mm（4.5インチ）
リアトラクタフィーダ	177.8mm（7インチ）

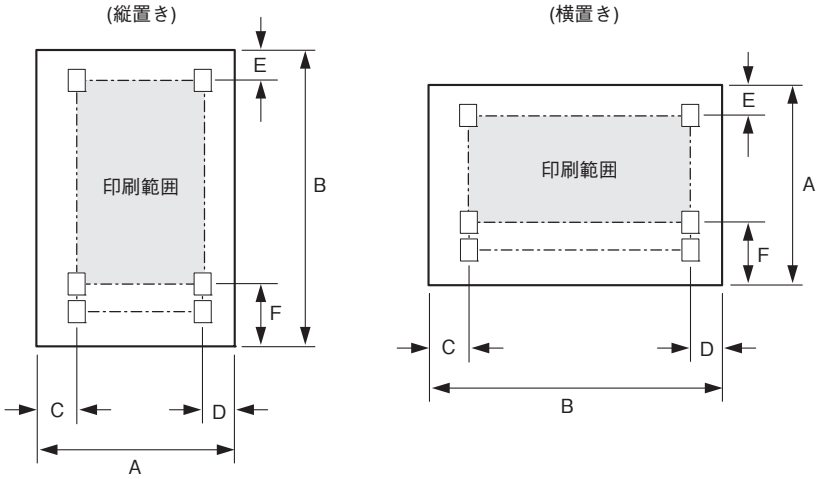
*この範囲内は用紙穴からトラクタピンが外れてしまいます。



- 紙端が傷んだり、プリンタに用紙がつまったりするのを防ぐため、上図に示した領域での逆方向改行は行わないでください。
- 用紙の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- ミシン目位置から印刷する場合は印刷精度が保証できないだけでなく、用紙づまりや印刷ヘッドの損傷が発生する場合がありますので、十分ご確認のうえご使用ください。
- プリンタドライバで「上余白0」、「余白0」を使用する際は吸入位置を3.8mmにしてください。（62ページ参照）
- リアトラクタフィーダをご使用になる際は、事前にご確認の上ご使用ください。

はがき

官製はがきあるいは官製はがきと同等品をお使いください。

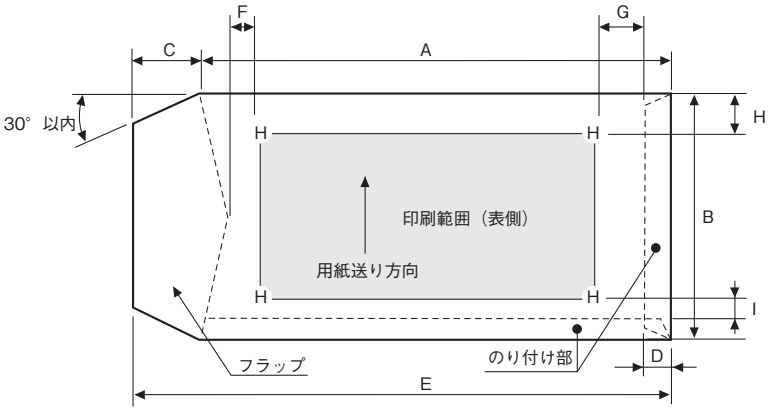


符号	項　目	寸　法
A	はがき横幅／往復はがき横幅	100mm／200mm
B	はがき長さ	148mm
C	はがき左端から第1桁目印刷位置までの距離	6.3mm（文字中央）
D	はがき右端から最終桁目印刷位置までの距離	6.3mm（文字中央）
E	はがき上端から第1印刷行までの距離	11.5mm（文字中央）
F	はがき下端から最終印刷行までの推奨距離	21.4mm（文字中央）

はがきに関する注意

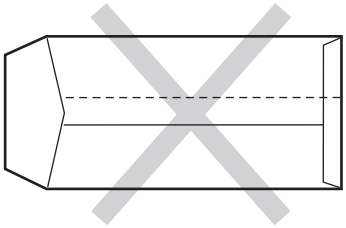
- 実際のはがきに印刷する前に、官製はがきと同等の用紙を使って試し印刷を行い、印刷位置や印刷濃度を確認してください。
- 差し出し人の郵便番号欄は、はがきの印刷範囲を越えていますので印刷できません。アプリケーションをお使いの場合はご注意ください。
- はがきの保存状態などにより、はがきがカールした場合はカールを直してから使用してください。
- はがきの表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。
- 写真印刷されたはがきの場合、インクが転写されにくく、印刷汚れの発生やはがき走行に支障をきたす場合がありますので注意してください。
- 印刷は環境温度が10～35℃、環境湿度が45～70%の場所で行ってください。

封筒



規格／寸法（mm）	A	B	C	D	E	F	G	H	I
長形4号	205	90	15～25	5～20	220～235	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
長形3号	235	120	15～25	5～20	250～260	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
角形3号	277	216	15～33	5～20	292～309	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
角形2号	332	240	15～40	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
洋形2号	162	114	15～32	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上
洋形5号	217	95	15～32	5～20	347～364	5.08（0.2インチ）以上	30（1.18インチ）以上	7.62以上	7.62以上

- 上記の表はJIS S 5502などに準拠しています。
- 寸法の公差は、長形4号･長形3号は±2.0mm、角形3号・角形2号は±2.5mm、洋形2号･洋形5号は±2mmです。
- これらの値は、シートガイドからの吸入時、シートフィーダからの吸入時ともに有効です。ただし、シートフィーダからの吸入時には洋形2号、5号はご使用になれません。
- 封筒は横貼（サイドシーム）以外の種類で、裏面中央で重ね合わせてあるもの、フラップ部にのり付けしてあるもの、二重封筒は使用できません。



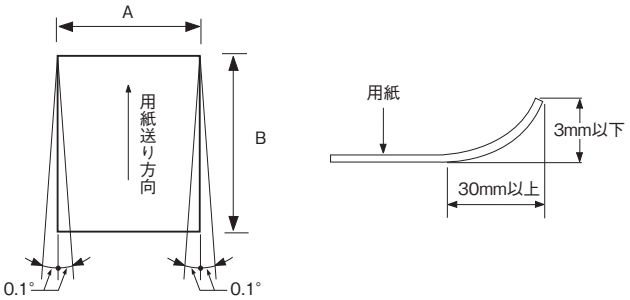
- 紙質は用紙表裏面の反射率が60%以上のクラフト紙、ケント紙またはこれらの同等品以上をお使いください。
- 折れ、しわ、破れなどのない封筒を使用してください。
- 封筒の保存状態などにより封筒がカールした場合は、カールを直してから使用してください。
- 封筒の表面が黒や濃い色の場合、正しく印刷できない場合があります。

用紙設計に関する注意事項

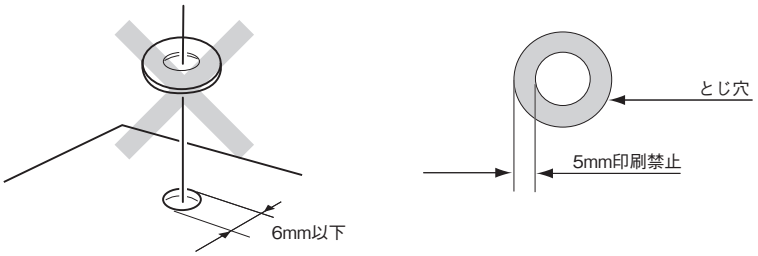
カット紙に関する注意

普通紙について

- 長方形の用紙（インデックス、切欠きのないもの）を使用してください。
- 用紙の角のカッティングやアールは45°の面とり8mmまたは半径8mm以下の用紙を使用してください。
- 横方向の切断寸法は±0.5mm以下、縦方向の直角度は±0.1°以下の用紙を使用してください。
- カール（反り）、折れ、曲がりなどのくせのない用紙を使ってください。



- 用紙の横（A）と縦（B）の長さの関係が、3:5以上（＝横の長さ／縦の長さ）、2:1以下（＝横の長さ／縦の長さ）となっている用紙を使用してください。
- 用紙の切断面は凹凸や“けば”がない用紙を使用してください。ミシン目においてカットした用紙は使用しないでください。用紙づまりの原因となります。
- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。穴を補強した用紙は使用しないでください。

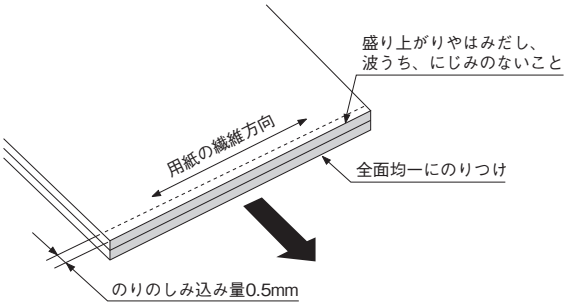


- シートフィーダから吸入動作を行わせる場合は、用紙のとじ穴の“だれ”や“けば”などがない用紙を使用してください。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。
- とじ穴の周囲5mm以内には、印刷しないでください。リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。

複写式のカット紙について

普通紙に関する注意の他に、次のことに注意してください。

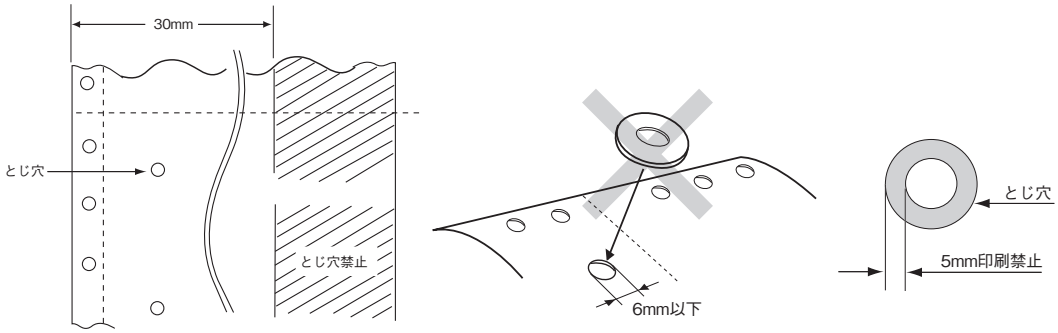
- ノーカーボン紙（感圧紙）を使用してください。
- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみがないものを使用してください。
- 用紙送り方向の先端を天側のり付けした用紙を使用してください。
- 綴じてある方から給紙してください。
- 複写紙の糊付け部は十分乾燥し、半乾きのない状態の用紙をご使用ください。



連続紙に関する注意

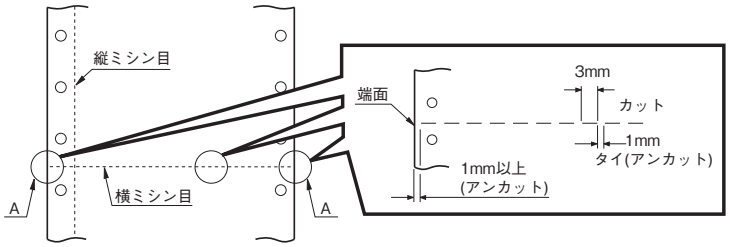
普通紙について

- とじ穴は直径6mm以下で1個または2個までの用紙を使用してください。
- 用紙の左側から30mm（1.2インチ）を越える位置にとじ穴を配置しないでください。用紙左側から30mmを越える位置にとじ穴加工をした用紙を使用した場合、とじ穴を用紙切れと誤検知するおそれがあります。
- とじ穴を補強した用紙は使用しないでください。
- とじ穴の周囲5mm以内には印刷しないでください。リボンひっかけや印刷ヘッドの損傷およびその周辺に故障が発生する場合があります。



- 印刷範囲内で用紙を左右に分割するような縦ミシン目は入れないでください。用紙づまりが発生する場合があります。

- 次の図に示されたミシン目の入れ方をした用紙を使用してください。ミシン目の両端部Aについては、下図の寸法を守ってください。

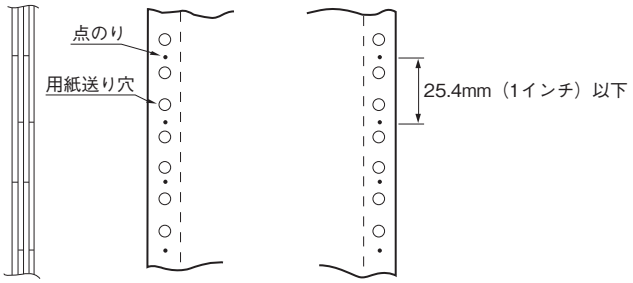


- ミシン目を強く入れすぎたり、ミシン目のタイ（アンカット）、カット比が大きすぎると用紙取り扱い時および用紙フィード時にミシン目から破れて用紙フィード障害が発生する場合があります。
- 厚さが均一でない用紙を使用すると用紙づまり、リボンひっかけ、印刷ヘッドの損傷およびその周辺に障害が発生する場合があります。

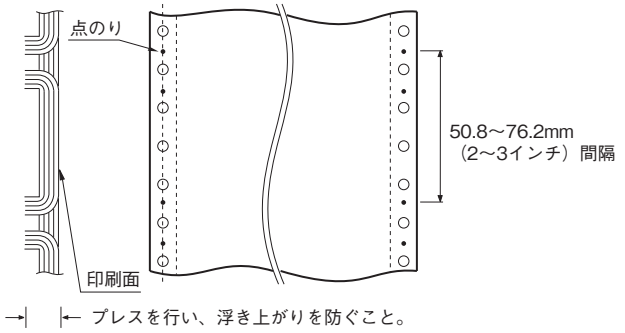
複写式の連続紙について

連続紙に関する注意のほかに、次のことを注意してください。

- 最上層用紙（1枚目）はリボンのインクを急速に吸入し、かつインクのにじみが少ないものを使用してください。
- 複写にあたっては次の要領で用紙をまとめてください。
  - 両端の用紙送り穴付近で点のりづけ（双方向改行を行う場合は必ずこのとじ方にすること）。



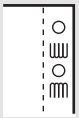
  - 片端の用紙送り穴付近で紙ホチキス止め、他端の用紙送り穴付近で点のりづけ。



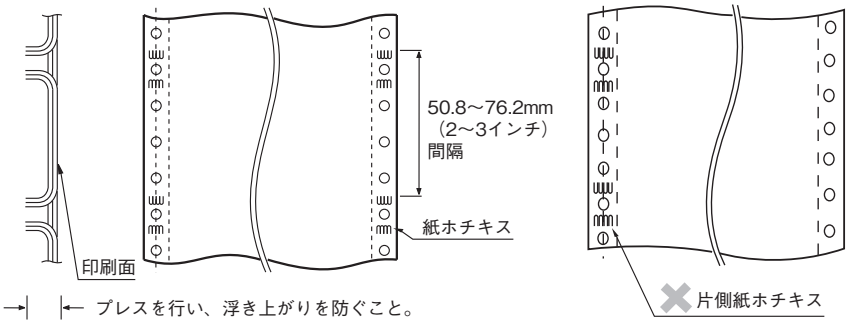
チェック

片側ホチキス止めの用紙は使用しないでください。用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの用紙が使用可能です。ただし、紙ホチキスは、両掛け紙ホチキス止めの用紙をご使用ください（シートフィーダ使用時は、両端点のり付け用紙を使用してください）。両端点のり方式は保管状態にもよりますが、経時変化が激しく、のり硬化による凹凸の「しわ」が発生することがあります。その状態で使用すると用紙ズレが起きることがあります。

（両掛け紙ホチキス）

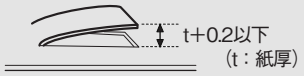


－ 両端の紙ホチキス止め（ダブルギャザー）（用紙枚数2枚の場合のみ可）



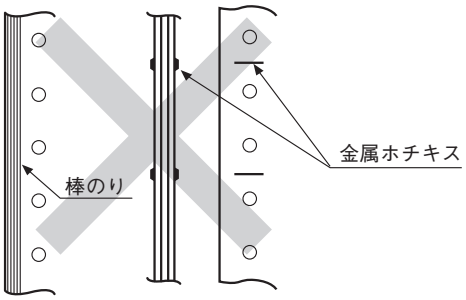
チェック

- 両端紙ホチキス止めの場合、上層紙と下層紙の印刷位置ズレが発生しやすいので、片側点のリ/片側紙ホチキスを推奨します。
- 片側紙ホチキスや片側とじは使用できません。
- ミシン目の前後12.7mm（1/2インチ）以内の紙ホチキスは避けてください。
- 紙ホチキス部は、用紙が盛り上がりますので、紙厚が厚くならないように十分注意して加工してください。紙ホチキス部が厚くなると、その影響により紙ホチキス付近の印字品位が低下する場合があります。
- 紙ホチキスの加工部は右の図のようにしてください。
- 印刷面には紙ホチキスは出ないようにしてください。

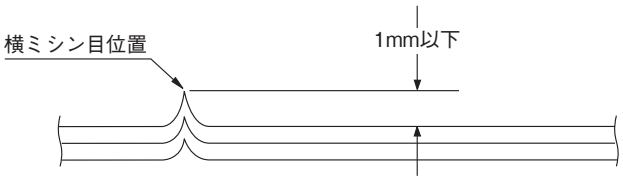


－ 金属ホチキスは使用しないこと。

－ 棒のりとじの用紙は使用しないこと。

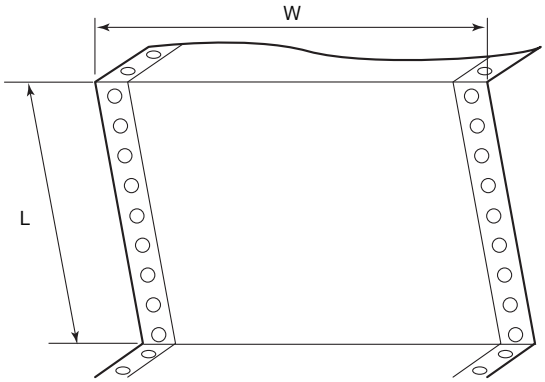


- 横ミシン目部の盛り上がりが1mm以下の用紙を使用してください（右図参照）。
- 用紙枚数2枚の場合は、両端の用紙送り穴付近の紙ホチキス止めの場合、印刷可能です。
- 片側フリーの用紙は使用しないでください。



封筒用紙に関する注意

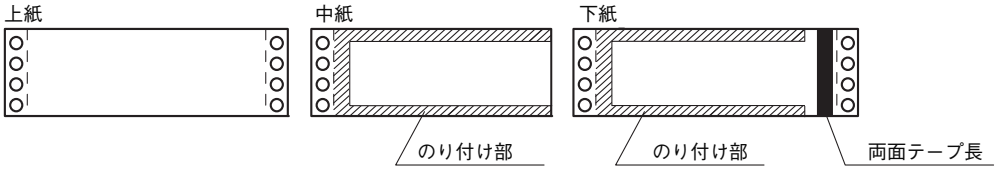
・ 用紙の寸法



記号	寸法
W（用紙幅）	127～406.4mm （5～16インチ）
L（折りたたみ長さ）	101.6～364mm （4～14 1/3インチ）

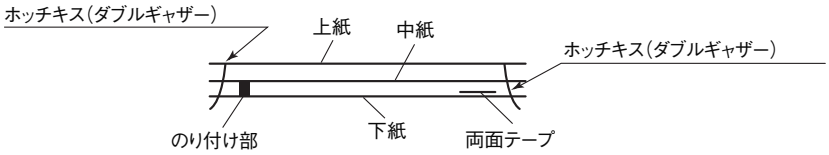
・ 用紙の種類

	上紙	中紙	下紙
紙質	一般の用紙	ノーカーボン紙	一般の用紙
坪量（g/m^2）（連量（kg））	34.9～39.5（30～34）	81.4（70）	81.4（70）



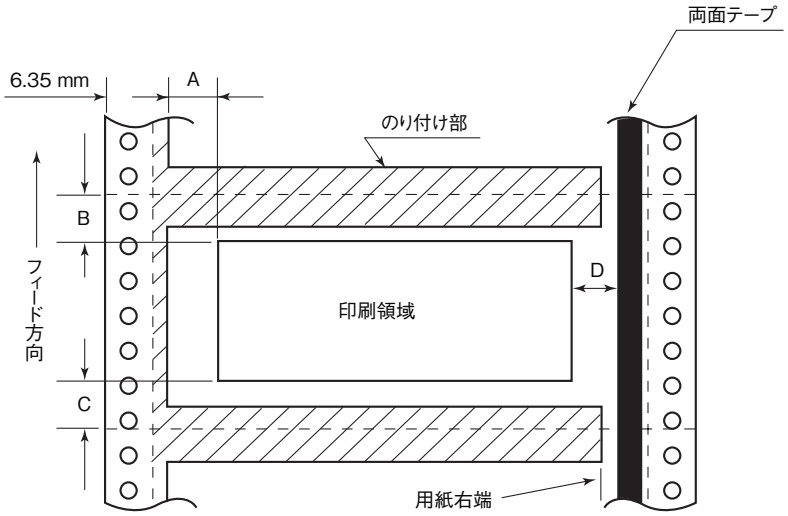
・ 用紙のとじかた

とじかた	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	ホチキス	棒のり
位置	両端	左端・上下端4.23mm（1/6インチ）

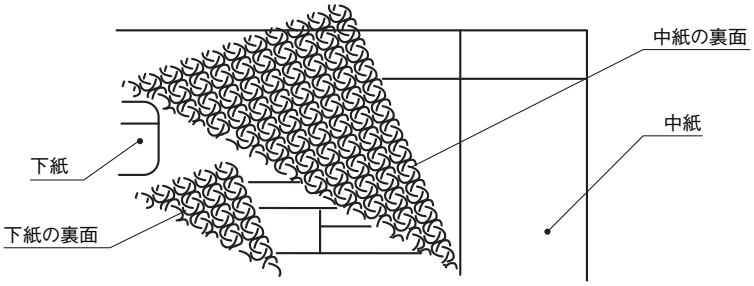


- 印刷範囲

記号	寸法
A	5.08mm以上
B	5.08mm以上
C	5.08mm以上
D	5.08mm以上

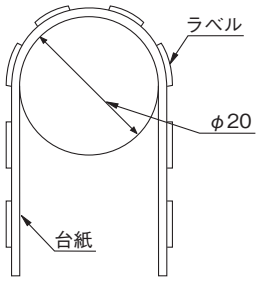


- その他の注意
  - のり付けの幅は、4.23mm（1/6インチ）以下とします。
  - のり付けによる厚み増加は、0.1mm以下とします。
  - 穴ずれは、0.3mm以下とします。
  - 両面テープは、印刷中にはがれないように接着強度が十分なものとします。
  - 給料袋などの場合は、中紙、下紙の裏面に印刷内容が外部にわからないような配慮をすることをお勧めします。

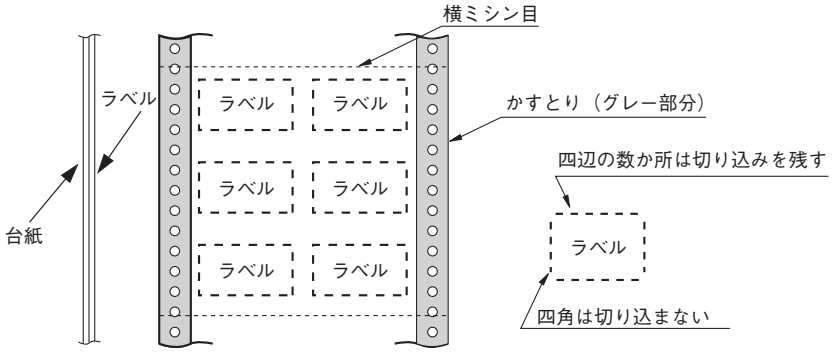


ラベル紙（タック紙）に関する注意

- ラベル紙と台紙の厚さは合計で0.2mm以下で、ラベル紙の厚さより台紙の厚さが同等か厚い用紙を使用してください。
- 直径20mmの円筒にラベルを表にして180°巻き付けたとき、 ラベルが台紙からめくれたり、 はがれたりしない用紙を使用してください。
- 再剥離ラベルはラベルが台紙からめくれたり、 はがれる場合がありますので、 お使いになる前に確認してください。
- ラベル紙は、台紙を丸めるとはがれやすくなり、はがれたラベル紙がプリンタの内部に貼り付いて正常な用紙送りができなくなりますので注意してください。



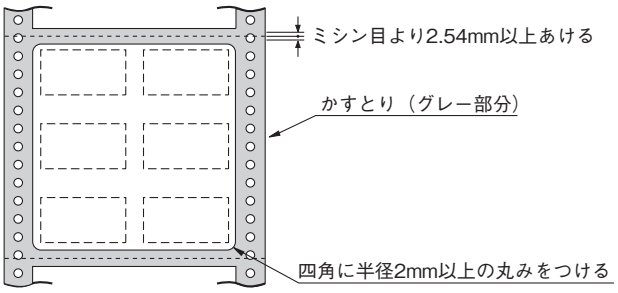
- 以下の用紙形態の用紙を使用してください。
  - 用紙穴付近のみ“かすとり”*1 したラベル紙



チェック

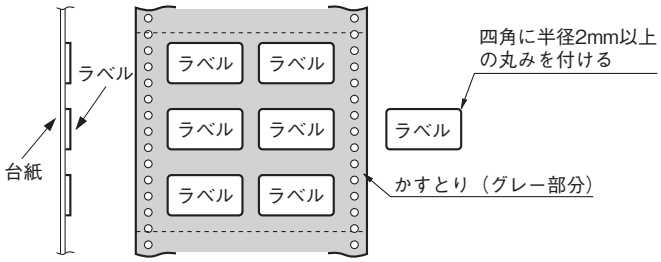
- ラベルシールの端は切り込みを残すこと。
- 横ミシン目にもラベルシールが貼られているため、盛り上がりおよびしわが発生しやすいので、フォーム加工の際は注意すること。

  - 用紙穴付近と横ミシン目部を「かすとり」したラベル紙

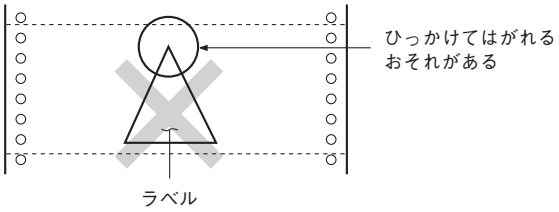


*1 “かすとり”とは、台紙に貼り付けたラベル紙全体から必要な部分だけを残してはぎ取ることです。

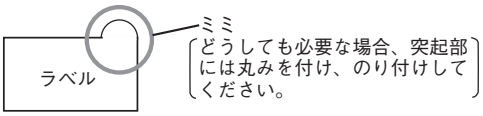
– アイランド（島）状に貼られたラベル紙
– ラベル紙の角には半径2mm以上アール（丸み）を付けた用紙を使用してください。



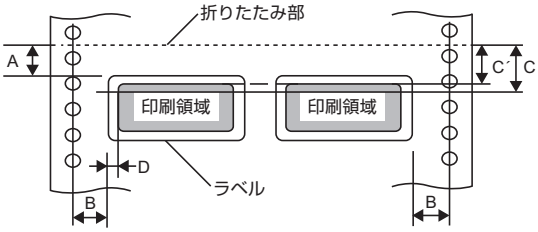
– 三角形の頂点のように、用紙送り方向に鋭い角のある形状のラベル紙は使用しないでください。



- のりがラベルの端よりはみ出しているラベル紙は使用しないでください。
- ミシン目での盛り上がりが1mmを超えるラベル紙は使用しないでください。
- はぎ取りやすくするために、あらかじめラベル紙のコーナや端にのりを付けていないラベル紙は使用しないでください。
- “みみ”加工をしたラベル紙は使用しないでください。



- ラベル紙の位置を折りたたみ部から2.54mm以上離した用紙を使用してください。



記号	寸法
A	2.54mm 以上(1/10 ｲﾝﾁ)
B	6.35mm 以上(1/4 ｲﾝﾁ)
C	23.6mm 以上（文字中心）
D	3.18mm 以上（1/8 ｲﾝﾁ）

- 長時間使用しない場合はラベルを取り外して保管してください。
- 強粘着の剥がれにくいラベルを選定してください。
- ご使用の前に十分評価をしてください。

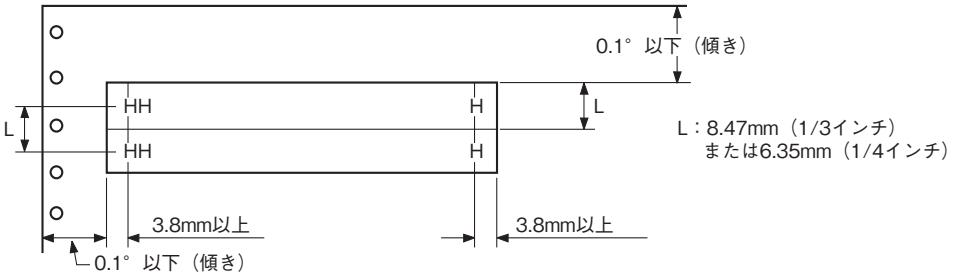
プレプリント用紙に関する注意

プレプリント用紙とは、書式があらかじめ印刷されている用紙のことです。

- 横罫線の印刷は8.47mm（1/3インチ）または6.35mm（1/4インチ）間隔とし、印刷文字は行間の中心に入れるようにしてください。

> **チェック**
>
> 行間を4.23mm （1/6インチ）にした場合は横罫線に印刷文字がかかる場合があります。

- 横罫線の傾きは用紙上端を基準として0.1°以下、 縦罫線の傾きは用紙左端を基準として0.1°以下にしてください。
- 縦罫線は文字中心から3.8mm（0.15インチ）以上、離すようにしてください。



- 用紙の一部または全部の領域が黒色や濃い色でプレプリントされている場合、用紙の吸入や印刷結果が正しくならないことがありますので、黒色や濃い色でプレプリントしないでください。

使用できない用紙への注意

使用できない用紙の一例を記載します。

使用できない用紙	理由
合成紙 コート紙	インクが転写せず、乾かないため印刷品位を満足することができません。 また、静電気が帯電しやすいため、機械の故障の原因となります。
通帳 重ね折りした用紙	段差があるためリボン引掛けや印刷ヘッドの故障の原因となります。 また、印刷汚れの原因となります。
綴り伝票（手書き伝票）	剥がして使用すると糊が装置内に付着し、機械の故障の原因になります。 また、用紙送りの搬送にも影響します。
厚さの制限を超える厚紙や冊子	用紙汚れ、リボン引掛け、ピン折れ、斜め印刷、用紙の重送、紙詰まりの原因になります。

技術情報

ここでは、本プリンタの初期状態、文字コード、その他の技術情報について説明します。

初期状態

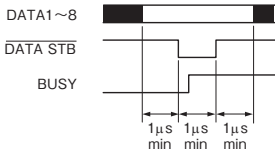
電源をONにしたとき、ソフトウェアリセット（ESC c1）、パラメータリセット（ESC c8）、強制リセットをしたとき、およびインタフェース信号$\overline{\text{INPUT PRIME}}$を受信したときの初期状態を次に示します。【　】は工場設定です。

項目	電源 ON	強制リセット	ESC c1	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	ESC c8
用紙長	【66行（11インチ）】または設定値（パラメータ設定による）			変化しない	
ボトム領域	なし			変化しない	
垂直タブセット位置	チャンネル2：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 チャンネル3〜6：なし			変化しない	
用紙行位置	現在行を第1印刷行（T.O.F）位置とする				
レフトマージン幅	000				
ライトマージン幅	【136】または080（メモリスイッチ2-7による）				
水平タブセット位置	なし				
行メモリ	クリア				
行メモリアドレス	最左端相当位置				
改行幅	1/6インチ				
キャラクタモード	【カタカナモード（8ビットコード）】または英数モード（7ビットコード）（メモリスイッチ2-6による）				
グラフィックモード	【ネイティブモード】またはコピーモード（メモリスイッチ2-3による）				
印刷モード	【HDパイカ】またはHSパイカ（メモリスイッチ2-5による）				
セレクト／ディセレクト	セレクト ただし用紙なし時はディセレクト			変化せず ただし用紙なし時はディセレクト	変化しない
印刷方向（文字）	【両方向最短】または片方向（メモリスイッチ2-8による）				
改行方向	順方向改行				
拡大印刷	解除				
強調印刷	解除				
ラインの指定	アンダーライン				
ラインの太さの指定	細線				
ライン印刷モード	解除				
外字登録	未登録状態（クリア）				クリアしない
ダウンロード文字登録	未登録状態（プリンタ内蔵文字印刷モード）				クリアしない
半角縦印刷	解除				
半角組文字縦印刷	解除				
漢字文字幅	3/20インチ				
漢字文字サイズ	10.5ポイント				
スクリプト文字	解除				
高速印刷	【解除】または選択（メモリスイッチ4-5による）				変化しない
カラー	黒				
シートフィーダ	全排出実行、用紙なし状態解除				第1印刷行（T.O.F）位置では排出しない
ミシン目スキップ	【スキップしない】またはスキップする（メモリスイッチ3-8による）				
印刷方向（ドット列）	片方向または【両方向】（メモリスイッチ2-8、4-4による）				
漢字書体	明朝体		変化しない		
ANK 文字フォント	【標準】、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B（パラメータ設定による）				変化しない
ハガキ印刷モード	【解除】または選択（パラメータ設定による）		変化しない		

<table>
<tr><th>項目</th><th>電源 ON</th><th>強制リセット</th><th>ESC c1</th><th>$\overline{\text{INPUT PRIME}}$</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td>固定ドットスペース</td><td colspan="5">解除（0ドット）</td></tr>
<tr><td>倍率設定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>縮小組文字縦印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>文字修飾</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>縮小印刷</td><td colspan="3">解除</td><td colspan="2">変化しない</td></tr>
<tr><td>漢字コード表</td><td colspan="5">【1978年】、1983年、1990年（パラメータ設定による）</td></tr>
</table>

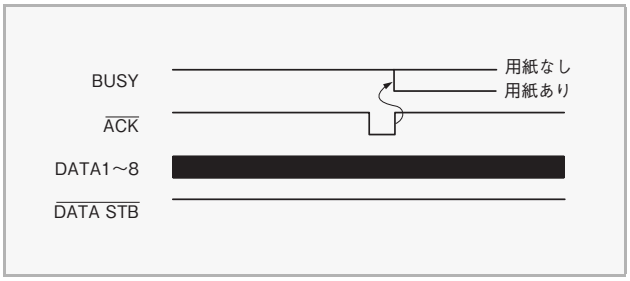
インタフェース

インタフェース信号の機能

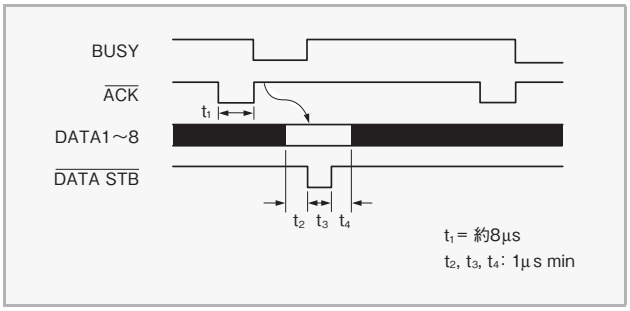
ピン番号	信号名	略称	方向 プリ⇔コンピュータ	機能
1	データストローブ	$\overline{\text{DATA STB}}$	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。LOWのままでは次の動作を開始しない。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。パルス幅は最小3μsとする。
10	アクノレッジ	$\overline{\text{ACK}}$	→	受信したデータをプリンタ内へ取り込み完了したことを示す信号で、$\overline{\text{DATA STB}}$受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約8μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	→	プリンタがデータ受信不可能（BUSY）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ●ディセレクト中のとき。 ●$\overline{\text{INPUT PRIME}}$信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつ$\overline{\text{INPUT PRIME}}$信号がHIGHになるまでの間。 ●データを受信してから、プリンタ内へ取り込み完了するまでの間。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙の有無を示す。
13	セレクト	SELECT	→	プリンタがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。
14	オートフィード	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	←	IEEE1284準拠モードの場合、逆方向通信の時使用する。
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	→	プリンタが電源投入状態であることを示す。
19～30	TWISTED PAIRGND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	←	この信号がLOWになるとプリンタは初期状態になる。定常状態はHIGHである。
32	フォルト	$\overline{\text{FAULT}}$	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● ディセレクト中のとき。 ● プリンタがエラー状態のとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	$\overline{\text{SELECT IN}}$	←	IEEE1284準拠モードにする信号

タイムチャート

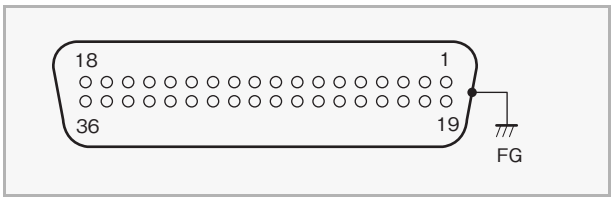
● 電源ON時



● データ受信時



コネクタピン配置

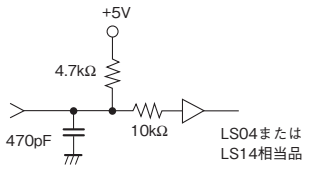


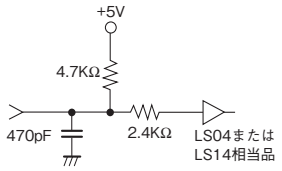
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	$\overline{\text{DATA STB}}$	11	BUSY	21*	TWISTED PAIR GND	31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$
2	DATA 1	12	PE	22*	TWISTED PAIR GND	32	$\overline{\text{FAULT}}$
3	DATA 2	13	SELECT	23*	TWISTED PAIR GND	33*	SG
4	DATA 3	14	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	24*	TWISTED PAIR GND	34	（将来の拡張用）
5	DATA 4	15	（将来の拡張用）	25*	TWISTED PAIR GND	35	（将来の拡張用）
6	DATA 5	16*	SG	26*	TWISTED PAIR GND	36	$\overline{\text{SELECT IN}}$
7	DATA 6	17	FG	27*	TWISTED PAIR GND		
8	DATA 7	18	DCN	28*	TWISTED PAIR GND		
9	DATA 8	19*	TWISTED PAIR GND	29*	TWISTED PAIR GND		
10	$\overline{\text{ACK}}$	20*	TWISTED PAIR GND	30*	TWISTED PAIR GND		

* これらのピン端子はプリンタ内部で相互に接続されています。

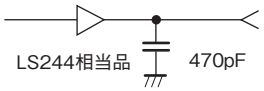
電気的特性

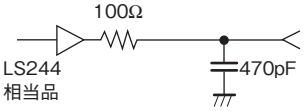
入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8 $\overline{\text{INPUT PRIME}}$	

信号名	回路形式
$\overline{\text{DATA STB}}$	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ PE SELECT DCN	

信号名	回路形式
BUSY	

文字コード表

本プリンタは、8ビットコード、7ビットコードのうちの1つと漢字コードを使用することができます。
8ビットコードと7ビットコードの切り替えはメモリスイッチ2-6によって行います。工場設定は8ビットコードです。
また、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンの各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は各国特殊文字の入らないコードです。
漢字コードは、半角文字、JIS第1水準の漢字や記号など、およびJIS第2水準の漢字を印刷するのに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります（JIS 1978年版準拠）。

文字種 / 印刷モード	ANK			CG グラフィック 56種	ANK	漢字＊ 7014種
	英数字・記号 (SPを含む) 96種	カタカナ・記号 63種	ひらがな 55種		各国文字 15種	
	214種					
	270種					
	285種					
NHSパイカモード	○	○	○	○	○	—
HDパイカモード	○	○	○	○	○	—
コンデンスモード	○	○	○	○	○	—
エリートモード	○	○	○	○	○	—
プロポーショナルモード	○	○	○	○	○	—
漢字モード	—	—	—	—	—	○

○：印刷可能

＊ 漢字の詳細：

JIS第1水準漢字	2965種	計 7014種
JIS第2水準漢字	3384種	
記号（SPを含む）	108種	
英数字	62種	
ひらがな	83種	
カタカナ	86種	
ギリシャ文字	48種	
ロシア文字	66種	
半角文字（SPを含む）	212種	

1バイト系コード表

8ビットコード表

8ビットコード表　―カタカナモード―

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
									0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
									0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
									0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
									0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	_	⊥		ー	タ	ミ	＝	×
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▬	┬	。	ア	チ	ム	ト	円
				0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▬	┤	「	イ	ツ	メ	ナ	年
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▬	├	」	ウ	テ	モ	ニ	月
				0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▬	─	、	エ	ト	ヤ	◢	日
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	■	┼	・	オ	ナ	ユ	◣	時
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	■	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	■	│	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	│	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	│	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	│	└	ェ	コ	ハ	レ	◆	
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	│	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	│	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
				1	1	0	1	D	CR	GS	−	=	M	注6	m	注11	│	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	│	╯	ョ	セ	ホ	゛	／	
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		+	╰	ッ	ソ	マ	゜	＼	

8ビットコード表　―ひらがなモード―

b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
									0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1
									0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
									0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1
									0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p	_	⊥		ー	た	み	＝	×
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▬	┬	。	あ	ち	む	ト	円
				0	0	1	0	2			"	2	B	R	b	r	▬	┤	「	い	つ	め	ナ	年
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s	▬	├	」	う	て	も	ニ	月
				0	1	0	0	4	EOT		注2	4	D	T	d	t	▬	─	、	え	と	や	◢	日
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u	■	┼	・	お	な	ゆ	◣	時
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v	■	│	を	か	に	よ	◥	分
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w	■	│	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x	│	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	│	┐	ぅ	け	の	る	♥	
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z	│	└	ぇ	こ	は	れ	◆	
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9	│	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10	│	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
				1	1	0	1	D	CR	GS	−	=	M	注6	m	注11	│	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12	│	╯	ょ	せ	ほ	゛	／	
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o		+	╰	っ	そ	ま	゜	＼	

7ビットコード表

									0 または 1							
									0	0	0	0	1	1	1	1
									0	0	1	1	0	0	1	1
									0	1	0	1	0	1	0	1
b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7
				0	0	0	0	0			SP	0	注3	P	注8	p
				0	0	0	1	1		DC1	!	1	A	Q	a	q
				0	0	1	0	2		DC2	"	2	B	R	b	r
				0	0	1	1	3		DC3	注1	3	C	S	c	s
				0	1	0	0	4	EOT	DC4	注2	4	D	T	d	t
				0	1	0	1	5			%	5	E	U	e	u
				0	1	1	0	6			&	6	F	V	f	v
				0	1	1	1	7			'	7	G	W	g	w
				1	0	0	0	8		CAN	(	8	H	X	h	x
				1	0	0	1	9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
				1	0	1	0	A	LF		*	:	J	Z	j	z
				1	0	1	1	B	VT	ESC	+	;	K	注4	k	注9
				1	1	0	0	C	FF	FS	,	<	L	注5	l	注10
				1	1	0	1	D	CR	GS	−	=	M	注6	m	注11
				1	1	1	0	E	SO	RS	.	>	N	注7	n	注12
				1	1	1	1	F	SI	US	/	?	O	_	o	

注13

<注1～注12>　各国特殊文字
（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます）。

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

<注13>　2～5列はキャラクタモードによって以下のように切り替わります。

行＼列	CGグラフィックモード				ひらがなモード				カタカナモード			
	2	3	4	5	2	3	4	5	2	3	4	5
0	▁	┴	═	╳		ー	た	み		ー	タ	ミ
1	▂	┬	╞	円	。	あ	ち	む	。	ア	チ	ム
2	▃	┤	╪	年	「	い	つ	め	「	イ	ツ	メ
3	▄	├	╡	月	」	う	て	も	」	ウ	テ	モ
4	▅	┼	◢	日	、	え	と	や	、	エ	ト	ヤ
5	▆	─	◣	時	・	お	な	ゆ	・	オ	ナ	ユ
6	▇	│	◥	分	を	か	に	よ	ヲ	カ	ニ	ヨ
7	▇	┃	◤	秒	ぁ	き	ぬ	ら	ァ	キ	ヌ	ラ
8	▏	┌	♠		ぃ	く	ね	り	ィ	ク	ネ	リ
9	▕	┐	♥		ぅ	け	の	る	ゥ	ケ	ノ	ル
A	▌	└	◆		ぇ	こ	は	れ	ェ	コ	ハ	レ
B	▐	┘	♣		ぉ	さ	ひ	ろ	ォ	サ	ヒ	ロ
C	▌	╭	●		ゃ	し	ふ	わ	ャ	シ	フ	ワ
D	▐	╮	○		ゅ	す	へ	ん	ュ	ス	ヘ	ン
E	▐	╯	／		ょ	せ	ほ	゛	ョ	セ	ホ	゛
F	┼	╰	＼		っ	そ	ま	゜	ッ	ソ	マ	゜

漢字コード表（2バイト系コード表）

チェック

本プリンタでは,従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表にも対応しています。それらをコンピュータから切り替えるときは、拡張制御コードをご使用ください。詳しくは、「FS 05F 漢字コード表の選択」（175ページ）をご覧ください。

次の漢字コード表（半角文字、全角文字―JIS第1水準―、全角文字―JIS第2水準―）は、JIS1978年版に準拠しています。

漢字コード表　―半角文字―

行＼列	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

＜注＞　0列、0030行の「0」の書体はメモリスイッチ3-7により「 Ø 」に変更できます。

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―

第2バイト / 第1バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝																																
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν
27	Α	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я													
28																																													
29																																													
2A																																													
2B																																													
2C																																													
2D																																													
2E																																													
2F																																													
30	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閲	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴛	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲
34	郭	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰
36	供	挟	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠
42	僧	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鰐	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顚	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗
46	菫	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覇	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鱒	品	彬	斌	浜
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕
4C	漫	萱	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵
4F	連	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫

漢字コード表　―全角文字（JIS第1水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
［	］	｛	｝	＜	＞	≪	≫	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん												
ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω																																						
			а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я														
偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
肝	鑑	莞	観	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
砧	枠	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
籾	俥	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
稽	系	経	継	繋	罫	茎	荆	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鐘	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
椛	攝	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到
椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満
漠	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
蘆	蕨	椀	湾	碗	腕																																											

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―

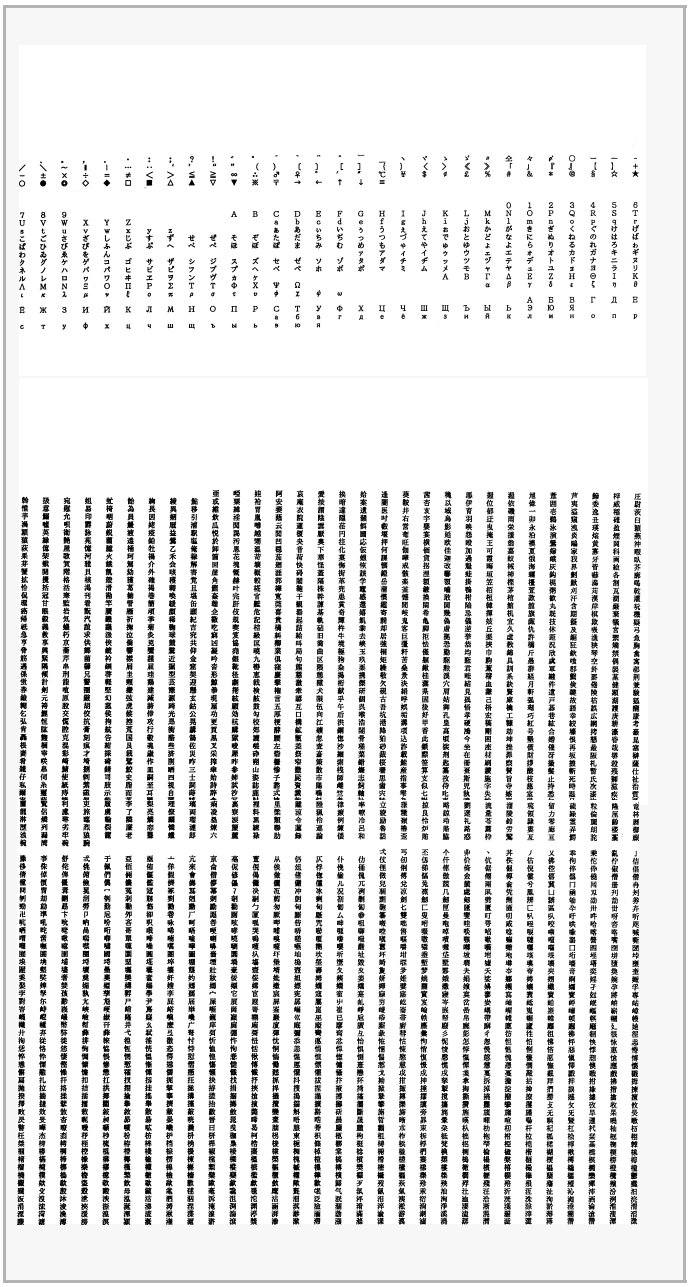
第1バイト＼第2バイト	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D
50	弐	丐	丕	个	丞	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弐	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僧	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤
52	冦	冢	冩	冪	冫	勿	匂	匐	匍	匐	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	巻	厂	厖	厮	厰	厳	咢	哀	亟	衆	咸	哭	哲	唇	哮	哽	唐	唾
53	啻	啣	啻	啻	啗	啊	啻	啻	啼	唇	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐	唄	唆	唐
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坤	坏	坩	埀	垈	坡	坤	埀	垈	坡	坤	埀	垈	坡	坤	埀	垈	坡	坤	埀	垈	坡	坤	埀	垈	坡	坤
55	垰	夲	妝	婀	妣	妣	妣	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	婀	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫐	嫪	嬉	孀	孃	孀	孃	孀	孃	孀
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岼	岷	峅	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠	峇	峙	峠
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廴	廨	廻	廊	廬	廰	廳	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彝	弋	弑	弖	弩	弭	弼	彌	彈	彌	彎	弯	互	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徭
58	憎	憖	憚	悅	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	怒	惶	惷	愀	惴	惺	愼	愛	惺	愾	慊	惱	愍	愎	慈	愾	愴	愿	愼	愬	愆	慢	慣	慟	慯	慷	慵	慶
59	憂	慙	慚	慧	慟	慮	慢	慣	慣	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抗	抉	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拾
5A	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
5B	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
5C	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
5D	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
5E	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
5F	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
60	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
61	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
62	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
63	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
64	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
65	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
66	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
67	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
68	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
69	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6A	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6B	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6C	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6D	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6E	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
6F	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
70	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
71	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
72	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
73	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
74																																													

漢字コード表　―全角文字（JIS第2水準）―（続き）

4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	倆	倪	俟	俎	俘	俺	倆	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偭	偷	偷	偷	偶	偽	偶	偶
寇	寐	寫	冪	冫	決	冱	冲	冰	況	冽	凅	涼	凛	几	處	凩	凭	鳳	凵	函	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劔	劈	劑	辨	辨	辨	辨
廁	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叼	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	咻	呻	吟	吝	呟	咏	呵	咎	呟	呪	呼	咀	呻	咀	呪	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨				
嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚐	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囂	囈	囊	囎	囑	囂	囘	囮	囪	囲	圉	国	國
埖	埜	堅	堊	堕	壊	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞	壞
嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屄			
嶇	嶋	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶷	巉	巍	巒	巓	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廏	廢			
徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	怯	怜	恪	怒	恂	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚		
慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	慮	慢	慇	慈	慊	慊	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	憲	憸	憮	懣	懷	懦	懺	懴	懿	懺	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝
拯	搾	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼		
變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旋	旗	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	晁	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼			
枸	柤	柞	柝	柢	柮	柎	柏	柆	柧	桁	桄	桀	桍	桍	桎	梳	栫	桐	梓	栖	桿	桾	桮	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	梼	桭	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棟	椁	棟	椁	棟	椁	棟	椁	棟	椁	棟
楪	楊	楊	楔	楯	楷	楔	楊	榕	榴	槞	榔	榕	榮	樅	槿	樛	樗	樟	樹	樞	樟	樹	橲	樊	橲	樊	橲	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓	橄	樣	樓
殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾		
淮	渭	湮	渟	湃	渙	滎	渾	渣	湫	渫	湶	湍	滸	渟	滓	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滑	溽	溺	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	滌	滲	漱	滯	漲	滌		
瀘	潇	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟	瀟
猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珂	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	瑯	琉	瑛	琥	瑠	瑠	瑜	瑩	瑰	瑣	瑤	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱		
疥	疣	痂	疳	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痎	痔	痕	痘	痛	痢	痰	痺	痲	痲	痲	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘡	瘧	瘤	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻	瘻
皀	睿	睾	瞎	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍	矗	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	砧	硎	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碪	碯	磑	磔	磧	磚	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔	磔
榕	穗	穉	穡	穢	穩	龢	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竝	竚	竝	竚	竝	竪	竦	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭	竭
篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤	篤
緡	緘	緝	縣	縡	縒	縱	縟	縕	縢	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟	縟
耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聳	聵	聯	聾	聲	聰	聶	聹	聽	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	脛	脩	脣	脯	腋		
舂	舁	與	舊	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艘	艝	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘	艤	艘
萠	葬	萸	蔆	茖	茣	荀	茅	荒	荅	荻	莟	莢	莨	菴	萬	藥	菴	蓋	蓋	蒿	蓊	蓋	蒙	蒿	蒟	蒻	蓙	蓍	蒻	蓚	蓙	蓍	蒻	蓚	蔡	蓿	蓴	蔗	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬	蔬
蝌	蚣	蚩	蚋	蝌	蛙	蛸	蛭	蛄	蛆	蛔	蛉	蛞	蛩	蛔	蛞	蛩	蛭	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蝕	蜀	蜜	蛻	蜑	蜉	蝣	蝨	蝕	蝿	蝨	蝪	蝿	蝨	蝪	蝿	蝨	蝪	蝿	蝨	蝪	蝿	蝨	蝪	蝿
衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裟	裙	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝	裝
詢	誅	誂	誄	誨	誠	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諧	諤	諱	諢	諠	諷	諞	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛	諷	諛
賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅	贅
轅	轜	轂	輔	輔	輩	輟	輻	輹	轅	轂	轅	轉	轉	轤	轎	轍	轎	轉	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逖	逡	逞	逖	逡	逵	逵	逆		
醂	醢	醫	醯	醪	醴	醴	醴	醴	釉	釋	釐	釖	釖	釜	釖	釖	釖	釖	釖	鈞	鈞	鈍	鈔	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍	鈍
鑪	鈩	鑰	鑵	鑑	鑽	鑽	鑼	鑾	鑿	鑿	門	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂	閂
靈	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	鞀	靭	鞆	鞅	鞄	鞍	鞍	鞆	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍	鞍
駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骯	髀	髏	髓	體	髑	髓	崑	髣	髴	髯	髯	髮	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
鯑	鯒	鮠	鮟	鮱	鯔	鯔	鮴	鯉	鯊	鮗	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔	鯔
麥	麩	麸	麹	麺	麼	麿	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡	鼕	鼡

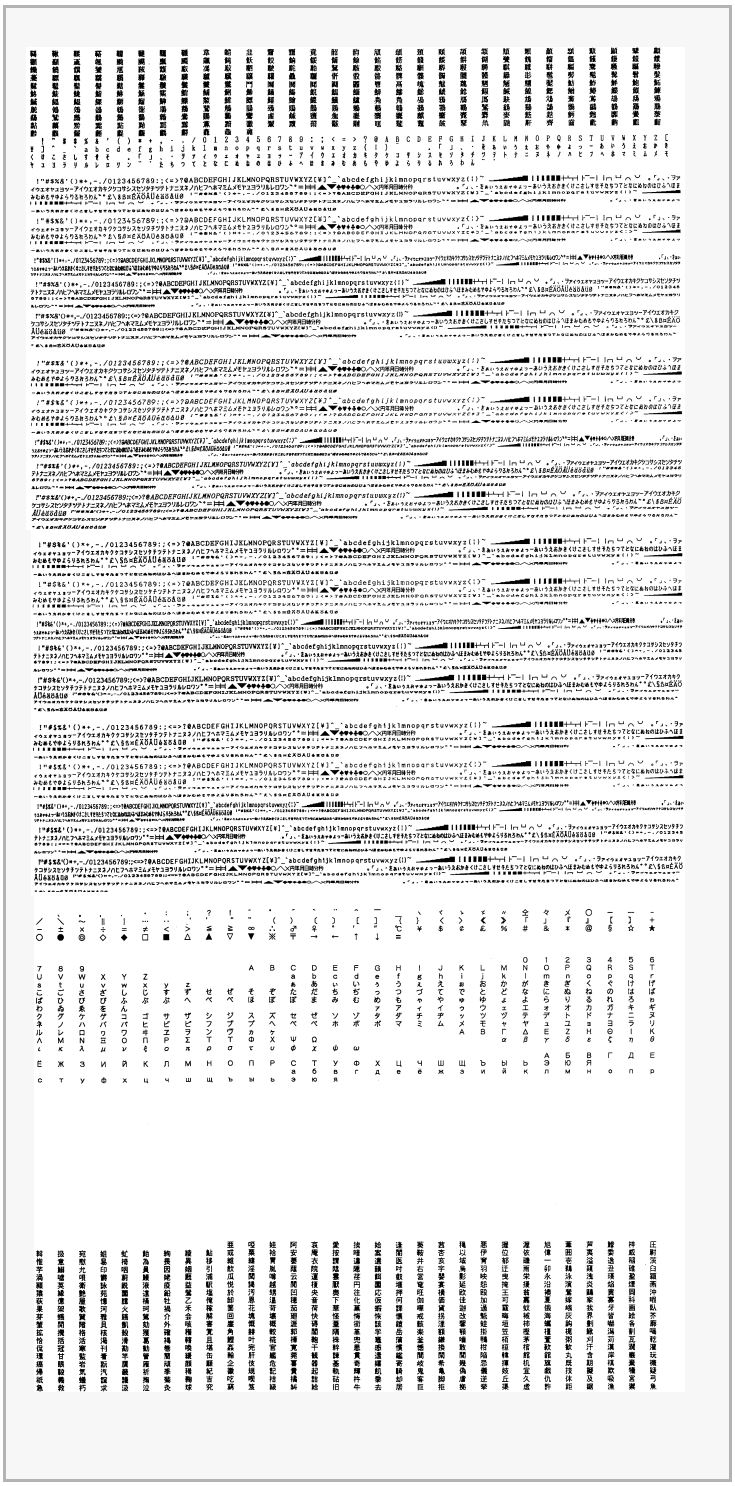
テスト印刷サンプル

（30%縮小）



←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第1水準）

←2バイト系　明朝体　全角文字（JIS第2水準）



←2バイト系　明朝体　半角文字

←1バイト系　標準　HDパイカ文字

←1バイト系　標準　NHSパイカ文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字
←1バイト系　標準　エリート文字
←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　NHSパイカ文字

←1バイト系　イタリック　エリート文字
←1バイト系　イタリック　HDパイカ文字
←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字字

←1バイト系　クーリエ　HDパイカ文字
←1バイト系　クーリエ　NHSパイカ文字

←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字
←1バイト系　クーリエ　エリート文字
←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　HDパイカ文字

←1バイト系　ゴシック　NHSパイカ文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字
←1バイト系　ゴシック　エリート文字
←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

（以下省略）

制御コード一覧

以下の制御コード表の詳細については、「日本語シリアルプリンタ言語201PLリファレンスマニュアル」を参照してください。

基本制御コード表

○：有

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
印刷	CR	0D	印刷し復帰	○
改行	LF	0A	1行改行	○
水平タブの実行	HT	09	水平タブ位置へ移動	○
垂直タブの実行	VT	0B	垂直タブ位置へ移動	○
改ページ	FF	0C	改ページ	○
倍角文字コード および キャラクタモード	SO	0E	倍角文字モード設定（8ビットコード）	○
			カタカナモード設定（7ビットコード）	○
	SI	0F	倍角文字モード解除（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	○
	DC2	12	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード設定（7ビットコード）	○
	DC4	14	無効（8ビットコード）	○
			倍角文字モード解除（7ビットコード）	○
キャンセル	CAN	18	バッファの印刷データをキャンセル	○
セレクト／ディセレクト	DC1	11	セレクト状態にする	○
	DC3	13	ディセレクト状態にする	○
VFUの設定	GS	1D	VFUの設定開始	○
	RS	1E	VFUの設定終了	○
n行改行	US	1F	0～72行改行	○
VFUの実行			VFUの実行	○
外字の登録終了	EOT	04	外字の登録終了	○
同期コード*	EM	19	印刷動作が終了するまでデータを受け付けない	○

＊マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（174ページ）をご覧ください。

拡張制御コード表

○：有、×：無

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
印刷モード	ESC N	1B 4E	HSパイカモード設定	○
	ESC H	1B 48	HDパイカモード設定	
	ESC Q	1B 51	コンデンスモード設定	
	ESC E	1B 45	エリートモード設定	
	ESC P	1B 50	プロポーショナルモード設定	
	ESC K	1B 4B	漢字（横印刷）モード設定	
	ESC t	1B 74	漢字（縦印刷）モード設定	
HSパイカモード	ESC n 0	1B 6E 30	NHSパイカモード設定	×
	ESC n 1	1B 6E 31	SHSパイカモード設定	
キャラクタモード	ESC $	1B 24	カタカナモード設定（8ビットコード）	○
			英数モード設定（7ビットコード）	
	ESC &	1B 26	ひらがなモード設定（8ビットコード）	
			ひらがなモード設定（7ビットコード）	
	ESC #	1B 23	無効（8ビットコード）	
			CGグラフィックモード設定（7ビットコード）	
スクリプト文字モード	ESC s 1	1B 73 31	スーパスクリプト文字モード設定	○
	ESC s 2	1B 73 32	サブスクリプト文字モード設定	
	ESC s 0	1B 73 30	スクリプト文字モード解除	
外字	ESC +	1B 2B	外字（24 x 24ドット）の登録	○
	ESC *	1B 2A	外字（16 x 16ドット）の登録	○
ダウンロード文字	ESC ℓ	1B 6C	ダウンロード文字の登録	○
	ESC ℓ+	1B 6C 2B	ダウンロード文字印刷	○
	ESC ℓ-	1B 6C 2D	プリンタ内蔵文字印刷	○
	ESC ℓ0	1B 6C 30	ダウンロード文字クリア	○
文字の拡大	ESC e	1B 65	縦横拡大率指定	○
キャラクタリピート	ESC R	1B 52	キャラクタリピート	○
強調印刷モード	ESC !	1B 21	強調印刷モード設定	○
	ESC "	1B 22	強調印刷モード解除	
アンダライン／オーバライン	ESC X	1B 58	ライン印刷モード設定	○
	ESC Y	1B 59	ライン印刷モード解除	○
	ESC _	1B 5F	ラインの指定	○
	FS 0 4 L	1C 30 34 4C	ラインの太さの指定	○
高速印刷モード	ESC d 0	1B 64 30	高速印刷モード設定	○
	ESC d 1	1B 64 31	高速印刷モード解除	
ドットスペース	ESC $[00]_H$	1B 00	0ドットスペース	○
	ESC $[01]_H$	1B 01	1ドットスペース	
	ESC $[02]_H$	1B 02	2ドットスペース	
	ESC $[03]_H$	1B 03	3ドットスペース	
	ESC $[04]_H$	1B 04	4ドットスペース	
	ESC $[05]_H$	1B 05	5ドットスペース	
	ESC $[06]_H$	1B 06	6ドットスペース	
	ESC $[07]_H$	1B 07	7ドットスペース	
	ESC $[08]_H$	1B 08	8ドットスペース	
	FS w	1C 77	固定ドットスペース	
ドット列印刷モード	ESC S	1B 53	8ビットドット列対応グラフィック印刷モード	○
	ESC I	1B 49	16ビットドット列対応グラフィック印刷モード	
	ESC J	1B 4A	24ビットドット列対応グラフィック印刷モード	

分類	コード	16 新数	機能概要	機能の有無
ドット列印刷モード	ESC V	1B 56	8ビットドット列リピートモード	○
	ESC W	1B 57	16ビットドット列リピートモード	
	ESC U	1B 55	24ビットドット列リピートモード	
	ESC F	1B 46	ドットアドレッシング	
ドット対応グラフィックドット数	ESC D	1B 44	コピーモード設定	○
	ESC M	1B 4D	ネイティブモード設定	
印刷方向	ESC >	1B 3E	片方向印刷モード設定	○
	ESC]	1B 5D	両方向印刷モード設定	
水平タブ	ESC (	1B 28	水平タブセット	○
	ESC)	1B 29	水平タブ部分クリア	
	ESC 2	1B 32	水平タブオールクリア	
簡易VFU	ESC v	1B 76	VFUのセット	○
マージン	ESC L	1B 4C	レフトマージン設定	○
	ESC /	1B 2F	ライトマージン設定	
漢字半角文字の縦印刷モード	ESC h 1	1B 68 31	漢字半角文字の縦印刷モード設定	○
	ESC h 0	1B 68 30	漢字半角文字の縦印刷モード解除	
	ESC q	1B 71	漢字半角の組文字縦印刷モード設定	
倍率設定と縮小文字の組文字印刷モード	FS m	1C 6D	倍率設定	○
	FS P	1C 50	縮小文字の組文字印刷モード設定	
漢字文字幅と漢字文字サイズ	FS A	1C 41	漢字文字幅3/20インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	○
	FS B	1C 42	漢字文字幅1/5インチ、漢字文字サイズ10.5ポイント	
	FS C	1C 43	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント	
	FS D	1C 44	漢字文字幅2/15インチ、漢字文字サイズ9.5ポイント相当	
	FS F	1C 46	漢字文字幅1/10インチ、漢字文字サイズ7ポイント相当	
	FS G	1C 47	漢字文字幅1/6インチ、漢字文字サイズ12ポイント相当	
漢字文字幅	FS p	1C 70	漢字文字幅の切り替え	○
漢字文字サイズ	FS 0 4 S	1C 30 34 53	漢字文字サイズの切り替え	○
改行幅	ESC A	1B 41	1/6インチ改行モード設定	○
	ESC B	1B 42	1/8インチ改行モード設定	
	ESC T	1B 54	n/120インチ改行モード設定	
改行方向	ESC f	1B 66	順方向改行モード設定	○
	ESC r	1B 72	逆方向改行モード設定	
シートフィーダ制御	ESC a	1B 61	排出後吸入（シートフィーダ装着時）	○
	ESC b	1B 62	排出（シートフィーダ装着時）	
	FS f	1C 66	ホッパの切り替え（ダブルピンシートフィーダ装着時）	×
ANK文字フォント	ESC O	1B 4F	ANK文字フォントの切り替え	○
	FS 0 6 F	1C 30 36 46	文字フォントの選択	
漢字フォント	ESC O	1B 4F	漢字フォントの切り替え	○
カラー	ESC C	1B 43	カラーの切り替え	○
文字修飾	FS c	1C 63	文字修飾の設定または解除	○
ソフトウェアリセット	ESC c 1	1B 63 31	初期状態にリセット	○
縮小設定*	FS 0 5 f	1C 30 35 66	縮小印刷の設定	○
書体選択*	FS 0 6 F	1C 30 36 46	書体の選択	○
パラメータリセット*	ESC c 8	1B 63 38	初期状態にリセット	○
漢字コード表の選択*	FS 0 5 F	1C 30 35 46	漢字コード表を選択する	○
カット紙の排出方向モードの切り替え*	FS 0 2 ER FS 0 2 EF	1C 30 32 45 52 1C 30 32 45 46	カット紙手前側排出モードの設定 カット紙奥側排出モードの設定	○
用紙の選択*	ESC m 1 ESC m 2 ESC m 3	1B 6D 31 1B 6D 32 1B 6D 33	連続紙（前）用紙モードの設定 カット紙用紙モードの設定 連続紙（後）用紙モードの設定	○
バーコード印刷*	FS '	1C 60	バーコードの印刷	○

＊マークの付いているコードは201PLリファレンスマニュアルに記載されていないコードです。詳しくは「新制御コードのコマンド仕様」（174ページ）をご覧ください。

次の倍率に関する制御コードはプリンタに依存します。

(1) ESC e
(2) FS m

本プリンタの場合は、以下のようになります。

(1) ESC e（縦横拡大率指定）

コマンド仕様

ESC e n1 n2

n1:縦拡大率
n2:横拡大率
n1、n2共に1、2、3、4、6、8を設定可能

(2) FS m（倍率指定）

コマンド仕様

FS m n1/n2、n3/n4、P1.

n1/n2:縦倍率
n3/n4:横倍率
下表の設定となります。

		横倍率 n3/n4								
		1/2	1/1	2/1	3/1	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1
縦倍率 n1/n2	1/2	○	○	×	×	×	×	×	×	×
	1/1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
	2/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	3/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	4/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	5/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	6/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○
	7/1	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	8/1	×	○	○	○	○	×	○	×	○

新制御コードのコマンド仕様

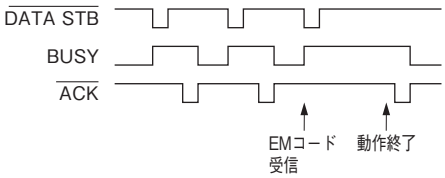
201PLリファレンスマニュアルに記載されていない制御コードにて、本プリンタで対応している制御コードについて説明します。

EM　同期コード

	EM
16進	19
10進	25

同期動作を行います。

- 同期コードは印刷開始コードの直後に入れてください。
- 同期コードを受信すると、受信バッファが空になり、印刷および改行などの機械的動作が終了するまで次のデータを受け付けません。
- 同期データ受信後、すべての動作終了までBUSY信号をHIGHに保ちます。すべての動作終了後、BUSY信号をLOWにして$\overline{\text{ACK}}$信号を出力します。
- 動作例：印刷＋印刷開始コード＋同期コード



FS 05f　縮小設定

	FS	0	5	f	n_1	n_2	n_3	p_1
16進	1C	30	35	66	n_1	n_2	n_3	p_1
10進	28	48	53	102	n_1	n_2	n_3	p_1

縮小印刷を設定します。
n_1とn_2とn_3は縮小率を表し、組み合わせは次の中から選択します。

1 0 0…縮小率印刷解除
0 8 0…4/5縮小印刷
0 6 7…2/3縮小印刷

p_1は縮小基準位置を表します。設定は次のとおりです。

L…左端基準

- すべての文字コードに対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は、操作パネルを使っても設定できます。詳しい操作は「メニューモード」（57ページ）を参照してください。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。

- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- ハガキ印刷モードが選択されているとき、またはメモリスイッチの切り替えにより1行の文字数が80桁になっているときは、縮小印刷はできません。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見えにくくなるものがあります。

FS 06F　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

使用する漢字フォントを直接指定します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}とn_{23}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0…明朝体
2 0 0…ゴシック体
8 5 1…詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（183ページ）を参照してください。
C L R…詳細は「カスタマバーコードを印刷する」（183ページ）を参照してください。

ESC c8　パラメータリセット

	ESC	c	8
16進	1B	63	38
10進	27	99	56

各種パラメータをリセットします。

リセットされる内容については、「初期状態」（155ページ）をご覧ください。

FS 05F　漢字コード表の選択

	FS	0	5	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}
16進	1C	30	35	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}
10進	28	48	53	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}

漢字コード表を選択します。

n_1は“2”を指定します。
n_{21}とn_{22}の組み合わせは次の中から選択します。

0 0…JIS 1978年版（JIS C6226-1978）
0 1…JIS 1983年版（JIS X0208-1983）
0 2…JIS 1990年版（JIS X0208-1990）

- 本プリンタでは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の漢字コード表に対応しています。漢字コード表をコンピュータから切り替えるときは、この制御コードを使用してください。
- 本プリンタで印刷される文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理などの都合により、多少字形の異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字とが異なる場合があります。

FS 02 ER　カット紙手前側排出モードの設定

	FS	0	2	E	R
16進	1C	30	32	45	52
10進	28	48	50	69	82

カット紙を手前側（シートガイド）へ排出します。

FS 02 EF　カット紙奥側排出モードの設定

	FS	0	2	E	F
16進	1C	30	32	45	46
10進	28	48	50	69	70

カット紙を奥側（スタッカ）へ排出します。

ESC m 1　フロントトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	1
16進	1B	6D	31
10進	27	109	49

給紙方法をフロントトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“フロントトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイドまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、リアトラクタフィーダになっているときはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 2　　カット紙用紙モードの設定

	ESC	m	2
16進	1B	6D	32
10進	27	109	50

印刷する用紙をカット紙にします。

- シートフィーダが装着されているときは、ディスプレイに“シートフィーダ”と表示されます。
- シートフィーダが装着されていないときは、ディスプレイに“シートガイド”と表示されます。
- 給紙方法がフロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダになっているときは、フロントトラクタフィーダまたはリアトラクタフィーダの用紙を退避します。

ESC m 3　　リアトラクタフィーダモードの設定

	ESC	m	3
16進	1B	6D	33
10進	27	109	51

給紙方法をリアトラクタフィーダにします。

- ディスプレイに“リアトラクタフィーダ”と表示されます。
- 給紙方法がシートガイトまたはシートフィーダになっているときは用紙の排出を行い、フロントトラクタフィーダになっているときはフロントトラクタフィーダの用紙を退避します。

特殊文字の印刷

本プリンタでは、「バーコード」と「OCR-B相当フォント」の印刷ができます。印刷するには、それぞれの制御コードを送ります。ここではプリンタ内部のフォントを使用する場合について説明しています。

バーコードを印刷する

- 印刷範囲内であれば、1行にいくつでもバーコードを印刷することができます。ただし、1つのバーコードが次の行にまたがる場合は、そのバーコードは印刷されずにその部分のデータが無効となります。
- 本プリンタで印刷したバーコードは、ドットの組み合わせで印刷するため、本来の規格と多少差異が生じます。したがってバーコードの読み取りは、十分評価を行ってから使用してください。
- インクが薄くなったインクリボンで印刷したバーコードは、読み取りができないことがあります。バーコードを印刷するときはなるべく新しいインクリボンを使用してください。
- バーコードと文字を同一行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。したがってバーコード印刷の制御コードを分解し、改行幅の指定が必要になります。
- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の縦の長さの方が大きい場合、バーコードの下端と下部に印刷される文字が離れることがあります（182ページ参照）。
- JANはJIS B 9550に準拠していますが、レフト／ライトガイドバー、センタバーは下方へ拡大できません。
- 印刷するバーコードの左右には、読み取り用の空白エリアが必要になります。水平タブ（ HT ）などを使用してください。
- バーコード／カスタマバーコードを印刷するときは、坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙を使用してください。それ以外の用紙は推奨していないので事前にご確認ください。また、複写用紙には絶対に印刷しないでください。

制御コード

FS' バーコード印刷

	FS	`	n_{11}	n_{12}	,	n_2	,	n_3	,	n_{41}	n_{42}	,
16進	1C	60	n_{11}	n_{12}	2C	n_2	2C	n_3	2C	n_{41}	n_{42}	2C
10進	28	96	n_{11}	n_{12}	44	n_2	44	n_3	44	n_{41}	n_{42}	44

n_{51}	n_{52}	n_{53}	,	n_{61}	n_{62}	.
n_{51}	n_{52}	n_{53}	2C	n_{61}	n_{62}	2E
n_{51}	n_{52}	n_{53}	44	n_{61}	n_{62}	46

バーコードを印刷します。

n11、n12は2桁の10進数を指定します。

0 1 …NW-7（スタート／ストップキャラクタ指定）

0 2 …NW-7

0 3 …JAN標準
…JAN短縮

0 4 …CODE 39

0 5 …INDUSTRIAL 2 OF 5

0 6 …INTERLEAVED 2 OF 5

n2は1桁の10進数で、0、1、2のいずれかを指定します。

0 …ヒューマンリーダブルエリアの印刷なし
1 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの下部に印刷する
2 …ヒューマンリーダブルエリアをバーコードの上部に印刷する

n3は2、3、4のいずれかのモジュール幅を1桁の10進数で指定します。

n41、n42は2桁の10進数で30を指定します。

3 0 …3:1（ワイド：ナロー＝3:1）

n51、n52、n53は0～9までの数字で、バーコードの縦の長さ（n/160インチ）を3桁の10進数で指定します。

n61、n62は0～9までの数字で、バーコードの桁数を2桁の10進数で指定します。

- バーコードを印刷するには、この制御コードに引き続き、n61、n62で指定した桁数分のバーコードデータを送ります。
- n11、n12が01であるときは、NW-7のスタート／ストップキャラクタの指定になります。このとき、n2～n5は省略し、n6には2を指定します。この制御コードに引き続きスタートキャラクタとストップキャラクタを送ります。
- スタート／ストップキャラクタのディフォルト値はともに“a”とします。
- JAN標準（13桁）と短縮（8桁）の区別は、n61、n62に指定されたデータの桁数によって行います。
- ヒューマンリーダブルエリアは、バーコードの下部、または上部にOCR-B文字にて指定されたデータキャラクタを印刷します。
- モジュール幅とは、バー 1本の印刷ドット数を意味します。
- INTERLEAVED 2 OF 5のデータ桁数は、偶数で指定してください。
- バーコードの縦の長さ（n/160インチ）のnの範囲は、1≦n≦999です。ただしn=0が指定された場合は、現在設定されている改行幅がバーコードの縦の長さになります。したがって、改行幅の切り替え機能と組み合わせることによって、最小0.212mm（1/120インチ）単位での設定が可能となります。ただし、実際の印刷はドットピッチで行うため、0.159mm（1/160インチ）単位で変換されます。

バーコードの概要

バーコードに関する概要を説明します。

バーコードの種類

名称	機能概要		桁数
NW-7（コーダバー）	データ	数字　0～9（10個）＊1 記号　ー$：／．＋（6個）	可変（34）
	スタート、ストップ	abcdetn＊ABCDETN（15個）	
JAN標準	データ	数字　0～9（10個）	12+CD＊2（13）
	レフトガードバー、センタバー、ライトガードバー		
JAN短縮	同上		7+CD（8））
Code 39	データ	数字　0～9（10個） 英字　A～Z（26個） 記号　ー$／．＋%SP（7個）	可変（34）
	スタート、ストップ	＊	
Industrial 2 OF 5	データ	数字　0～9（10個）	可変（34）
	スタート、ストップ		
Interleaved 2 OF 5	データ	数字　0～9（10個）	可変（34） （ただし偶数のみ）
	スタート、ストップ		

＊1　桁数の（　）内は最大桁数を表します。

＊2　CD とは、「チェックディジット」のことです。

バーコード指令の概要

バーコードは次の表のとおり、6つのパラメータで形成され、それぞれの指令により各種のバーコードが印刷できます。

単位：ドット

パラメータ	概要
n_1	バーコードの種類を指定する。
n_2	ヒューマンリーダブルエリアの有無を指定する。
n_3	バーコードのモジュール幅をドット数で指定する。
n_4	バーコードのワイドバーとナローバーの横の長さの比を指定する。
n_5	バーコードの縦の長さをドット数（n/160インチ）で指定する。
n_6	バーコードデータの桁数を指定する。チェックディジットは本プリンタでは自動付加しないためコンピュータから出力する。

バーコードの横の長さ

各バーコード種別によるバーコードの横の長さの算出は次のとおりです。

単位：ドット

種別	スタートバー	ストップバー	センタバー	データバー	備考
NW-7	14	13	—	14/12	0〜9—$は12ドット ：／.＋は14ドット
JAN標準	3	3	5	7	合計95ドット
JAN短縮	3	3	5	7	合計67ドット
Code 39	16	15	—	16	—
Industrial 2 OF 5	10	9	—	14	—
Interleaved 2 OF 5	4	5	—	18	データキャラクタ2桁で1個のデータバーとする

ただし、表はモジュール幅が1ドットの場合であり、実際のモジュール幅は「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせて求めることができます。JANの場合は、合計ドット数に「n3」で指定したモジュール幅を掛け合わせ求めることができます。

例：　NW-7（モジュール幅：3、桁数：6）

モジュール幅　スタート　データ　ストップ　　インチ・ミリ概算（固定）　印刷ドット密度（固定）

↓　↓　↓　↓　　↓　↓

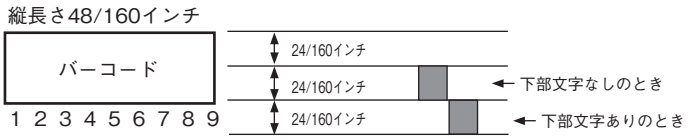
3　x　（14　＋（12x6）＋　13）＝297　→　297 x 25.4　÷　160≒ 47mm

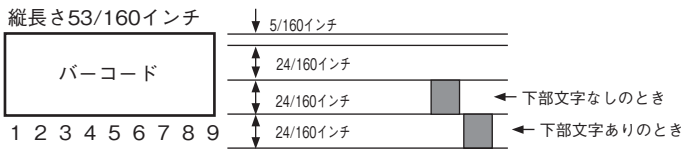
バーコード印刷時は、「上記で求めた長さ＋余白の長さ」が印刷範囲を超えないように注意してください。

バーコード印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意

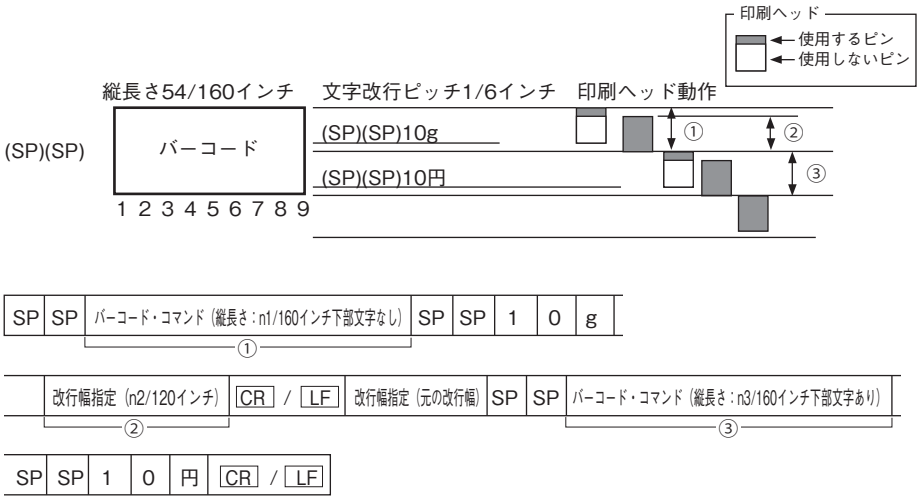
- 印刷開始位置は、次に印刷する文字の左上をバーコードの左上として印刷します。

- バーコード印刷は、印刷ヘッドの24ピン（24/160インチ）を基準に印刷処理を行うため、改行ピッチとの間にギャップがあるので、印刷終了時の印刷ヘッドの位置に注意してください。





- バーコードと通常の文字を同じ行に印刷する場合、文字を基準に印刷処理を行います。その場合は、バーコードコマンドを分解し、n/120インチ改行命令により改行する必要があります。



① 文字ピッチ分のバーコードの幅の長さを指定します。
バーコードの縦の長さ ＝ 改行ピッチ
＝ 1/6インチ
≒ 27/160インチ*1

n1=27

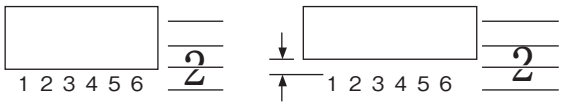
② ①のコマンド終了時に、印刷ヘッドを次の印刷行に改行させます。
改行幅 ＝ 印刷ヘッドの高さ
＝ 24/160インチ
＝ 18/120インチ

n2=18

③ 残りのバーコードを印刷します。
残りのバーコードの縦の長さ ＝ バーコードの縦の長さ－①のコマンドの縦の長さ
＝ 54/160-27/160インチ
＝ 27/160インチ

n3=27

- バーコードの縦の長さより縦拡大文字の長さの方が大きい場合、バーコードの下端とその下部の文字が離れる場合があります。



*1 バーコードの縦の長さを 1/160 インチに換算したときの端数は保持されます。この端数の累積による印刷位置ずれを防ぐためには、改ページコード（FF）で改ページするか、1/160 インチ換算で端数のないバーコードの縦の長さを設定してお使いください。

カスタマバーコードを印刷する

本プリンタでは、カスタマバーコードは、通常の漢字と同様に2バイト文字として扱われます。したがって、201PLで定義された文字制御（文字幅、文字サイズ、アンダーライン、文字修飾など）の影響を受けます。しかし、カスタマバーコードの仕様から逸脱した文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾などが行われると、読み取り機で読み取れなくなってしまいますので注意が必要です。カスタマバーコードは文字サイズ9.5ポイント、文字幅2/15インチの設定で印刷してください。

カスタマバーコードに盛り込む情報は、文字、-（ハイフン）、およびアルファベットから構成される新郵便番号および住所表示番号*です。ただし住所の方書き部分にビル、マンション等の棟･室番号などが存在する場合には、これを含めます。（＊住所番号とは住所の文字部分をハイフンで結んだものであり、住所表示実施地域については丁目一番一号まで、住居表示未実施地域については番地一枝番までの情報を基本とします）。

- 住所表示実施地域の例

〒153　世田谷区若林3丁目16番4号
↓
154-0023　3-16-4
新郵便番号　住所表示番号

- 住所表示実施地域の例

〒213　川崎市高津区溝口1207-4
↓
213-0001　1207-4
新郵便番号　住所表示番号

カスタマバーコードフォントを指定する制御コード

<2バイト文字書体の選択>
[FS] [0] [6] [F] [2] [-] [n1] [n2] [n3]

[n1] [n2] [n3] は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
851　カスタマバーコード書体（回転なし）
CLR　2バイト文字書体を初期状態に戻す。

カスタマバーコードのフォーマット

以下にカスタマバーコードのフォーマットを示します。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号をつなぐハイフンは省くものとします。また、英字1文字は、制御コードと数字コードの組み合わせにより実現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックディジット＋ストップコード
バーコード桁数：　（1）　（7）　（13）　（1）　（1）

<住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合>

- 13桁を超える場合　13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目にあたる場合、この制御コードに該当するバーコードまでを含めるものとする。
- 13桁に満たない場合　13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとする。

また、チェックディジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数になるように生成する。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次のとおりです。

キャラクタ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

＜住所表示番号を抜き出すルール＞

- 町域名以降の住所から、住所表示番号を抜き出す基本ルールは次のようになります。

① アルファベットの小文字は大文字に置き換える。
② “&”、“／”、“・”、“.”は取り除き、後ろのデータをつめる。
③ ①、②で整理されたデータから算用数字、ハイフン、連続していないアルファベット1文字を必要な文字情報として抜き出す。
④ 抜き出された文字の前にある「漢字」、「かな文字」、「カタカナ文字」、「漢数字」、「2文字以上連続したアルファベット文字」、「ブランク」はハイフン1文字に置き換える。
⑤ ④の置き換えで、ハイフンが連続する場合には1つにまとめる。
⑥ 先頭がハイフンの場合は取り除く。

- さらに次のような補足ルールがあります。

① 漢数字が下記の特定文字の前にある場合は抜き出し対象とし、算用数字に変換して抜き出す。
特定文字：「丁目」、「丁」、「番地」、「番」、「号」、「地割」、「線」、「の」、「ノ」
② 連続していないアルファベット 1文字は抜き出し対象となるが、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’に限っては抜き出し対象としない。
③ ②に記述したように、算用数字に続くアルファベット1文字‘F’は抜き出し対象とならないが、さらに、‘F’以降のデータに抜き出し対象となる文字がある場合、F’はハイフン1文字に置き換える。
④ 抜き出し後のバーコードデータについて、アルファベット文字の前後にあるハイフンは取り除く。
⑤ ④の処理でアルファベット文字の前後に当たるハイフンを取り除いた結果、2文字以上の連続したアルファベット文字が残った場合、取り除かないでそのままにする。

例） 住所表示番号抜き出し例

東3丁目ー 20ー 5　郵便・A&bコーポB603号
↓　（基本ルール①）
東3丁目ー 20ー 5　郵便・A&BコーポB603号
↓　（基本ルール②）
東3丁目ー 20ー 5　郵便ABコーポB603号
↓　（基本ルール③、④）
ー 3ーー 20ー 5ー B603
↓　（基本ルール⑤、⑥）
3ー 20ー 5ー B603
↓　（補足ルール④）
3ー 20ー 5B603

例）カスタマバーコードの生成例

- 住所
  千葉県鎌ケ谷市右京塚　東3丁目ー 20ー 5　郵便・A&bコーポB603号
- 新郵便番号（273ー 0102）＋住所表示番号（3ー 20ー 5B603）
  273ー 01023ー 20ー 5B603
- 郵便番号の3～4桁目間のハイフンを省く
  27301023ー 20ー 5B603
- 英字は制御コード＋数字に置き換える
  27301023ー 20ー 5CC1　1　603
- 住所表示部分が13桁になるまで制御コードCC4を付加する
  27301023ー 20ー 5CC1　1　603　CC4　CC4
- チェックディジット（CD）を計算する
  2+7+3+0+1+0+2+3+10+2+0+10+5+11+1+6+0+3+14+14+CD=94+CD=19の倍数
  CD=(19 x 5)ー 94=1
- CD、スタートコード、ストップコードを付加する
  STC　27301023ー 20ー 5CC1　1　603　CC4　CC4　1　SPC
- それぞれのコードを読み取る
  ＜27301023ー 20ー 5a1603dd1＞
- プリンタの印刷モードを漢字（横印刷）モード設定にするため、ESC Kコマンドをプリンタに送信する。
- 読み替えたコードをプリンタに送信する。

カスタマバーコードのコード体系

- 数字（0～9）
- ハイフンおよびスタート・ストップコード
- 制御コード（英語用制御コード3種・予備用制御コード5種）
- 英字（A～Z）

以下の文字コード以外が指定されたときは、全角スペースを印刷します。

数字

キャラクタ	0	1	2	3	4
コード割付	2330h 数字「0」	2331h 数字「1」	2332h 数字「2」	2333h 数字「3」	2334h 数字「4」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	144	114	132	312	123

キャラクタ	5	6	7	8	9
コード割付	2335h 数字「5」	2336h 数字「6」	2337h 数字「7」	2338h 数字「8」	2339h 数字「9」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	141	321	213	231	411

ハイフンおよびスタート・ストップコード

キャラクタ	–	スタート(STC)	ストップ(STP)
コード割付	215Dh マイナス「–」	2163h 不等号「<」	2164h 不等号「>」
カスタマ バーコード			
コード組合せ	–	–	–
バー種類	414	13	31

制御コード（英字用制御コード、予備用制御コード）

英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
コード割付	2361h 英数字「a」	2362h 英数字「b」	2363h 英数字「c」
カスタマ バーコード			
コード組合せ	–	–	–
バー種類	324	342	234

予備用制御コード

キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
コード割付	2364h 英数字「d」	2365h 英数字「e」	2366h 英数字「f」	2367h 英数字「g」	2368h 英数字「h」
カスタマ バーコード					
コード組合せ	–	–	–	–	–
バー種類	432	243	423	441	111

英字

キャラクタ	A	B	C	D	E
コード割付	2361h+ 2330h	2361h+ 2331h	2361h+ 2332h	2361h+ 2333h	2361h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+0	CC1+1	CC1+2	CC1+3	CC1+4
バー種類	324144	324114	324132	324312	324123

キャラクタ	F	G	H	I	J
コード割付	2361h+ 2335h	2361h+ 2336h	2361h+ 2337h	2361h+ 2338h	2361h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC1+5	CC1+6	CC1+7	CC1+8	CC1+9
バー種類	324141	324321	324213	324231	324411

キャラクタ	K	L	M	N	O
コード割付	2362h+ 2330h	2362h+ 2331h	2362h+ 2332h	2362h+ 2333h	2362h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+0	CC2+1	CC2+2	CC2+3	CC2+4
バー種類	342144	342114	342132	342312	342123

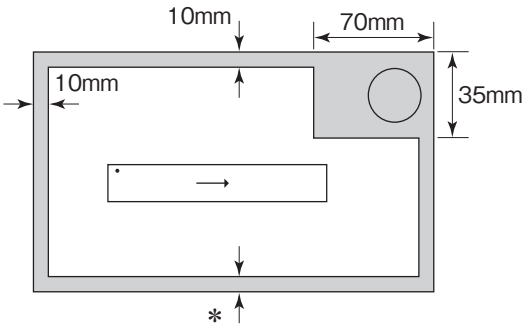
キャラクタ	P	Q	R	S	T
コード割付	2362h+ 2335h	2362h+ 2336h	2362h+ 2337h	2362h+ 2338h	2362h+ 2339h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC2+5	CC2+6	CC2+7	CC2+8	CC2+9
バー種類	342141	342321	342213	342231	342411

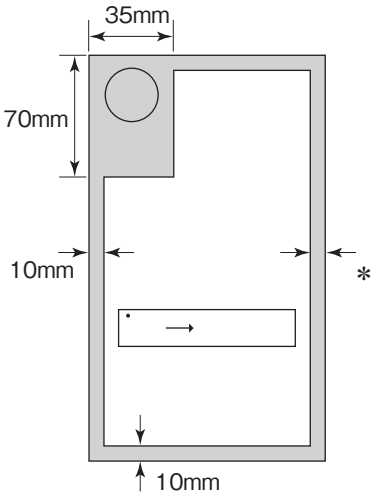
キャラクタ	U	V	W	X	Y
コード割付	2363h+ 2330h	2363h+ 2331h	2363h+ 2332h	2363h+ 2333h	2363h+ 2334h
カスタマ バーコード					
コード組合せ	CC3+0	CC3+1	CC3+2	CC3+3	CC3+4
バー種類	234144	234114	234132	234312	234123

キャラクタ	Z
コード割付	2363h+ 2335h
カスタマ バーコード	
コード組合せ	CC3+5
バー種類	234141

カスタマバーコードの印刷位置

カスタマバーコードの上下左右には2mm以上の余白を設けるものとなっています。ただし、窓枠の上下左右とカスタマバーコードの間の空白は封筒と内容物のズレにかかわらず、常に2mm以上必要です。
宛名を横書きする場合には、宛先氏名の直下にカスタマバーコードを単独で印刷します。
宛名を縦書きする場合には、左右または下部に単独で印刷します。
カスタマバーコードは郵便物の表面縁から10mmおよび消印領域である70mm x 35mmを除いた範囲内で印刷することができます。
ただし、＊部分はできるだけ15mm以上空けてください。
印刷方向は「・」を先頭とし、→の方向です。



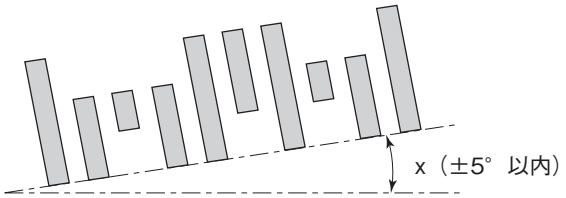


カスタマバーコードが印刷される下地

カスタマバーコードが印刷されるバーコードの下地は白色または地模様のない淡い色のみです。

カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が、5度以内となるようにしてください。



使用するインクリボン

カスタマバーコードを印刷する時は黒のなるべく新しいインクリボンを使用してください。インクが薄くなったインクリボンで印刷するとバーコード読み取りができなくなる場合があります。

印刷品質

カスタマバーコード印刷面には反射率50%以上の紙を使用してください。印刷面とカスタマバーコードとの反射率PCSは0.6以上必要です。また、カスタマバーコードにはインクのにじみやかすれなどがないようにしてください。

OCR-B相当フォントを印刷する

OCR-B相当フォントとは次のようなフォントです。

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNOI

以下の制御コードでANK文字の書体をOCR-B相当に指定することにより、ANK文字を印刷する際の書体がOCR-B相当になります。

FS 06F　　書体選択

	FS	0	6	F	n_1	-	n_{21}	n_{22}	n_{23}
16進	1C	30	36	46	n_1	2D	n_{21}	n_{22}	n_{23}
10進	28	48	54	70	n_1	45	n_{21}	n_{22}	n_{23}

ANK文字フォントのうちどれを使うかを直接指定します。

n_1は“1”にします。
n21、n22、n23の組み合わせは次の中から選択します。

0 0 0 …標準フォント
0 0 1 …イタリック
0 0 2 …クーリエ
0 0 3 …ゴシック
0 0 4 …OCR-B相当

索引

記号

1 バイト系コード表 161
2 バイト系コード表 163
7 ビットコード表 162
8 ビットコード表 161

L

LAN カバー 14
LAN ボード 11

O

OCR-B 相当フォント
　～を印刷する 189

ア

安全上のご注意 2
安全にお使いいただくために 1
安全にかかわる表示 ii

イ

インクリボン 13
　～の交換方法 115
インクリボンカートリッジ 13
　～取り付け 19
　～の交換 113
　～の処理 130
印刷開始位置の微調整 49
印刷桁数 131
印刷速度 131
印刷範囲 140
印刷ヘッド 15
印刷方式 131
インタフェース 132
インタフェース信号 157

ウ

運搬 129

エ

エラー表示 118

オ

往復はがき
　印刷モードの選択 41
　使用できる～の確認 40
　～に印刷するときの注意 40
　～のカールについて 41
　～の吸入 41
　～のセット 41
オプション 88

カ

海外でのご使用 194
解像度 131
拡張制御コード表 171
各部の名称 14
カスタマバーコード
　～の印刷位置 188
　～のコード体系 185
　～のフォーマット 183
　フォントを指定する制御コード 183
　～を印刷する 183
カット紙 136
　印刷範囲 140
　給紙方法 27
　自動印刷位置補正 50
　セット・吸入 35
　注意事項 141
　～と連続紙の切り替え 38
　～に関する注意 145
　排出 37
紙づまりの処理（シートガイド、フロントペーパーユニット）..124
紙づまりのときは（シートフィーダ）..... 106
カラーインクリボン 13
カラーインクリボンカートリッジ 13
漢字コード表 163

キ

技術情報 154
基本制御コード表 170
給紙方法 26
強制リセット 55

ケ

警告ラベル 1

コ

コネクタカバー 15
コネクタピン配置 158

シ

シートガイド
～に排出する 37
～を取り付ける 16
シートフィーダ
各部の名称 90
カット紙・複写式カット紙のセットと吸入 94
～が外れないとき 104
紙づまりのときは 106
シートガイドに排出する 100
使用時の注意 93
スタッカに排出する 100
～での用紙吸入位置の微調整 105
～と連続紙の切り替え印刷 101
～の取り付け 91
～の取り外し 102
はがき・往復はがきのセットと吸入 97
封筒のセットと吸入 98
～への用紙のセットと吸入 93
用紙の排出 100
用紙を追加または変更するときは 96
質量 133
修理業務 134
修理の依頼 127
寿命 127
仕様 131
使用できない用紙への注意 153
消費電力 133
情報サービス 128
消耗品 13
初期状態 155
新制御コードのコマンド仕様 174

ス

スイッチ
～の応用機能 55
～の基本機能 53
スタッカ
～に排出する 37
～を取り付ける 17
スペシャルメニューモード
7/8 ビットデータの切り替え 78
CR 機能の切り替え 77
DC1、DC3 コード処理の切り替え 77
HD パイカモード /HS パイカモードの初期設定 78
HEX ダンプモード切り替え 82
LF ピッチ補正 75
PC モード / 情処モード切り替え 78
印刷桁数の切り替え 78
印刷指令コードの切り替え 77
印刷ヘッド空打ち防止機能の有効 / 無効 78
印刷方向の初期設定 78
オートローディング方式の切り替え 79
各国文字の切り替え 77
カット機能の用紙送り量 79
カット紙センタリング位置 74
カット紙の排出方向の切り替え 79
漢字コード表 74
クワイエットモード 78
罫線ぞろえ確認モード 80
高速印刷モードの初期設定 79
シートガイドからの用紙吸入時間 74
シートガイド自動吸入方式の切り替え 79
シートガイド使用時の用紙無し検出 77
シートフィーダ制御方法 78
シートフィーダの吸入コード 78
自動カット位置送り機能の有効 / 無効 78
自動復改の切り替え 77
自動用紙厚調整再実行時間 74
～時のスイッチ機能 69
数字「0」（1 バイトコード系）の字体 77
数字「0」（2 バイトコード系）の字体 78
設定の詳細 74
設定の手順 73
データ受信方法の切り替え 77
～で変更できる設定項目 68
ドット対応グラフィックドット数の初期設定 78
ドット列印刷モードの印刷方向 79
～の終了方法 69
～の入り方 68
ハガキ印刷モード 74
パラメータ設定モード 74
フォント 1/ フォント 2 74
フロントトラクタセンタリング位置 74
ミシン目スキップの初期設定 78
メニューツリー 70
メモリスイッチ設定モード 76
用紙吸入位置の記憶 78
リアトラクタセンタリング位置 74
連続紙カット位置からの自動戻り時間 74

セ

制御コード一覧 170
清掃 116
製品寿命 133
製品保守 134
接続ケーブル 90
設置
～してはいけない場所 9
～に必要なスペース 8
設定内容のリセット 55

ソ

騒音 133
操作パネル 14, 52
ソケット 14

タ

タイムチャート 158
タック紙 151

ツ

坪量
　複写枚数と坪量（連量）.....137
　用紙サイズと坪量 135

テ

ディスプレイ 56
テスト印刷 22, 55
テスト印刷サンプル 168
電気的特性 159
電源 133
電源コード 14
　～を接続する 18
電源スイッチ 15

ト

特殊文字の印刷 178
トップカバー 14, 15
取り扱い上の注意 7

ニ

日常の保守 113

ネ

ネットワークケーブル 25
ネットワーク設定モード
　～時のスイッチ機能 84
　設定の詳細 87
　設定の手順 86
　～で変更できる設定項目 83
　～の終了方法 83
　～の入り方 83
　メニューツリー 85

ハ

バーコード
　～印刷時の印刷ヘッドの位置に関する注意 181
　カスタマバーコード 183
　指令の概要 180
　制御コード 178
　～の概要 180
　～の種類 180
　～の横の長さ 181
　～を印刷する 178
廃棄 130
排紙ユニット 14
はがき 135
　印刷範囲 143
　印刷モードの選択 41
　吸入位置の微調整はがき吸入位置の微調整 43
　使用できる～の確認 40
　注意事項 143
　～に印刷するときの注意 40
　～のカールについて 41
　～の吸入 41
　～のセット 41
ハガキ印刷モードの選択 41
はがき吸入位置の微調整 43
箱の中身を確認する 10
はじめに v

ヒ

左側板 90

フ

封筒 135
　印刷範囲 144
　使用できる～の確認 44
　～に印刷するときの注意 45
　～に関する注意 44
　～の吸入 45
　～のセット 45
封筒用紙 149
複写式カット紙 146
複写式用紙 135
複写式連続紙 147
複写枚数 136
普通紙
　カット紙に関する注意 145
　用紙サイズと坪量 135
　連続紙に関する注意 146
プラテンノブ 14
プリンタケーブル 12
プリンタ卓 11
プリントサーバ 11
プレプリント用紙 153
フロントカバー 14
フロントトラクタフィーダ 15
フロントペーパガイドユニット 15

ヘ

ペーパガイド
　シートガイド 14
　シートフィーダ 90
ペーパネット 90
別売品 11

ホ

保護用部品 15
補修用性能部品 128
保証 126
ホッパ 90

マ

マニュアルの構成 v

メ

メニューツリー
　スペシャルメニューモード 70
　ネットワーク設定モード 85
　メニューモード 60
メニューモード
　印刷圧の微調整 66
　印刷位置の微調整 66
　カット紙位置補正 65
　機能選択 66
　吸入位置 65
　縮小印刷の選択 67
　書式クリア 66
　書式設定 65
　書式選択 66
　書体選択 67
　設定の詳細 65
　設定の手順 64
　～で変更できる設定項目 58
　～の終了方法 59
　～の入り方 59
　複写力選択 66
　フロントトラクタフィーダ位置補正 65
　メニューツリー 60
　用紙厚調整の設定 66
　用紙長 65
　ライトマージン 65
　レフトマージン 65

モ

文字コード表 160

ユ

有寿命部品（有償）
　仕様 134
　～について 128

ヨ

用紙
　サイズ 135
　種類 136
　セット方向 136
用紙厚調整 132
用紙カット部 14
用紙吸入位置の微調整 47
用紙設計に関する注意事項 145
用紙セットボタン 90
用紙の取り扱い 26
用紙排出口 14

ラ

ラベル紙
　～に関する注意 151
　用紙サイズと坪量 135
ランプ 55

リ

リアトラクタフィーダ 11, 89
　センタガイド 107
　トラクタ 107
　トラクタロックレバー 107
　～の取り付け 108
　～の取り外し 111
　フロントトラクタフィーダと～の切り替え印刷 111
　～への連続紙のセットと吸入 109
リボンカートリッジセット 13

レ

連続紙 136
　印刷範囲 141
　置き方 138
　給紙方法 26
　セット・吸入 28
　注意事項 142
　排出・スタック 30
　用紙設計の注意 146
　～を取り除く 30
連続紙のカット
　カット機能を使う 31
　自動カット位置送り機能を使う 33
　プラテンノブを使う 34

ロ

ロックスプリング 14
ロックボタン 90
ロングライフインクリボン 13
ロングライフインクリボンカートリッジ 13, 132

高調波電流規格　JIS　C　61000-3-2　適合品

・ MultiImpact 700XE/XEN

（一社）　電子情報技術産業協会　高調波電流抑制対策実施
要領に基づく定格入力電流値 ：　２３０　W

・ MultiImpact 700JE/JEN

（一社）　電子情報技術産業協会　高調波電流抑制対策実施
要領に基づく定格入力電流値 ：　１２０　W

電波障害自主規制について

この装置は、 クラスB情報技術装置です。 この装置は、 家庭環境で使用することを目的としていますが、 この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

電気通信事業法について

LANインタフェースでネットワークに接続する場合、 電気通信事業法で定められた電気通信事業者 （ADSLモデムやCATVなど） へ直接接続することは許可されていません。

海外でのご使用について

本装置は、 日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、 NECの海外拠点で修理することはできません。 また、 日本国内での使用を前提としているため、 海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。 したがって、 本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、 および使用に対し罰金、 事故による補償などの問題が発生することがあっても、 弊社は直接 ・ 間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。